

## 第 2 章

### 埋立予定地域の現状

## 第2章 埋立予定地域の現状

### 2.1 地域の概要

#### 2.1.1 自然的状況

##### (1) 気象

###### ① 一般状況

当地方の気象の概要は、「日本の気候」（和達清夫監修，昭和33年），「山口県の気象100年」（下関地方気象台，昭和58年），「日本気候表 全国の平年値一覧（統計期間1971～2000年）」（気象庁，平成13年）等によれば，次のとおりである。

###### イ. 気候特性

発電所計画地点の位置する山口県東部は，瀬戸内海気候区に当たり，四季を通じて温暖で，冬季は中国山地で，夏季は四国山地で季節風がさえぎられ年間を通じて雨が少なく，風が弱いのが特徴である。

春季： 3月は，冬型の気圧配置となる日もかなりあり，寒波が来襲することもあるが，移動性高気圧に覆われる日もあって，少しずつ暖かくなっていく。4月になると，平均気温も10℃を超え，4月，5月と日増しに気温が高まっていく。

夏季： 6月上旬～中旬に梅雨入りとなり，7月中旬には梅雨明けとなることが多い。梅雨期は，曇天及び不照日数が多くなるが，梅雨明け後8月になると，太平洋高気圧の勢力下に入って，夏の最盛期となる。8月末頃から台風の来襲が始まる。

秋季： 9月は，台風の来襲や，その影響が多い月で，これに伴いしばしば豪雨が降る。10月になると，移動性高気圧や低気圧の通過が多くなり，日平均気温も20℃以下に下がる。11月になると，次第に冬型の気圧配置の日が多くなり，寒波の来襲も始まっていく。

冬季： 12月になると，冬型の気圧配置の日が前月よりも多くなり，日平均気温も10℃以下の日が月の大半を占めるようになる。1月中旬から2月上旬は1年中で気温が最も低く，2月中旬から冬型の気圧配置がゆるみ気温は上昇する。

###### ロ. 気象概要

発電所計画地点の位置する地方の気象概要は，発電所計画地点最寄りの広島地方気象台（発電所計画地点北北東約80km）及び松山地方気象台（発電所計画地点東約70km）の観測結果によれば，次のとおりである（第2.1.1.1-1，2表）。

なお，発電所計画地点，広島地方気象台（以下「広島」という。）及び松山地方気

象台（以下「松山」という。）の位置は、第2.1.1.1-1図のとおりである。

(i) 天 気

a. 快晴、晴、曇天日数

快晴日数は、広島では年間約31日（約8%）で、10月が最も多く約5日となっている。松山では年間約33日（約9%）で、10月が最も多く約5日となっている。

晴日数は、広島では年間約216日（約59%）で、1月が最も多く約22日となっている。松山では年間約217日（約59%）で、1月が最も多く約22日となっている。

曇天日数は、広島では年間約118日（約32%）で、6月が最も多く約15日となっている。松山では年間約115日（約32%）で、6月が最も多く約15日となっている。

b. 降水日数

降水量1.0mm以上の日数は、広島では年間約96日（約26%）で、6月が最も多く約12日となっている。松山では年間約102日（約28%）で、6月が最も多く約12日となっている。

降水量10.0mm以上の日数は、広島では年間約45日（約12%）、松山では年間約42日（約12%）となっている。降水量30.0mm以上の日数は、広島では15日（約4%）、松山では約10日（約3%）となっている。

c. 降雪日数

降雪日数は、広島では年間約23日（約6%）で、1月が最も多く約8日となっている。松山では年間約13日（約4%）で、2月が最も多く約5日となっている。

d. 霧日数

霧の発生日数は、広島では年間約10日（約3%）で、4月が最も多く約2日となっている。松山では年間約11日（約3%）で、4月が最も多く約3日となっている。

e. 雷日数

雷の発生日数は、広島では年間約13日（約4%）で、7月が最も多く約4日となっている。松山では年間約13日（約4%）で、7月、8月が最も多く約3日となっている。

f. 不照日数

不照日数は、広島では年間約46日（約13%）で、6月が最も多く約6日となっている。松山では年間約44日（約12%）で、6月が最も多く約6日となっている。

(b) 気 象

a. 風 向

年間の最多風向は、広島では北北東、松山では西北西となっている。月別の最多風向は、広島では1月～3月、6月及び8月～11月が北北東、4月～5月及び12月が北、7月が南南西となっている。松山では1月～6月及び12月が西北西、7月～9月が東、10月及び11月が東南東となっている。

b. 風 速

年間の平均風速は、広島では3.9m/s、松山では1.9m/sとなっている。月別平均風速は、広島では10月が最大で4.4m/sとなっている。松山では1月が最大で2.2m/sとなっている。

強風日数は、広島では年間約47日、松山では年間約1日となっている。

c. 気 温

年間の平均気温は、広島、松山とも16.1℃となっている。月別平均気温は、広島では8月が最も高く27.9℃、1月が最も低く5.3℃となっている。松山では8月が最も高く27.3℃、1月が最も低く5.8℃となっている。

d. 湿 度

年間の平均湿度は、広島では69%、松山では68%となっている。月別平均湿度は、広島では7月が最も高く75%、4月が最も低く64%となっている。松山では6月及び7月が最も高く73%、1月及び2月が最も低く63%となっている。

e. 降水量

年間の降水量は、広島では1,540.6mm、松山では1,303.1mmとなっている。月別平均降水量は、広島では6月が最も多く258.1mm、12月が最も少なく34.8mmとなっている。松山では6月が最も多く240.5mm、12月が最も少なく38.8mmとなっている。

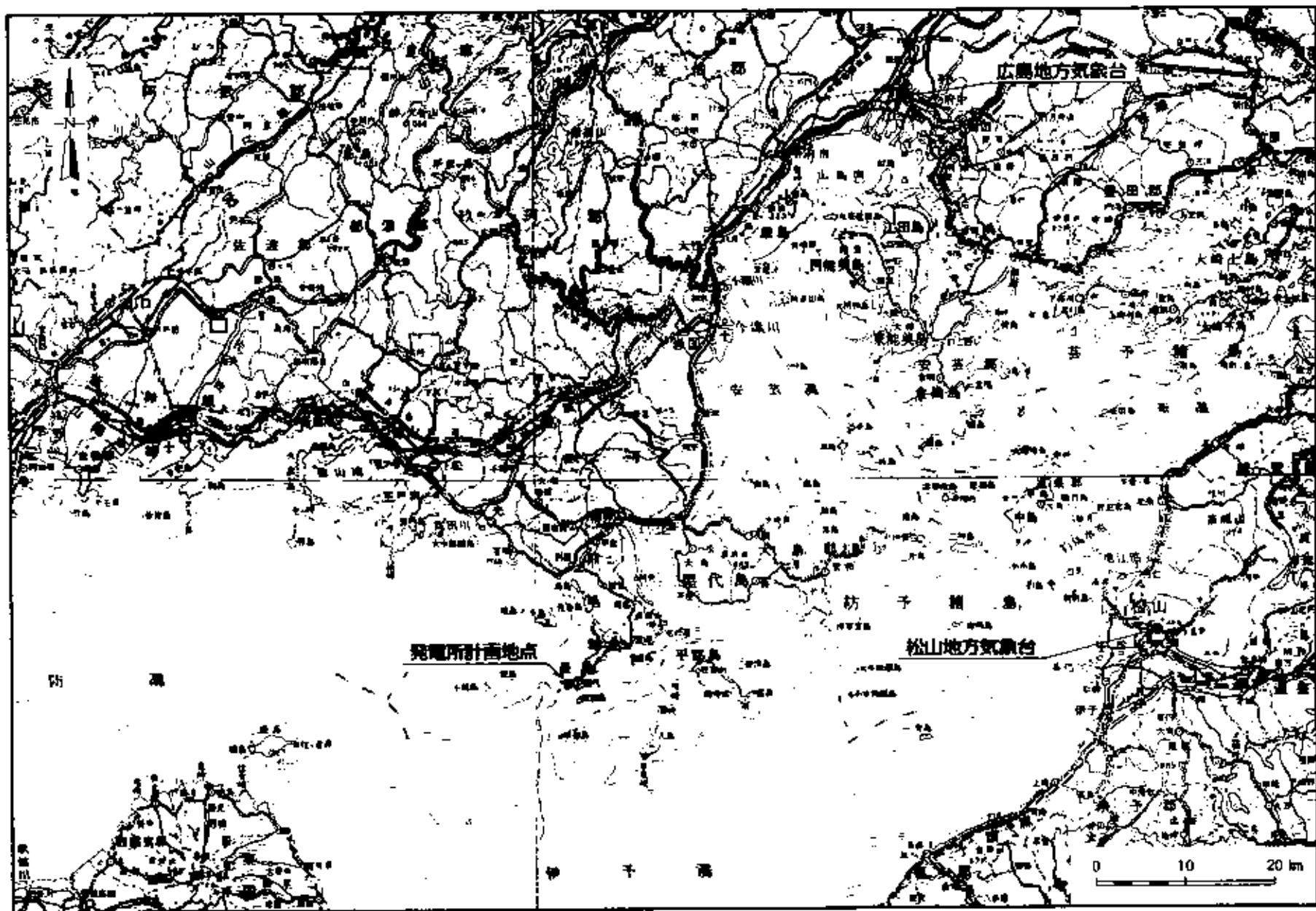
f. 雲 量

年間の平均雲量は、広島では6.4、松山では6.3となっている。月別平均雲量は、広島では6月が最も多く7.6、10月が最も少なく5.5となっている。松山では6月が最も多く7.6、10月が最も少なく5.6となっている。

g. 全天日射量

全天日射量の年平均は、広島では13.4MJ/m<sup>2</sup>、松山では13.7MJ/m<sup>2</sup>となっている。月平均は、広島では5月が最も大きく18.1MJ/m<sup>2</sup>、12月が最も小さく7.9MJ/m<sup>2</sup>となっている。松山では8月が最も大きく18.4MJ/m<sup>2</sup>、12月が最も小さく7.8MJ/m<sup>2</sup>となっている。

第2.1.1.1-I図 気象官署の位置



第2.1.1.1-1表 広島地方気象台気候表

項目		月												年間	統計期間	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
天 気 日 数	快晴 (雲量<1.6)	日	1.8	1.3	2.3	3.2	3.2	1.2	1.2	2.2	2.1	4.8	4.2	3.5	31.0	昭和46年 ~平成12年
	晴 (1.6≤雲量<8.5)	日	21.9	19.6	19.4	17.0	16.2	13.5	16.0	19.7	15.3	17.9	18.8	21.0	216.3	昭和46年 ~平成12年
	曇天 (雲量≥8.5)	日	7.3	7.4	9.3	9.8	11.6	15.3	13.8	9.1	12.6	8.3	7.0	6.5	118.0	昭和46年 ~平成12年
	雪	日	7.8	7.6	2.4	0.0	-	-	-	-	-	-	0.3	4.3	22.5	昭和46年 ~平成12年
	霧	日	0.8	0.9	1.3	1.5	1.4	1.3	0.8	0.1	0.1	0.3	0.7	0.8	9.9	昭和46年 ~平成12年
	雪	日	0.1	0.1	0.2	0.4	1.0	1.4	3.7	2.8	2.0	0.5	0.5	0.3	12.8	昭和46年 ~平成12年
	不照	日	2.9	3.6	4.8	4.9	4.1	6.1	9.9	2.2	4.5	3.7	3.0	2.3	45.9	昭和46年 ~平成12年
最多風向		-	NNE	NNE	NNE	N	N	NNE	SSW	NNE	NNE	NNE	NNE	N	NNE	昭和63年 ~平成12年
平均風速		m/s	3.8	3.9	4.1	3.9	3.5	3.3	3.4	3.6	4.1	4.4	4.3	4.0	3.9	昭和63年 ~平成12年
強風日数		日	3.6	4.9	6.4	5.0	3.4	1.7	2.2	3.3	4.5	4.2	3.7	3.8	45.5	昭和63年 ~平成12年
気 温	平均	℃	6.3	6.7	9.0	14.6	18.9	22.8	28.9	27.9	23.9	18.0	12.3	7.5	16.1	昭和46年 ~平成12年
	日最高の平均	℃	9.6	10.2	13.8	19.5	23.8	26.9	30.8	32.1	28.3	23.0	17.2	12.3	20.6	昭和46年 ~平成12年
	日最低の平均	℃	1.7	1.8	4.5	9.8	14.3	19.2	23.7	24.3	20.2	13.8	8.2	3.5	12.1	昭和46年 ~平成12年
相対湿度		%	67	67	65	64	66	73	75	71	71	69	68	69	69	昭和46年 ~平成12年
降水量		mm	46.9	66.9	120.5	156.0	156.8	258.1	236.3	126.0	180.3	95.4	67.8	34.8	1540.6	昭和46年 ~平成12年
降 水 日 数	降水量1.0mm以上	日	5.9	7.1	9.2	9.9	8.9	11.7	9.8	7.2	9.8	6.6	5.6	4.7	96.4	昭和46年 ~平成12年
	降水量10.0mm以上	日	1.8	2.5	4.4	5.2	4.8	6.3	5.3	3.3	4.9	2.9	2.0	1.3	44.7	昭和46年 ~平成12年
	降水量30.0mm以上	日	0.1	0.3	0.8	1.5	1.7	2.8	2.8	1.3	2.1	0.9	0.7	-	15.0	昭和46年 ~平成12年
日照時間		時間	137.5	131.1	166.3	189.1	205.7	158.8	182.9	201.5	154.9	180.2	149.3	147.8	2004.9	昭和46年 ~平成12年
曇量		-	6.3	6.4	6.4	6.2	6.5	7.6	7.1	6.3	6.8	5.5	6.6	5.6	6.4	昭和46年 ~平成12年
全天日射量		MJ/m <sup>2</sup>	8.3	10.4	13.1	16.2	18.1	16.4	17.4	17.7	13.9	12.2	9.1	7.9	13.4	昭和47年 ~平成12年

注：1. 不照日数は1日の日照時間が0.1時間に満たない日数を計上した。  
 2. 強風日数は日最大風速が10m/s以上の日数を計上した。  
 3. 「-」は観測されなかったことを示す。  
 4. 「0.0」は小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。

〔「日本気候表 全国の平年値一覧(統計期間1971~2000年)」(気象庁,平成13年)より作成〕

第2.1.1.1-2表 松山地方気象台気候表

項目		月												年間	統計期間	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
天 気 日 数	快晴 (雲量<1.5)	日	1.8	1.6	2.7	3.6	2.9	1.1	1.9	2.8	2.3	4.7	4.4	3.5	33.3	昭和46年 ~平成12年
	晴 (1.6≦雲量<8.5)	日	22.3	19.3	19.0	17.0	16.2	13.9	17.1	20.0	15.8	18.1	17.9	20.7	217.3	昭和46年 ~平成12年
	曇天 (雲量≧8.5)	日	6.9	7.4	9.3	9.4	11.9	15.0	12.0	8.2	11.9	8.2	7.7	6.8	114.8	昭和46年 ~平成12年
	雪	日	4.8	5.1	0.8	0.0	-	-	-	-	-	0.0	0.1	2.5	13.3	昭和46年 ~平成12年
	霧	日	0.4	0.5	1.3	2.9	1.9	2.3	0.8	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	11.2	昭和46年 ~平成12年
	雷	日	0.4	0.2	0.4	0.6	1.0	1.2	2.6	2.6	1.6	0.7	0.8	0.6	12.6	昭和46年 ~平成12年
	不照	日	3.1	3.7	5.0	4.2	4.1	6.0	3.1	1.5	4.2	3.3	3.3	2.7	44.3	昭和46年 ~平成12年
最多風向	-	時	時	時	時	時	時	E	E	E	ESE	ESE	時	時	昭和46年 ~平成12年	
平均風速	m/s	2.2	2.1	2.0	2.0	1.9	1.7	1.8	1.8	1.7	1.8	1.9	2.0	1.9	昭和50年 ~平成12年	
強風日数	日	0.1	-	0.1	0.1	-	-	-	0.3	0.3	0.1	-	-	1.1	昭和50年 ~平成12年	
気 温	平均	℃	5.8	6.0	9.1	14.3	18.5	22.3	26.5	27.3	23.7	18.2	13.0	8.2	16.1	昭和46年 ~平成12年
	日最高の平均	℃	9.7	10.0	13.5	19.0	23.2	26.3	30.5	31.6	27.9	22.8	17.5	12.4	20.4	昭和46年 ~平成12年
	日最低の平均	℃	2.0	1.9	4.7	9.6	14.1	18.7	23.1	23.8	20.2	14.0	8.8	4.1	12.1	昭和46年 ~平成12年
相対湿度	%	63	63	64	64	66	73	73	71	72	69	67	64	68	昭和46年 ~平成12年	
降水量	mm	51.6	61.3	93.6	113.8	128.4	240.5	162.9	102.3	148.1	99.6	62.6	38.8	1303.1	昭和46年 ~平成12年	
降 水 日 数	降水量1.0mm以上	日	7.2	6.9	10.3	9.8	9.4	12.2	9.1	7.2	9.7	7.3	6.8	6.0	102.0	昭和46年 ~平成12年
	降水量10.0mm以上	日	1.9	2.4	3.8	4.1	4.3	6.5	4.5	3.3	4.4	3.2	2.0	1.3	41.7	昭和46年 ~平成12年
	降水量30.0mm以上	日	0.1	0.1	0.3	0.8	1.1	2.7	1.8	1.0	1.5	0.6	0.4	-	10.3	昭和46年 ~平成12年
日照時間	時間	125.0	133.0	163.6	185.4	197.3	153.1	193.5	213.1	155.3	173.4	140.0	135.3	1967.9	昭和46年 ~平成12年	
雪量	-	6.3	6.3	6.2	6.2	6.5	7.6	6.9	6.0	6.7	5.6	5.7	5.7	6.3	昭和46年 ~平成12年	
全天日射量	MJ/cm <sup>2</sup>	8.3	10.8	13.6	16.7	18.3	16.5	18.3	18.4	14.1	12.4	9.3	7.8	13.7	昭和47年 ~平成12年	

- 注：1. 不照日数は1日の日照時間が0.1時間に満たない日数を計上した。  
 2. 強風日数は日最大風速が10m/s以上の日数を計上した。  
 3. 「-」は観測されなかったことを示す。  
 4. 「0.0」は小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。

〔「日本気候表 全国の平年値一覧(統計期間1971~2000年)」(気象庁,平成13年)より作成〕

## ② 地上気象

発電所計画地点における地上気象の現況は、当社が観測した結果によれば、次のとおりである。

### イ. 観測期間

平成7年4月1日～平成8年3月31日

### ロ. 観測場所

発電所計画地点における2観測点で行った(第2.1.1.1-2図)。

### ハ. 観測方法

風向及び風速：超音波式風向風速計

気 温：白金抵抗式温度計

湿 度：塩化リチウム塗布式露点温度計

降 水 量：転倒ます型雨量計

日 射 量：電気式日射計

放射収支量：熱電堆式風防型放射収支計

### ニ. 観測結果

観測結果の概要は、次のとおりである。

#### (イ) 風向及び風速

##### a. 風 向 (第2.1.1.1-3表, 第2.1.1.1-3図)

年間： 最多風向は、全日、昼間及び夜間とも西で、全日が20.7%、昼間が25.6%、夜間が15.9%である。

春季： 最多風向は、全日及び昼間が西で、全日が19.1%、昼間が25.8%、夜間が西南西で12.4%である。

夏季： 最多風向は、全日及び昼間が南西で、全日が16.5%、昼間が23.0%、夜間が西で9.9%である。

秋季： 最多風向は、全日、昼間及び夜間とも西で、全日が20.3%、昼間が25.9%、夜間が15.4%である。

冬季： 最多風向は、全日、昼間及び夜間とも西で、全日が31.0%、昼間が40.7%、夜間が24.0%である。



b. 風速 (第2.1.1.1-3, 4表)

年間： 平均風速は、全日が2.7m/s, 昼間が2.9m/s, 夜間が2.4m/sである。

風速階級別の出現頻度の最も高いのは、全日、昼間及び夜間とも1.0～1.9m/sで、全日が27.5%, 昼間が26.3%, 夜間が28.7%である。

春季： 平均風速は、全日が2.6m/s, 昼間が3.0m/s, 夜間が2.2m/sである。

風速階級別の出現頻度の最も高いのは、全日、昼間及び夜間とも1.0～1.9m/sで、全日が27.5%, 昼間が24.0%, 夜間31.2%である。

夏季： 平均風速は、全日が2.0m/s, 昼間が2.3m/s, 夜間が1.7m/sである。

風速階級別の出現頻度の最も高いのは、全日、昼間及び夜間とも1.0～1.9m/sで、全日が33.1%, 昼間が34.2%, 夜間が31.5%である。

秋季： 平均風速は、全日が2.7m/s, 昼間が2.9m/s, 夜間が2.4m/sである。

風速階級別の出現頻度の最も高いのは、全日、昼間及び夜間とも1.0～1.9m/sで、全日が26.6%, 昼間が25.5%, 夜間が27.7%である。

冬季： 平均風速は、全日が3.4m/s, 昼間が3.8m/s, 夜間が3.0m/sである。

風速階級別の出現頻度の最も高いのは、全日及び夜間が1.0～1.9m/sで、全日が22.7%, 夜間が25.3%, 昼間が6.0m/s以上で21.8%である。

(v) 気温 (第2.1.1.1-5表)

年平均気温は15.5℃で、月平均気温は8月が最も高く27.3℃, 2月が最も低く5.4℃である。

(vi) 湿度 (第2.1.1.1-5表)

年平均湿度は71%で、月平均湿度は7月が最も高く85%, 12月が最も低く60%である。

(vii) 降水量 (第2.1.1.1-5表)

年降水量は1,443.0mmで、月降水量は5月が最も多く361.5mm, 8月が最も少なく3.0mmである。

(viii) 日射量 (第2.1.1.1-5表)

全天日射量の日積算値の年平均は14.1MJ/m<sup>2</sup>, 月平均値は8月が最も大きく21.7MJ/m<sup>2</sup>, 12月が最も小さく7.6MJ/m<sup>2</sup>である。

(ix) 放射収支量 (第2.1.1.1-5表)

放射収支量の夜間の日積算値の年平均は-2.1MJ/m<sup>2</sup>, 月平均の極値は11月の-2.9MJ/m<sup>2</sup>及び7月の-1.2MJ/m<sup>2</sup>である。

(ト) 大気安定度 (第2.1.1.1-6表)

年間： 大気安定度出現頻度は、中立 (C, C-D, D) が47.3%、安定 (E, F, G) が32.0%、不安定 (A, A-B, B, B-C) が20.7%である。

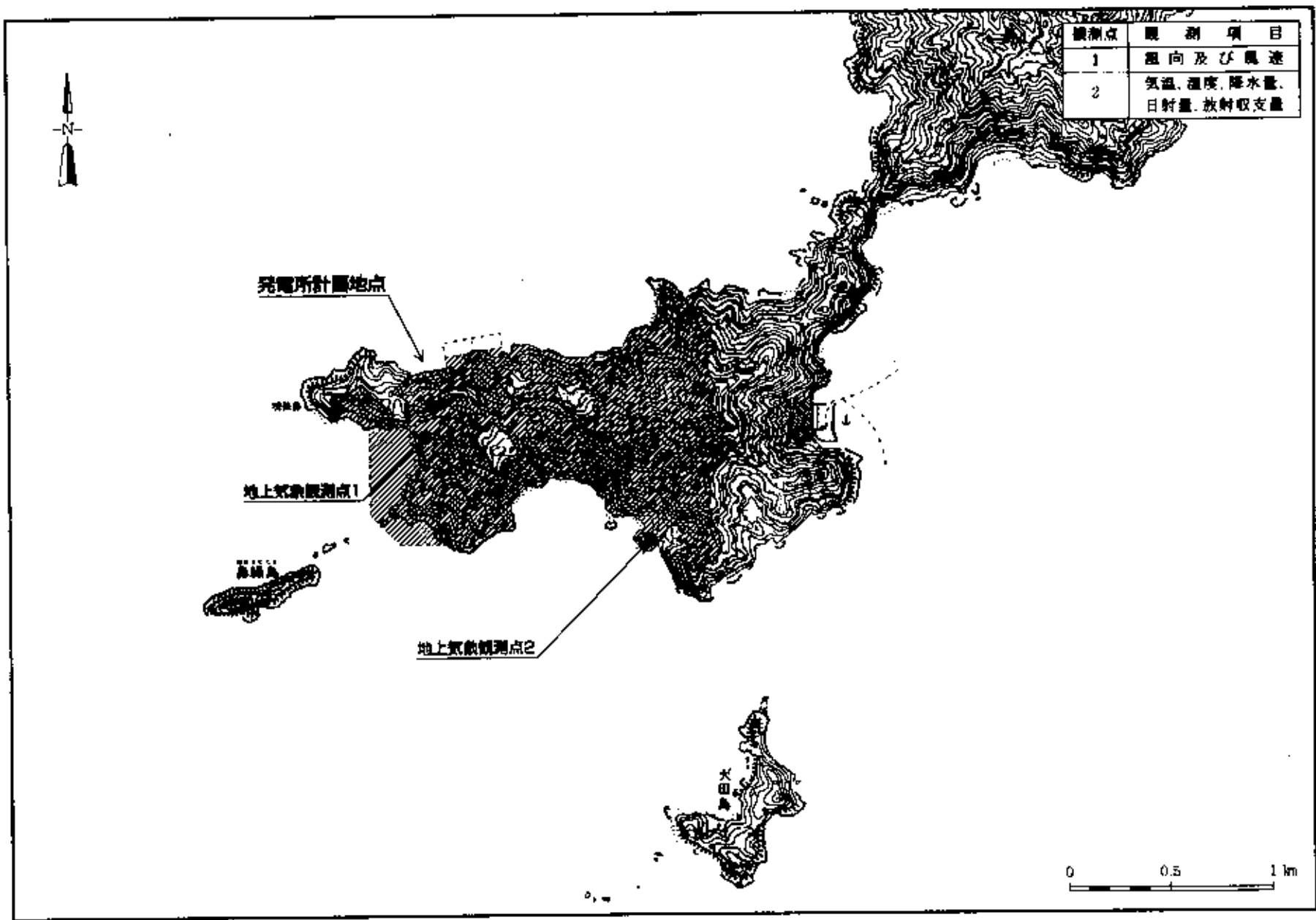
春季： 中立が52.9%、安定が27.4%、不安定が19.7%である。

夏季： 中立が36.9%、安定が30.7%、不安定が32.4%である。

秋季： 中立が45.5%、安定が35.6%、不安定が18.9%である。

冬季： 中立が53.8%、安定が34.6%、不安定が11.7%である。

第2.1.1.1-2図 気象観測点位置



第2.1.1.1-3表(1) 風速階級別風向出現頻度(年間)

観測者：中国電力網  
 観測点：地上気象観測点 1  
 観測期間：平成 7年 4月 1日～平成 8年 3月31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風向		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
0.5	全日	1.3	2.1	1.8	0.9	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	0.7	0.5	0.8	1.1	1.2	14.2
	昼間	0.9	1.0	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.6	0.7	0.9	0.8	0.3	0.6	0.5	0.6	9.3
	夜間	1.7	3.2	2.9	1.3	0.8	0.8	0.6	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6	0.7	1.0	1.7	1.7	19.0
1.0	全日	2.1	2.9	2.3	1.7	1.0	0.8	0.7	0.8	1.5	2.9	2.7	2.5	1.6	1.1	1.3	1.6	27.5
	昼間	1.9	2.1	1.6	0.9	0.6	0.5	0.5	0.7	2.0	4.4	3.9	3.1	1.7	0.6	0.8	1.1	26.3
	夜間	2.3	3.6	2.9	2.6	1.5	1.1	0.9	0.9	0.9	1.4	1.6	2.0	1.5	1.5	1.9	2.2	28.7
2.0	全日	1.6	1.4	1.3	1.1	0.4	0.4	0.2	0.2	1.2	3.2	3.4	2.9	0.5	0.1	0.2	1.1	19.3
	昼間	2.0	1.5	1.0	0.9	0.2	0.2	0.3	0.1	1.7	4.8	4.4	3.5	0.5	0.2	0.1	1.3	22.5
	夜間	1.3	1.4	1.6	1.3	0.7	0.6	0.1	0.3	0.8	1.8	2.4	2.4	0.5	0.0	0.2	0.9	16.2
3.0	全日	1.0	0.7	0.7	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.5	1.7	2.3	2.8	0.1	0.0	0.0	0.7	11.5
	昼間	1.4	1.2	0.7	0.1	0.1	0.0	0	0	0.6	1.9	2.8	3.4	0.1	0.0	0.0	0.6	12.8
	夜間	0.7	0.3	0.7	0.7	0.2	0.2	0.1	0.0	0.4	1.6	1.9	2.3	0.2	0.0	0.1	0.7	10.2
4.0	全日	0.9	0.5	0.4	0.3	0.1	0.0	0	0	0.1	1.0	3.4	6.2	0.0	0	0	0.5	13.4
	昼間	1.2	0.9	0.4	0.2	0	0	0	0	0.1	0.9	3.4	7.6	0	0	0	0.6	15.2
	夜間	0.7	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	0	0	0.1	1.1	3.4	4.9	0.0	0	0	0.4	11.7
6.0以上	全日	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.7	2.3	5.6	0	0	0	0.0	8.5
	昼間	0.1	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.5	2.2	7.3	0	0	0	0	10.2
	夜間	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0.8	2.3	3.7	0	0	0	0.0	6.9
合計	全日	7.0	7.7	6.5	4.4	2.4	1.8	1.3	1.4	3.9	10.1	14.9	20.7	2.8	2.0	2.6	5.1	100
	昼間	7.4	6.6	4.5	2.6	1.2	0.9	1.0	1.1	5.1	13.1	17.6	25.6	2.6	1.5	1.4	4.2	100
	夜間	6.6	8.7	8.4	6.2	3.4	2.7	1.7	1.7	2.7	7.1	12.2	15.9	3.0	2.5	3.8	5.9	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	5.5	3.7	7.3
欠測率(%)	0.1	0.2	0

- 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
- 「0.0」は、小数点以下第 2位を四捨五入して 0.1に満たないものを示す。
- 「0」は出現しなかったことを示す。
- 昼夜時の時間帯区分は、以下の表のとおりである。

月	昼間	夜間	月	昼間	夜間
4月	7時～18時	19時～ 6時	10月	7時～17時	18時～ 6時
5月	6時～18時	19時～ 5時	11月	7時～17時	18時～ 6時
6月	6時～19時	20時～ 5時	12月	8時～17時	18時～ 7時
7月	6時～19時	20時～ 5時	1月	8時～17時	18時～ 7時
8月	6時～18時	19時～ 5時	2月	8時～17時	18時～ 7時
9月	7時～18時	19時～ 6時	3月	7時～18時	19時～ 6時

第2.1.1.1-3表(2) 風速階級別風向出現頻度(春季)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年4月1日～5月31日  
 平成8年3月31日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m、標高15m)  
 (単位：%)

風速階級(m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	1.4	2.0	1.7	0.8	0.5	0.3	0.1	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.6	1.0	1.2	0.7	13.5
	昼間	0.4	1.0	0.8	0.5	0.5	0.3	0.2	0.3	0.8	0.8	0.9	0.8	0.4	0.7	0.2	0.5	9.0
	夜間	2.3	3.2	2.7	1.1	0.4	0.3	0.1	0.7	0.4	0.5	0.6	0.8	0.7	1.2	2.3	0.9	18.3
1.0	全日	2.9	3.3	2.4	0.9	0.8	0.6	0.2	0.5	1.1	2.2	2.5	2.5	2.1	1.5	2.0	2.3	27.5
	昼間	2.3	2.4	1.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	1.8	3.2	3.6	2.7	1.9	0.7	0.7	1.7	24.0
	夜間	3.4	4.2	3.4	1.5	1.2	0.9	0.1	0.6	0.5	1.1	1.2	2.1	2.3	2.4	3.3	3.0	31.2
2.0	全日	2.5	0.9	0.5	0.7	0.3	0.1	0.2	0.1	1.1	2.0	3.1	3.6	0.8	0.4	0.3	2.3	19.0
	昼間	2.6	1.0	0.2	0.4	0.1	0.1	0.3	0	1.9	2.6	3.7	4.3	0.7	0.7	0.2	2.5	21.0
	夜間	2.5	0.8	0.9	1.1	0.5	0.2	0.1	0.2	0.4	1.5	2.4	2.8	0.9	0	0.4	2.1	16.9
3.0	全日	2.1	0.8	0.5	0.2	0.0	0	0	0.0	0.8	1.2	1.8	2.7	0	0	0.2	1.7	12.1
	昼間	2.8	0.9	0.5	0.1	0	0	0	0	1.2	1.4	2.5	3.5	0	0	0.1	1.6	14.7
	夜間	1.3	0.7	0.4	0.4	0.1	0	0	0.1	0.3	1.0	1.1	1.9	0	0	0.3	1.9	9.4
4.0	全日	1.9	0.2	0.2	0.1	0	0	0	0	0.0	0.5	3.5	5.8	0	0	0	1.8	14.0
	昼間	2.5	0.3	0.2	0	0	0	0	0	0.1	0.6	3.2	8.0	0	0	0	2.2	17.0
	夜間	1.3	0.1	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0.4	3.9	3.4	0	0	0	1.3	10.8
6.0以上	全日	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	3.4	3.8	0	0	0	0.1	8.0
	昼間	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	3.5	6.5	0	0	0	0	10.8
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.2	1.0	0	0	0	0.2	5.0
合計	全日	10.9	7.2	5.3	2.7	1.5	1.0	0.5	1.1	3.7	7.2	15.0	19.1	3.4	2.9	3.6	8.9	100
	昼間	10.9	6.5	3.1	1.2	1.0	0.6	0.8	0.6	5.7	9.1	17.4	25.8	2.9	2.1	1.1	8.5	100
	夜間	10.9	9.0	7.5	4.3	2.1	1.4	0.3	1.6	1.5	5.1	12.4	12.1	4.0	3.6	6.2	9.4	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	5.9	3.5	8.4
欠測率(%)	0.2	0.4	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。
4. 「0」は出現しなかったことを示す。
5. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5. 参照。

第2.1.1.1-3表(3) 風速階級別風向出現頻度(夏季)

観測者：中国電力社  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年6月1日～8月31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風向		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
0.5	全日	1.6	2.8	1.6	0.8	0.8	0.7	0.9	0.6	0.9	0.9	1.2	0.7	0.9	1.1	1.7	1.4	18.6
	昼間	1.1	1.4	0.4	0.5	0.3	0.2	0.4	0.3	0.9	1.0	1.4	0.7	0.5	0.7	0.8	0.6	11.4
	夜間	2.2	4.6	3.3	1.2	1.5	1.4	1.5	0.9	0.9	0.7	0.9	0.6	1.4	1.6	2.9	2.4	28.1
1.0	全日	1.7	2.1	0.9	0.6	0.6	0.8	1.4	1.9	3.0	5.6	4.3	2.9	2.1	1.4	1.8	1.8	33.1
	昼間	1.6	1.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.9	1.6	3.9	8.3	5.5	3.4	2.6	0.7	1.0	1.1	34.2
	夜間	1.9	3.3	1.3	0.7	0.6	1.1	2.1	2.2	1.9	2.0	2.7	2.3	1.7	2.2	2.8	2.7	31.5
2.0	全日	1.4	0.9	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	2.4	6.2	4.3	2.3	0.5	0.1	0.2	0.5	20.1
	昼間	1.8	0.7	0.5	0.5	0.2	0	0.4	0	3.3	9.6	6.4	2.5	0.3	0.2	0.1	0.4	26.7
	夜間	0.8	1.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0	0.4	1.3	1.8	1.6	2.1	0.7	0.1	0.3	0.5	11.5
3.0	全日	0.9	0.2	0.2	0.1	0	0	0	0	0.7	2.3	2.5	2.3	0.3	0.0	0	0.3	9.8
	昼間	0.7	0.2	0.2	0.2	0	0	0	0	0.6	3.1	3.0	2.6	0.1	0.1	0	0.1	10.7
	夜間	1.1	0.1	0.2	0.1	0	0	0	0	0.8	1.3	1.9	1.9	0.6	0	0	0.5	8.6
4.0	全日	1.0	0.2	0	0.1	0	0	0	0	0	1.1	2.4	3.7	0.1	0	0	0.1	8.7
	昼間	0.8	0.2	0	0.2	0	0	0	0	0	0.6	3.3	4.6	0	0	0	0	9.7
	夜間	1.2	0.1	0	0	0	0	0	0	0	1.9	1.3	2.5	0.2	0	0	0.2	7.4
6.0以上	全日	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	1.3	0.4	0	0	0	0	2.0
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	1.8	0.4	0	0	0	0	2.6
	夜間	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.5	0.4	0	0	0	0	1.3
合計	全日	6.5	6.2	3.0	2.0	1.5	1.7	2.5	2.6	7.0	16.5	16.0	12.3	3.9	2.6	3.7	4.0	100
	昼間	6.0	3.9	1.7	1.8	1.0	0.9	1.7	1.9	8.6	23.0	21.4	14.2	3.4	1.7	1.9	2.2	100
	夜間	7.3	9.3	4.8	2.1	2.2	2.7	3.6	3.6	4.9	7.9	8.9	9.9	4.5	3.9	6.1	6.4	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	7.8	4.7	11.8
欠測率(%)	0.2	0.3	0

- 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
- 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。
- 「0」は出現しなかったことを示す。
- 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表(4) 風速階級別風向出現頻度(秋季)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年9月1日～11月30日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風速階級(m/s)	風向	風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	1.5	2.6	2.4	1.0	0.5	0.6	0.4	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.3	0.5	1.0	1.9	14.9
	昼間	1.1	0.9	1.3	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	0.6	0.5	0.7	0.1	0.6	0.5	1.1	9.0
	夜間	1.8	4.2	3.4	1.6	0.5	1.0	0.5	0.3	0.2	0.4	0.5	0.7	0.5	0.5	1.5	2.7	20.2
1.0	全日	2.6	3.8	3.2	2.6	1.1	0.6	0.5	0.5	0.6	2.0	1.8	2.4	1.2	0.8	1.2	1.7	26.6
	昼間	2.4	2.8	3.1	1.7	0.8	0.7	0.4	0.4	0.9	3.0	2.7	3.0	1.0	0.6	1.2	0.9	25.5
	夜間	2.8	4.8	3.3	3.3	1.3	0.5	0.6	0.6	0.4	1.1	1.0	1.8	1.4	1.0	1.2	2.4	27.7
2.0	全日	2.0	2.5	2.2	1.9	0.6	0.5	0.0	0.2	0.3	2.1	2.6	2.8	0.5	0	0.0	1.4	19.8
	昼間	2.9	2.8	2.4	1.7	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	2.6	3.2	3.8	0.7	0	0.1	1.7	23.2
	夜間	1.2	2.2	2.1	2.1	1.0	0.8	0	0.2	0.3	1.6	2.0	1.9	0.4	0	0	1.1	16.7
3.0	全日	0.9	1.0	1.3	0.9	0.5	0.3	0.0	0	0.2	1.1	2.1	2.8	0.3	0	0	0.6	12.0
	昼間	1.6	2.0	1.5	0.2	0.3	0.1	0	0	0.3	0.9	2.0	3.6	0.2	0	0	0.5	13.1
	夜間	0.3	0.1	1.2	1.6	0.7	0.4	0.1	0	0.1	1.4	2.2	2.1	0.3	0	0	0.7	11.1
4.0	全日	0.4	1.2	0.9	0.9	0.3	0.0	0	0	0.1	0.9	2.8	6.9	0	0	0	0.0	14.4
	昼間	0.5	2.0	1.3	0.7	0	0	0	0	0.1	1.0	2.9	8.6	0	0	0	0	17.1
	夜間	0.3	0.4	0.6	1.0	0.6	0.1	0	0	0.1	0.9	2.7	5.3	0	0	0	0.1	12.1
6.0以上	全日	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0.9	1.6	4.8	0	0	0	0	7.4
	昼間	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0.9	1.4	6.2	0	0	0	0	8.5
	夜間	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0.9	1.7	3.6	0	0	0	0	6.3
合計	全日	7.3	11.1	10.1	7.4	3.0	2.1	1.0	1.0	1.5	7.5	11.4	20.3	2.3	1.4	2.2	5.7	100
	昼間	8.4	10.6	9.5	4.8	1.7	1.4	0.7	0.9	1.9	8.9	12.7	25.9	1.9	1.2	1.7	4.2	100
	夜間	6.3	11.6	10.6	9.7	4.1	2.8	1.2	1.0	1.0	6.2	10.1	15.4	2.7	1.6	2.7	7.0	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	4.8	3.6	6.9
欠測率(%)	0	0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。
4. 「0」は出現しなかったことを示す。
5. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表(5) 風速階級別風向出現頻度(冬季)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年12月1日～31日  
 平成8年1月1日～2月29日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風速階級(m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	0.8	1.1	1.6	0.9	0.8	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	0.5	0.6	0.5	0.6	0.3	0.6	9.9
	昼間	1.0	0.6	0.4	0.6	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.7	1.0	0.4	0.4	0.3	0.3	7.2
	夜間	0.7	1.4	2.4	1.2	1.0	0.8	0.4	0.3	0.5	0.2	0.3	0.3	0.5	0.7	0.3	0.8	11.9
1.0	全日	1.1	2.2	2.7	2.9	1.7	1.1	0.6	0.4	1.0	1.7	2.3	2.4	0.9	0.6	0.4	0.7	22.7
	昼間	1.0	2.1	1.5	1.1	0.6	0.3	0.1	0.4	1.0	2.2	3.5	3.0	1.1	0.6	0.1	0.6	19.2
	夜間	1.1	2.4	3.5	4.2	2.6	1.6	1.0	0.3	1.0	1.3	1.6	2.0	0.7	0.6	0.5	0.8	25.3
2.0	全日	0.6	1.5	2.2	1.3	0.6	0.7	0.2	0.3	1.1	2.6	3.6	2.9	0.1	0	0.1	0.2	18.2
	昼間	0.7	1.7	1.3	1.0	0.1	0.3	0.2	0.2	1.1	3.3	3.7	3.4	0.2	0	0	0.4	17.7
	夜間	0.5	1.3	2.8	1.6	0.9	1.0	0.2	0.3	1.2	2.1	3.5	2.6	0.1	0	0.2	0.1	18.6
3.0	全日	0.3	1.0	0.7	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	0.4	2.3	2.9	3.6	0	0.0	0	0.0	12.1
	昼間	0.2	1.9	0.8	0.1	0.1	0	0	0	0.2	1.8	3.6	4.3	0	0	0	0.1	13.1
	夜間	0.4	0.3	0.7	0.6	0.1	0.2	0.2	0.1	0.5	2.7	2.4	3.1	0	0.1	0	0	11.3
4.0	全日	0.5	0.5	0.4	0.0	0.1	0.0	0	0	0.4	1.4	4.8	8.6	0	0	0	0	16.8
	昼間	1.0	1.1	0.4	0	0	0	0	0	0.4	1.5	4.2	9.9	0	0	0	0	18.6
	夜間	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0	0	0.4	1.3	5.3	7.6	0	0	0	0	15.5
6.0以上	全日	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.9	3.0	12.9	0	0	0	0	16.9
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.3	2.2	19.2	0	0	0	0	21.8
	夜間	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	1.3	3.5	8.5	0	0	0	0	13.3
合計	全日	3.3	6.2	7.7	5.6	3.4	2.6	1.3	0.9	3.3	9.1	17.1	31.0	1.5	1.2	0.8	1.6	100
	昼間	3.9	7.3	4.6	2.8	1.3	0.9	0.6	0.8	3.0	9.4	18.0	40.7	1.8	1.0	0.4	1.4	100
	夜間	2.8	5.5	9.9	7.7	4.9	3.8	1.8	1.0	3.6	8.9	16.6	24.0	1.3	1.4	1.1	1.6	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	3.4	2.4	4.2
欠測率(%)	0.1	0.2	0

- 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
- 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。
- 「0」は出現しなかったことを示す。
- 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。



第2.1.1.1-3表(6) 風速階級別風向出現頻度(4月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年4月1日～30日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風向		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
0.5	全日	0.7	1.8	1.8	0.8	0.1	0.4	0	0.7	0.4	0.8	0.7	0.8	0.3	1.4	1.8	0.6	13.2
	昼間	0.3	0.8	0.6	0.6	0	0.3	0	0.3	0.8	1.1	0.3	0.3	0	0.8	0	0.3	6.4
	夜間	1.1	2.8	3.1	1.1	0.3	0.6	0	1.1	0	0.6	1.1	1.4	0.6	1.9	3.6	0.8	20.0
1.0	全日	2.4	3.3	3.1	1.0	0.7	1.1	0.4	0.4	1.3	1.5	1.7	3.1	2.5	1.5	2.1	2.2	28.2
	昼間	2.2	2.8	1.7	0.3	0.3	0.6	0.8	0	1.9	1.9	3.1	4.4	2.5	0.6	0.6	1.4	25.0
	夜間	2.5	3.9	4.4	1.7	1.1	1.7	0	0.8	0.6	1.1	0.3	1.7	2.5	2.5	3.6	3.1	31.4
2.0	全日	2.6	1.0	1.0	0.6	0	0	0.3	0	1.1	2.4	2.6	2.8	1.3	0.7	0.7	3.6	20.6
	昼間	1.9	1.1	0.6	0	0	0	0.6	0	1.7	2.8	2.8	2.8	1.1	1.4	0.6	4.4	21.7
	夜間	3.3	0.8	1.4	1.1	0	0	0	0	0.6	1.9	2.5	2.8	1.4	0	0.8	2.8	19.4
3.0	全日	1.9	0.6	0.6	0.4	0.1	0	0	0	0.7	1.5	1.1	1.7	0	0	0.3	2.5	11.4
	昼間	2.8	1.1	0.8	0.3	0	0	0	0	1.4	2.5	1.9	1.7	0	0	0.3	2.2	15.0
	夜間	1.1	0	0.3	0.6	0.3	0	0	0	0	0.6	0.3	1.7	0	0	0.3	2.8	7.8
4.0	全日	1.8	0.3	0.1	0	0	0	0	0	0	0.6	2.8	4.2	0	0	0	1.1	10.8
	昼間	2.5	0.6	0.3	0	0	0	0	0	0	0.6	1.9	6.4	0	0	0	1.7	13.9
	夜間	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	3.6	1.9	0	0	0	0.6	7.8
6.0以上	全日	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	5.0	5.6	0	0	0	0	11.5
	昼間	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	5.6	9.4	0	0	0	0	15.8
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	4.4	1.7	0	0	0	0	7.2
合計	全日	9.6	6.9	6.5	2.8	1.0	1.5	0.7	1.1	3.5	7.6	13.9	18.1	4.0	3.6	4.9	10.0	100
	昼間	10.0	6.4	3.9	1.1	0.3	0.8	1.4	0.3	5.8	9.4	15.6	25.0	3.6	2.8	1.4	10.0	100
	夜間	9.2	7.5	9.2	4.4	1.7	2.2	0	1.9	1.1	5.8	12.2	11.1	4.4	4.4	8.3	10.0	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	4.3	2.2	6.4
欠測率(%)	0	0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0」は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表(7) 風速階級別風向出現頻度(5月)

観測者：中国電力株  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年5月1日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風向		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
0.5 風速階級(m/s)	全日	1.6	1.9	1.1	0.4	0.4	0.1	0	0.3	0.7	0.5	1.2	1.1	0.5	1.2	1.2	0.9	13.2
	昼間	0.5	0.2	0.5	0	0.7	0.2	0	0.2	1.0	0.7	1.7	1.5	0	1.0	0.2	0.5	9.2
	夜間	2.9	3.8	1.8	0.9	0	0	0	0.3	0.3	0.3	0.6	0.6	1.2	1.5	2.3	1.5	17.9
1.0	全日	4.3	3.5	1.6	0.4	0.5	0.1	0	0.5	1.1	2.6	3.2	1.7	3.0	2.7	3.1	3.4	31.7
	昼間	2.5	2.5	1.7	0.2	0.2	0	0	0.7	1.7	4.0	4.2	1.7	2.5	1.6	1.2	1.7	26.6
	夜間	6.6	4.7	1.5	0.6	0.9	0.3	0	0.3	0.3	0.9	2.1	1.8	3.5	4.1	5.3	5.3	37.8
2.0	全日	2.3	0.5	0.1	0.1	0.3	0	0	0	1.3	2.2	3.8	4.2	1.1	0.1	0.1	2.0	18.1
	昼間	2.5	0.5	0	0	0.2	0	0	0	2.5	3.7	5.0	5.5	0.7	0.2	0	1.7	22.6
	夜間	2.1	0.6	0.3	0.3	0.3	0	0	0	0	0.3	2.3	2.6	1.5	0	0.3	2.3	12.9
3.0	全日	1.3	0.8	0.4	0.1	0	0	0	0	0.5	0.8	1.5	3.1	0	0	0.3	0.9	9.8
	昼間	2.0	0.2	0.5	0	0	0	0	0	1.0	0.5	1.5	3.7	0	0	0	1.0	10.4
	夜間	0.6	1.5	0.3	0.3	0	0	0	0	0	1.2	1.5	2.3	0	0	0.6	0.9	9.1
4.0	全日	1.9	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0.6	5.0	7.7	0	0	0	1.6	16.8
	昼間	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	4.7	9.4	0	0	0	2.2	19.1
	夜間	1.8	0	0.3	0	0	0	0	0	0	0.3	5.3	5.6	0	0	0	0.9	14.1
6.0 以上	全日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	2.7	2.2	0	0	0	0	5.4
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.5	3.7	0	0	0	0	7.9
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	1.8	0.3	0	0	0	0	2.3
合計	全日	13.4	6.7	3.4	1.1	1.2	0.3	0	0.8	3.6	7.1	17.3	19.9	4.6	4.0	4.7	8.9	100
	昼間	9.4	3.5	2.7	0.2	1.2	0.2	0	1.0	6.2	10.4	20.6	25.6	3.2	2.7	1.5	7.2	100
	夜間	13.8	10.6	4.1	2.1	1.2	0.3	0	0.6	0.6	3.2	13.5	13.2	6.2	5.6	8.5	10.9	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	5.0	4.2	5.9
欠測率(%)	0	0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0」は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表(8) 風速階級別風向出現頻度(6月)

観測者：中国電力側  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年6月1日～30日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m、標高15m)  
 (単位：%)

風速階級(m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	1.9	3.5	2.1	0.8	0.4	0.6	0.3	0.3	0.8	0.4	1.1	1.0	0.6	1.4	2.8	2.1	20.0
	昼間	1.2	2.4	0.7	0	0.2	0.2	0.2	0.2	1.0	0.5	1.4	1.2	0.5	1.4	1.7	1.2	14.0
	夜間	3.0	5.0	4.0	2.0	0.7	1.0	0.3	0.3	0.7	0.3	0.7	0.7	0.7	1.3	4.3	3.3	28.3
1.0	全日	4.2	4.3	1.8	0.7	0.7	0.1	0.1	0.6	0.8	3.2	4.3	3.2	2.6	2.9	3.9	3.2	36.7
	昼間	3.1	2.9	1.2	0.5	0.5	0.2	0.2	0.7	1.2	5.0	6.0	4.3	3.1	1.7	2.4	1.9	34.8
	夜間	5.7	6.3	2.7	1.0	1.0	0	0	0.3	0.3	0.7	2.0	1.7	2.0	4.7	6.0	5.0	39.3
2.0	全日	2.6	1.7	0.8	0.7	0.3	0	0.1	0	0.4	1.5	2.8	3.2	0.7	0.4	0.6	1.3	16.9
	昼間	3.1	1.9	1.2	1.2	0.2	0	0.2	0	0.5	2.6	4.3	3.8	0.7	0.5	0.2	1.0	21.4
	夜間	1.7	1.3	0.3	0	0.3	0	0	0	0.3	0	0.7	2.3	0.7	0.3	1.0	1.7	10.7
3.0	全日	1.4	0.6	0.6	0.4	0	0	0	0	0.3	0.7	2.8	1.7	0.1	0.1	0	0.8	9.4
	昼間	1.4	0.7	0.5	0.5	0	0	0	0	0.2	1.2	4.3	2.1	0	0.2	0	0.2	11.4
	夜間	1.3	0.3	0.7	0.3	0	0	0	0	0.3	0	0.7	1.0	0.3	0	0	1.7	6.7
4.0	全日	1.5	0.6	0	0.3	0	0	0	0	0	0.4	2.2	2.9	0	0	0	0.3	8.2
	昼間	1.7	0.7	0	0.5	0	0	0	0	0	0	3.3	4.8	0	0	0	0	11.0
	夜間	1.3	0.3	0	0	0	0	0	0	0	1.0	0.7	0.3	0	0	0	0.7	4.3
6.0以上	全日	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.4	0	0	0	0	0	0.8
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.7	0	0	0	0	0	1.2
	夜間	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
合計	全日	11.7	10.6	6.3	2.9	1.4	0.7	0.6	0.8	2.4	6.5	13.6	11.9	4.0	4.9	7.2	7.6	100
	昼間	10.5	8.6	3.6	2.6	1.0	0.5	0.7	1.0	2.9	9.8	20.0	16.2	4.3	3.8	4.3	4.3	100
	夜間	13.3	13.3	7.7	3.3	2.0	1.0	0.3	0.7	1.7	2.0	4.7	6.0	3.7	6.3	11.3	12.3	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s以下とし、合計100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	7.9	6.2	10.3
欠測率(%)	0	0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。  
 3. 「0」は出現しなかったことを示す。  
 4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表(9) 風速階級別風向出現頻度(7月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年7月1日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m、標高15m)  
 (単位：%)

風向		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
0.5	全日	2.0	2.3	1.1	1.1	1.1	0.7	1.5	0.5	0.8	1.3	1.5	0.5	1.2	0.8	1.2	1.1	18.7
	昼間	1.6	0.7	0.2	0.9	0	0	0.5	0.2	0.7	1.6	1.4	0.5	0.2	0.2	0.5	0.5	9.7
	夜間	2.6	4.5	2.3	1.3	2.6	1.6	2.9	1.0	1.0	1.0	1.6	0.6	2.6	1.6	2.3	1.9	31.3
1.0	全日	0.4	0.7	0.5	0.9	0.4	1.5	1.1	1.9	3.4	6.9	4.7	3.2	2.4	0.4	0.8	0.9	30.1
	昼間	0.5	0.7	0.6	1.2	0.7	1.4	1.2	2.1	4.4	9.7	5.5	3.2	2.8	0	0.5	0.7	34.8
	夜間	0.3	0.6	0.6	0.6	0	1.6	1.0	1.6	1.9	2.9	3.5	3.2	1.9	1.0	1.3	1.3	23.5
2.0	全日	0.1	1.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.4	3.2	8.5	5.2	1.2	0.4	0	0	0.1	21.1
	昼間	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0	0.2	0	3.9	12.2	7.4	1.2	0.2	0	0	0.2	26.5
	夜間	0	2.3	0	0.3	0	0.3	0	1.0	2.3	3.2	2.3	1.3	0.6	0	0	0	13.5
3.0	全日	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0.7	4.2	3.0	2.0	0.3	0	0	0	10.5
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	5.3	3.0	2.8	0	0	0	0	11.5
	夜間	1.0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	2.6	2.9	1.0	0.6	0	0	0	9.0
4.0	全日	1.2	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2	1.7	3.4	0	0	0	0	7.5
	昼間	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2	2.8	3.9	0	0	0	0	8.3
	夜間	2.3	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0.3	2.6	0	0	0	0	6.5
6.0以上	全日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	2.2	0.9	0	0	0	0	3.5
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	2.5	0.7	0	0	0	0	3.7
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	1.6	1.3	0	0	0	0	3.2
合計	全日	4.2	4.0	1.7	2.3	1.6	2.3	2.7	2.8	8.1	22.4	18.3	11.3	4.3	1.2	2.0	2.2	100
	昼間	2.8	1.6	0.9	2.3	0.9	1.4	1.8	2.3	9.4	30.4	22.6	12.2	3.2	0.2	0.9	1.4	100
	夜間	6.1	7.4	2.9	2.3	2.6	3.5	3.9	3.5	6.1	11.3	12.3	10.0	5.8	2.6	3.5	3.2	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	8.6	5.5	12.9
欠測率(%)	0	0	0

- 出現頻度は、四捨五入の關係で合計が一致しないことがある。
- 「0」は出現しなかったことを示す。
- 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表 (10) 風速階級別風向出現頻度 (8月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年8月1日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計 (地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風速階級 (m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	0.8	2.7	1.8	0.4	0.9	0.9	0.8	0.9	1.1	0.9	1.1	0.5	0.8	1.1	1.2	1.1	17.2
	昼間	0.5	1.3	0.3	0.5	0.8	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.5	0.5	0.8	0.5	0.3	0.3	10.5
	夜間	1.2	4.4	3.6	0.3	1.2	1.5	1.2	1.5	1.2	0.9	0.6	0.6	0.9	1.8	2.3	2.1	24.9
1.0	全日	0.7	1.5	0.4	0.3	0.7	0.8	3.0	3.1	4.9	6.6	3.9	2.4	1.4	0.8	0.8	1.4	32.6
	昼間	1.3	0.3	0.3	0	0.5	0.3	1.3	2.0	6.3	10.3	5.0	2.8	1.5	0.5	0.3	0.8	33.1
	夜間	0	2.9	0.6	0.6	0.9	1.5	5.0	4.4	3.2	2.3	2.6	2.1	1.2	1.2	1.5	2.1	32.0
2.0	全日	1.5	0	0	0	0	0.3	0.4	0.1	3.5	8.5	4.9	2.6	0.4	0	0	0	22.2
	昼間	2.0	0	0	0	0	0	0.8	0	5.5	14.0	7.5	2.5	0	0	0	0	32.3
	夜間	0.9	0	0	0	0	0.6	0	0.3	1.2	2.1	1.8	2.6	0.9	0	0	0	10.3
3.0	全日	0.8	0	0	0	0	0	0	0	1.1	2.0	1.8	3.1	0.5	0	0	0	9.3
	昼間	0.8	0	0	0	0	0	0	0	1.0	2.8	1.5	2.8	0.3	0	0	0	9.0
	夜間	0.9	0	0	0	0	0	0	0	1.2	1.2	2.1	3.5	0.9	0	0	0	9.7
4.0	全日	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8	3.2	4.9	0.3	0	0	0	10.3
	昼間	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	3.8	5.3	0	0	0	0	9.8
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.2	2.6	4.4	0.6	0	0	0	10.9
6.0以上	全日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	1.2	0.3	0	0	0	0	1.8
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	2.3	0.5	0	0	0	0	3.0
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0	0.3
合計	全日	3.9	4.2	2.2	0.7	1.6	2.0	4.2	4.2	10.5	20.1	16.1	13.8	3.4	1.9	2.0	2.4	100
	昼間	4.8	1.5	0.5	0.5	1.3	0.8	2.5	2.5	13.8	28.8	21.6	14.3	2.5	1.0	0.5	1.0	100
	夜間	2.9	7.3	4.1	0.9	2.1	3.5	6.2	6.2	6.7	10.0	9.7	13.2	4.4	2.9	3.8	4.1	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率 (%)	6.8	2.3	12.0
欠測率 (%)	0.5	1.0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0」は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：6.参照。

第2.1.1.1-3表 (11) 風速階級別風向出現頻度 (9月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点 1  
 観測期間：平成 7年 9月 1日～30日  
 観測計器：超音波式風向風速計 (地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風向		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
0.5	全日	1.7	3.5	3.5	1.1	0.7	0.4	0.7	0.6	0.4	0.7	0.6	0.6	0.3	0.1	0.4	1.8	16.9
	昼間	1.4	1.7	1.4	0.6	0.8	0.3	0.3	0.3	0.6	0.6	0.8	1.1	0	0	0.3	1.1	11.1
	夜間	1.9	5.3	5.6	1.7	0.6	0.6	1.1	0.8	0.3	0.8	0.3	0	0.6	0.3	0.6	2.5	22.8
1.0	全日	3.1	3.3	3.8	2.2	0.8	1.1	1.0	1.3	1.7	3.6	3.2	2.9	0.6	0.6	1.1	1.7	31.8
	昼間	2.2	2.8	3.6	1.1	0.8	1.4	0.6	1.1	1.9	5.3	4.4	3.6	0.8	0.3	1.7	1.1	32.8
	夜間	3.9	3.9	3.9	3.3	0.8	0.8	1.4	1.4	1.4	1.9	1.9	2.2	0.3	0.8	0.6	2.2	30.8
2.0	全日	1.8	3.1	1.8	1.7	0.4	0.8	0	0.4	0.4	2.8	1.8	2.8	0.3	0	0	0.4	18.5
	昼間	2.8	3.1	1.9	1.4	0.3	0.6	0	0.3	0.3	3.9	2.8	3.3	0.6	0	0	0.8	21.9
	夜間	0.8	3.1	1.7	1.9	0.6	1.1	0	0.6	0.6	1.7	0.8	2.2	0	0	0	0	15.0
3.0	全日	0.7	1.3	2.5	1.3	0.6	0.4	0	0	0.3	1.3	0.8	2.5	0.1	0	0	0.3	11.9
	昼間	1.1	2.2	1.9	0.3	0.6	0	0	0	0.3	0.3	0.6	2.8	0	0	0	0.3	10.3
	夜間	0.3	0.3	3.1	2.2	0.6	0.8	0	0	0.3	2.2	1.1	2.2	0.3	0	0	0.3	13.6
4.0	全日	0.6	1.8	1.3	1.3	0.8	0.1	0	0	0	0.3	0.6	4.9	0	0	0	0	11.5
	昼間	0.6	2.5	2.5	1.1	0	0	0	0	0	0.6	1.1	5.8	0	0	0	0	14.2
	夜間	0.6	1.1	0	1.4	1.7	0.3	0	0	0	0	0	3.9	0	0	0	0	8.9
6.0 以上	全日	0	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0.6	1.1	1.4	0	0	0	0	3.3
	昼間	0	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0.6	2.2	2.8	0	0	0	0	5.8
	夜間	0	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0.6	0	0	0	0	0	0	0.8
合計	全日	7.8	12.9	12.8	7.8	3.3	2.9	1.7	2.2	2.8	9.2	8.1	15.0	1.3	0.7	1.5	4.2	100
	昼間	8.1	12.2	11.4	4.7	2.5	2.2	0.8	1.7	3.1	11.1	11.9	19.4	1.4	0.3	1.9	3.3	100
	夜間	7.5	13.6	14.2	10.8	4.2	3.6	2.5	2.8	2.6	7.2	4.2	10.6	2.1	1.1	1.1	5.0	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率 (%)	6.0	3.9	8.1
欠測率 (%)	0	0	0

- 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
- 「0」は出現しなかったことを示す。
- 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表 (12) 風速階級別風向出現頻度 (10月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点  
 観測期間：平成7年10月1日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計（地上高10m、標高15m）  
 （単位：%）

風速階級 (m/s)	風向	風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	1.5	2.4	1.6	0.9	0.3	0.8	0.3	0.1	0.3	0.4	0.4	1.2	0.4	1.1	2.0	3.1	16.8
	昼間	1.2	0.6	1.2	0.3	0.3	0.3	0	0.3	0.3	0.6	0	0.6	0	1.2	0.9	0.6	8.2
	夜間	1.7	4.0	2.0	1.5	0.2	1.2	0.5	0	0.2	0.2	0.7	1.7	0.7	1.0	3.0	5.2	24.1
1.0	全日	2.3	5.0	2.7	2.8	1.6	0.3	0	0.1	0	1.1	1.5	2.3	2.2	1.3	1.5	2.0	26.6
	昼間	2.9	3.5	1.8	1.8	0.9	0.3	0	0	0	2.1	2.1	2.9	1.6	1.2	1.5	0.6	22.9
	夜間	1.7	6.2	3.5	3.7	2.2	0.2	0	0.2	0	0.2	1.0	1.7	2.7	1.5	1.5	3.2	29.8
2.0	全日	3.1	3.5	3.0	2.0	0.4	0.4	0	0	0.1	1.6	2.0	3.1	1.2	0	0.1	3.1	23.7
	昼間	4.7	4.1	3.8	2.6	0.3	0.3	0	0	0.3	1.5	2.6	3.8	1.5	0	0.3	4.1	29.9
	夜間	1.7	3.0	2.2	1.5	0.5	0.5	0	0	0	1.7	1.5	2.5	1.0	0	0	2.2	18.4
3.0	全日	1.9	1.3	1.3	0.5	0.1	0	0	0	0	0.5	1.5	3.4	0.3	0	0	0.8	11.7
	昼間	3.5	2.9	2.1	0.3	0	0	0	0	0	0.6	1.2	4.1	0	0	0	0.6	15.2
	夜間	0.6	0	0.7	0.7	0.2	0	0	0	0	0.5	1.7	2.7	0.5	0	0	1.0	8.7
4.0	全日	0.4	1.3	1.2	1.3	0	0	0	0	0	0.3	1.2	6.6	0	0	0	0.1	12.5
	昼間	0.6	2.6	0.9	0.9	0	0	0	0	0	0.6	1.5	9.4	0	0	0	0	16.4
	夜間	0.2	0.2	1.5	1.7	0	0	0	0	0	0	1.0	4.2	0	0	0	0.2	9.2
6.0以上	全日	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0.4	0.8	1.9	0	0	0	0	3.2
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	0.3	2.6	0	0	0	0	3.5
	夜間	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0.2	1.2	1.2	0	0	0	0	3.0
合計	全日	9.1	13.6	9.8	7.8	2.4	1.5	0.3	0.3	0.4	4.3	7.4	18.4	4.0	2.4	3.6	9.1	100
	昼間	12.9	13.8	9.7	5.9	1.5	0.9	0	0.3	0.6	5.9	7.6	23.5	2.9	2.3	2.6	5.9	100
	夜間	6.0	13.4	9.9	9.4	3.2	2.0	0.6	0.2	0.2	3.0	7.2	14.1	5.0	2.5	4.6	11.9	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	5.5	3.8	6.9
欠測率(%)	0	0	0

- 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
- 「0」は出現しなかったことを示す。
- 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表 (13) 風速階級別風向出現頻度 (11月)

観測者：中国電力團  
 観測点：地上気象観測点 1  
 観測期間：平成 7年11月 1日～30日  
 観測計器：超音波式風向風速計 (地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風速階級 (m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	1.3	1.9	2.1	0.8	0.4	0.7	0.1	0.1	0.1	0.4	0.6	0.3	0.3	0.4	0.6	0.8	11.0
	昼間	0.6	0.3	1.2	0	0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.6	0.3	0.3	0.6	0.3	1.5	7.6
	夜間	1.8	3.3	2.8	1.5	0.8	1.0	0	0	0	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.8	0.3	13.8
1.0	全日	2.5	3.2	3.2	2.6	0.7	0.4	0.6	0.1	0.3	1.4	0.8	1.9	0.8	0.6	1.0	1.4	21.5
	昼間	2.1	2.1	3.9	2.4	0.6	0.3	0.6	0	0.6	1.5	1.5	2.4	0.6	0.3	0.3	0.9	20.3
	夜間	2.8	4.1	2.6	2.8	0.8	0.5	0.5	0.3	0	1.3	0.3	1.5	1.0	0.8	1.5	1.8	22.6
2.0	全日	1.1	0.8	1.9	2.1	1.1	0.4	0.1	0.1	0.3	1.8	3.9	2.5	0.1	0	0	0.7	17.1
	昼間	1.2	1.2	1.5	1.2	0.3	0	0.3	0.3	0.3	2.4	4.2	4.2	0	0	0	0.3	17.6
	夜間	1.0	0.5	2.3	2.8	1.8	0.8	0	0	0.3	1.3	3.6	1.0	0.3	0	0	1.0	16.7
3.0	全日	0	0.4	0.1	1.0	0.8	0.4	0.1	0	0.3	1.7	4.0	2.5	0.4	0	0	0.7	12.5
	昼間	0	0.9	0.3	0	0.3	0.3	0	0	0.6	1.8	4.5	3.9	0.6	0	0	0.6	13.9
	夜間	0	0	0	1.8	1.3	0.5	0.3	0	0	1.5	3.6	1.3	0.3	0	0	0.8	11.3
4.0	全日	0.1	0.4	0.3	0	0.1	0	0	0	0.3	2.2	6.7	9.2	0	0	0	0	19.3
	昼間	0.3	0.9	0.3	0	0	0	0	0	0.3	1.8	6.4	10.9	0	0	0	0	20.9
	夜間	0	0	0.3	0	0.3	0	0	0	0.3	2.6	6.9	7.7	0	0	0	0	17.9
6.0以上	全日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.7	2.8	11.3	0	0	0	0	15.7
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.5	1.5	13.6	0	0	0	0	16.7
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8	3.8	9.2	0	0	0	0	14.9
合計	全日	5.0	6.8	7.6	6.5	3.2	1.9	1.0	0.4	1.3	9.2	18.8	27.6	1.7	1.0	1.5	3.6	100
	昼間	4.2	5.5	7.3	3.6	1.2	0.9	1.2	0.6	2.1	9.7	18.8	35.5	1.5	0.9	0.6	3.3	100
	夜間	5.6	7.9	7.9	9.0	4.9	2.8	0.8	0.3	0.5	8.7	18.7	21.0	1.8	1.0	2.3	3.8	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率 (%)	2.9	3.0	2.8
欠測率 (%)	0	0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0」は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。



第2.1.1.1-3表 (14) 風速階級別風向出現頻度 (12月)

観測者：中国電力  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年12月1日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計（地上高10m、標高15m）  
 （単位：％）

風向 風速階級 (m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	0.1	0.5	1.1	0.3	0.7	0.3	0.4	0.3	0.3	0.1	0.5	0.5	0.3	0.8	0.1	0.1	6.5
	昼間	0.3	0	0.6	0.6	0	0.6	0	0	0	0.3	0	1.3	0.3	0.6	0.3	0	5.2
	夜間	0	0.9	1.4	0	1.2	0	0.7	0.5	0.5	0	0.9	0	0.2	0.9	0	0.2	7.4
1.0	全日	0.4	1.6	1.2	2.8	2.0	1.3	0.7	0.8	1.1	1.3	1.5	2.3	0.8	0.3	0.1	0.4	18.7
	昼間	1.0	2.3	1.3	1.0	0.3	0	0	1.3	1.0	2.6	2.3	2.6	1.3	0	0.3	0.6	17.7
	夜間	0	1.2	1.2	4.1	3.2	2.3	1.2	0.5	1.2	0.5	0.9	2.1	0.5	0.6	0	0.2	19.4
2.0	全日	0.3	1.1	1.6	1.1	0.7	1.1	0.1	0.4	1.5	3.5	4.2	2.7	0.1	0	0	0	18.3
	昼間	0.6	1.3	1.3	0.3	0	0	0	0.3	1.9	4.2	5.2	3.5	0.3	0	0	0	19.0
	夜間	0	0.9	1.8	1.6	1.2	1.8	0.2	0.5	1.2	3.0	3.5	2.1	0	0	0	0	17.7
3.0	全日	0.1	0.5	0.5	0.3	0	0	0	0	0.5	3.1	3.4	4.0	0	0	0	0	12.5
	昼間	0.3	1.3	0.3	0	0	0	0	0	0	2.6	4.2	5.5	0	0	0	0	14.2
	夜間	0	0	0.7	0.5	0	0	0	0	0.9	3.5	2.8	3.0	0	0	0	0	11.3
4.0	全日	0.1	0.4	0.3	0.1	0.1	0	0	0	0.6	1.3	4.7	11.0	0	0	0	0	18.7
	昼間	0.3	1.0	0.3	0	0	0	0	0	1.3	1.6	3.5	9.7	0	0	0	0	17.7
	夜間	0	0	0.2	0.2	0.2	0	0	0	0	1.2	5.5	12.0	0	0	0	0	19.4
6.0以上	全日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	5.0	15.1	0	0	0	0	22.0
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.9	22.3	0	0	0	0	24.2
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	7.1	9.9	0	0	0	0	20.5
合計	全日	1.1	4.2	4.7	4.6	3.5	2.7	1.2	1.5	3.9	11.4	19.2	35.6	1.2	1.1	0.3	0.5	100
	昼間	2.6	6.8	3.9	1.9	0.3	0.6	0	1.6	4.2	11.3	17.1	44.8	1.9	0.6	0.6	0.6	100
	夜間	0	3.0	5.3	6.5	6.8	4.1	2.1	1.4	3.7	11.5	20.7	29.0	0.7	1.4	0	0.5	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率(%)	3.4	1.9	4.4
欠測率(%)	0	0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0」は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5. 参照。

第2.1.1.1-3表 (15) 風速階級別風向出現頻度 (1月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点 1  
 観測期間：平成 8年 1月 1日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計 (地上高10m, 標高15m)  
 (単位：%)

風速階級 (m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	1.2	1.2	2.2	1.2	1.1	0.8	0.3	0.1	0.1	0.3	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.7	11.1
	昼間	1.6	0.6	0.3	0	1.3	0	0.3	0	0	0	1.0	0.3	0.6	0.3	0	0.3	6.8
	夜間	0.9	1.6	3.5	2.1	0.9	1.4	0.2	0.2	0.2	0.5	0	0.7	0.2	0.2	0.5	0.9	14.1
1.0	全日	1.1	2.2	3.5	2.2	2.0	0.9	0.6	0.1	0.7	1.8	2.7	2.7	0	0.5	0.3	0.9	22.1
	昼間	0.6	1.6	1.6	1.3	1.0	0.6	0	0	1.0	1.6	3.9	3.2	0	0.6	0	0.6	17.9
	夜間	1.4	2.5	4.8	2.8	2.8	1.2	0.9	0.2	0.5	1.8	1.8	2.3	0	0.5	0.5	1.2	25.1
2.0	全日	0.4	1.1	1.9	1.6	0.7	0.9	0.3	0.1	0.9	2.4	3.8	2.8	0.1	0	0.3	0.3	17.7
	昼間	0.6	1.0	1.0	0.6	0	1.0	0.6	0.3	0	2.3	2.9	3.6	0	0	0	0.6	14.6
	夜間	0.2	1.2	2.5	2.3	1.2	0.9	0	0	1.6	2.5	4.4	2.3	0.2	0	0.6	0	19.8
3.0	全日	0.8	1.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0	0	0.4	2.2	3.0	3.2	0	0.1	0	0	12.7
	昼間	0.3	2.9	0.6	0.3	0.3	0	0	0	0.3	1.6	3.9	4.2	0	0	0	0	14.6
	夜間	1.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.7	0	0	0.5	2.5	2.3	2.5	0	0.2	0	0	11.3
4.0	全日	0.9	0.5	0.4	0	0.3	0.1	0	0	0.4	1.6	5.4	8.4	0	0	0	0	18.1
	昼間	1.9	1.3	0.3	0	0	0	0	0	0	1.3	4.2	13.0	0	0	0	0	22.1
	夜間	0.2	0	0.5	0	0.5	0.2	0	0	0.7	1.8	6.2	5.1	0	0	0	0	15.2
6.0以上	全日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.3	1.9	12.7	0	0	0	0	15.0
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.6	1.6	18.8	0	0	0	0	21.4
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.1	8.3	0	0	0	0	10.4
合計	全日	4.4	6.5	8.4	6.4	4.3	3.2	1.1	0.4	2.7	8.5	17.1	30.3	0.5	0.9	0.8	1.9	100
	昼間	5.2	7.5	3.9	2.3	2.8	1.6	1.0	0.3	1.6	7.6	17.5	43.2	0.6	1.0	0	1.6	100
	夜間	3.9	5.8	11.5	7.6	5.5	4.4	1.2	0.5	3.5	9.2	16.8	21.2	0.5	0.9	1.4	2.1	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率 (%)	3.5	2.6	4.1
欠測率 (%)	0.3	0.6	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. (0)は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3表 (16) 風速階級別風向出現頻度 (2月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点 1  
 観測期間：平成 8年 2月 1日～29日  
 観測計器：超音波式風向風速計 (地上高10m, 標高15m)

(単位：%)

風速階級 (m/s)		風向																合計
		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	
0.5	全日	1.1	1.4	1.6	1.3	0.7	0.6	0.3	0.3	0.6	0.3	0.4	0.7	0.7	0.7	0.6	1.0	12.4
	昼間	1.0	1.0	0.3	1.0	0.3	0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0	1.4	0.3	0.3	0.7	0.7	9.7
	夜間	1.2	1.7	2.5	1.5	1.0	1.0	0.2	0.2	0.7	0.2	0	0.2	1.0	1.0	0.5	1.2	14.3
1.0	全日	1.7	3.0	3.4	3.9	1.1	1.0	0.7	0.1	1.3	2.0	2.9	2.2	1.9	1.0	0.7	0.7	27.7
	昼間	1.4	2.4	1.7	1.0	0.3	0.3	0.3	0	1.0	2.4	4.5	3.1	2.1	1.0	0	0.3	22.1
	夜間	2.0	3.4	4.7	5.9	1.7	1.5	1.0	0.2	1.5	1.7	1.7	1.5	1.7	1.0	1.2	1.0	31.8
2.0	全日	1.1	2.3	3.2	1.3	0.4	0.1	0.3	0.3	1.0	1.9	2.9	3.3	0.1	0	0.1	0.4	18.8
	昼間	0.7	2.8	1.7	2.1	0.3	0	0	0	1.4	3.4	3.1	3.1	0.3	0	0	0.7	19.7
	夜間	1.5	2.0	4.2	0.7	0.5	0.2	0.5	0.5	0.7	0.7	2.7	3.4	0	0	0.2	0.2	18.2
3.0	全日	0	0.9	1.3	0.6	0	0	0.3	0.1	0.3	1.6	2.3	3.4	0	0	0	0.1	10.9
	昼間	0	1.4	1.4	0	0	0	0	0	0.3	1.0	2.8	3.1	0	0	0	0.3	10.3
	夜間	0	0.5	1.2	1.0	0	0	0.5	0.2	0.2	2.0	2.0	3.7	0	0	0	0	11.3
4.0	全日	0.3	0.6	0.4	0	0	0	0	0	0.3	1.3	4.3	6.2	0	0	0	0	13.4
	昼間	0.7	1.0	0.7	0	0	0	0	0	0	1.7	4.8	6.9	0	0	0	0	15.9
	夜間	0	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0.5	1.0	3.9	5.7	0	0	0	0	11.6
6.0以上	全日	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0.3	2.0	10.9	0	0	0	0	0	13.4
	昼間	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	3.1	16.2	0	0	0	0	0	19.7
	夜間	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0.2	1.2	7.1	0	0	0	0	8.9
合計	全日	4.3	8.2	10.1	7.0	2.3	1.7	1.6	0.9	3.4	7.3	14.8	26.7	2.7	1.7	1.4	2.3	100
	昼間	3.8	8.6	6.9	4.1	1.0	0.3	0.7	0.3	3.1	9.3	19.3	39.8	2.8	1.4	0.7	2.1	100
	夜間	4.7	7.9	13.1	9.1	3.2	2.7	2.2	1.2	3.7	5.9	11.6	21.7	2.7	2.0	2.0	2.5	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

	全日	昼間	夜間
静穏率 (%)	3.4	2.8	3.9
欠測率 (%)	0	0	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0」は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(i)の注：5. 参照。

第2.1.1.1-3表 (17) 風速階級別風向出現頻度 (3月)

観測者：中国電力㈱  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成8年3月1日～31日  
 観測計器：超音波式風向風速計 (地上高10m、標高15m)  
 (単位：%)

風速階級 (m/s) \ 風向		NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	合計
		0.5	全日	1.8	2.4	2.3	1.2	0.8	0.3	0.4	0.5	0.7	0.5	0.3	0.5	0.8	0.3	0.7
	昼間	0.5	1.9	1.4	1.1	0.8	0.3	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	1.1	0.3	0.3	0.8	11.4
	夜間	3.0	3.0	3.2	1.3	0.8	0.3	0.3	0.8	0.8	0.5	0	0.5	0.5	0.3	1.1	0.5	16.9
1.0	全日	1.9	3.0	2.4	1.2	1.1	0.5	0.3	0.4	1.1	2.4	2.4	2.6	0.8	0.4	0.7	1.4	22.6
	昼間	2.2	1.9	0.8	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	1.6	3.5	3.5	2.2	0.5	0	0.3	1.9	20.1
	夜間	1.6	4.0	4.0	2.2	1.6	0.8	0.3	0.5	0.5	1.3	1.3	3.0	1.1	0.8	1.1	0.8	25.0
2.0	全日	2.7	1.2	0.5	1.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.9	1.6	2.8	3.8	0.1	0.3	0	1.4	18.4
	昼間	3.3	1.4	0	1.1	0	0.3	0.3	0	1.4	1.1	3.3	4.6	0.3	0.5	0	1.4	18.8
	夜間	2.2	1.1	1.1	1.9	1.1	0.5	0.3	0.5	0.5	2.2	2.4	3.0	0	0	0	1.3	18.0
3.0	全日	3.0	1.1	0.4	0.1	0	0	0	0.1	1.1	1.4	2.8	3.4	0	0	0	1.8	15.1
	昼間	3.8	1.4	0.3	0	0	0	0	0	1.4	1.4	4.1	5.2	0	0	0	1.6	19.0
	夜間	2.2	0.8	0.5	0.3	0	0	0	0.3	0.8	1.3	1.6	1.6	0	0	0	1.9	11.3
4.0	全日	2.0	0.3	0.3	0.3	0	0	0	0	0.1	0.4	2.8	6.4	0	0	0	2.6	14.2
	昼間	3.0	0.3	0.3	0	0	0	0	0	0.3	0.5	2.7	7.9	0	0	0	2.7	17.7
	夜間	1.1	0.3	0.3	0.5	0	0	0	0	0	0.3	3.0	3.0	0	0	0	2.4	10.8
6.0以上	全日	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	2.4	3.8	0	0	0	0.3	7.2
	昼間	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	1.6	6.5	0	0	0	0	9.0
	夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	3.2	1.1	0	0	0	0.5	5.4
合計	全日	11.6	8.0	5.9	4.3	2.4	1.2	0.9	1.4	3.9	6.8	13.6	19.5	1.8	0.9	1.4	8.0	100
	昼間	13.3	6.8	2.7	2.4	1.4	0.8	1.1	0.5	5.2	7.3	15.8	26.9	1.9	0.8	0.5	8.4	100
	夜間	9.9	9.1	9.1	6.2	3.5	1.6	0.8	2.2	2.7	6.2	11.6	12.1	1.6	1.1	2.2	7.5	100

注：1. 静穏は風速 0.4m/s 以下とし、合計 100には静穏を含む。

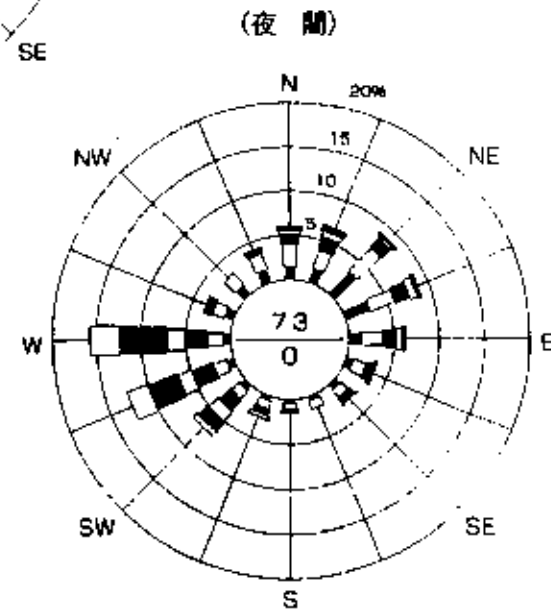
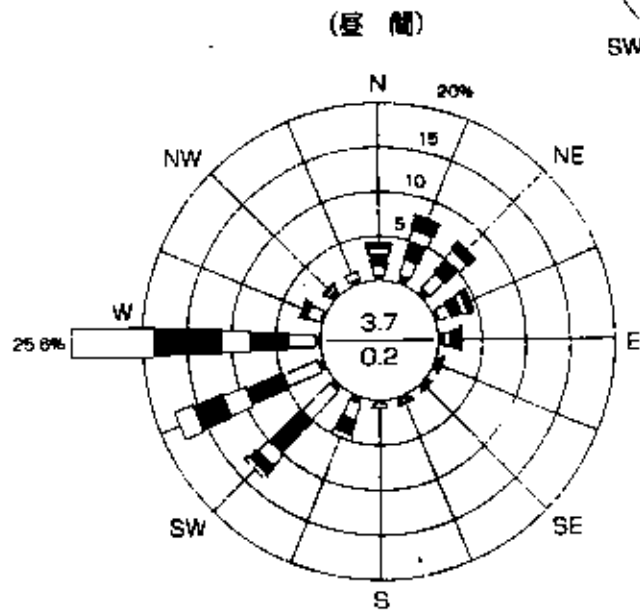
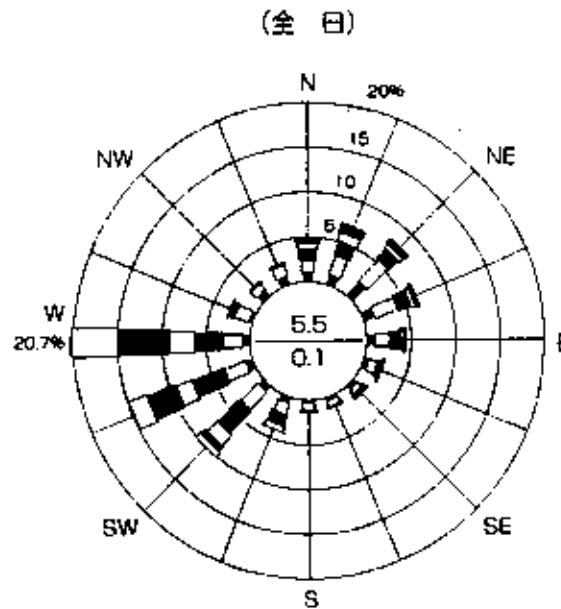
	全日	昼間	夜間
静穏率 (%)	8.4	4.1	12.6
欠測率 (%)	0.6	1.1	0

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。
3. 「0」は出現しなかったことを示す。
4. 昼夜時の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3図(1) 風速階級別風配図(年間)

調査者：中国電力(株)  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年4月1日～8年3月31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m、標高15m)

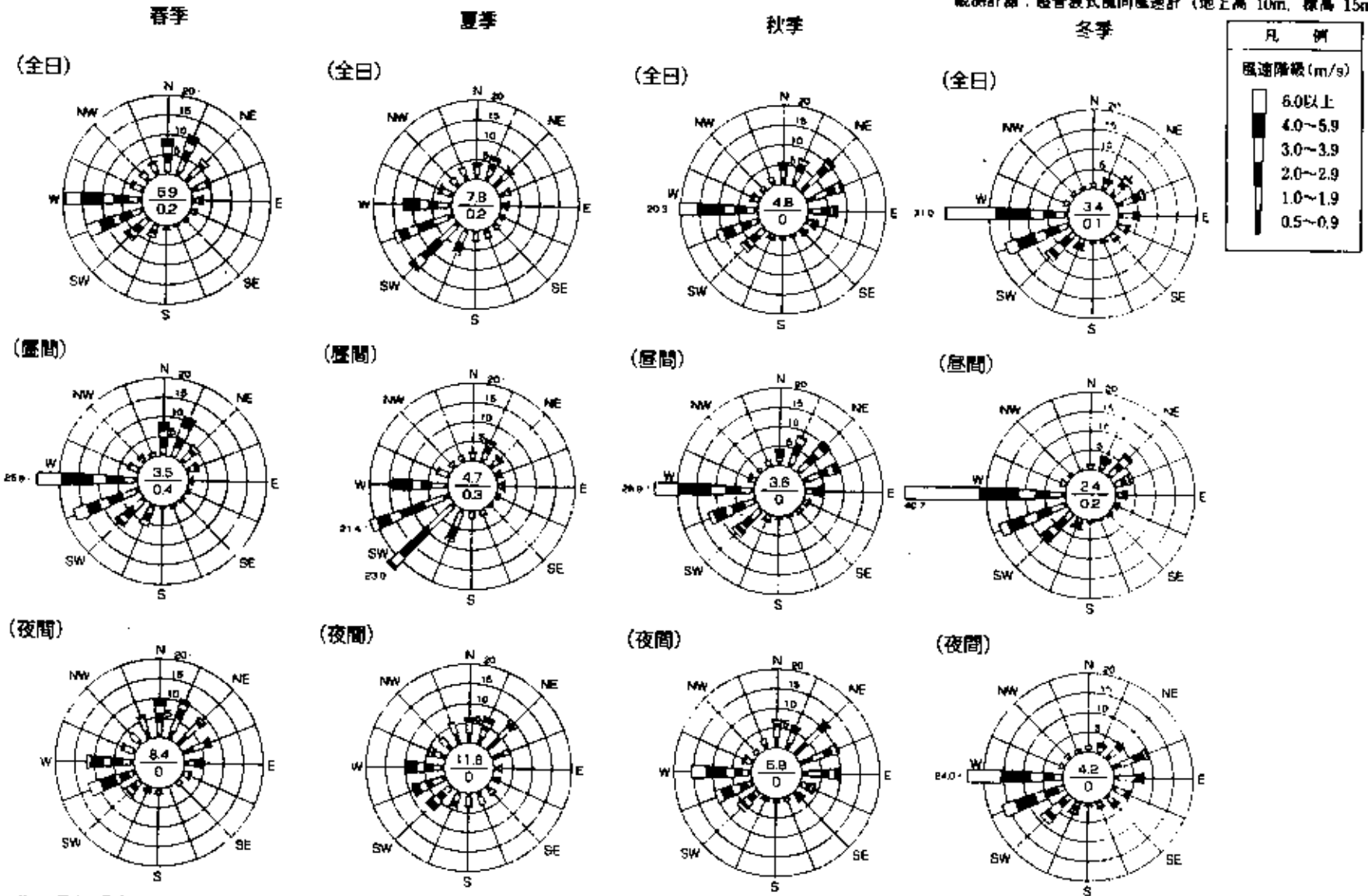
凡例	
風速階級(m/s)	
■	6.0以上
■	4.0~5.9
■	3.0~3.9
■	2.0~2.9
■	1.0~1.9
■	0.5~0.9



注：1.円内の数字は、上段が総値(0.4m/s以下)の出現率(%),下段が欠測率(%を示す。  
 2.[0]は出現しなかったことを示す。  
 3.昼・夜間の時間区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5参照。

第2.1.1.1-3図(2) 風速階級別風配図(季節別)

観測者：中国電力(株)  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年4月1日～平成8年3月31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m、標高15m)

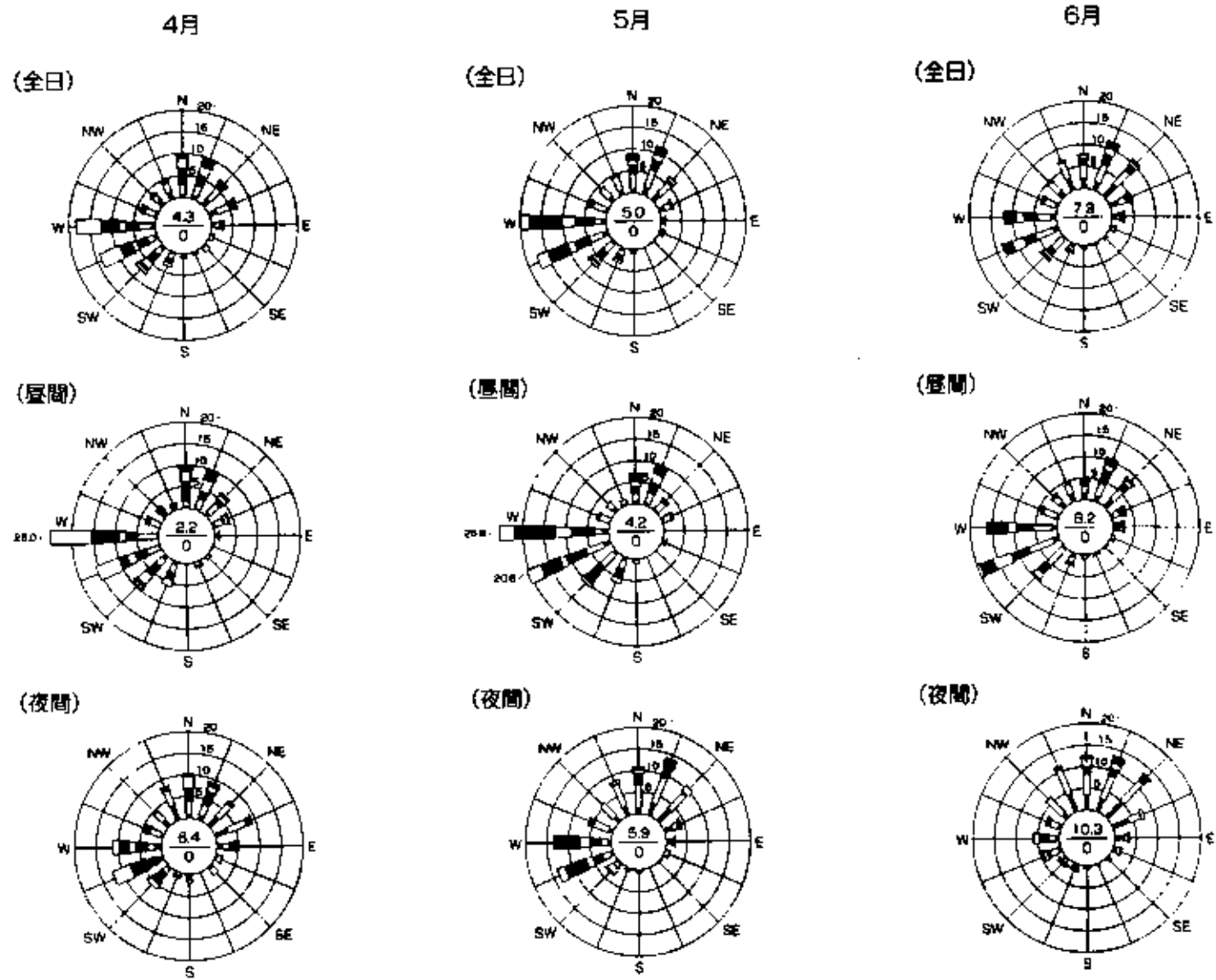


注：1. 円内の数字の上段は静穏率(0.4m/s以下、%)、下段は欠測率(%)を示す。  
 2. 「0」は出現しなかったことを示す。  
 3. 昼夜間の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-3図(3) 風速階別風配図(4月~6月)

観測者：中国電力(株)  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年4月1日~6月30日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m、標高15m)

凡 例	
風速階級(m/s)	
	6.0以上
	4.0~5.9
	3.0~3.9
	2.0~2.9
	1.0~1.9
	0.5~0.9

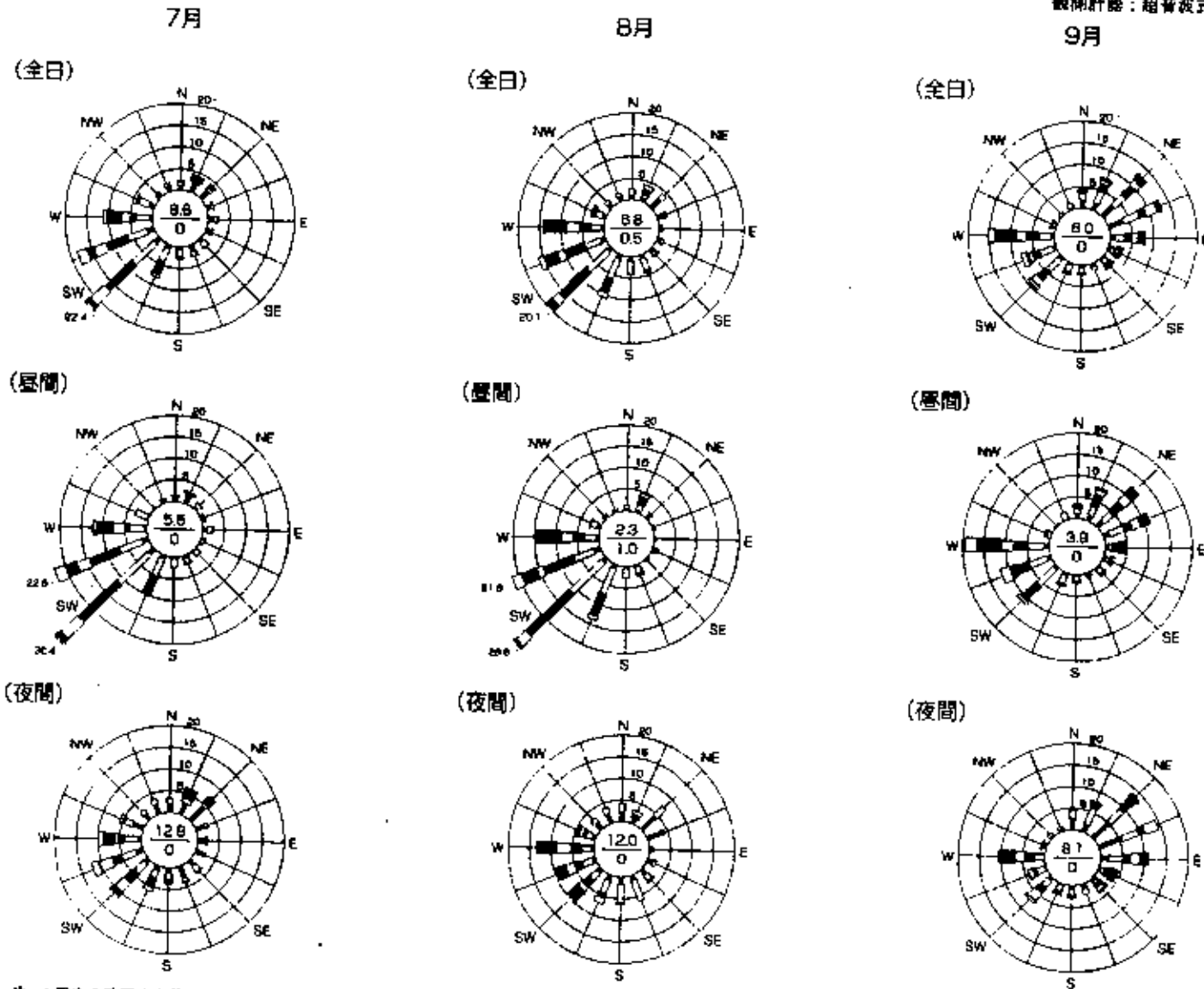


注：1.円内の数字の上段は平均風速(0.4m/s以下、%)、下段は欠測率(%)を示す。  
 2.「0」は出現しなかったことを示す。  
 3.昼夜間の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5参照。

2.1.1-30

第2.1.1.1-3図(4) 風速階級別風配図(7月~9月)

観測者：中国電力(株)  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成7年7月1日~9月30日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)



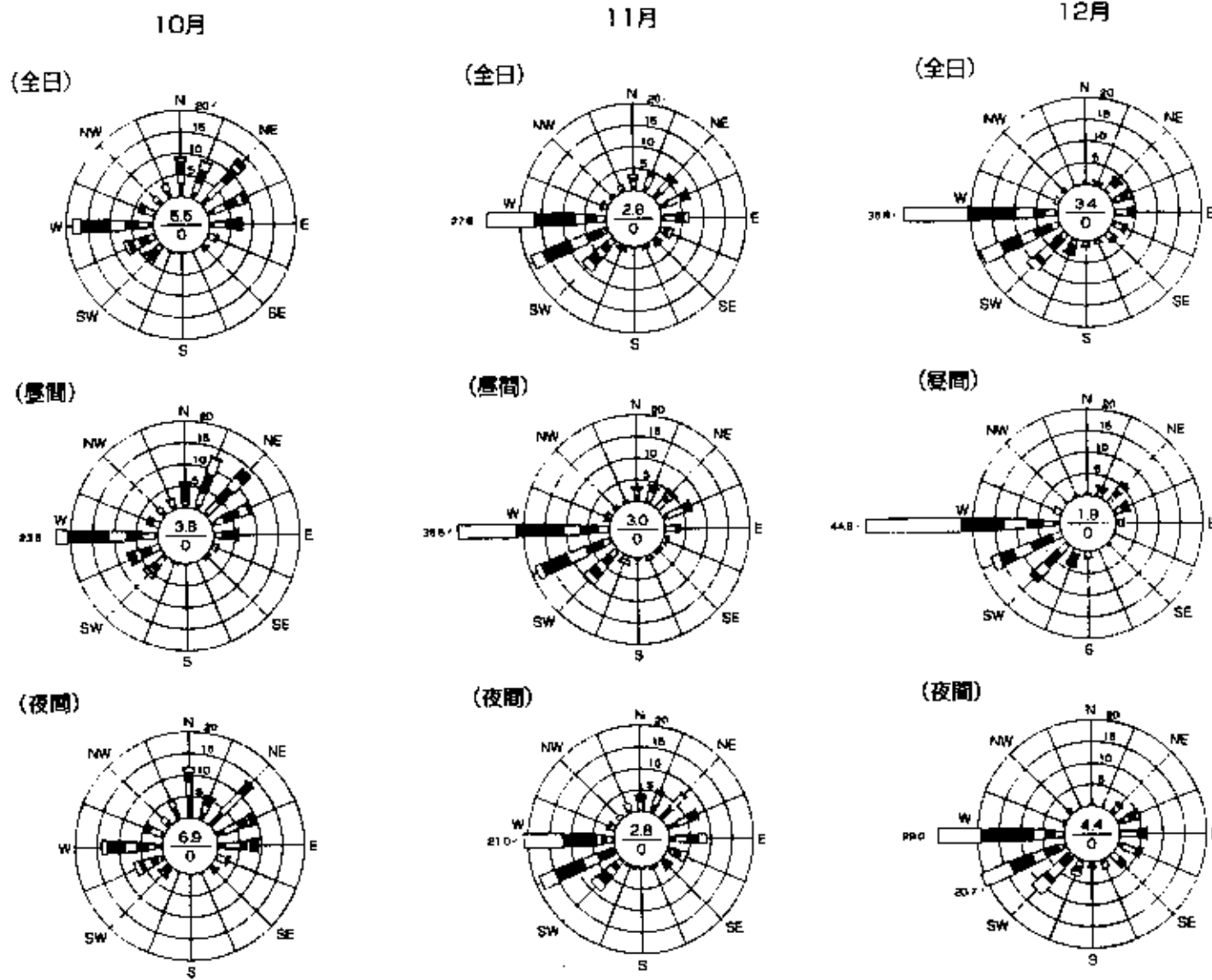
凡例	
風速階級 (m/s)	
6.0以上	■
4.0~5.9	■
3.0~3.9	■
2.0~2.9	■
1.0~1.9	■
0.5~0.9	■

注：1. 円内の数字の上段は総風率(0.4m/s以下, %), 下段は欠測率(%)を示す。  
 2. 「0」は出現しなかったことを示す。  
 3. 昼夜間の時間区分は、第2.1.1.1-3図(1)の注：5.参照。



第2.1.1.1-3図(5) 風速階別風配図(10月~12月)

観測者：中国電力(株)  
 観測点：地上気象観測点  
 観測期間：平成7年10月1日~12月31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m、標高15m)

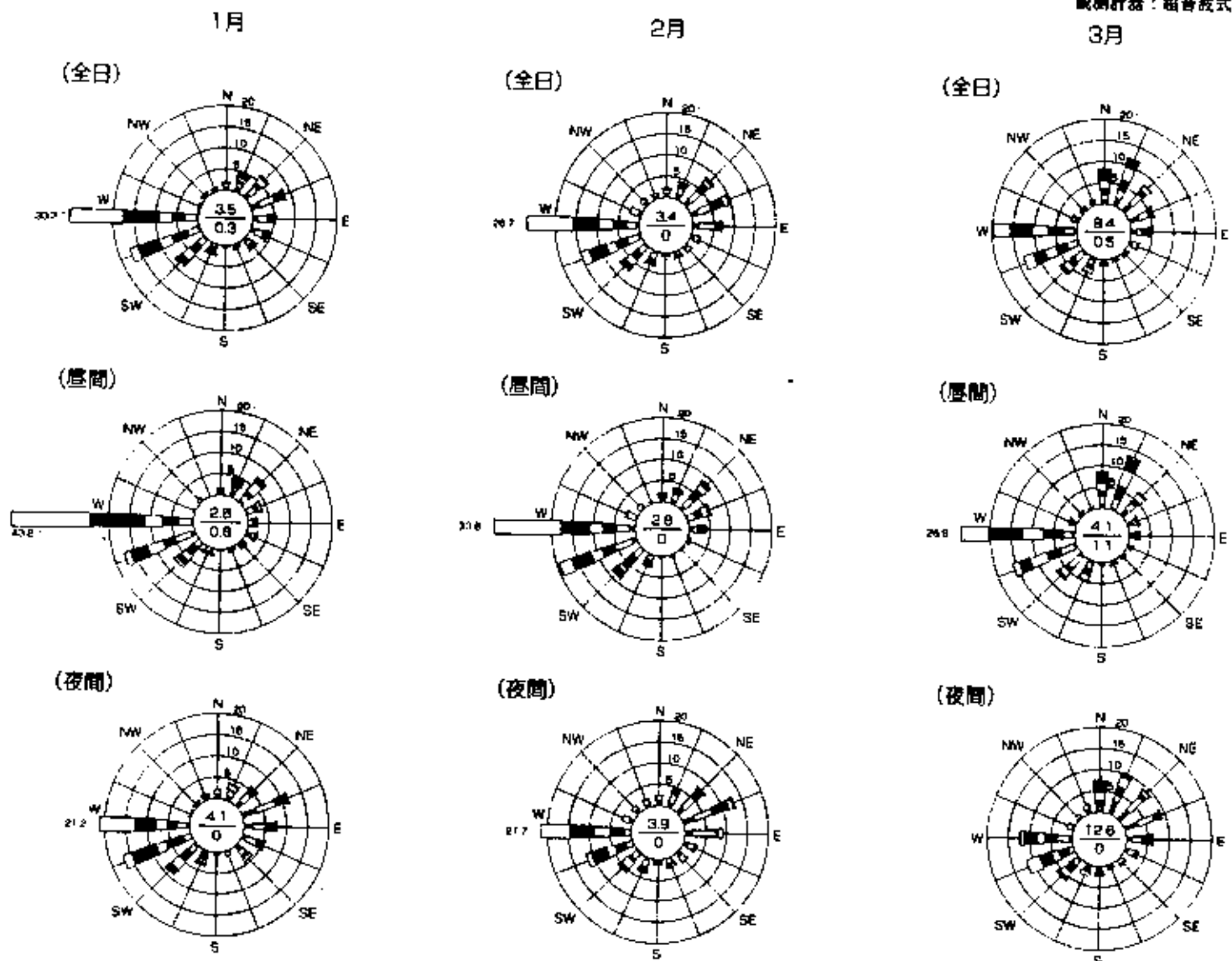


凡例	
風速階級(m/s)	
■ (white)	6.0以上
■ (black)	4.0~5.9
■ (grey)	3.0~3.9
■ (light grey)	2.0~2.9
■ (medium grey)	1.0~1.9
■ (dark grey)	0.5~0.9

注：1.円内の数字の上段は静風率(0.4m/s以下、%)、下段は欠測率(%)を示す。  
 2.「0」は出現しなかったことを示す。  
 3.昼夜間の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5参照。

第2.1.1.1-3図(6) 風速階級別風配図(1月~3月)

観測者：中国電力(株)  
 観測点：地上気象観測点1  
 観測期間：平成8年1月1日~3月31日  
 観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 観高15m)



凡 例	
風速階級(m/s)	
6.0以上	4.0~5.9
3.0~3.9	2.0~2.9
1.0~1.9	0.5~0.9

注：1. 円内の数字の上段は頻率(0.4m/s以下、%)、下段は欠測率(%)を示す。  
 2. (0) は出現しなかったことを示す。  
 3. 昼夜間の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5参照。

第2.1.1.1-4表(1) 風向別昼夜別平均風速(年間及び季節別)

観測者：中国電力株式会社

観測点：地上気象観測点1

観測期間：平成7年4月1日～平成8年3月31日

観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)

(単位：m/s)

季節	風向	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	平均
		年間	全日	2.3	1.8	1.8	2.0	1.7	1.6	1.3	1.3	2.1	2.8	3.7	4.5	1.5	1.2	1.2
	昼間	2.6	2.3	2.2	2.1	1.4	1.4	1.4	1.3	2.0	2.5	3.4	4.6	1.5	1.3	1.2	2.3	2.9
	夜間	1.9	1.4	1.6	1.9	1.8	1.6	1.2	1.4	2.1	3.3	4.1	4.4	1.6	1.1	1.1	1.9	2.4
春季	全日	2.6	1.7	1.6	1.8	1.4	1.3	1.4	1.1	2.1	2.7	4.1	4.1	1.5	1.2	1.3	2.7	2.6
	昼間	3.0	2.0	1.8	1.7	1.1	1.3	1.5	1.0	2.1	2.5	3.8	4.4	1.5	1.4	1.6	2.9	3.0
	夜間	2.1	1.5	1.5	1.8	1.5	1.4	1.4	1.2	2.0	3.1	4.6	3.4	1.5	1.1	1.2	2.5	2.2
夏季	全日	2.2	1.4	1.3	1.6	1.1	1.2	1.2	1.3	1.9	2.4	3.0	3.1	1.5	1.1	1.1	1.6	2.0
	昼間	2.3	1.7	1.7	2.0	1.2	1.2	1.3	1.3	1.9	2.3	3.1	3.2	1.3	1.3	1.1	1.5	2.3
	夜間	2.1	1.2	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	1.3	1.9	2.8	2.8	3.1	1.7	1.1	1.1	1.5	1.7
秋季	全日	1.9	2.0	2.0	2.3	2.3	1.7	1.2	1.3	1.8	3.2	3.7	4.5	1.8	1.1	1.0	1.7	2.7
	昼間	2.2	2.7	2.4	2.5	1.8	1.5	1.4	1.4	1.8	2.9	3.3	4.4	1.9	1.1	1.2	1.8	2.9
	夜間	1.6	1.4	1.8	2.3	2.5	1.8	1.2	1.3	2.0	3.7	4.0	4.6	1.7	1.1	0.9	1.6	2.4
冬季	全日	2.1	2.1	1.9	1.8	1.6	1.7	1.5	1.6	2.5	3.3	4.0	5.3	1.3	1.1	1.2	1.3	3.4
	昼間	2.3	2.6	2.3	1.9	1.4	1.6	1.6	1.6	2.5	2.8	3.5	5.6	1.4	1.0	0.8	1.6	3.8
	夜間	1.8	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.5	1.7	2.4	3.6	4.3	5.1	1.2	1.1	1.3	1.1	3.0

注：昼夜間の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-4表(2) 風向別昼夜別平均風速(月別)

観測者：中国電力㈱

観測点：地上気象観測点1

観測期間：平成7年4月1日～平成8年3月31日

観測計器：超音波式風向風速計(地上高10m, 標高15m)

(単位：m/s)

月	風向	NNE	NE	ENE	S	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	平均
		平成7年	全日	2.8	1.7	1.6	1.7	1.5	1.2	1.8	1.0	2.0	3.0	4.9	4.4	1.7	1.3	1.3
4月	昼間	3.2	2.1	2.1	1.6	1.1	1.2	1.8	0.7	2.0	2.7	4.7	4.7	1.7	1.5	2.2	2.9	3.3
	夜間	2.3	1.3	1.4	1.8	1.6	1.3	-	1.0	2.0	3.4	5.1	3.6	1.7	1.1	1.2	2.4	2.3
	全日	2.3	1.6	1.5	1.5	1.3	0.9	-	1.1	2.0	2.6	3.7	3.8	1.5	1.2	1.3	2.4	2.5
5月	昼間	2.7	1.7	1.6	1.5	1.1	0.8	-	1.1	2.1	2.6	3.5	4.0	1.5	1.3	1.3	3.0	2.9
	夜間	1.9	1.5	1.5	1.5	1.6	1.0	-	1.1	1.1	2.8	3.9	3.4	1.5	1.2	1.3	1.9	2.1
	全日	2.2	1.6	1.5	2.1	1.5	0.9	1.1	1.0	1.6	2.2	2.8	2.7	1.5	1.3	1.2	1.7	1.9
6月	昼間	2.5	2.0	2.0	2.9	1.4	1.1	1.2	1.1	1.5	2.1	2.9	2.8	1.4	1.4	1.1	1.6	2.1
	夜間	1.9	1.3	1.3	1.2	1.6	0.8	0.8	0.9	1.7	2.9	2.2	2.2	1.7	1.2	1.2	1.8	1.5
	全日	2.2	1.2	1.1	1.1	0.9	1.3	1.0	1.4	1.9	2.4	3.2	3.3	1.3	1.0	0.8	1.1	2.1
7月	昼間	1.6	1.1	1.5	1.2	1.3	1.4	1.2	1.3	1.9	2.4	3.3	3.4	1.2	0.6	0.9	1.4	2.3
	夜間	2.6	1.3	0.9	1.1	0.6	1.2	0.9	1.4	2.0	2.6	2.8	3.3	1.3	1.0	0.8	1.0	1.7
	全日	2.2	0.9	0.8	0.7	1.0	1.1	1.3	1.3	2.0	2.4	3.1	3.4	1.9	1.0	0.9	1.1	2.1
8月	昼間	2.3	0.8	0.8	0.6	1.0	1.0	1.5	1.3	2.0	2.2	3.1	3.4	1.4	1.0	1.1	1.3	2.3
	夜間	2.1	0.9	0.8	0.9	1.0	1.2	1.2	1.3	1.9	3.0	3.0	3.3	2.2	0.9	0.9	1.1	1.8
	全日	1.9	2.1	2.1	2.6	2.8	2.0	1.0	1.4	1.5	2.7	2.8	3.6	1.6	1.2	1.2	1.3	2.3
9月	昼間	2.2	2.7	2.6	3.0	1.7	1.5	1.1	1.5	1.4	2.3	3.0	3.7	1.7	1.7	1.3	1.4	2.5
	夜間	1.6	1.6	1.6	2.4	3.4	2.3	1.0	1.3	1.6	3.4	2.2	3.3	1.4	1.1	0.9	1.2	2.0
	全日	2.2	2.0	2.3	2.4	1.6	1.2	0.7	0.9	1.2	2.7	3.2	3.7	1.8	1.1	1.0	1.7	2.3
10月	昼間	2.4	2.7	2.5	2.5	1.6	1.3	-	0.5	1.5	2.6	2.7	3.9	1.9	1.1	1.2	2.2	2.6
	夜間	1.7	1.5	2.2	2.3	1.7	1.2	0.7	1.3	0.7	2.8	3.7	3.5	1.7	1.1	0.9	1.6	2.0
	全日	1.5	1.7	1.6	2.0	2.4	1.8	1.8	1.5	2.9	4.0	4.2	5.5	1.9	1.0	1.1	1.8	3.4
11月	昼間	1.8	2.5	1.7	1.8	2.2	1.9	1.6	1.6	2.5	3.7	3.8	5.2	2.1	1.1	1.3	1.6	3.6
	夜間	1.3	1.1	1.5	2.0	2.4	1.7	2.0	1.3	4.1	4.2	4.6	5.9	1.8	1.0	1.1	2.0	3.3
	全日	2.2	2.2	2.0	1.9	1.6	1.8	1.3	1.6	2.5	3.7	4.4	5.4	1.4	0.8	0.9	1.1	3.8
12月	昼間	2.2	2.6	2.1	1.6	1.6	0.9	-	1.6	2.9	2.6	3.5	5.6	1.5	0.5	0.9	1.2	3.9
	夜間	-	1.5	2.0	2.0	1.6	1.9	1.3	1.6	2.1	4.5	4.9	5.2	1.2	0.9	-	1.0	3.6
	全日	2.4	2.1	1.6	1.7	1.7	1.8	1.5	1.5	2.9	2.9	3.7	5.4	1.1	1.5	1.5	1.3	3.3
平成8年 1月	昼間	2.7	2.8	2.2	2.1	1.9	1.9	1.9	2.0	3.2	3.1	3.3	5.6	0.8	1.1	-	1.4	3.9
	夜間	2.1	1.5	1.5	1.7	1.8	1.8	1.2	1.2	2.8	2.8	3.9	5.0	1.4	1.8	1.5	1.2	2.8
	全日	1.7	2.0	2.0	1.7	1.4	1.2	1.7	1.8	2.1	2.9	3.7	5.2	1.3	1.0	1.1	1.3	3.0
2月	昼間	2.0	2.4	2.5	1.9	1.5	1.2	1.1	0.7	2.0	2.7	3.7	5.4	1.4	1.1	0.8	1.8	3.5
	夜間	1.5	1.7	1.9	1.6	1.3	1.1	1.8	2.1	2.2	3.0	3.8	4.9	1.2	1.0	1.1	1.1	2.6
	全日	2.7	1.7	1.5	1.9	1.4	1.6	1.2	1.3	2.2	2.6	4.0	4.1	1.1	1.3	1.1	3.2	2.6
3月	昼間	3.1	1.9	1.5	1.7	1.1	1.6	1.1	1.0	2.3	2.3	3.2	4.5	1.2	1.7	1.3	2.9	3.0
	夜間	2.1	1.5	1.5	2.0	1.5	1.6	1.4	1.4	2.2	2.9	5.0	3.1	1.0	1.1	1.0	3.6	2.3

注：1. 「-」は出現しなかったことを示す。

2. 昼夜間の時間帯区分は、第2.1.1.1-3表(1)の注：5.参照。

第2.1.1.1-5表 気象観測記録 (地上)

観測者：中国電力㈱

観測点：地上気象観測点 2

観測期間：平成 7年 4月 1日～平成 8年 3月31日

観測計器：気 温；白金抵抗式温度計 (地上高1.5m, 標高23.5m)

湿 度；塩化付カゼ布式露点温度計 (地上高1.5m, 標高23.5m)

降水量；転倒漏斗型雨量計 (地上高0.5m, 標高22.5m)

日射量；電気式日射計 (地上高2.0m, 標高24.0m)

放射収支量；熱電堆式風防型放射収支計 (地上高1.5m, 標高23.5m)

項目	単位	平成 7 年										平成 8 年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
気 温	平 均	13.1	17.2	20.1	24.7	27.3	22.7	19.3	12.8	8.2	6.9	5.4	8.7	15.6	
	日最高の平均	16.0	20.4	22.9	27.4	30.3	25.4	22.0	15.2	10.4	9.8	8.3	11.6	18.3	
	日最低の平均	10.1	14.2	17.5	22.4	25.0	20.2	16.7	9.8	5.5	3.8	2.1	5.8	12.8	
	最 高	19.4	24.2	27.1	30.5	32.0	29.6	24.6	19.2	14.8	15.0	18.2	17.3	32.0	
	最 低	4.2	9.8	14.4	19.8	23.8	15.7	13.4	6.6	-0.9	-0.4	-2.7	-0.1	-2.7	
相 対 湿 度	%	72	73	81	85	79	71	70	62	60	61	65	67	71	
降 水 量	mm	140.5	361.5	168.0	346.5	3.0	155.0	77.0	30.0	3.5	33.0	27.0	98.0	1,443.0	
日 射 量	MJ/m <sup>2</sup> ・日	14.7	18.6	17.2	20.1	21.7	14.4	12.8	9.7	7.6	8.7	11.0	12.8	14.1	
放 射 収 支 量	MJ/m <sup>2</sup> ・日	-1.8	-2.0	-1.6	-1.2	-1.5	-1.9	-2.6	-2.9	-2.8	-2.7	-2.6	-2.0	-2.1	

注：1. 気温は、全項目とも毎正時の観測値に基づくものである。

2. 放射収支量は、夜間について記載した。

第2.1.1.1-6表 大気安定度出現頻度

観測者：中国電力㈱

観測点：地上気象観測点 1. 2

観測期間：平成 7年 4月 1日～平成 8年 3月31日

観測計器：風 速：超音波式風向風速計 (地上高10m, 標高15m)

日 射 量：電気式日射計 (地上高2.0m, 標高24.0m)

放射収支量：熱電堆式風防型放射収支計 (地上高1.5m, 標高23.5m)

(単位：%)

大気安定度 季節	不安定					中立				安定				計	欠測率
	A	A-B	B	B-C	小計	C	C-D	D	小計	E	F	G	小計		
年間	3.0	7.7	8.3	1.7	20.7	5.1	2.3	39.9	47.3	4.3	4.8	22.9	32.0	100	0.2
春季	3.0	6.9	8.5	1.4	19.7	7.2	2.1	43.6	52.9	3.0	4.2	20.2	27.4	100	0.2
夏季	7.2	12.8	10.6	1.8	32.4	4.9	1.1	30.9	36.9	3.2	1.8	25.7	30.7	100	0.4
秋季	1.6	6.7	8.7	1.9	18.9	4.8	2.8	37.9	45.5	5.1	6.0	24.5	35.6	100	0
冬季	0.3	4.3	5.2	1.8	11.7	3.4	3.1	47.2	53.8	6.0	7.5	21.0	34.6	100	0.3

注：1. 安定度分類は、「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針」(原子力安全委員会、昭和57年)に基づいた。

2. 出現頻度は、四捨五入の関係で計が一致しないことがある。

③ 台風

山口県における平成元年以降の最近の台風による被害の状況は、「消防防災年報」(山口県総務部、平成20年)によれば、第2.1.1.1-7表のとおりである。

第2.1.1.1-7表(1) 山口県に影響のあった台風

発生日月	台風番号	気象概略	主な被災地	り災の概況						
				死者	行方不明	負傷者	家屋全壊	家屋半壊	床上浸水	床下浸水
H2. 8. 21~22	台風14号	気圧 970mb (九州東岸) 日雨量 安下庄 122mm, 柳井 97mm	東京都							5
H3. 9. 14~15	台風17号	最大瞬間風速 NW39.8m/s (下関), SE37.9m/s (山口), NEW36.5m/s (萩), 油谷 161mm, 萩 145mm, 須佐 139mm	全域	1		15	1		55	368
H3. 9. 27~28	台風19号	最低気圧 947.0mb (下関), 953.0mb (萩), 957.3mb (山口), 最大瞬間風速 SE53.1m/s (山口), WNW45.6m/s (萩), ESE45.3m/s (下関)	全域	6		239	35	650	520	2,835
H4. 8. 18~19	台風10号	最大瞬間風速 NW35.1m/s (下関), N34.9m/s (萩), 藤原山 207mm, 広瀬 203mm	全域					3	2	96
H5. 7. 27~28	台風5号	最低気圧 995.9hpa (山口), 998.3hpa (萩), 999.8hpa (下関), 27日の降水量 玖珂 204mm, 養生 191mm, 藤原山 187mm	全域	3	1	8	4	1	85	1,746
H5. 7. 29~30	台風6号	最低気圧 986.8hpa (萩), 987.1hpa (下関), 992.8hpa (山口) 最大瞬間風速 ESE43.4m/s (下関), SE33.6m/s (山口), SSE32.8m/s (萩)	全域							
H5. 8. 9~10	台風7号	最低気圧 978.1hpa (下関), 979.3hpa (萩), 982.4hpa (山口), 最大瞬間風速 SE33.7m/s (下関), SE33.6m/s (山口), SE33.0m/s (萩), 10日の降水量 藤原山 133	全域			6		1		
H5. 9. 2~4	台風13号	最低気圧 985.3hpa (山口), 989.4hpa (下関), 990.0hpa (萩), 最大瞬間風速 N25.3m/s (萩), N24.9m/s (山口), N24.2m/s (下関), 最大日雨量(9月3日) 玖珂134mm, 柳井132mm, 安下庄122mm	全域						9	268
H7. 7. 22~23	台風3号	最大瞬間風速 SE24.0m/s (下関), SE23.6m/s (山口), SE23.0m/s (萩), 最大時間雨量 養生 93mm, 防府 64mm, 宇部 50mm	全域						8	104
H7. 9. 23~24	台風14号	最低気圧 994.4hpa (山口), 996.5hpa (下関), 996.7hpa (萩), 最大時間雨量 秋吉台 64mm, 宇部 62mm, 山口 53mm	全域				1		188	1,195

第2.1.1.1-7表(2) 山口県に影響のあった台風

発生年月日	台風番号	気象概略	主な被災地域	り災の概況						
				死者	行方不明	負傷者	家屋全壊	家屋半壊	床上浸水	床下浸水
H8.7.18~19	台風6号	最大瞬間風速 23.0m/s (下関) 最大日降水量 116mm (下関・19日)								
H8.8.14~15	台風12号	上陸時の中心気圧 960hpa, 上陸時の最大風速 40m/s, 最大瞬間風速 39.2m/s (下関・14日) 最大日降水量 139mm (下関・14日)		1		1			1	252
H9.6.28	台風8号	最大瞬間風速 NNE27.5m/s (下関), NNE26.5m/s (萩), SE22.4m/s (山口) 28日の最大日降水量 岩田 217mm, 羅漢山 215mm, 長野山 213mm 最大1時間降水量 和田 31mm	全域							3
H9.7.26~29	台風9号	最大瞬間風速 NW19.7m/s (下関), NNE20.0m/s (山口), WNW24.3m/s (萩) 27日の最大日降水量 徳佐 152mm, 養生 144mm 最大1時間降水量 萩 18mm, 須佐 17mm	全域			2	4		48	122
H9.9.14~16	台風19号	最大瞬間風速 NE31.1m/s (下関), NNE23.7m/s (山口), WNW20.3m/s (萩) 16日の最大日降水量 安下庄 174mm, 柳井 164mm 最大1時間降水量 安下庄 40mm, 柳井 37mm	東部					2	16	510
H10.10.15~18	台風10号	最大瞬間風速 NE20.2m/s (下関), ENE14.9m/s (山口), WNW20.5m/s (萩) 最大日降水量(17日) 安下庄 180mm, 岩田・柳井 164mm 最大1時間降水量 平部 39mm, 柳井・山口 38mm, 安下庄・徳佐 35mm	全域			2				43
H11.9.24	台風18号	最大瞬間風速 SE45.4m/s (山口), E41.9m/s (下関), WNW24.0m/s (萩) 総降水量 徳佐 163mm, 広瀬 149mm, 羅漢山・養生 147mm 最大1時間降水量 養生 73mm, 徳佐 69mm, 広瀬 67mm, 和田 65mm	全域	3		179	80	1,284	2,468	7,372
H14.8.31~9.1	台風15号	最大瞬間風速 E28.6m/s (下関)	北部			2				6
H15.6.18~19	台風6号	最大瞬間風速 33.6m/s (下関), 25.9m/s (山口), 27.7m/s (萩)	全域							
H15.8.8~9	台風10号	最大瞬間風速 19.9m/s (萩), 18.2m/s (山口), 17.6m/s (下関)	東部							
H15.9.12	台風14号	最大瞬間風速 27.0m/s (下関), 26.7m/s (萩), 25.7m/s (山口)	全域							
H16.6.21	台風6号	最大瞬間風速 NNE28.2m/s (下関), NW24.1m/s (山口)	東部							



第2.1.1.1-7表(3) 山口県に影響のあった台風

発生年月日	台風番号	気象概略	主被災地	り災の概況						
				死者	行方不明	負傷者	家屋全壊	家屋半壊	床上浸水	床下浸水
H16.7.4~5	台風7号	最大瞬間風速 SSE25.5m/s								
H16.7.31~8.2	台風10号	日最大瞬間風速 SW13m/s(宇部) 最大瞬間風速 WSW16.9m/s(下関)								12
H16.8.17~20	台風15号	最大瞬間風速 SSW30.2m/s(萩), SSW28.1m/s(下関), SSE26.6m/s(山口) 総降水量 霧瀬山141mm, 下松99mm 最大1時間降水量 下松59mm, 玖珂35mm	全域			1			1	46
H16.8.30	台風16号	上陸時の中心気圧 965hpa(防府) 最大瞬間風速 ESE32m/s(防府), NNW34.8m/s(萩) 総降水量 下松204mm, 和田197mm, 玖珂182mm 最大1時間降水量 和田63mm, 防府60mm, 下松54mm	全域	1		4	2	2	22	442
H16.9.6~7	台風18号	最低海面気圧 951.8hpa(下関) 最大瞬間風速 SE60.5m/s(山口), SSE39.9m/s(萩), SE38.1m/s(下関) 総降水量 下関173mm, 徳佐170mm, 箱谷167mm 最大1時間降水量 山口75mm, 備前71mm, 徳佐66mm	全域	23	3	177	40	526	82	580
H16.9.28~29	台風21号	最大1時間降水量 山口25mm, 秋吉台24mm, 防府24mm	全域	1		7		2		
H16.10.19~20	台風23号	最大瞬間風速 NNE39.4m/s(下関), NNE34.5m/s(山口), NNE30.5m/s(萩) 総降水量 秋吉台174mm, 徳佐166mm, 山口149mm	全域	1		9		2		
H17.9.6~7	台風14号	最大風速 E240m/s(宇部) 最大瞬間風速 ESE35.4m/s(山口) 総降水量 霧瀬山532mm, 広瀬394mm 最大1時間降水量 霧瀬山59mm, 広瀬55mm	全域	3		11	6	332	745	847
H18.8.18~19	台風10号	最大瞬間風速 NE23.3m/s(下関) 総降水量 山口114.5mm, 和田157mm 最大1時間降水量 和田23mm, 下関20.5mm	西部, 中部, 北部							
H18.9.15~16	台風13号	最大瞬間風速 SSE42.2m/s(山口)	全域			14	1	4		

〔「消防防災年報」(山口県総務部, 平成20年)より作成〕

④ 地震

山口県における平成元年以降の最近の地震による被害の状況は、「消防防災年報」(山口県総務部, 平成20年)によれば, 第2.1.1.1-8表のとおりである。

第2.1.1.1-8表 山口県に影響のあった地震

発生年月日	地震名	震度概略	主 なる被災地域	り災の概況				
				死 者	行 方 不 明	食 傷 者	家 全 壊	家 半 壊
H3.10.28	—	震度 下関3, 山口3, 萩3	県南部			1		
H9.6.25	—	震度4 萩市, 山口市, 下関市	北 部			2	1	2
H12.10.6	鳥取県西部地震	震度4 柳井市等	東 部			1		
H13.3.24	姦子地震	震度5強 柳井市, 平生町等 震度5弱 上関町等 震度4 熊毛町等 震度3 下関市等	東 部			12	3	46
H17.3.20	福岡県西方沖地震	震度4 柳井市等 震度3 上関町, 平生町等	全 域			1		

[「消防防災年報」(山口県総務部, 平成20年)より作成]

## (2) 海 象

### ① 一般状況

#### イ. 潮 位

潮位は、当社が発電所計画地点東側に隣接する上関町四代漁港内で観測した1年間（平成7年2月～平成8年1月）の記録によれば、東京湾平均海面（T.P.）を基準にすると次のとおりである（第2.1.1.2-1図）。

#### (イ) 平均潮位

平均潮位は、T.P. -0.05mとなっている。

#### (ロ) 期望平均満潮位、期望平均干潮位

期望平均満潮位及び期望平均干潮位は、それぞれT.P. +1.35m、T.P. -1.70mとなっている。

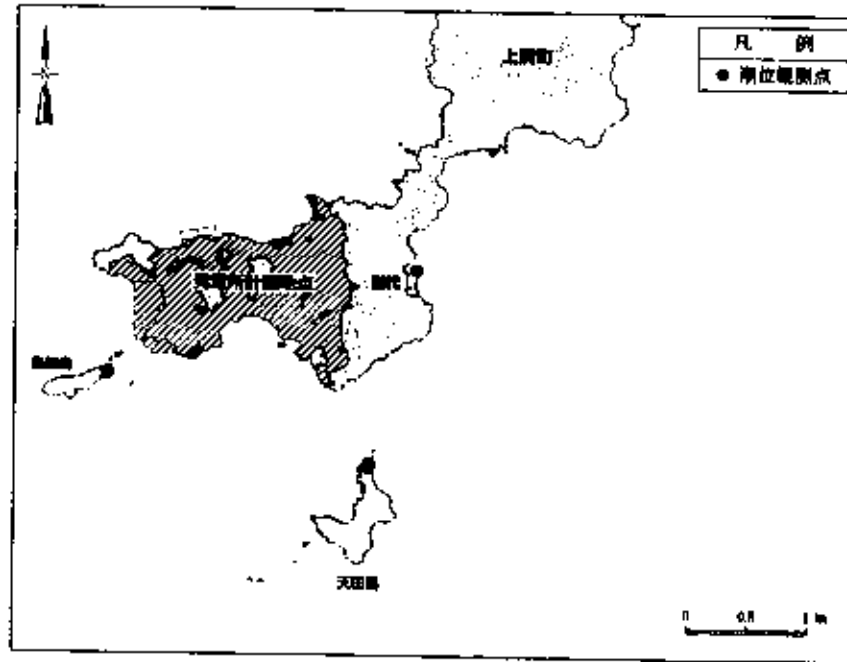
#### (ハ) 最高潮位、最低潮位

1年間における最高潮位はT.P. +1.54m（平成7年5月15日）、最低潮位はT.P. -1.94m（平成7年12月23日）となっている。

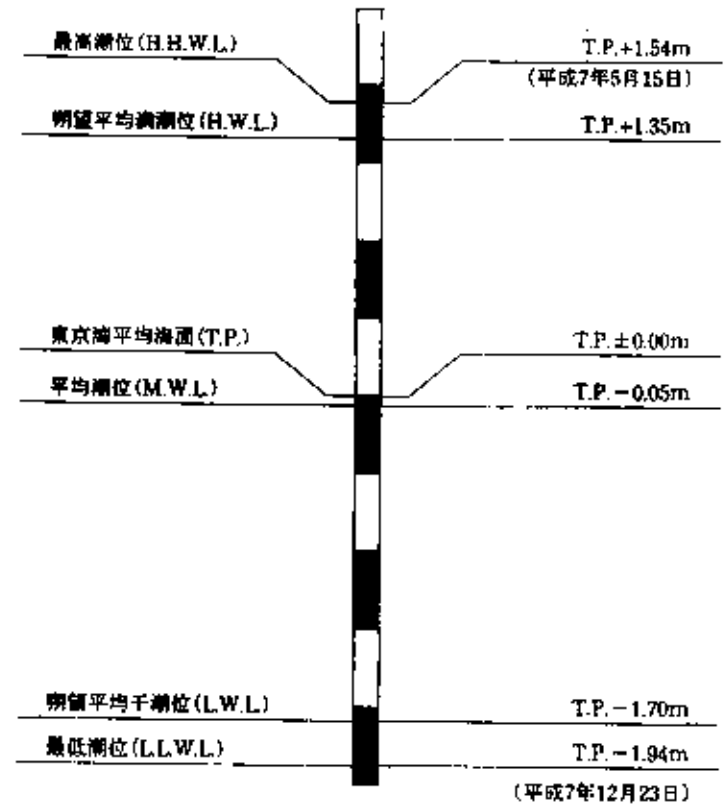
第2.1.1.2-1図 潮位観測点位置及び潮位

観測者：中国電力(株)  
 観測期間：平成7年2月～平成8年1月  
 観測計器：フース型換潮器  
 観測場所：上関町四代漁港

潮位観測点位置



潮位



#### ロ. 波 高

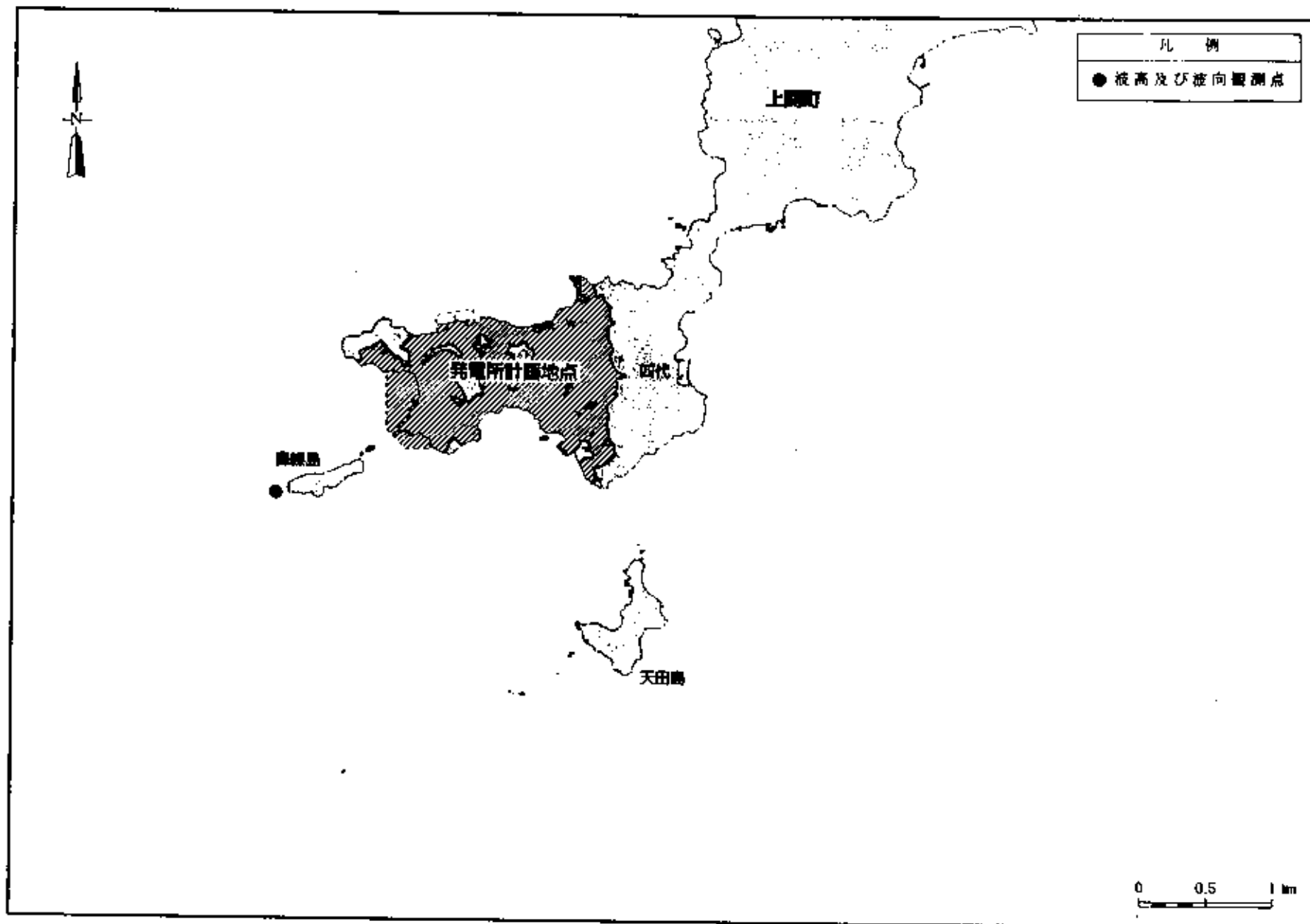
波高は、当社が発電所計画地点の西沖約1.5km（第2.1.1.2-2図）で観測した観測記録（平成7年7月～平成8年6月）によれば、有義波高1.0m未満の出現率は年間で96.7%となっている。これを月別にみると、4月～10月は、1.0m未満の出現率が約98%以上であり、0.5m未満の出現率も約90%以上を占めるが、11月～2月は波がやや高く、1.0m以上の出現率が約7～9%となっている（第2.1.1.2-1表）。

また、観測期間内における最大有義波高は2.47m（平成7年9月24日）となっている。

#### ハ. 波 向

波向は、当社が波高と同じ位置（第2.1.1.2-2図）で観測した観測記録（平成7年7月～平成8年6月）によれば、西北西～北北西及び南南東～南南西の出現頻度が高く、年間でそれぞれ60.3%、29.6%となっている（第2.1.1.2-2表）。

第2.1.1.2-2図 波高及び波向観測点位置



第2.1.1.2-1表

## 有義波高の月別出現頻度

観測者：中国電力㈱

観測期間：平成7年7月～平成8年6月

観測計器：超音波式海象計

(単位：回)

有義波高(m) \ 月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0.5未満	559 ( 91.5 )	716 ( 96.2 )	665 ( 92.5 )	706 ( 94.9 )	502 ( 69.7 )	457 ( 61.4 )
0.5以上 1.0未満	41 ( 6.7 )	28 ( 3.8 )	49 ( 6.8 )	32 ( 4.3 )	166 ( 23.1 )	224 ( 30.1 )
1.0以上 1.5未満	8 ( 1.3 )		3 ( 0.4 )	6 ( 0.8 )	43 ( 6.0 )	51 ( 6.9 )
1.5以上 2.0未満	3 ( 0.5 )		1 ( 0.1 )		8 ( 1.1 )	10 ( 1.3 )
2.0以上 2.5未満			1 ( 0.1 )		1 ( 0.1 )	2 ( 0.3 )
2.5以上 3.0未満						
3.0以上 3.5未満						
3.5以上 4.0未満						
4.0以上						
合 計	611 (100 )	744 (100 )	719 (100 )	744 (100 )	720 (100 )	744 (100 )

有義波高(m) \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年 間
0.5未満	517 ( 69.6 )	516 ( 74.1 )	576 ( 77.4 )	646 ( 89.6 )	721 ( 96.9 )	689 ( 95.7 )	7,269 ( 84.0 )
0.5以上 1.0未満	161 ( 21.6 )	133 ( 19.1 )	141 ( 19.0 )	68 ( 9.4 )	23 ( 3.1 )	29 ( 4.0 )	1,095 ( 12.7 )
1.0以上 1.5未満	49 ( 6.6 )	36 ( 5.2 )	20 ( 2.7 )	6 ( 0.8 )		2 ( 0.3 )	224 ( 2.6 )
1.5以上 2.0未満	16 ( 2.2 )	11 ( 1.6 )	7 ( 0.9 )	1 ( 0.1 )			57 ( 0.7 )
2.0以上 2.5未満	1 ( 0.1 )						5 ( 0.1 )
2.5以上 3.0未満							
3.0以上 3.5未満							
3.5以上 4.0未満							
4.0以上							
合 計	744 (100 )	696 (100 )	744 (100 )	720 (100 )	744 (100 )	720 (100 )	8,650 (100 )

注：1. ( ) 内は、月(年間)ごとの合計に対する割合(%)を示す。

2. 空欄は、出現しなかったことを示す。

3. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

第2.1.1.2-2表 波向の月別出現頻度

観測者：中国電力網  
 観測期間：平成7年7月～平成8年6月  
 観測計器：超音波式海象計

(単位：回)

波向	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年間
NNE													
NE													
ENE													
E									1 ( 1.8)				1 ( 0.2)
ESE													
SE	1 ( 4.2)				1 ( 1.4)	1 ( 1.1)		1 ( 1.4)	1 ( 1.8)			1 ( 2.9)	6 ( 1.1)
SSE	10 ( 41.7)		2 ( 4.2)				2 ( 2.4)	1 ( 1.4)	8 ( 14.0)	6 ( 17.1)	2 ( 7.1)	8 ( 22.9)	39 ( 6.9)
S	7 ( 29.2)	1 (100.0)	14 ( 29.2)	1 ( 6.3)	2 ( 2.7)		1 ( 1.2)		7 ( 12.3)	8 ( 22.9)	8 ( 28.6)	12 ( 34.3)	61 ( 10.8)
SSW	5 ( 20.8)		24 ( 50.0)	5 ( 31.3)		1 ( 1.1)		1 ( 1.4)	9 ( 15.8)	7 ( 20.0)	12 ( 42.9)	3 ( 8.6)	67 ( 11.9)
SW	1 ( 4.2)		6 ( 12.5)					1 ( 1.4)	1 ( 1.8)	2 ( 5.7)	4 ( 14.3)	6 ( 17.1)	21 ( 3.7)
WSW			1 ( 2.1)		2 ( 2.7)			2 ( 2.8)	3 ( 5.3)		1 ( 3.6)	1 ( 2.9)	10 ( 1.8)
W						4 ( 4.5)	2 ( 2.4)	4 ( 5.6)	2 ( 3.5)			1 ( 2.9)	13 ( 2.3)
WNW				4 ( 25.0)	30 ( 40.5)	34 ( 38.2)	25 ( 29.8)	31 ( 43.1)	11 ( 19.3)	1 ( 2.9)		3 ( 8.6)	139 ( 24.7)
NW				6 ( 37.5)	26 ( 35.1)	35 ( 39.3)	37 ( 44.0)	25 ( 34.7)	10 ( 17.5)	6 ( 17.1)			145 ( 25.8)
NNW			1 ( 2.1)		10 ( 13.5)	13 ( 14.6)	17 ( 20.2)	5 ( 6.9)	4 ( 7.0)	4 ( 11.4)	1 ( 3.6)		55 ( 9.8)
N					3 ( 4.1)	1 ( 1.1)		1 ( 1.4)		1 ( 2.9)			6 ( 1.1)
合計	24 (100 )	1 (100 )	48 (100 )	15 (100 )	74 (100 )	89 (100 )	84 (100 )	72 (100 )	57 (100 )	35 (100 )	28 (100 )	35 (100 )	563 (100 )

注：1. ( )内は、月(年間)ごとの合計に対する割合(%)を示す。

2. 空欄は、出現しなかったことを示す。

3. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。



## ② 流況特性

発電所計画地点周辺の東西方向約7km、南北方向約4kmの海域（以下「調査海域」という。）における流況の現況は、当社が中電技術コンサルタント(株)に委託した調査の結果によれば、次のとおりである。

### イ. 調査期間

春季：平成7年3月26日～4月10日

夏季：平成7年7月21日～8月4日

秋季：平成7年10月18日～11月1日

冬季：平成8年1月12日～28日

### ロ. 調査場所

調査海域における17調査点で行った（第2.1.1.2-3図）。

### ハ. 調査方法

インペラー型自記式流向流速計を用いて、海面下3mの流況を15日間連続調査した。

### ニ. 調査結果

調査結果の概要は、次のとおりである。

#### (イ) 流向及び流速

調査海域における流況は、四季を通じて、西海域及び東海域を主流域とする約12時間で周期的に変動する往復流となっている。これらの流向・流速は、西海域で南・北方向に最大約60cm/sであり、東海域では、北東・南西方向に最大約50cm/sとなっている。この主流域の往復流に連動して、発電所計画地点と天田島間の海峡部で東・西方向の最大約50cm/sの往復流が生じている。以上の往復流に伴って、南海域では、流向が全方位にわたって周期的に変化する流速最大約30cm/sの流れとなっている（第2.1.1.2-4、5図）。

#### (ロ) 流れの周期性

調査結果から求めた自己相関係数及びエネルギースペクトラムをみると、約12時間周期の流れの成分が卓越している（第2.1.1.2-6図）。

また、調和分解を行った結果をみると、 $M_2$ 分潮（主太陰半日周潮流）が他の分潮と比べ大きくなっている（第2.1.1.2-3表）。

なお、 $M_2$ 分潮の長軸方向ベクトルは、第2.1.1.2-7図のとおりである。

#### (ハ) 拡散係数

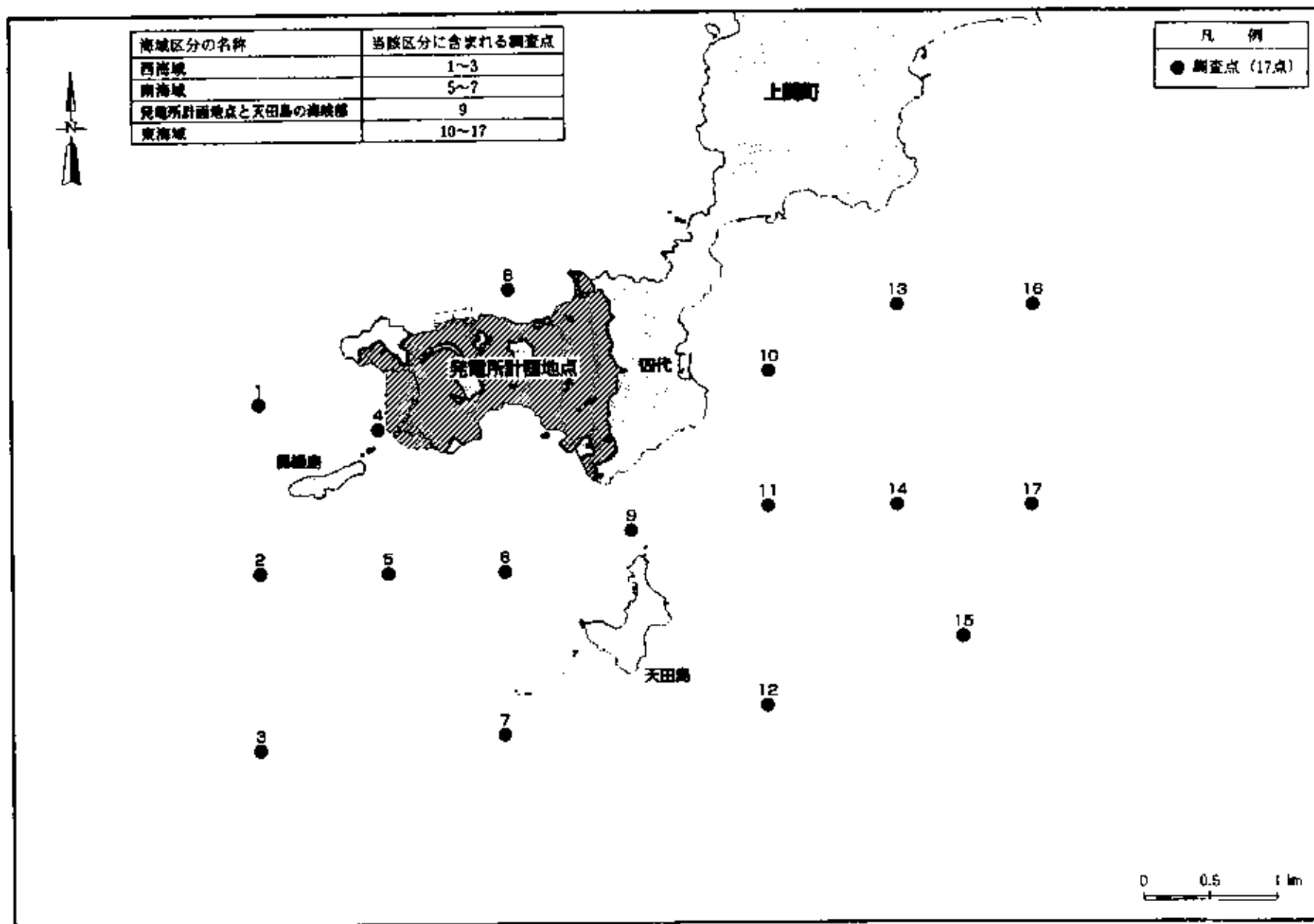
調査結果から12時間以上の長周期成分を除去して求めた拡散係数は、東西方向( $K_x$ )が $4 \times 10^4 \sim 1 \times 10^6 \text{cm}^2/\text{s}$ 、南北方向( $K_y$ )が $1 \times 10^4 \sim 2 \times 10^6 \text{cm}^2/\text{s}$ の範囲と

なっている（第2.1.1.2-8図）。

(二) 恒流成分

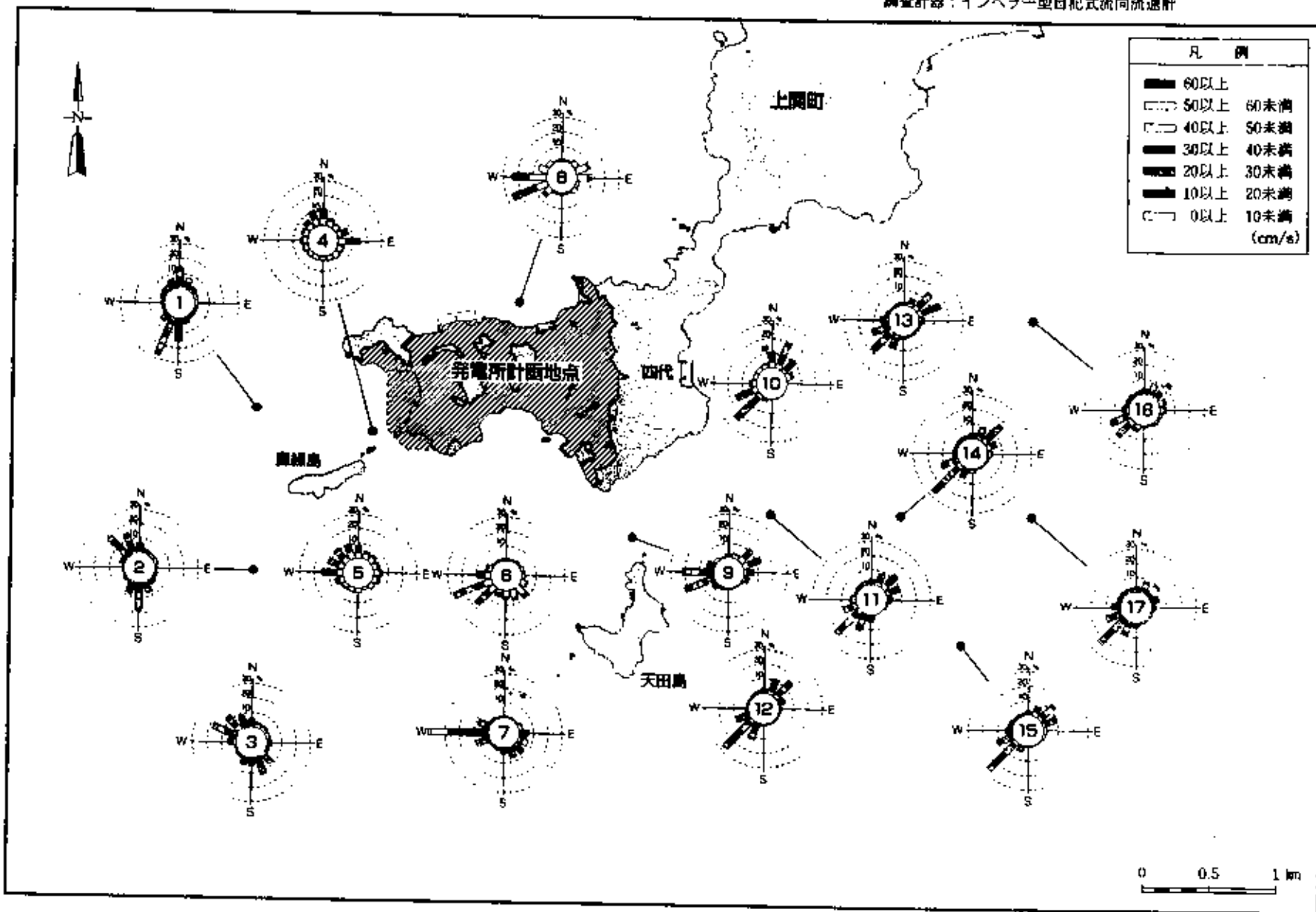
観測期間中の15日間平均流は、各季節ともほぼ同様な傾向がみられ、流速は10cm/s程度となっている（第2.1.1.2-9図）。

第2.1.1.2-3図 流況調査点位置



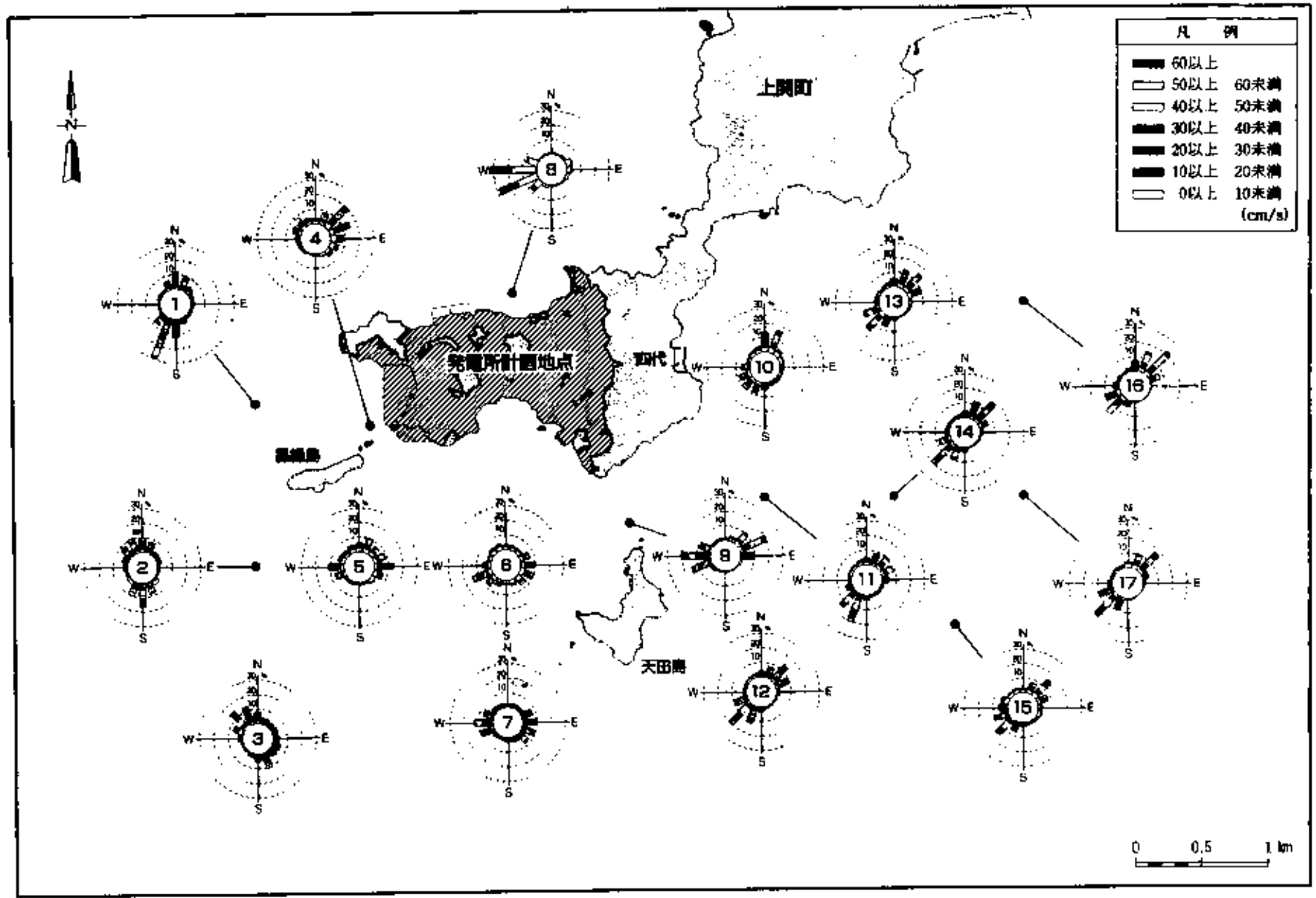
第2.1.1.2-4図(1) 流向別流速出現頻度(春季)  
(海面下3m)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間：平成7年3月26日～4月10日  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計



第2.1.1.2-4図(2) 流向別流速出現頻度(夏季)  
(海面下3m)

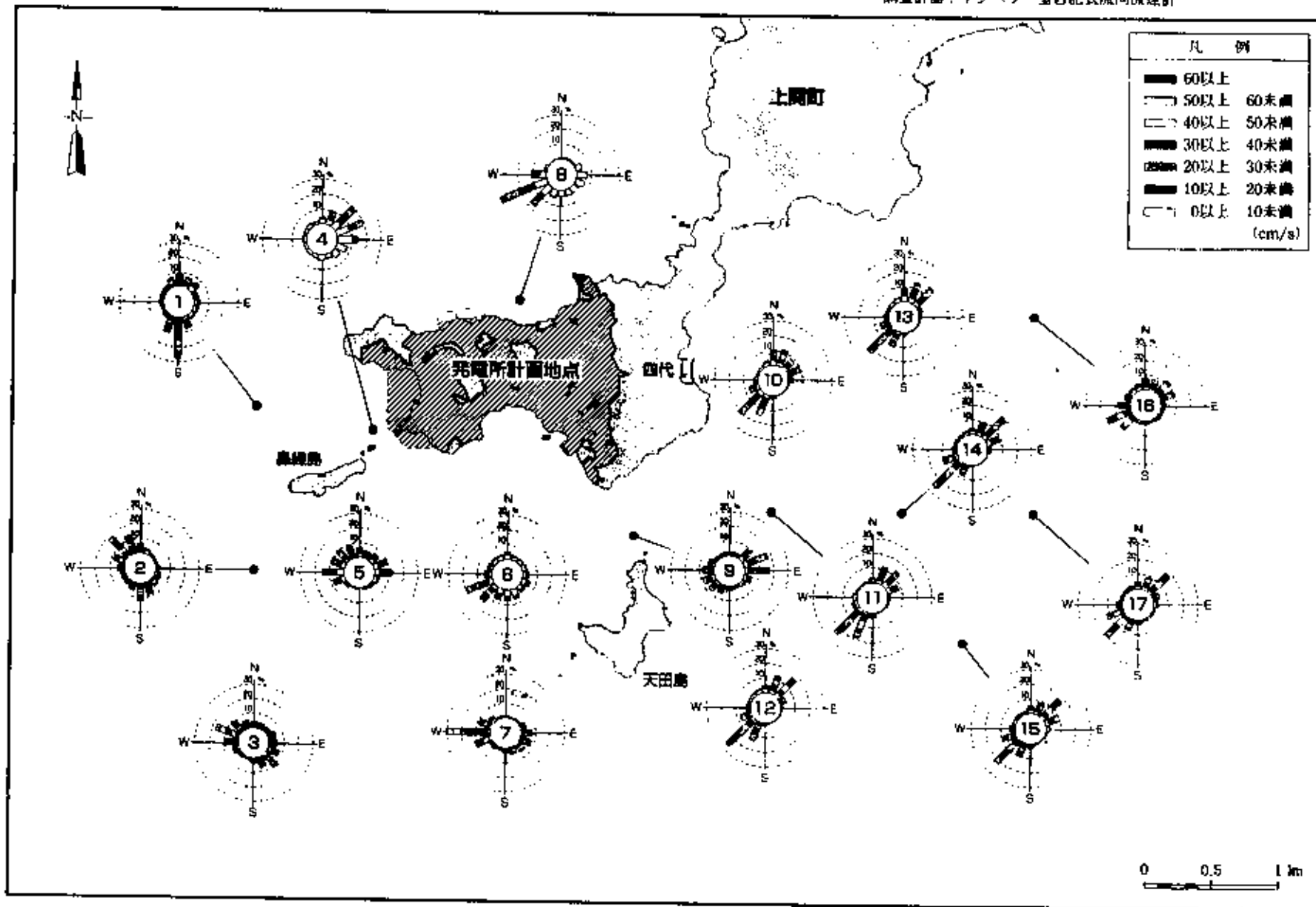
調査者: 中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間: 平成7年7月21日~8月4日  
調査計器: インベラー型自記式流向流速計



2.1.1-52

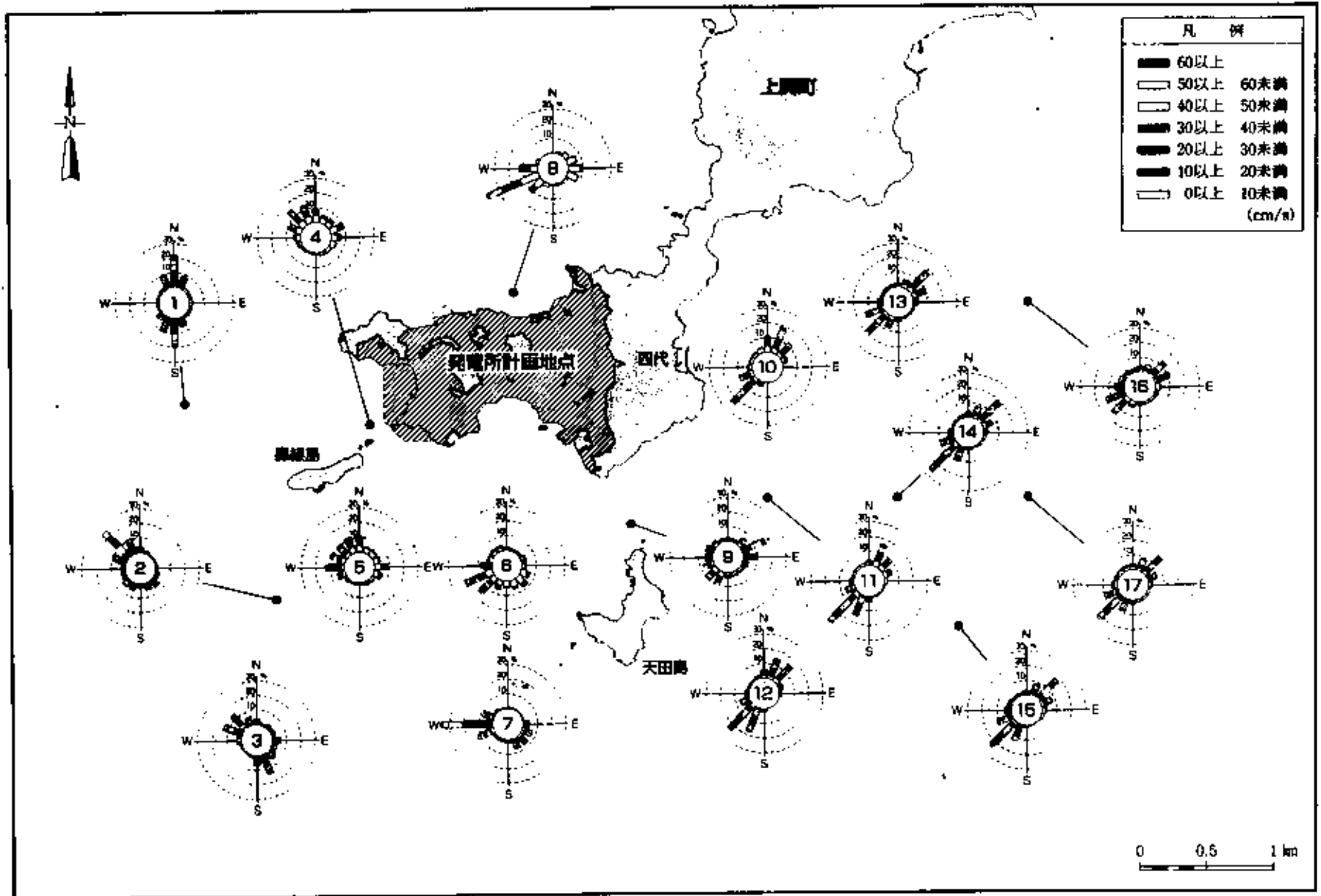
第2.1.1.2-4図(3) 流向別流速出現頻度(秋季)  
(海面下3m)

調査者: 中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間: 平成7年10月18日~11月1日  
調査計器: インベラー型自記式流向流速計



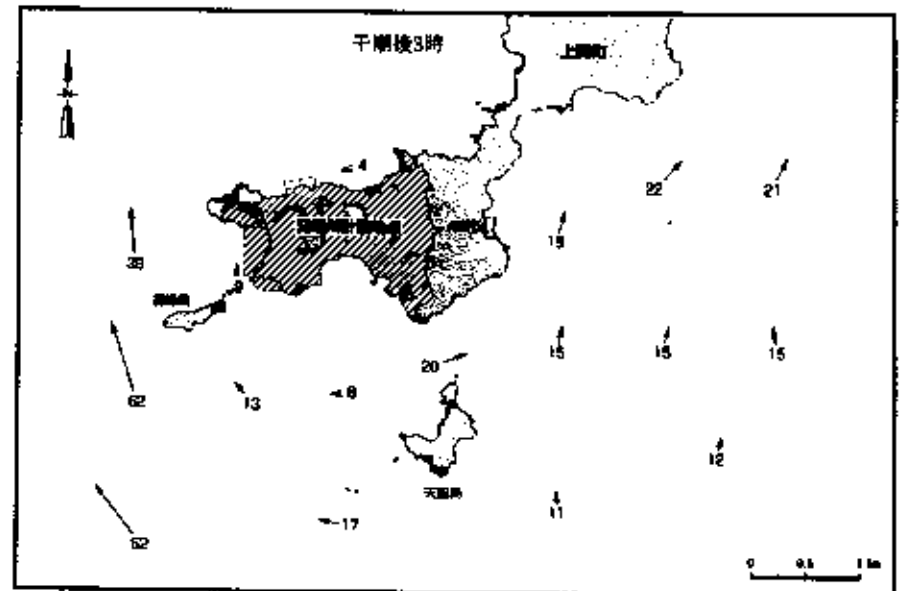
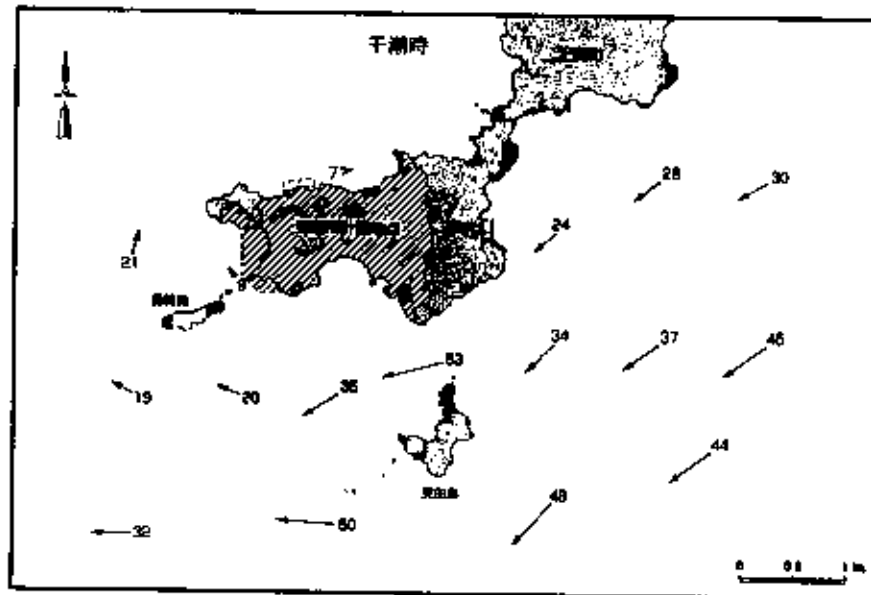
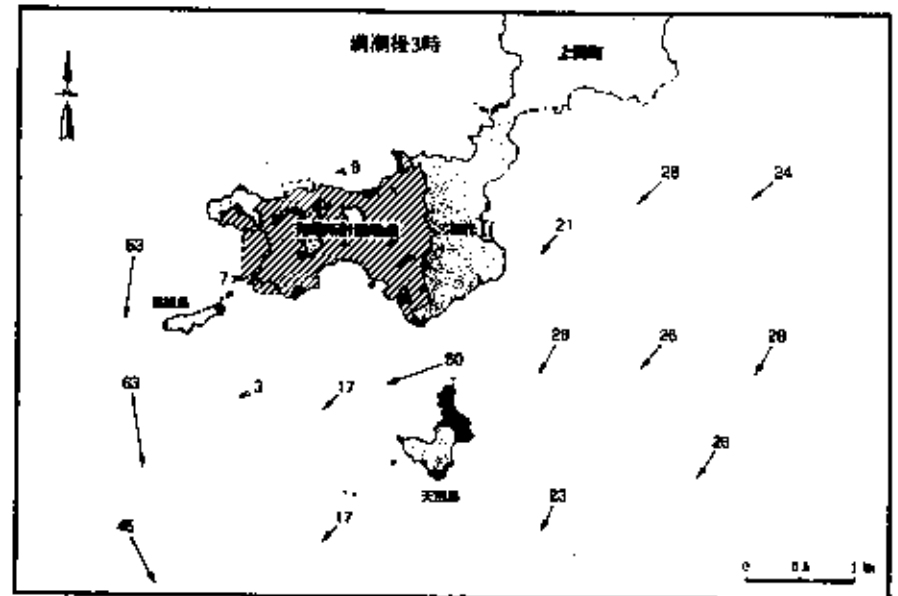
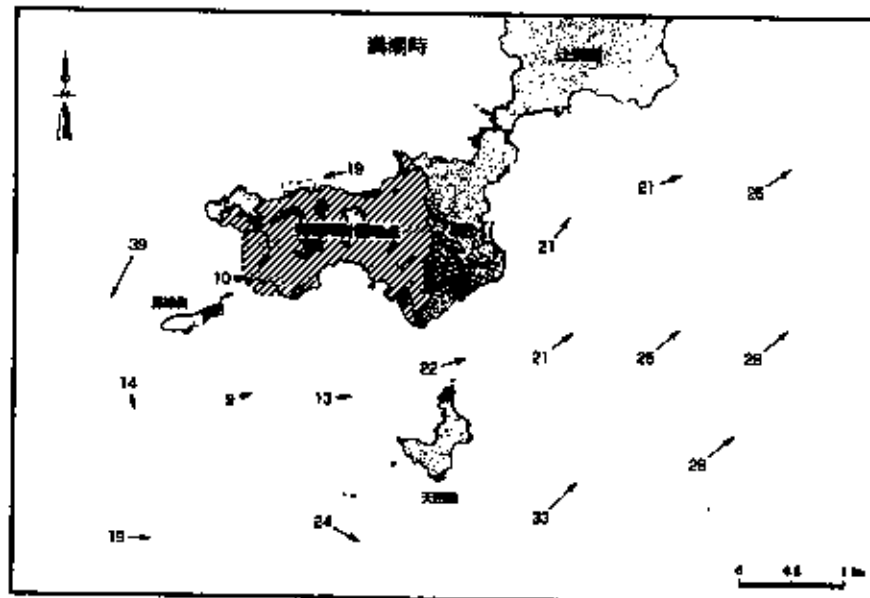
第2.1.1.2-4図(4) 流向別流速出現頻度(冬季)  
(海面下3m)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間：平成8年1月12日～1月28日  
調査計器：インペラー型自記式流向流速計



第2.1.1.2-5図(1) 平均大潮期の流況(春季)  
(海面下3m)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間：平成7年3月26日～4月10日  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計

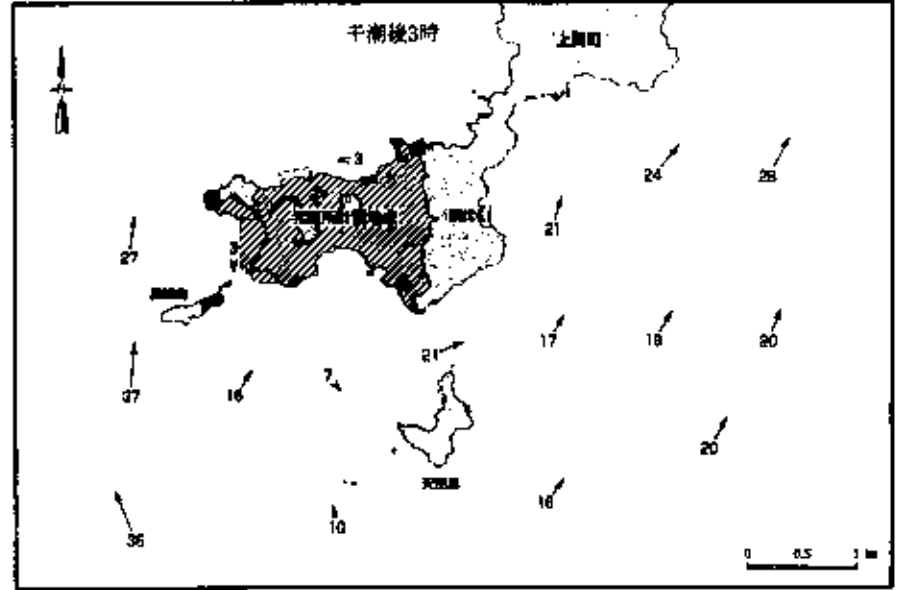
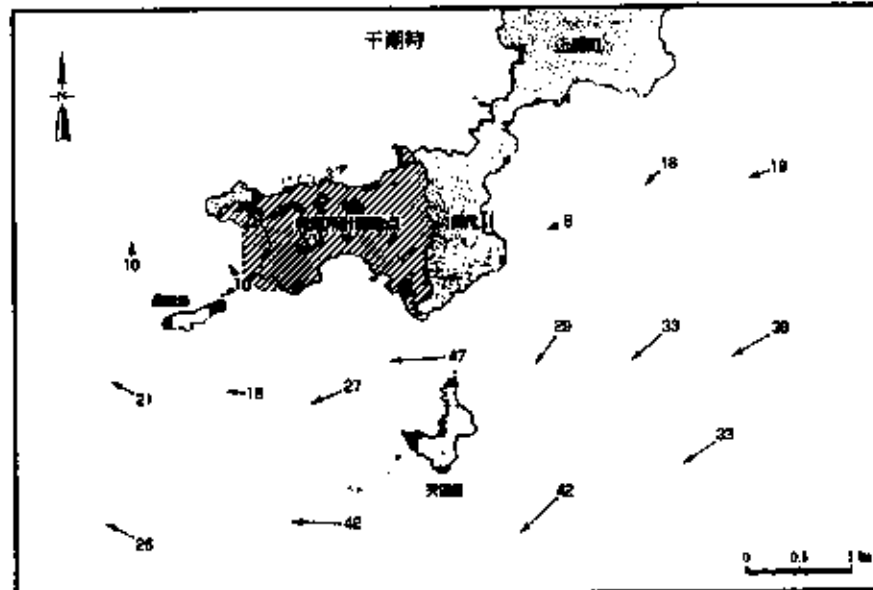
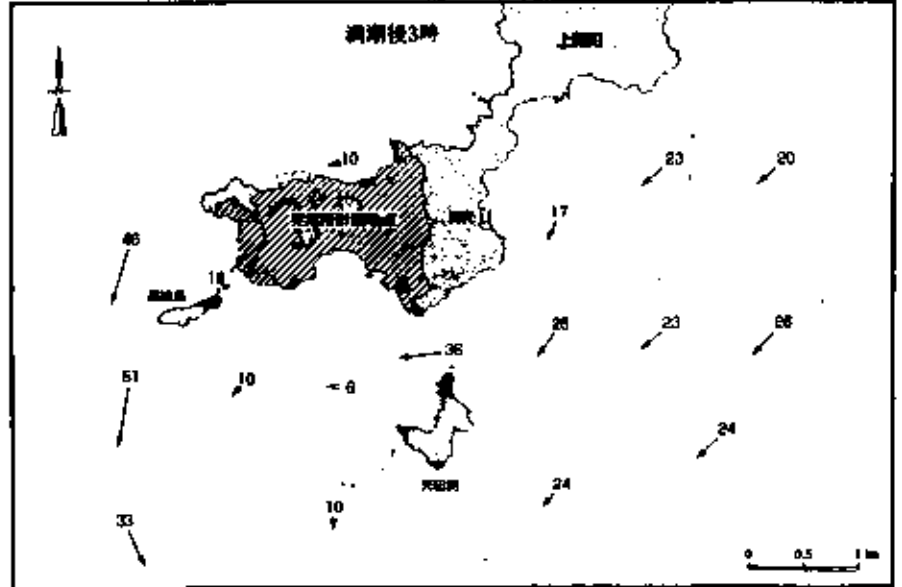
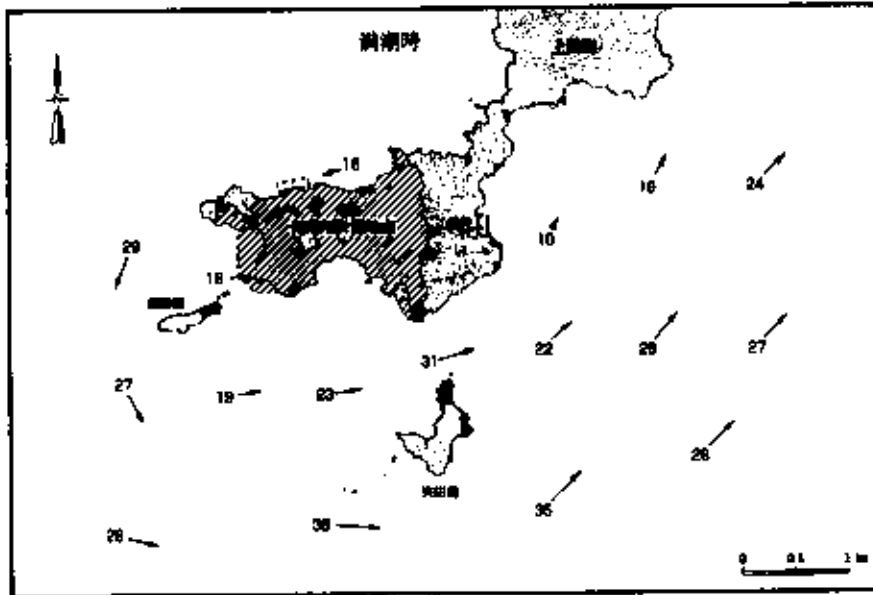


注：ベクトルの矢印は流向、数字は流速(cm/s)を示す。



第2.1.1.2-5図(2) 平均大潮期の流況(夏季)  
(海面下3m)

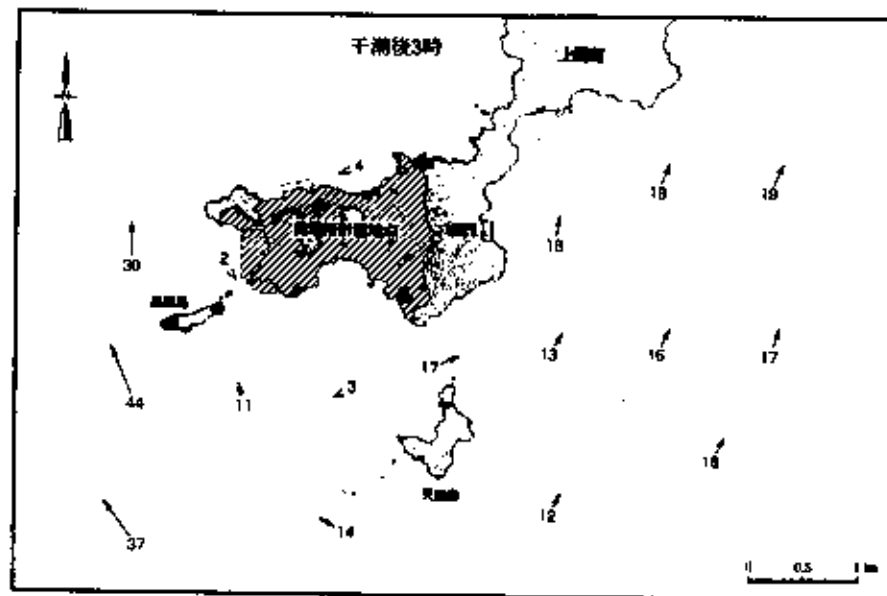
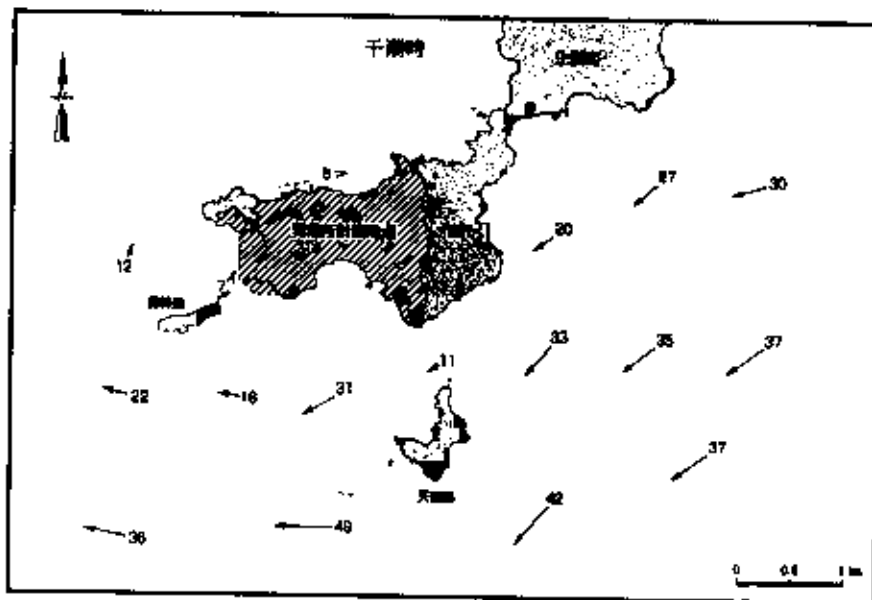
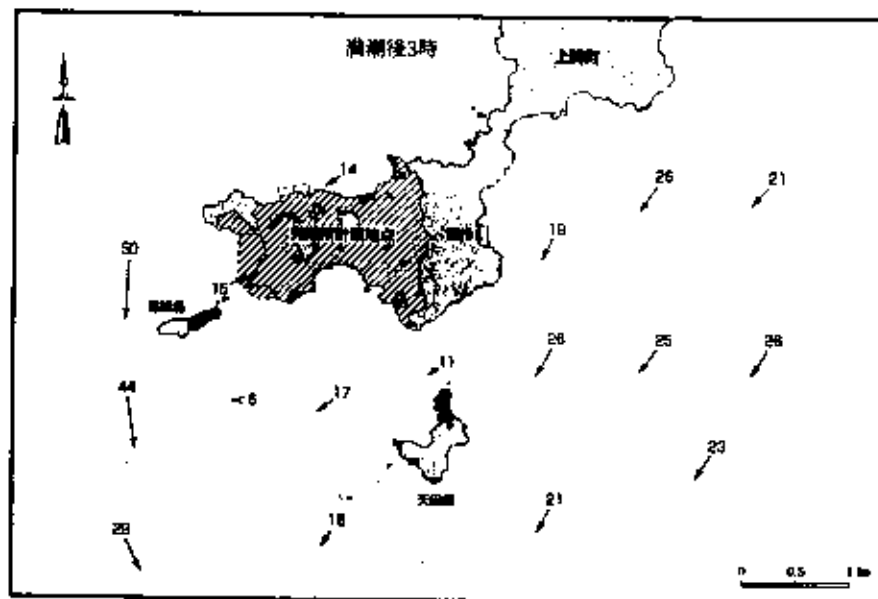
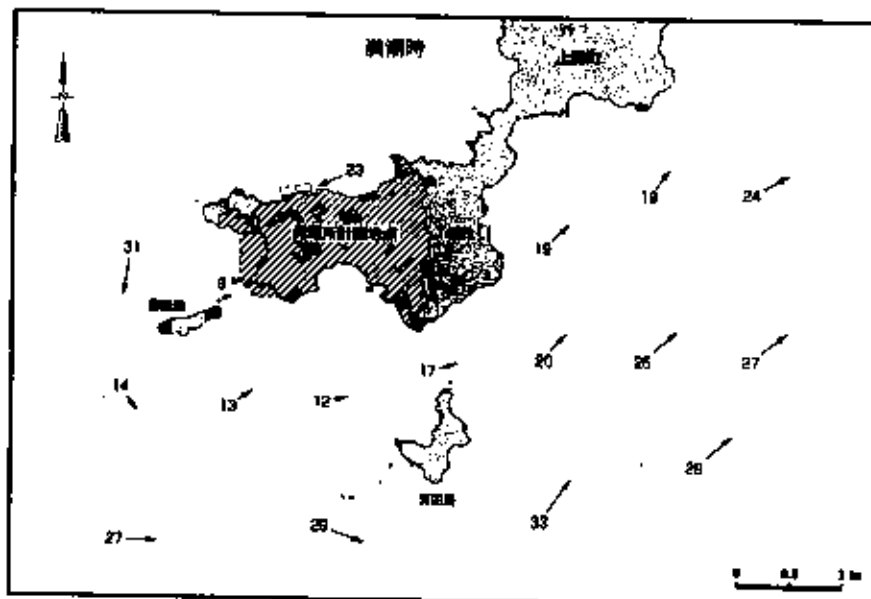
調査者: 中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間: 平成7年7月21日~8月4日  
調査計器: インベラー型自記式流向流速計



注: ベクトルの矢印は流向、数字は流速(cm/s)を示す。

第2.1.1.2-5図(3) 平均大潮期の流況(秋季)  
(海面下3m)

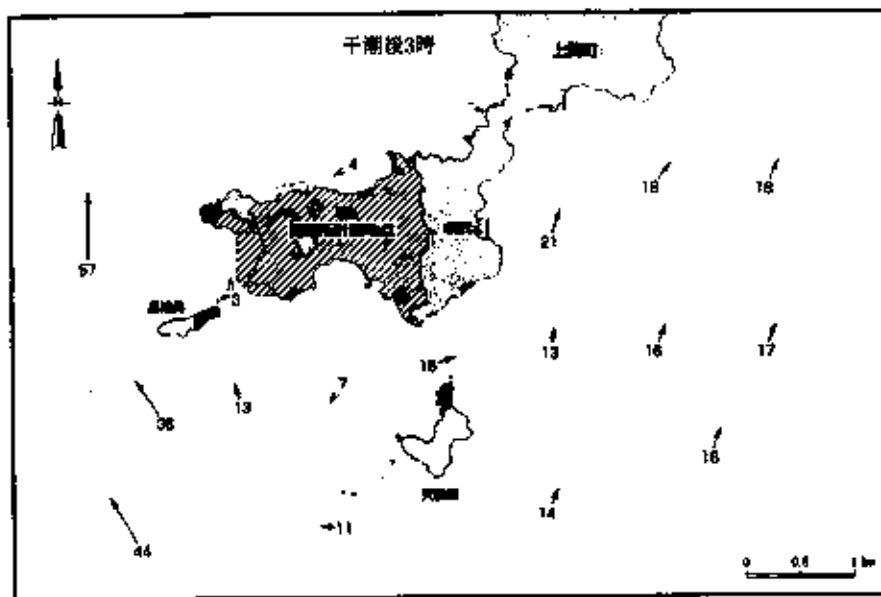
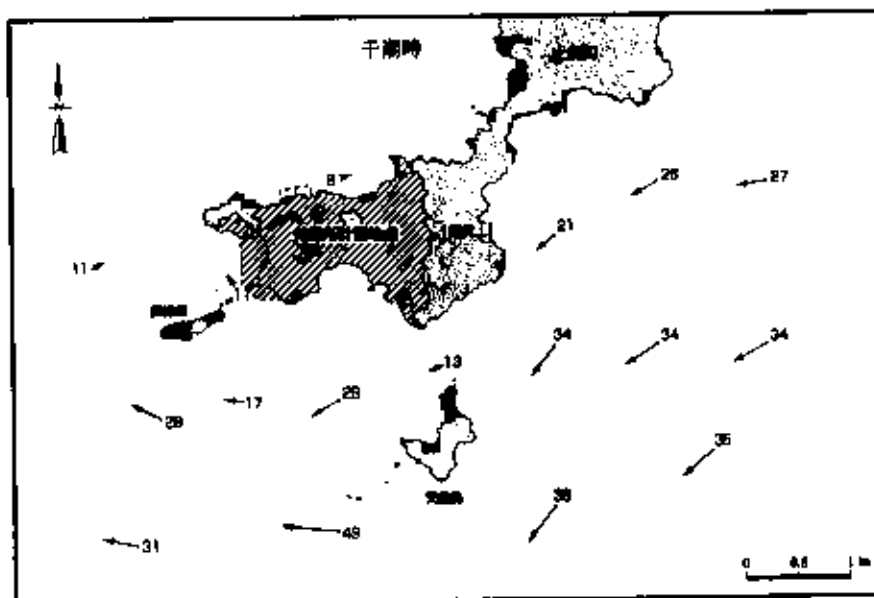
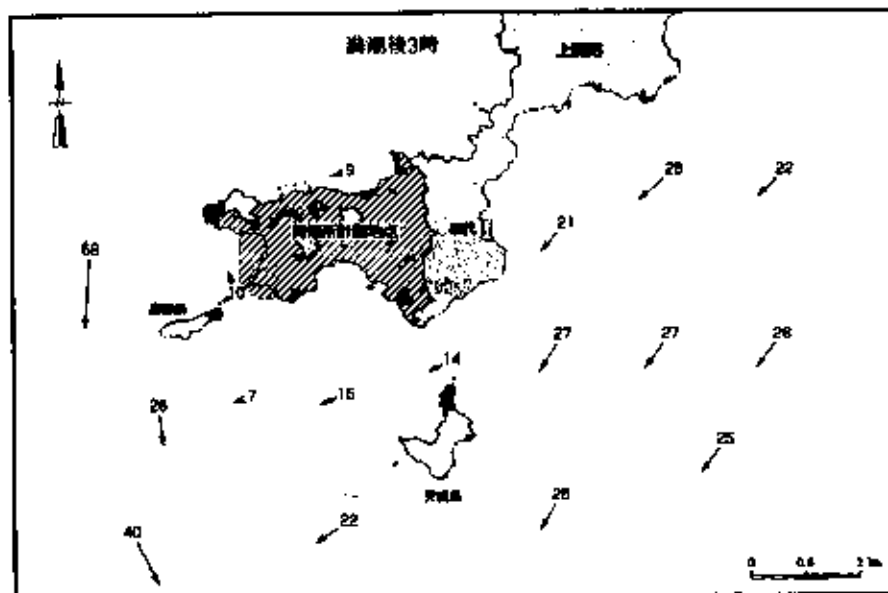
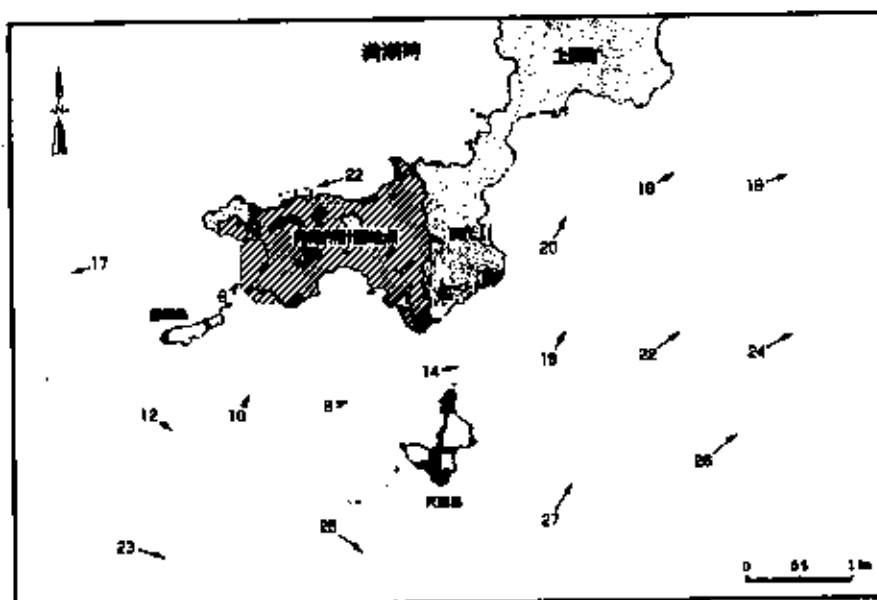
調査者: 中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間: 平成7年10月18日~11月1日  
調査計器: インベラー型自記式流向流速計



注: ベクトルの矢印は流向、数字は流速(cm/s)を示す。

第2.1.1.2-5図(4) 平均大潮期の流況(冬季)  
(海面下3m)

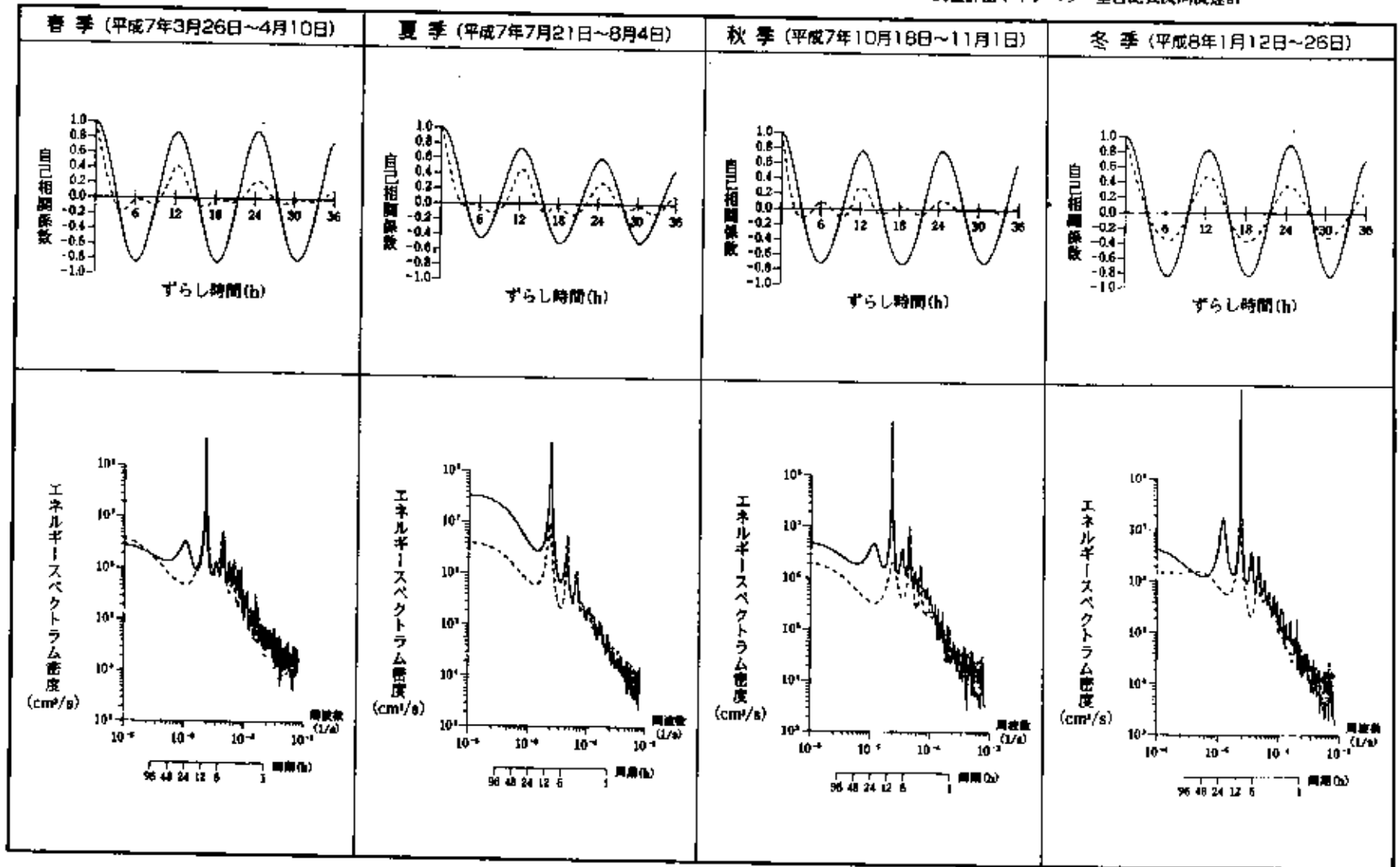
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査期間：平成8年1月12日～28日  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計



注：ベクトルの矢印は流向、数字は流速(cm/s)を示す。

第2.1.1.2-6図(1) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点1)

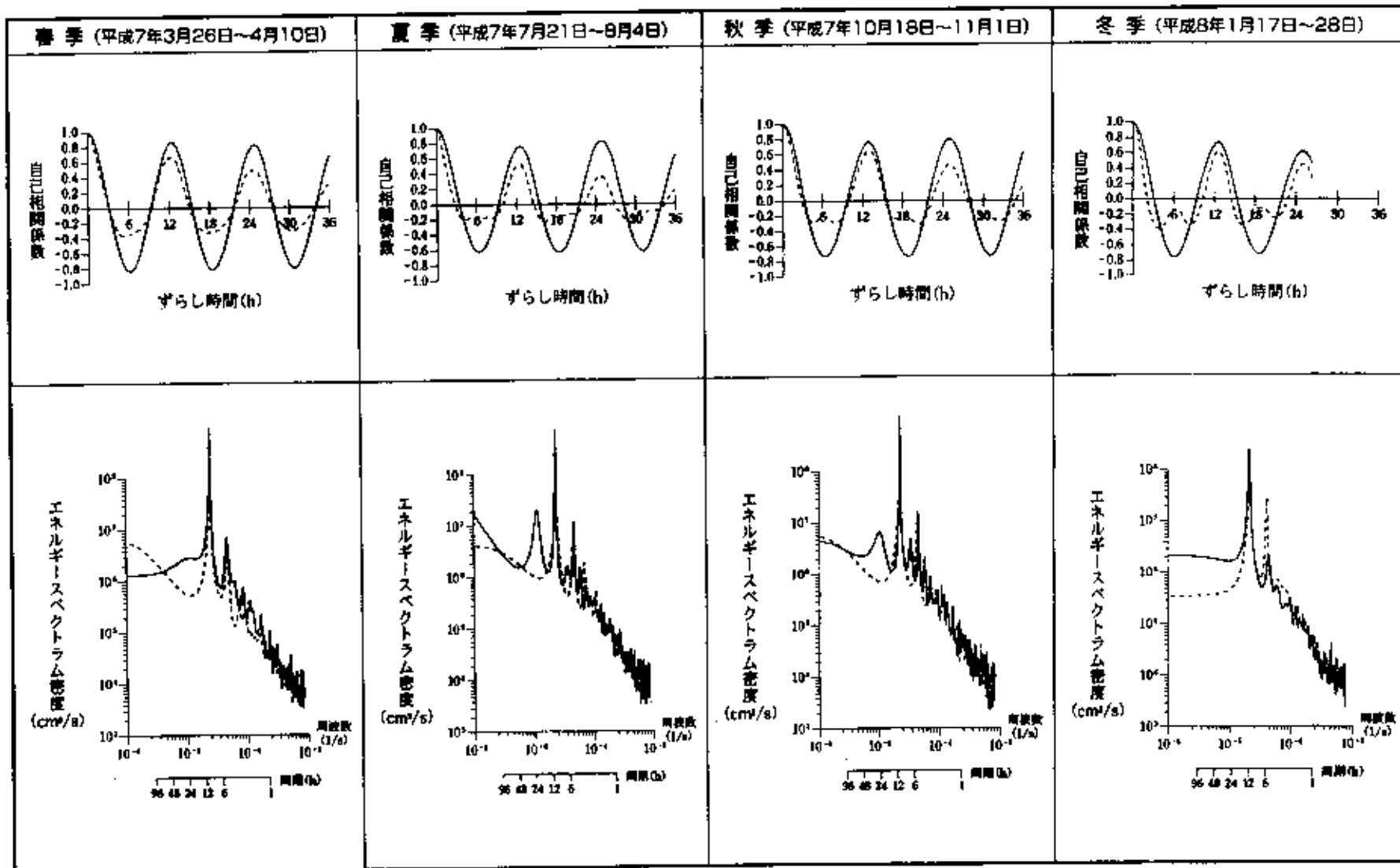
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式河川流速計



凡例  
— 南北方向  
- - - 東西方向

第 2.1.1.2-6 図 (2) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点2)

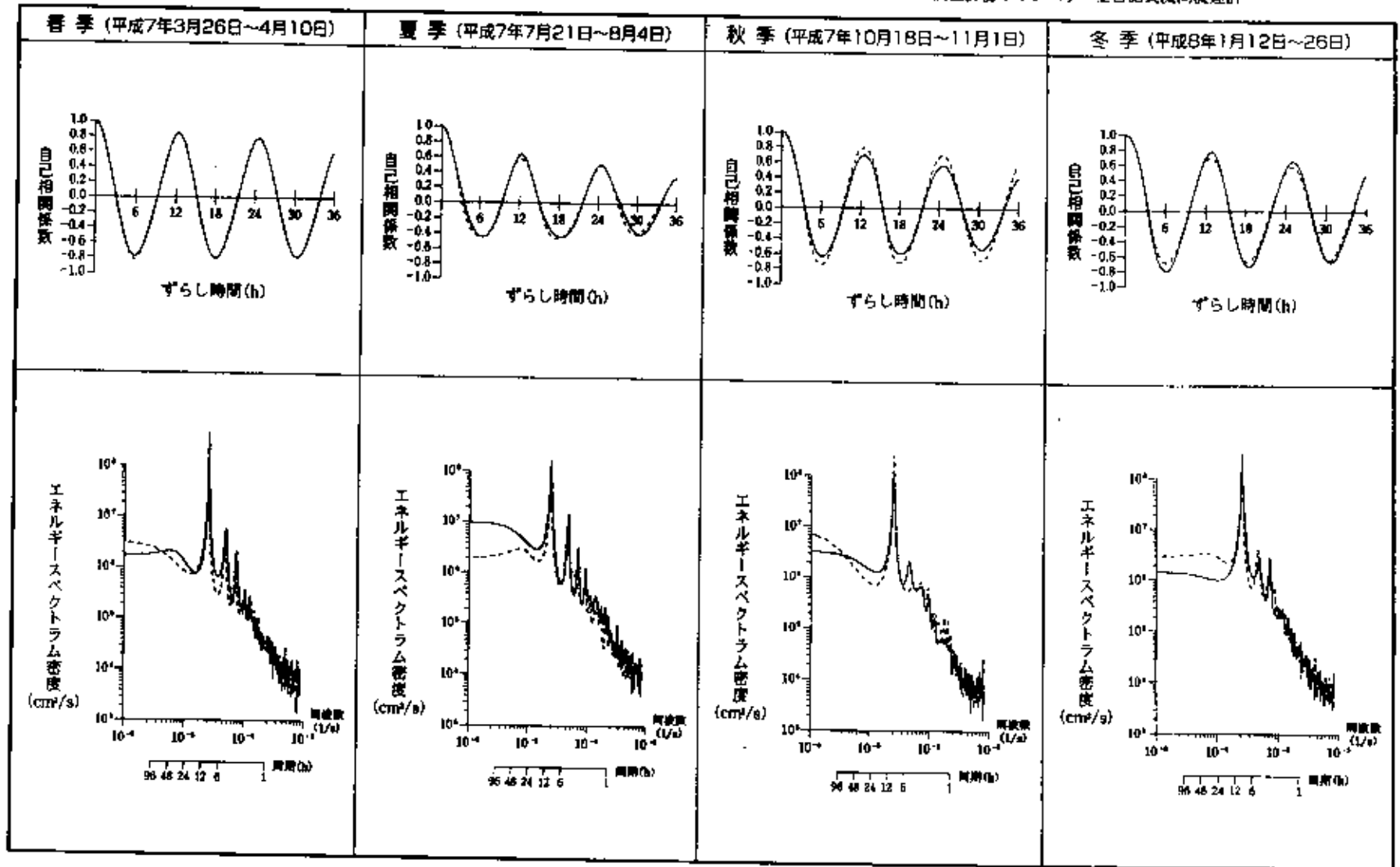
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インペラー型自記式縦向流速計



凡例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(3) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点3)

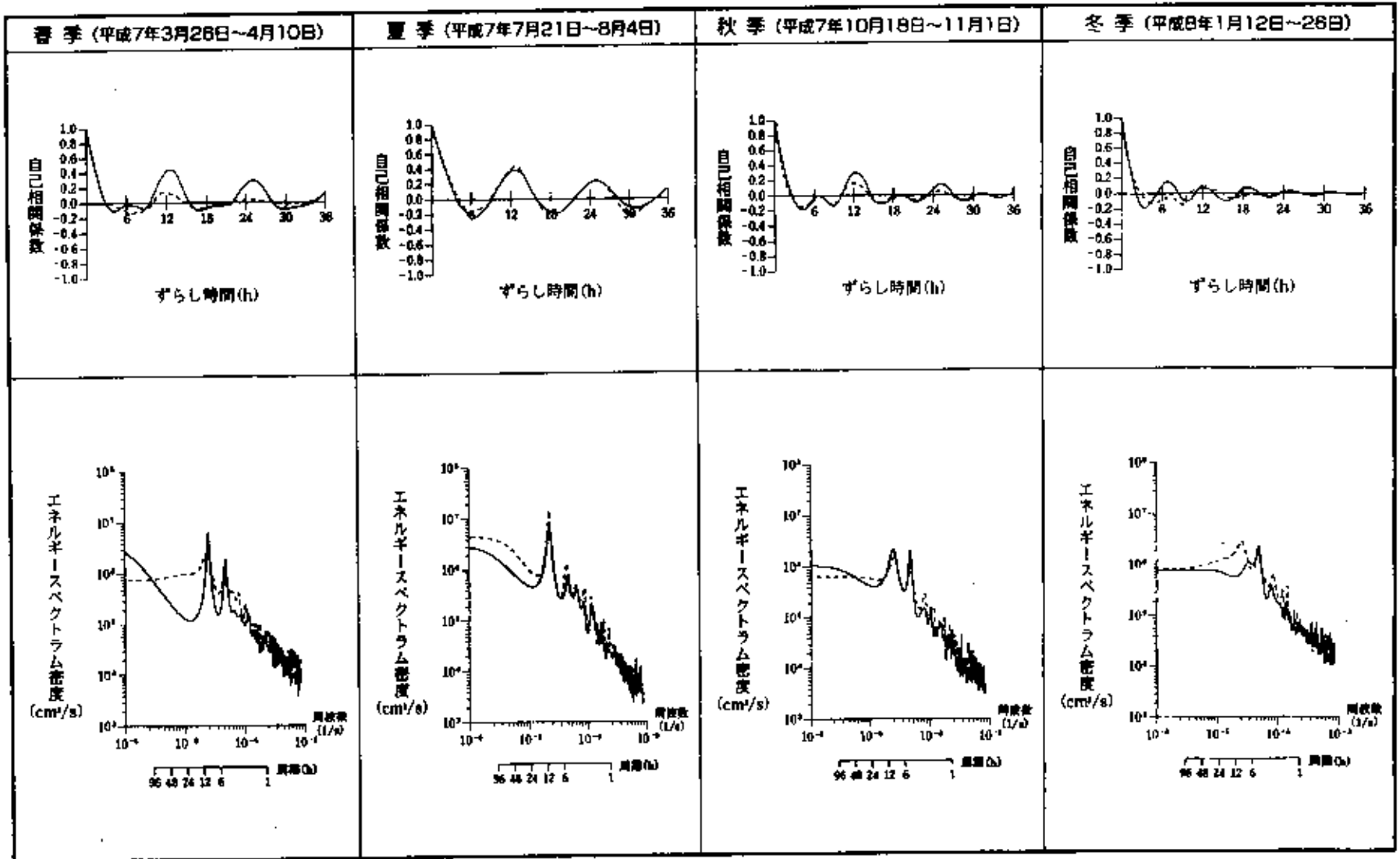
調査者：中国電力(株) (中電技術コンサルタント(株)に委託)  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベーター型自記式流向流速計



凡例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(4) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点4)

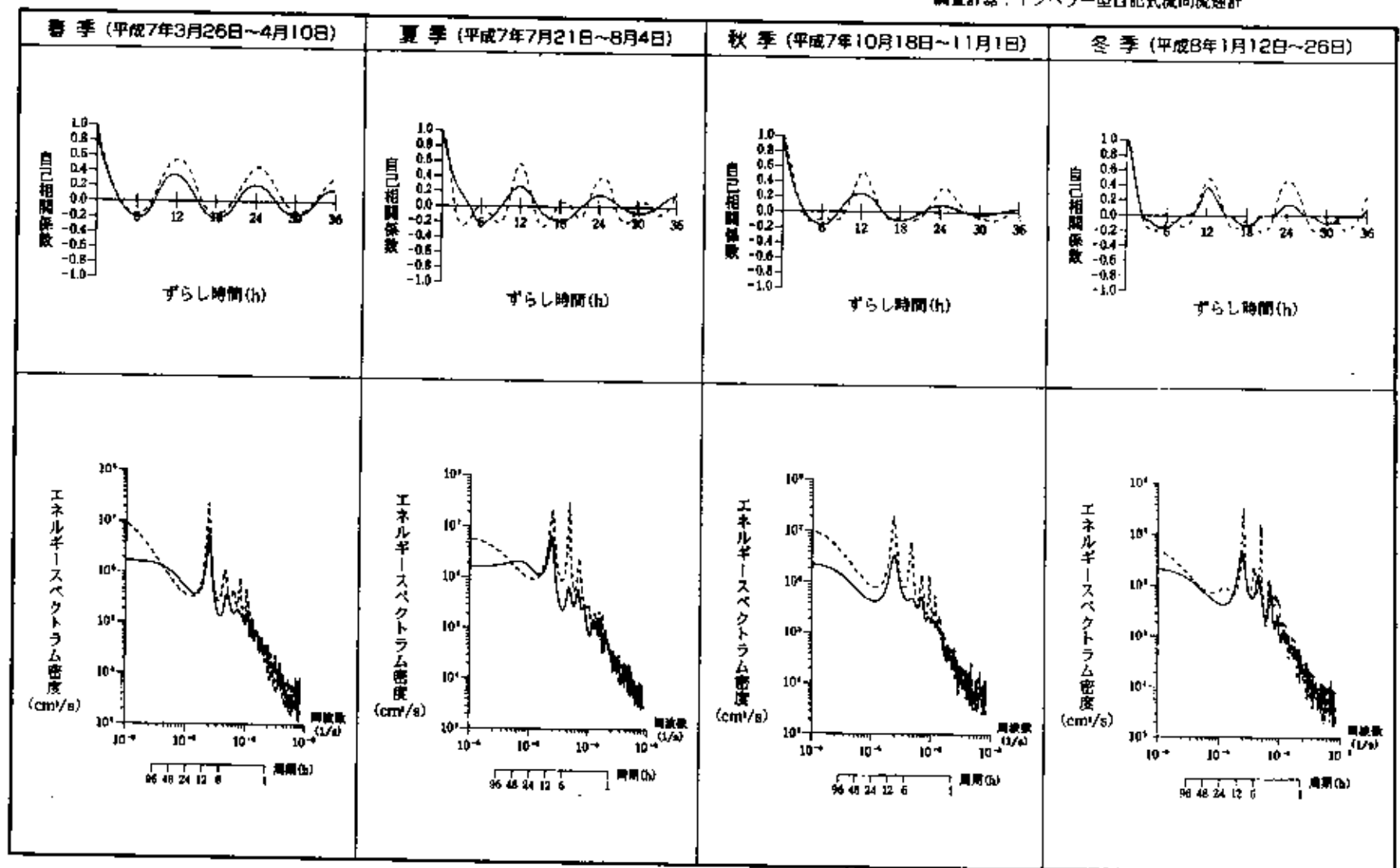
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計



凡 例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(5) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点5)

調査者: 中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層: 海面下3m  
調査計器: インベラー型自記式流向流速計

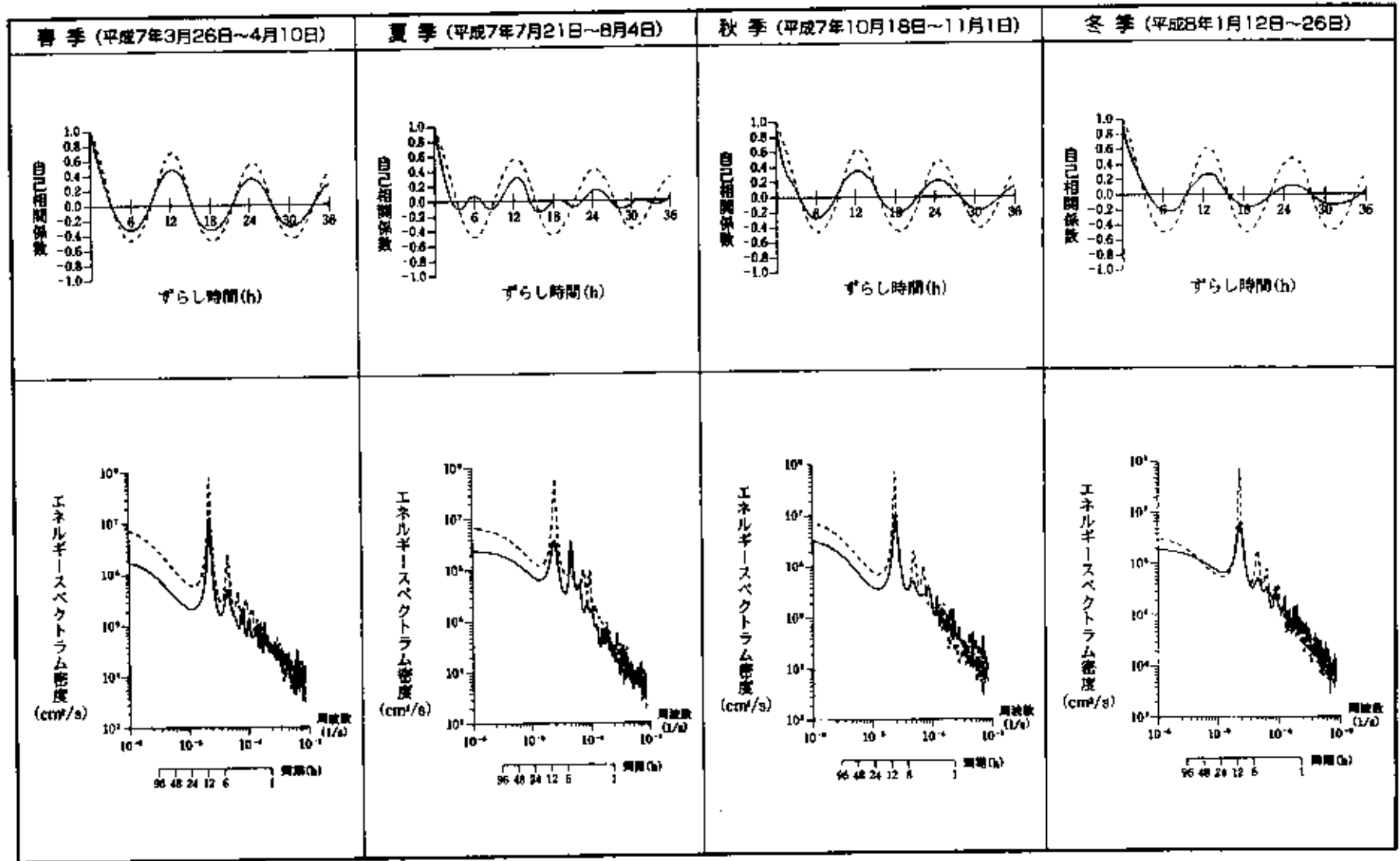


凡 例  
 —— 南北方向  
 ---- 東西方向



第2.1.1.2-6図(6) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点6)

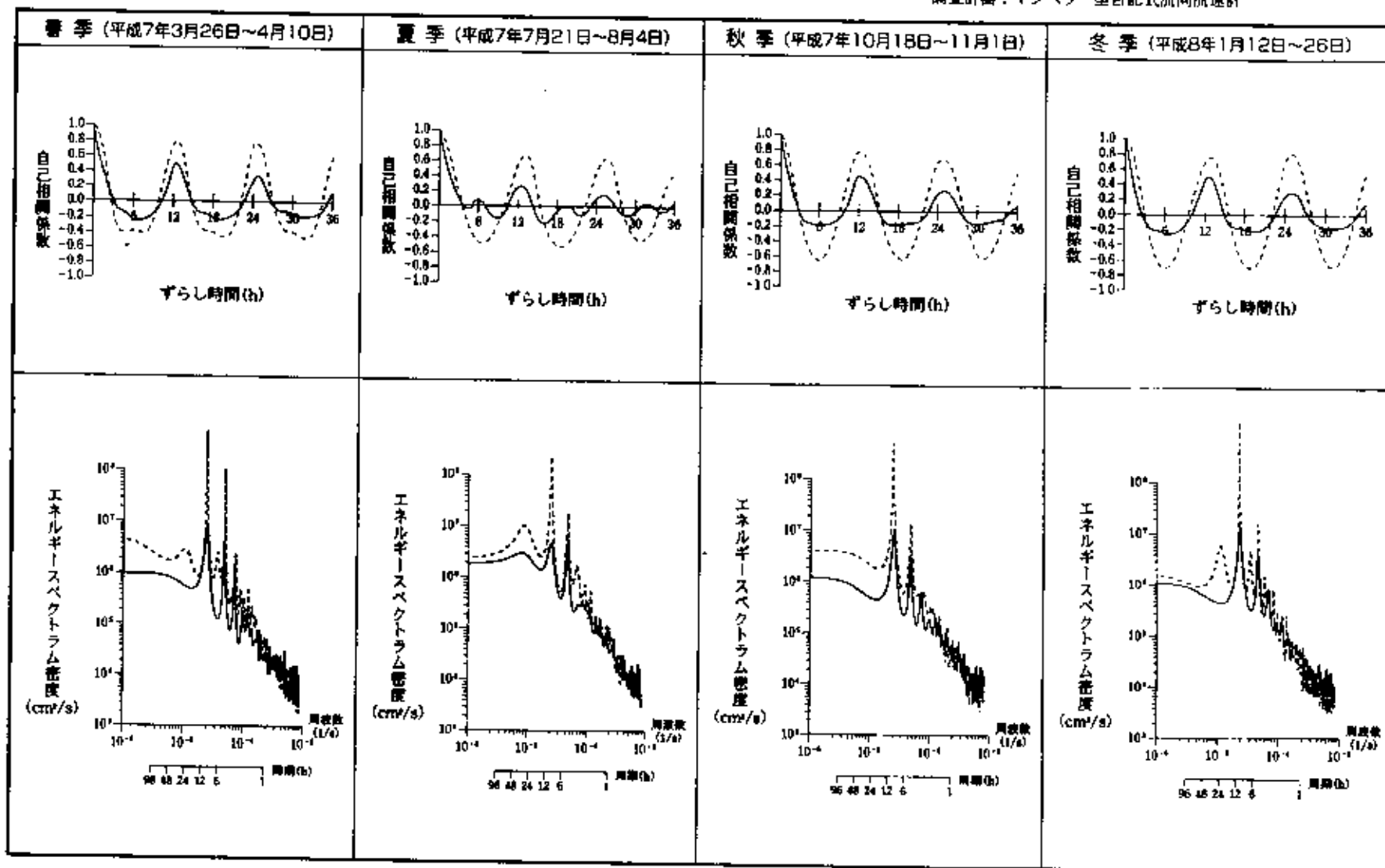
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インペラー型自記式流向流速計



凡例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(7) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点7)

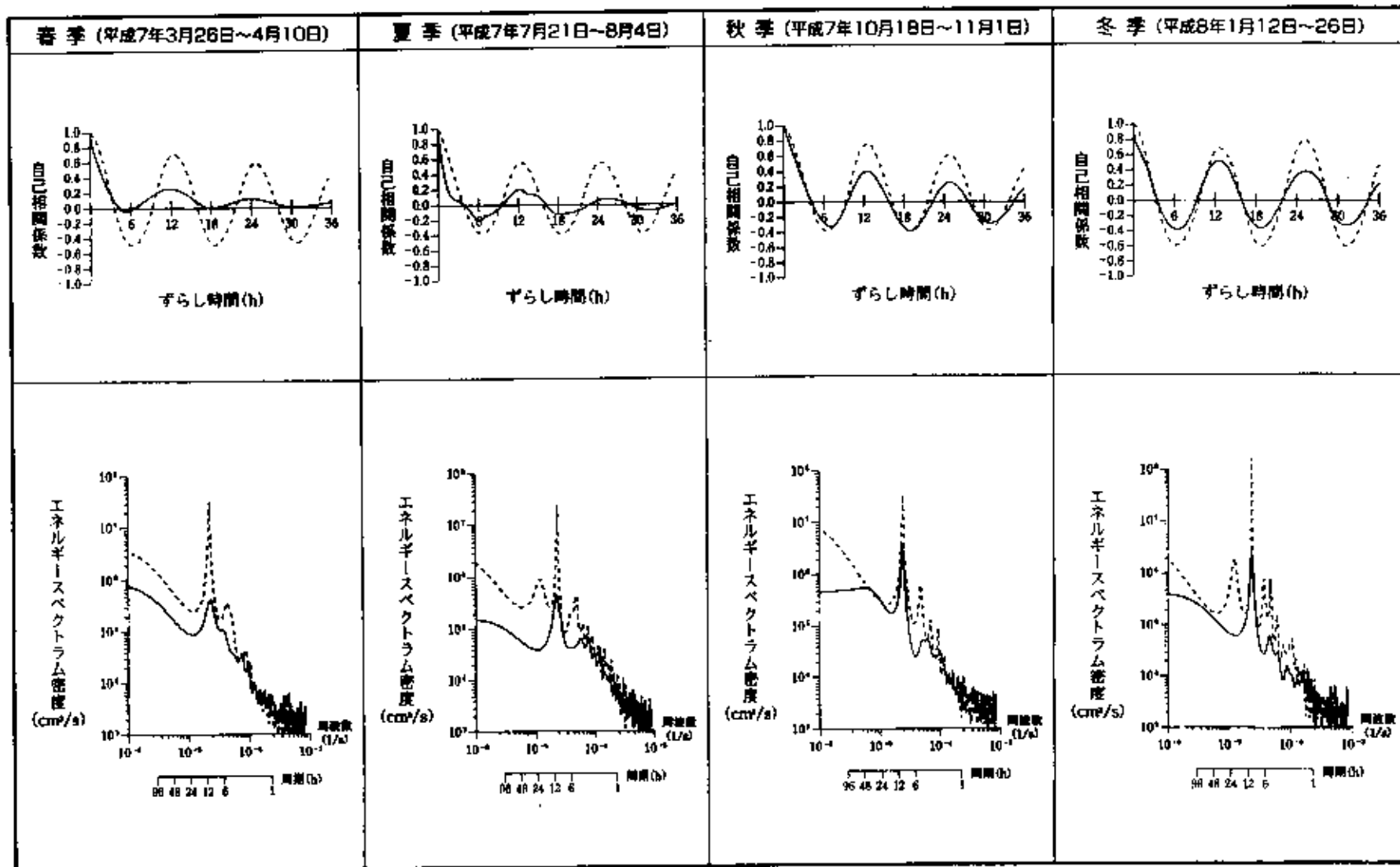
調査者: 中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層: 海底下3m  
調査計器: インベラー型自記式流向流速計



凡 例  
— 南北方向  
--- 東西方向

第2.1.1.2-6図(8) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点8)

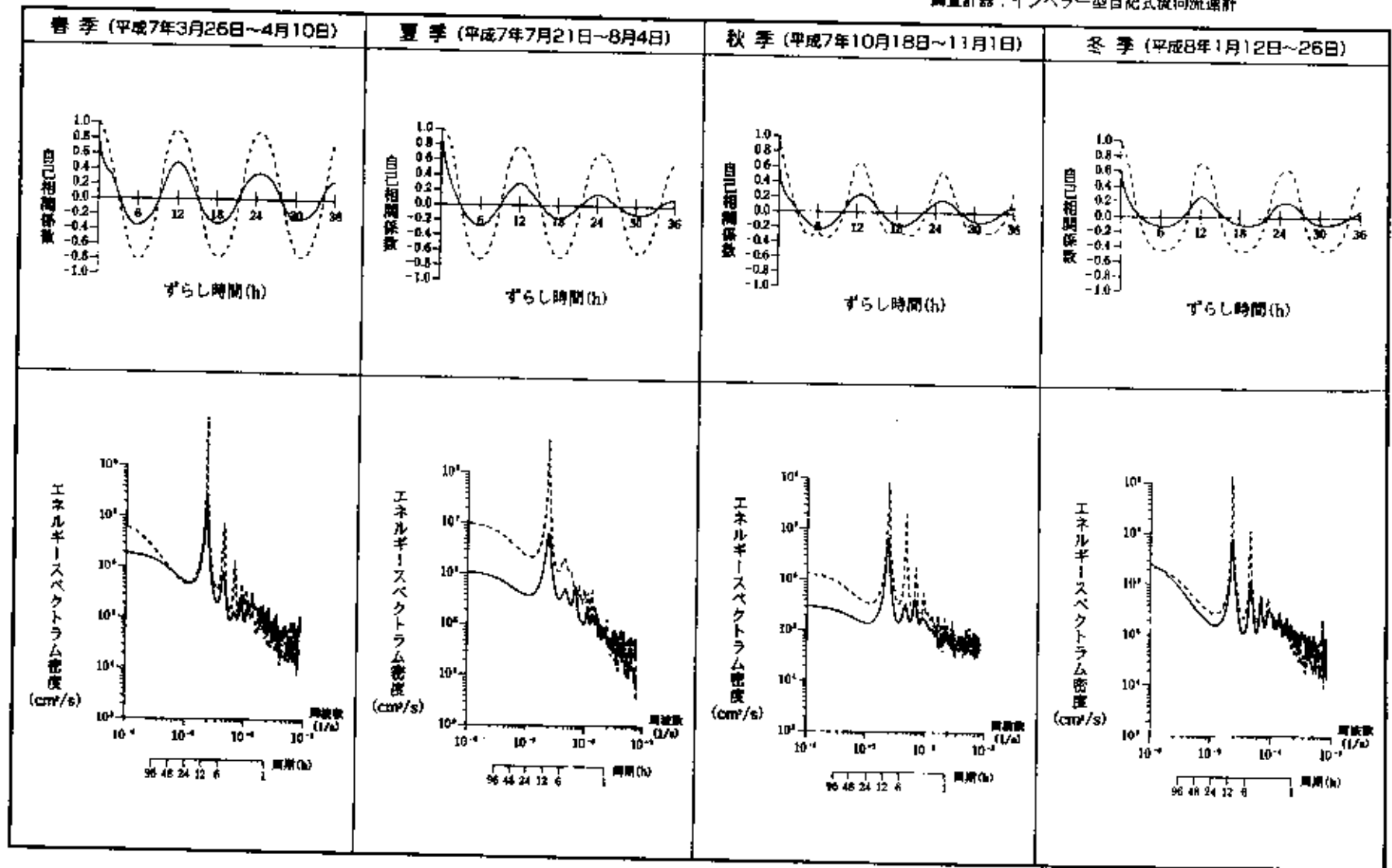
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計



凡例  
 —— 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(9) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点9)

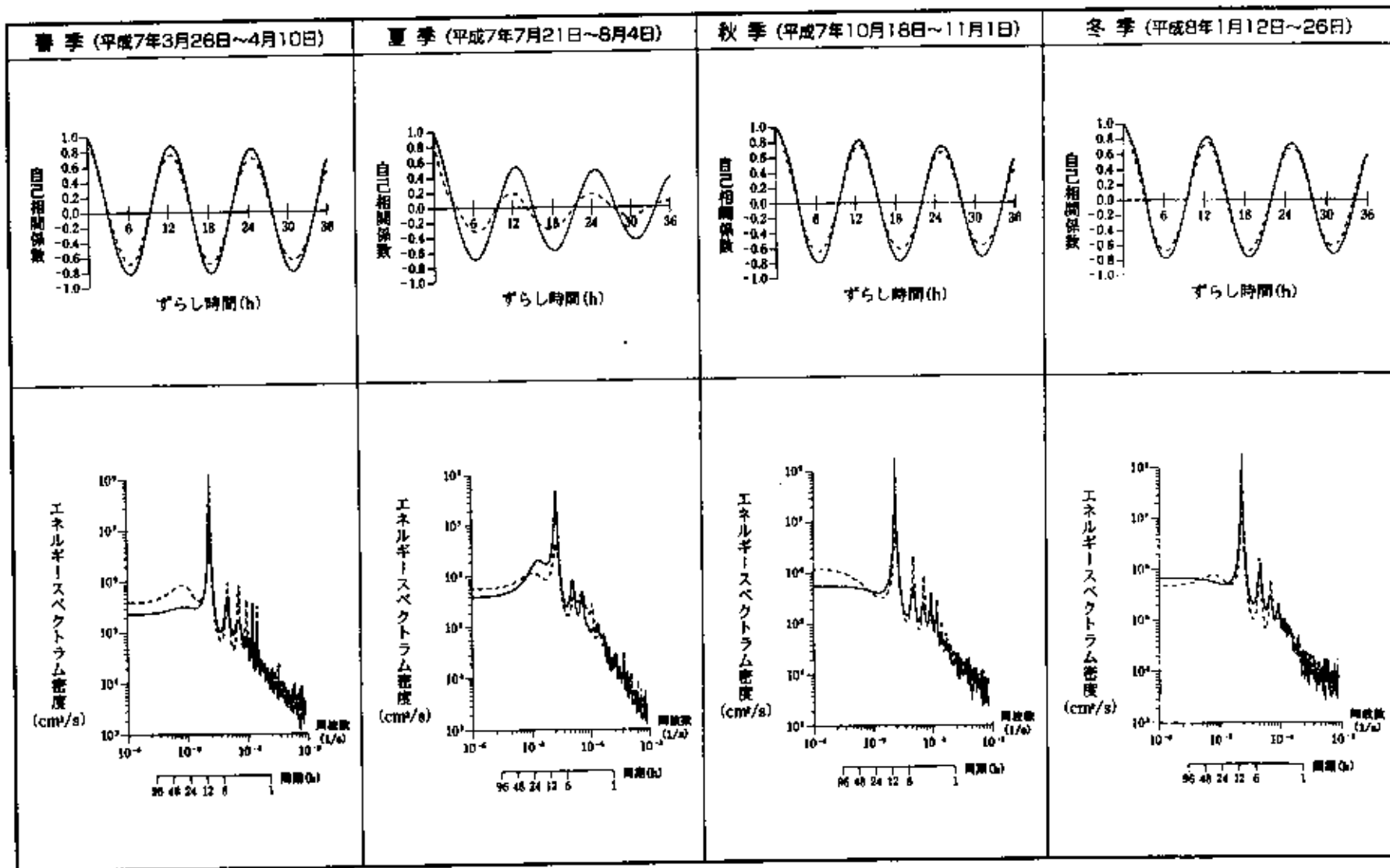
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計



凡 例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(10) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点10)

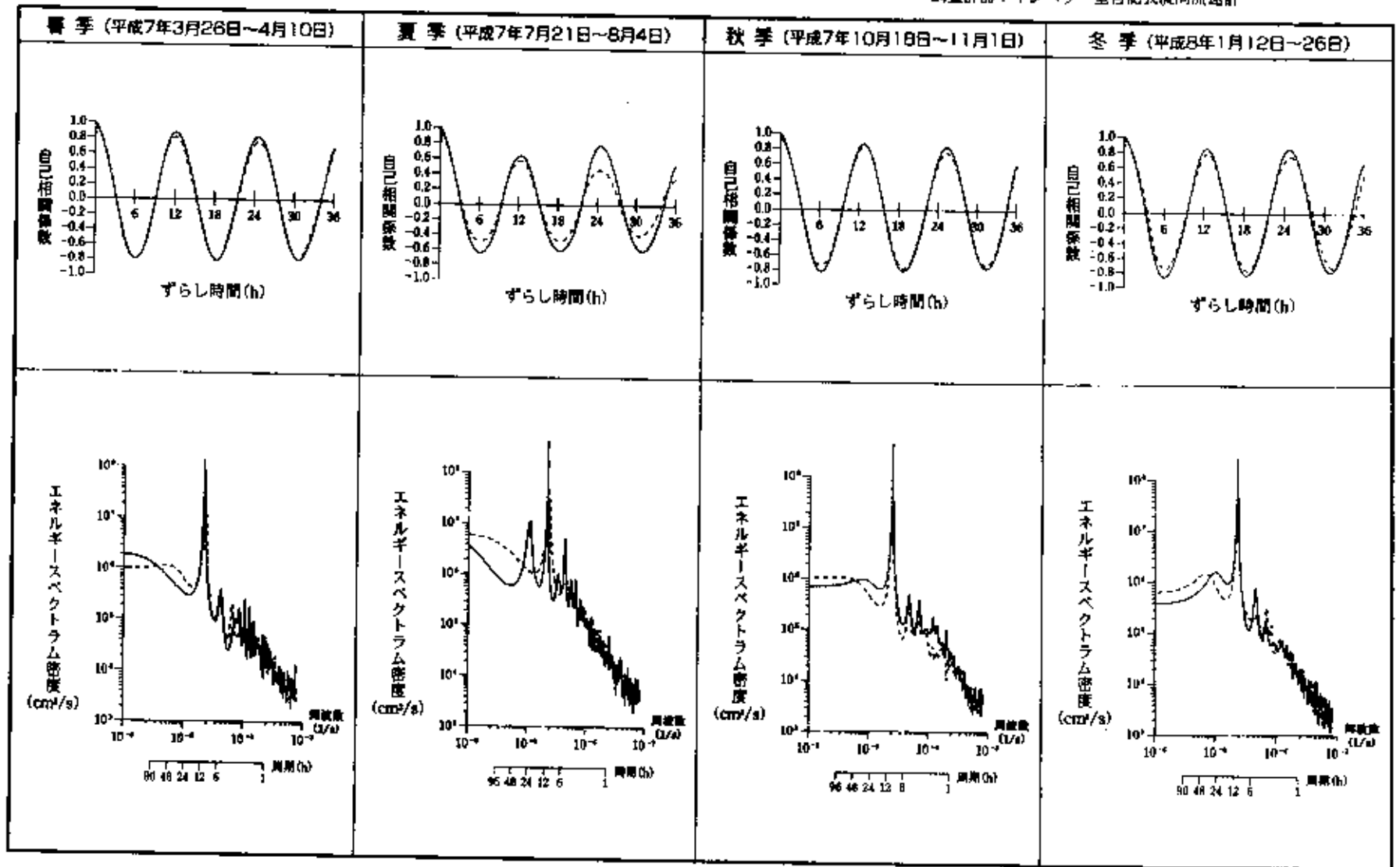
調査者: 中国電力(株) (中電技術コンサルタント(株)に委託)  
調査層: 海面下3m  
調査計器: インベラー型自記式流向流速計



凡例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(11) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点11)

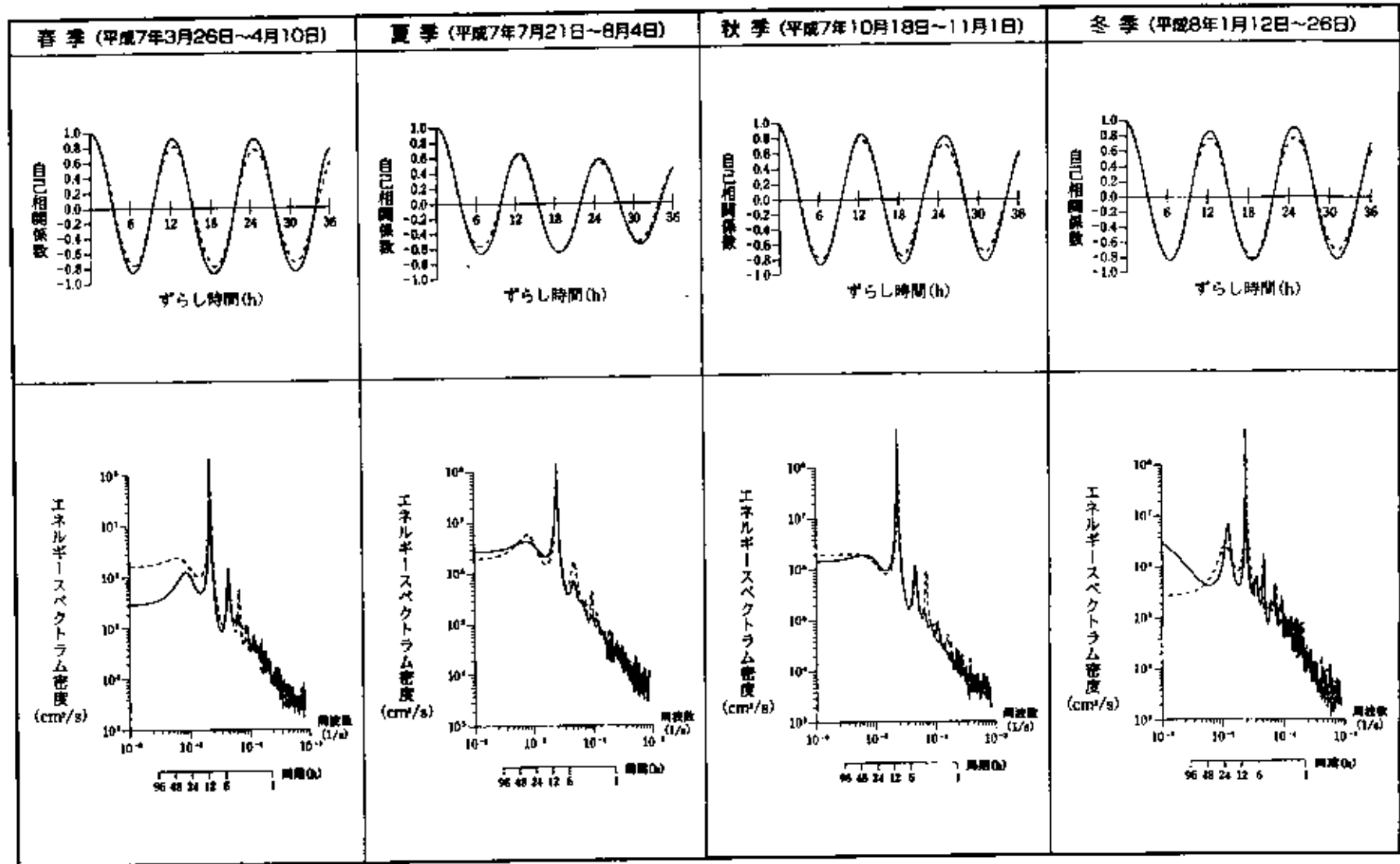
調査者：中国電力(株) 中電技術コンサルタント(株)に委託  
調査層：海面下3m  
調査計器：インペラー型自記式流向流速計



凡 例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(12) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点12)

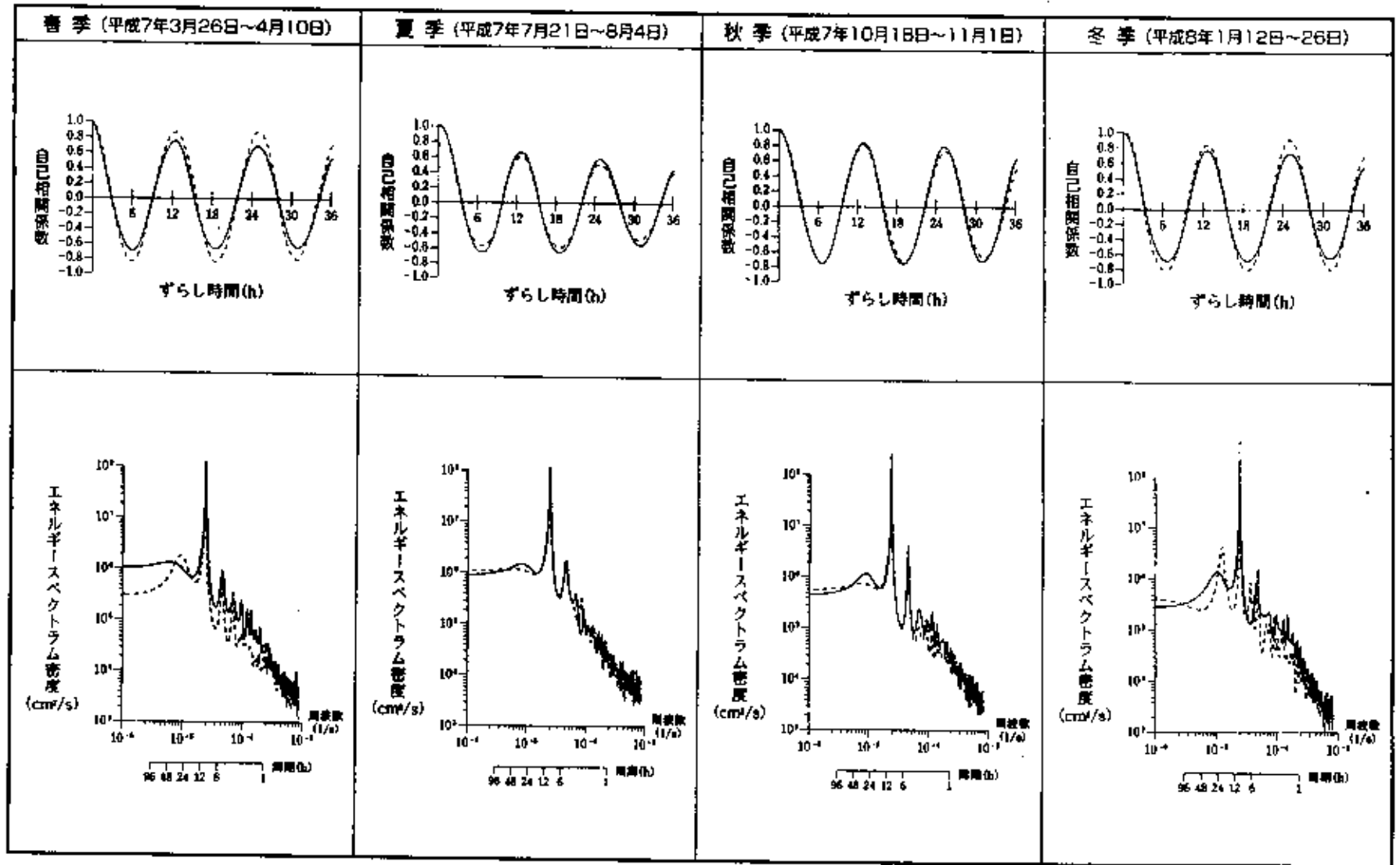
調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査種：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計



凡例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(13) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点13)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計

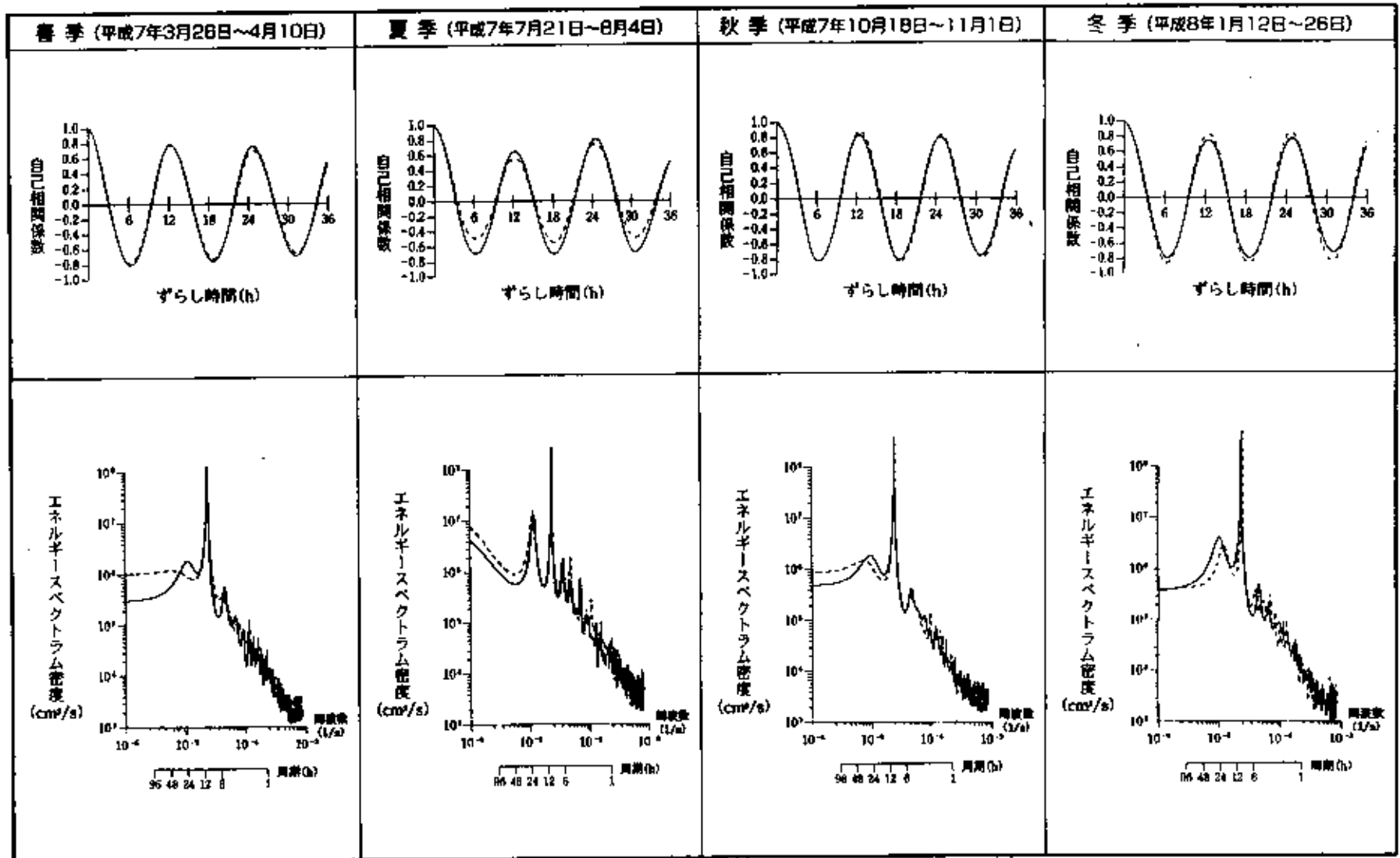


凡例  
—— 南北方向  
----- 東西方向



第2.1.1.2-6図(14) 流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点14)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インペラー型自記式流向流速計

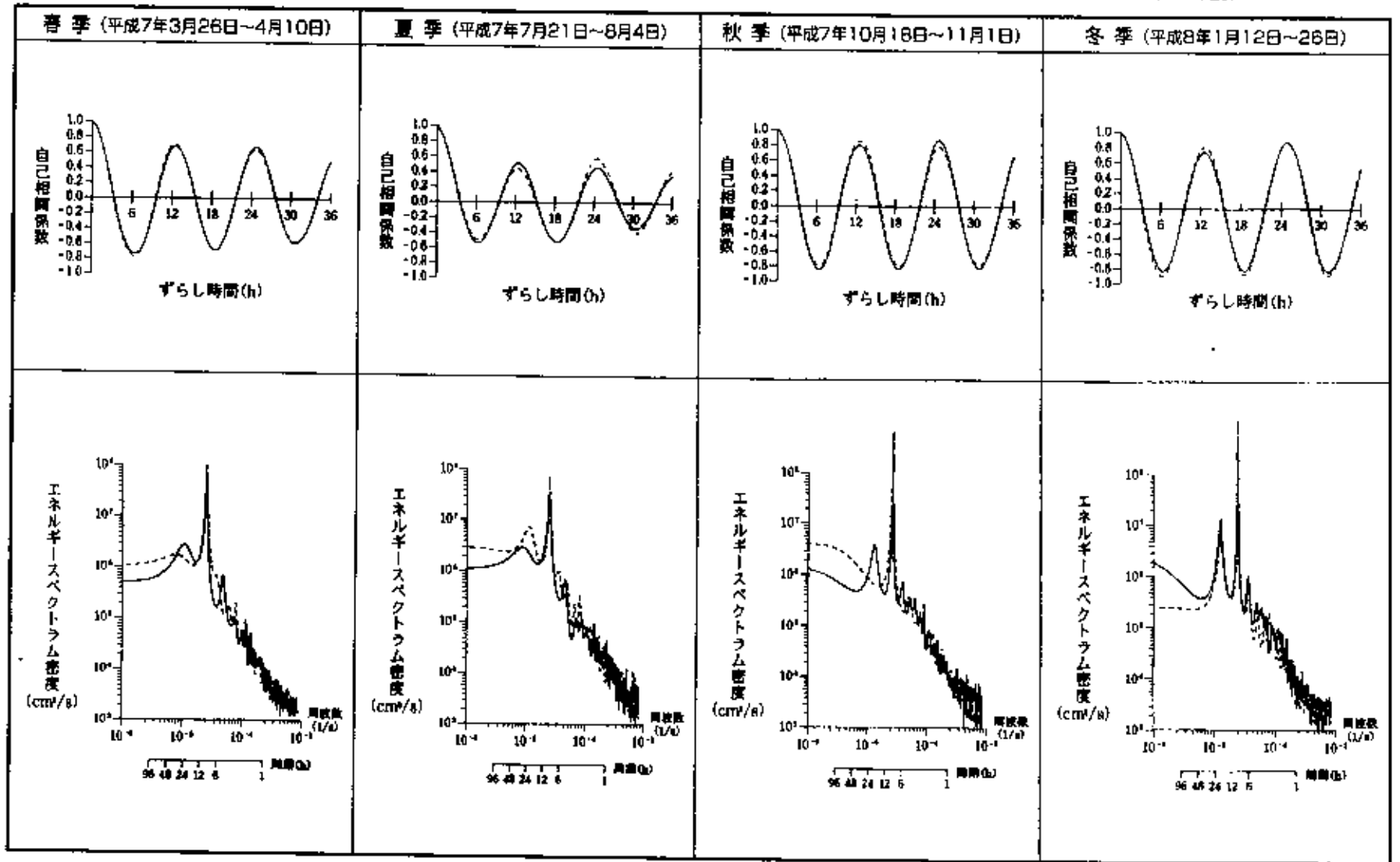


凡 例  
 --- 南北方向  
 - - - 東西方向

第 2.1.1.2 - 6 図 (15)

流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点15)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計

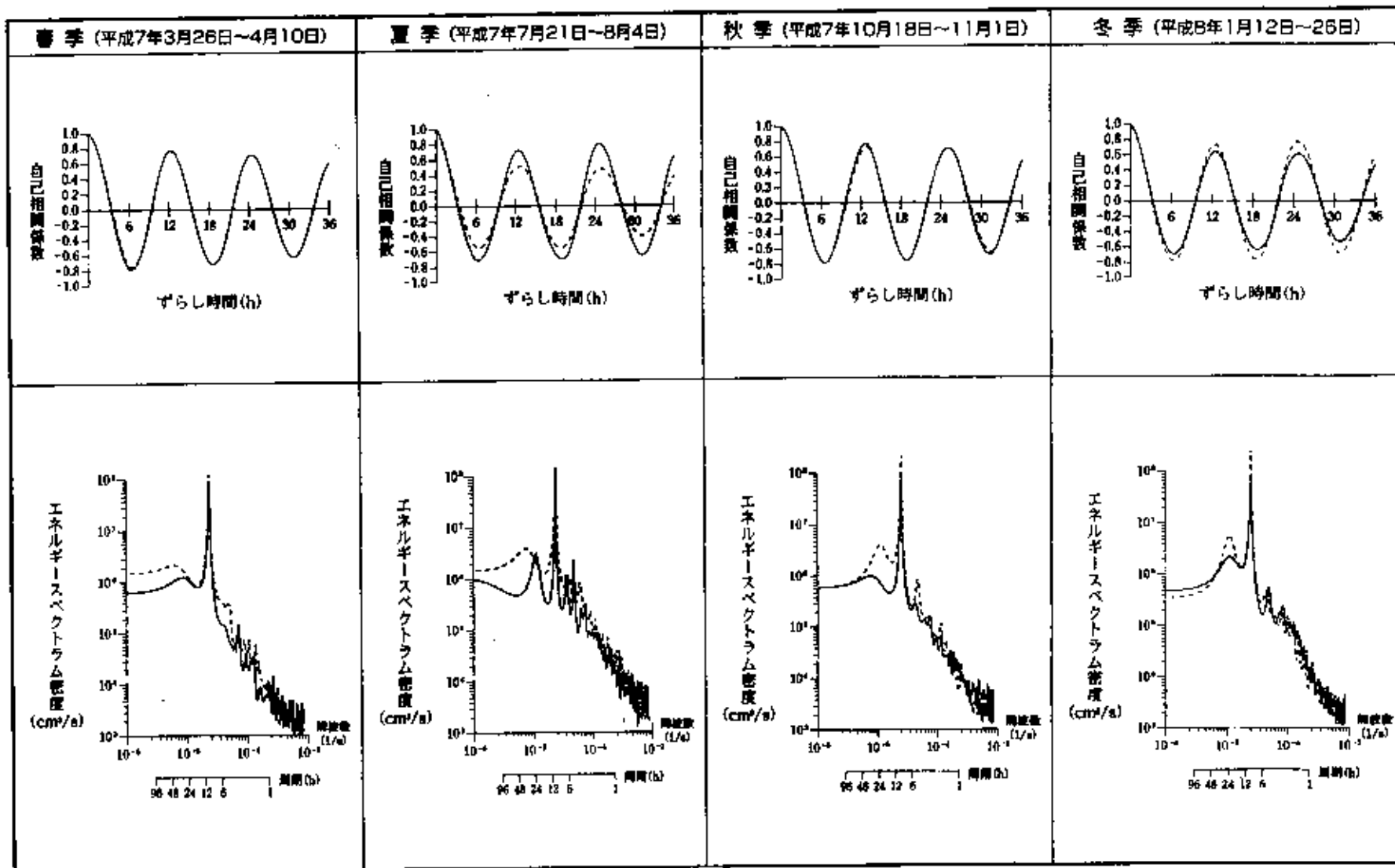


凡 例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(16)

流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点16)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計

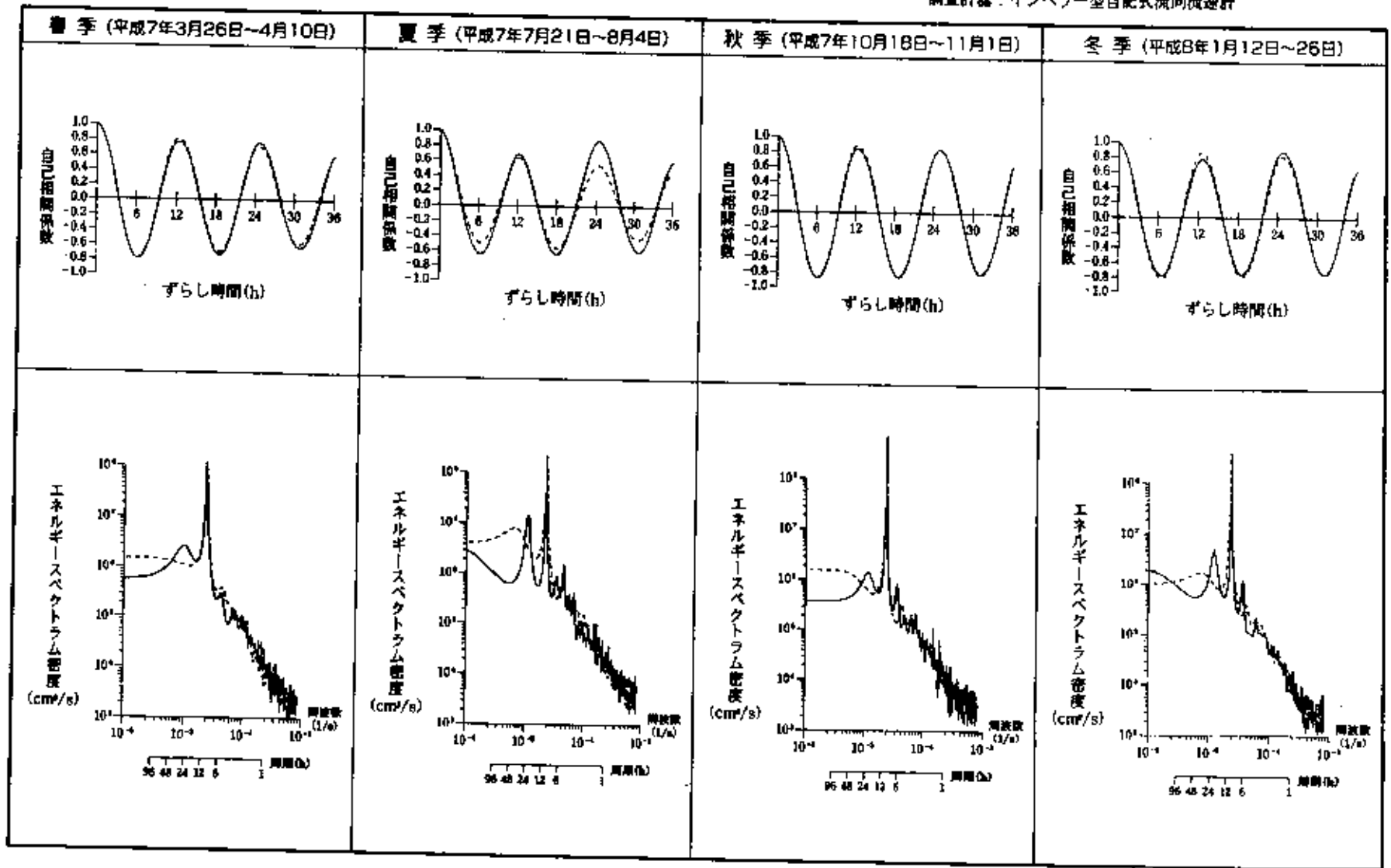


凡例  
— 南北方向  
- - - 東西方向

第2.1.1.2-6図(17)

流速変動の自己相関係数とエネルギースペクトラム  
(調査点17)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査層：海面下3m  
調査計器：インペラー型自記式流向流速計



凡例  
 — 南北方向  
 - - - 東西方向

第2.1.1.2-3表(1)

## 潮流の調和解析結果の概要 (春季)

調査者: 中国電力株式会社 [中電技術コンサルタント㈱に委託]

調査層: 海面下 3m

調査期間: 平成 7 年 3 月 26 日 ~ 4 月 10 日

調査点	M <sub>2</sub> 分潮					S <sub>2</sub> 分潮				
	長軸			短軸		長軸			短軸	
	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>
1	8.4	37.8	129.6	98.4	5.1	12.5	16.4	166.5	102.5	1.7
2	344.0	43.3	149.9	74.0	4.6	343.5	20.3	184.3	73.5	0.8
3	320.4	34.7	144.0	50.4	13.9	315.8	15.8	173.0	45.8	6.3
4	302.2	7.1	107.5	32.2	1.3	315.0	3.4	172.0	45.0	0.4
5	95.1	10.7	263.8	105.1	2.3	144.3	4.4	346.8	234.3	2.6
6	71.6	15.8	243.6	161.6	2.3	60.3	8.4	270.4	150.3	1.9
7	101.1	28.2	259.0	191.1	6.0	85.2	7.8	295.2	175.2	1.8
8	79.6	9.9	78.9	169.6	0.1	72.5	3.5	104.4	162.5	0.2
9	75.1	38.0	209.6	165.1	1.5	70.7	13.1	251.6	160.7	1.7
10	38.0	22.1	211.1	128.0	2.3	39.6	7.2	242.3	129.6	0.3
11	41.6	25.1	215.2	131.6	4.3	37.0	9.0	246.2	127.0	1.8
12	39.6	31.0	231.1	129.6	4.3	37.6	12.0	267.9	127.6	2.2
13	52.3	25.0	206.9	142.3	3.1	47.0	9.6	229.4	137.0	0.4
14	45.4	27.0	220.6	135.4	4.4	38.4	9.5	256.2	128.4	2.7
15	48.3	29.1	226.5	138.3	4.0	45.1	10.2	265.2	135.1	2.6
16	51.0	24.3	214.1	141.0	4.2	56.2	9.2	248.3	146.2	4.7
17	43.8	28.5	224.3	133.8	7.4	48.4	10.7	258.5	138.4	3.0

調査点	K <sub>1</sub> 分潮					O <sub>1</sub> 分潮					恒流成分	
	長軸			短軸		長軸			短軸		W <sub>0</sub>	$\theta_0$
	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>		
1	24.5	4.0	69.8	114.6	1.3	6.3	4.9	92.3	96.3	0.9	9.4	221.4
2	335.7	7.3	127.5	65.7	0.0	343.7	4.1	112.3	73.7	0.5	6.6	252.4
3	57.1	2.9	116.3	147.1	1.2	66.1	3.2	81.8	156.1	0.8	6.7	269.2
4	286.4	4.0	141.9	16.4	1.4	282.6	2.8	102.3	12.6	0.8	4.4	31.4
5	3.3	2.6	96.0	93.3	0.9	134.9	1.5	217.7	224.9	1.1	7.0	309.6
6	71.5	2.6	77.5	161.5	1.5	58.9	1.1	34.8	148.9	0.3	11.8	233.9
7	25.0	2.6	40.7	115.0	0.4	95.3	4.2	99.3	185.3	0.8	14.8	252.9
8	57.3	0.9	326.9	147.3	0.1	86.2	1.7	319.2	176.2	0.0	5.9	253.5
9	171.9	3.2	180.5	261.9	2.7	38.9	3.4	52.6	128.9	0.9	15.4	261.2
10	55.9	3.2	96.0	145.9	0.2	60.7	3.1	56.8	150.7	0.1	4.0	290.3
11	71.5	3.3	105.4	161.5	1.2	48.2	2.4	58.8	138.2	0.3	6.9	218.4
12	65.9	7.0	109.4	155.9	0.4	32.2	2.5	90.7	122.2	0.3	7.3	226.5
13	51.7	5.8	78.5	141.7	2.9	63.3	2.8	69.4	153.3	0.1	3.4	232.1
14	37.9	5.6	99.3	127.9	0.3	27.3	2.4	97.0	117.3	1.5	6.2	241.5
15	39.1	6.5	96.2	129.1	0.4	45.9	2.3	95.1	135.9	0.5	8.1	236.7
16	42.6	4.7	104.8	132.6	3.1	48.4	2.6	101.1	138.4	0.5	3.6	284.9
17	36.5	5.6	100.7	126.5	1.6	65.3	2.6	37.3	155.3	0.9	9.5	241.7

注: 1.  $\theta_1, \theta_2$ : それぞれ潮流楕円の長軸, 短軸の方向を示す角度で, 北方軸より時計方向の角度を示す。(度)2.  $w_1, w_2$ : それぞれ最大流速, 最小流速を示す。(cm/s)  $\alpha$ : 遅れ角(度)3.  $w_0$ : 恒流流速 (cm/s)4.  $\theta_0$ : 恒流の方向を示す角度で, 北方軸より時計方向の角度を示す。(度)

第2.1.1.2-3表(2)

## 潮流の調和解析結果の概要(夏季)

調査者: 中国電力株式会社 [中電技術コンサルタント㈱に委託]

調査層: 海面下 3m

調査期間: 平成7年7月21日~8月4日

調査点	$M_2$ 分潮					$S_2$ 分潮				
	長軸			短軸		長軸			短軸	
	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$
1	13.9	28.4	133.9	103.9	0.4	13.2	13.2	147.1	103.2	0.5
2	0.0	34.3	141.0	90.0	12.6	6.6	12.5	166.7	96.6	4.0
3	328.9	27.0	134.6	58.9	11.3	282.7	11.4	120.1	12.7	8.5
4	67.9	8.8	295.0	157.9	6.3	50.7	4.3	321.0	140.7	0.5
5	73.7	14.1	219.2	163.7	5.4	59.7	6.1	247.5	149.7	0.3
6	77.8	16.7	242.5	167.8	2.2	67.9	8.7	280.7	157.9	1.1
7	91.9	25.7	253.8	181.9	5.6	74.4	14.8	299.4	164.4	1.3
8	75.4	6.8	93.1	166.4	0.0	71.0	3.2	96.3	161.0	0.3
9	80.7	34.7	216.5	170.7	0.7	73.0	12.9	253.2	163.0	0.1
10	24.7	15.8	185.8	114.7	2.0	18.6	4.6	189.7	108.6	0.4
11	41.1	24.6	212.8	131.1	2.3	31.9	8.2	235.7	121.9	1.5
12	44.2	30.2	224.7	134.2	1.1	45.3	13.0	254.8	135.3	1.2
13	43.5	23.8	200.7	133.5	1.7	46.5	5.6	203.8	136.5	1.6
14	41.1	26.4	218.0	131.1	1.6	46.6	10.3	247.8	136.6	1.7
15	46.4	26.0	216.4	136.4	3.5	46.7	10.9	245.3	136.7	2.3
16	45.7	24.1	204.6	135.7	4.2	33.3	7.4	206.8	123.3	1.4
17	45.0	27.3	217.3	135.0	3.8	40.1	10.8	240.7	130.1	1.2

調査点	$K_1$ 分潮					$O_1$ 分潮					恒流成分	
	長軸			短軸		長軸			短軸		$W_0$	$\theta_0$
	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$		
1	359.4	6.5	125.5	89.4	1.3	34.0	2.6	139.2	124.0	0.6	10.0	207.3
2	2.2	8.6	131.9	92.2	1.3	9.9	6.4	80.4	99.9	2.1	7.4	201.3
3	23.4	7.1	143.6	113.4	2.1	55.1	6.7	88.2	145.1	2.4	2.0	13.8
4	274.5	3.7	151.0	4.5	0.2	23.8	4.1	26.3	113.8	1.8	8.5	37.9
5	37.9	2.7	130.4	127.9	0.1	12.7	4.4	49.7	102.7	3.0	3.1	24.2
6	62.8	3.1	164.4	152.8	0.5	141.4	2.1	198.0	231.4	0.7	3.4	199.1
7	73.0	5.3	200.9	163.0	2.7	90.5	11.1	125.0	180.5	4.4	1.7	281.5
8	80.5	1.7	327.8	170.5	0.1	102.0	0.8	246.7	192.0	0.1	6.4	256.1
9	69.8	4.5	129.4	159.8	0.9	95.4	3.3	112.1	185.4	1.0	8.7	284.5
10	29.3	5.1	105.4	119.3	1.8	17.5	3.6	44.0	107.5	1.1	2.6	332.7
11	8.3	6.3	98.8	98.3	1.9	5.7	4.7	47.5	95.7	2.8	4.3	202.7
12	41.8	7.6	125.9	131.8	2.8	40.7	5.0	100.2	130.7	1.5	3.8	212.8
13	32.8	4.9	111.2	122.8	0.4	43.6	3.7	54.6	133.6	1.2	2.0	325.9
14	33.2	7.2	141.3	123.2	4.0	29.0	5.7	99.2	119.0	2.0	3.1	266.0
15	56.2	5.5	163.3	146.2	2.4	35.9	7.7	124.3	125.9	1.7	3.2	267.5
16	49.9	5.6	120.1	139.9	0.2	25.8	3.8	88.3	115.8	1.8	4.9	354.9
17	44.0	7.6	165.4	134.0	3.4	40.9	8.2	121.4	130.9	1.7	5.1	265.8

注: 表中の記号は、第2.1.1.2-3表(1)の注に示す。

第2.1.1.2-3表(3)

## 潮流の調和解析結果の概要 (秋季)

調査者：中国電力㈱ [中電技術コンサルタント㈱に委託]

調査層：海面下 3m

調査期間：平成 7 年 10 月 18 日～11 月 1 日

調査点	M <sub>2</sub> 分潮					S <sub>2</sub> 分潮				
	長軸			短軸		長軸			短軸	
	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>
1	2.9	30.4	134.5	92.9	2.2	354.5	14.8	137.1	84.5	2.0
2	336.5	33.2	143.6	65.5	8.5	343.9	12.0	161.4	73.9	2.4
3	307.4	25.8	123.2	37.4	12.8	291.1	15.4	114.8	21.1	7.6
4	39.6	5.6	342.3	129.6	2.4	22.4	1.7	327.4	112.4	1.2
5	82.3	12.1	244.2	172.3	2.3	160.8	3.8	347.0	250.8	1.2
6	70.9	15.0	236.3	160.9	1.6	53.3	6.6	247.3	143.3	2.5
7	98.6	29.6	256.2	188.6	7.6	73.4	9.1	262.8	163.4	1.8
8	70.1	9.2	92.6	160.1	0.6	66.7	5.8	107.8	156.7	0.8
9	71.0	17.1	206.6	161.0	0.3	167.5	2.5	356.6	257.5	1.8
10	35.6	19.4	208.9	125.6	5.1	36.8	6.4	222.7	126.8	1.7
11	37.2	23.4	216.3	127.2	1.6	32.5	8.8	226.6	122.5	1.1
12	38.4	29.5	228.7	128.4	2.3	36.8	11.5	252.3	126.8	2.0
13	38.1	22.0	208.7	128.1	1.9	36.0	9.3	209.3	126.0	1.2
14	45.7	26.0	218.5	135.7	3.9	42.3	9.5	236.9	132.3	3.1
15	45.5	27.0	222.5	135.5	4.0	42.6	10.6	246.3	132.6	2.9
16	55.1	22.4	217.5	146.1	6.4	61.9	9.3	231.5	151.9	3.9
17	44.8	27.3	219.5	134.8	5.2	48.6	10.1	244.0	138.6	3.0

調査点	K <sub>1</sub> 分潮					O <sub>1</sub> 分潮					恒流成分	
	長軸			短軸		長軸			短軸		W <sub>0</sub>	$\theta_0$
	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>	$\theta_1$	W <sub>1</sub>	$\alpha$	$\theta_2$	W <sub>2</sub>		
1	7.1	6.0	86.9	97.1	0.0	17.2	5.9	122.0	107.2	0.1	9.9	186.9
2	352.0	5.4	132.2	82.0	0.3	2.4	6.4	145.0	92.4	1.2	7.1	250.5
3	81.6	2.4	145.1	171.6	0.8	23.3	7.1	184.2	113.3	1.6	4.8	298.8
4	45.5	1.7	332.1	135.5	0.8	50.7	3.7	6.1	140.7	0.0	7.4	54.6
5	150.8	2.7	240.2	240.8	0.1	129.3	1.9	190.0	219.3	0.9	6.3	321.8
6	83.6	3.5	96.9	173.5	1.0	113.2	2.2	77.3	203.2	0.4	9.9	231.2
7	42.7	1.9	93.6	132.7	0.6	104.1	4.5	185.5	194.1	0.4	11.8	248.6
8	47.8	3.2	297.1	137.8	0.6	6.3	1.5	5.5	96.3	0.2	9.0	240.1
9	76.8	1.8	116.2	166.8	0.4	117.7	1.1	109.2	207.7	0.1	3.4	90.7
10	43.4	2.7	123.4	133.4	0.0	38.2	3.4	66.5	128.2	1.0	1.3	275.9
11	34.7	4.0	110.5	124.7	0.2	44.2	2.5	77.7	134.2	1.2	6.6	216.2
12	41.6	5.4	117.6	131.6	0.4	43.5	4.6	117.1	139.5	1.7	4.6	229.1
13	42.6	4.1	109.9	132.6	0.2	43.7	2.9	65.2	133.7	0.6	4.6	245.9
14	39.5	5.6	114.2	129.5	0.0	35.0	4.7	112.1	125.0	0.9	5.0	243.7
15	40.1	5.6	106.1	130.1	0.0	29.0	4.3	116.9	119.0	1.2	4.4	236.6
16	71.4	7.8	130.5	161.4	1.1	54.9	4.1	121.6	144.9	1.8	4.4	294.2
17	44.4	4.5	94.5	134.4	0.9	42.2	3.4	117.3	132.2	1.1	5.4	244.4

注：表中の記号は、第2.1.1.2-3表(1)の注に示す。

第2.1.1.2-3表(4)

## 潮流の調和解析結果の概要 (冬季)

調査者: 中国電力㈱ [中電技術コンサルタント㈱に委託]

調査層: 海面下 3m

調査期間: 平成 8年 1月 12日~28日

調査点	M <sub>2</sub> 分潮					S <sub>2</sub> 分潮				
	長軸			短軸		長軸			短軸	
	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$
1	4.1	38.0	156.5	94.1	6.1	3.1	19.5	182.6	93.1	6.7
2	330.0	28.1	132.1	60.0	8.7	323.2	6.8	205.4	53.2	1.4
3	315.4	31.9	131.3	45.4	12.2	334.7	13.7	185.0	64.7	8.3
4	293.0	4.0	46.5	23.0	1.4	289.9	2.9	140.8	19.9	0.6
5	52.8	6.3	222.4	142.8	3.8	106.7	5.8	316.3	196.7	2.7
6	74.3	13.0	234.4	164.3	1.4	49.4	5.8	277.9	139.4	0.7
7	105.5	22.6	249.0	195.5	4.9	93.8	12.2	292.5	183.8	4.2
8	70.8	10.5	80.9	160.8	0.3	76.3	4.6	113.4	166.3	0.4
9	68.5	13.8	204.3	158.5	0.8	71.8	5.9	249.9	161.8	0.5
10	34.6	21.1	206.3	124.6	1.4	42.3	7.6	246.2	132.3	1.0
11	33.7	22.9	215.7	123.7	2.4	31.6	9.5	245.0	121.6	1.0
12	31.6	25.5	220.9	121.6	1.5	40.6	11.8	266.3	130.6	2.7
13	49.8	21.9	203.5	139.8	3.4	53.2	8.5	236.3	143.2	1.4
14	46.0	24.7	215.5	135.0	4.9	53.2	10.1	257.9	143.2	1.6
15	42.0	24.8	217.5	132.0	4.8	45.0	11.8	261.8	135.0	2.9
16	54.8	20.7	210.7	144.8	7.1	65.5	8.5	251.3	155.5	2.6
17	45.3	24.3	216.7	136.3	5.5	50.9	10.8	258.1	140.9	1.8

調査点	K <sub>1</sub> 分潮					O <sub>1</sub> 分潮					恒流成分	
	長軸			短軸		長軸			短軸			
	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$	$\theta_1$	$W_1$	$\alpha$	$\theta_2$	$W_2$	$W_0$	$\theta_0$
1	346.4	8.9	100.5	76.4	1.5	353.5	5.6	68.3	83.5	0.2	3.5	269.0
2	3.0	6.0	88.9	93.0	2.4	38.5	5.6	137.4	128.5	3.4	8.3	289.7
3	49.3	5.0	139.6	139.3	0.2	81.8	4.0	75.2	171.8	2.7	4.2	268.3
4	304.5	3.0	155.2	34.5	0.4	290.9	1.9	134.0	20.9	0.4	6.2	343.5
5	121.3	2.5	199.8	211.3	1.9	110.1	2.9	136.2	200.1	0.1	7.2	312.0
6	0.8	1.4	194.7	90.8	0.2	79.7	3.9	121.7	169.7	0.8	10.1	231.6
7	116.3	4.4	178.3	206.3	1.1	99.2	5.5	138.0	189.2	0.8	15.6	248.9
8	71.7	2.8	311.2	161.7	0.0	67.9	1.5	255.5	157.9	0.2	6.7	244.9
9	59.9	1.9	145.7	149.9	0.2	51.0	1.5	126.6	141.0	0.1	1.2	124.7
10	44.2	3.1	104.2	134.2	0.1	85.7	2.1	82.8	175.7	0.3	3.9	304.6
11	31.3	5.2	114.1	121.3	0.3	41.6	2.3	109.0	131.6	0.8	7.8	226.4
12	37.6	6.3	127.9	127.6	1.0	56.3	4.2	106.6	146.3	1.4	5.8	224.8
13	47.0	4.7	108.6	137.0	0.7	75.5	3.5	104.0	165.5	1.7	5.0	237.2
14	39.3	6.6	125.4	129.3	0.5	30.4	4.8	83.3	120.4	1.6	6.0	238.1
15	37.4	7.2	124.8	127.4	1.2	19.6	3.4	94.9	109.6	2.0	4.4	239.8
16	48.6	6.9	121.0	138.6	1.3	62.0	6.6	91.1	152.0	1.1	4.3	275.7
17	36.1	6.6	117.7	126.1	0.9	42.4	3.2	108.5	132.4	2.1	5.2	238.8

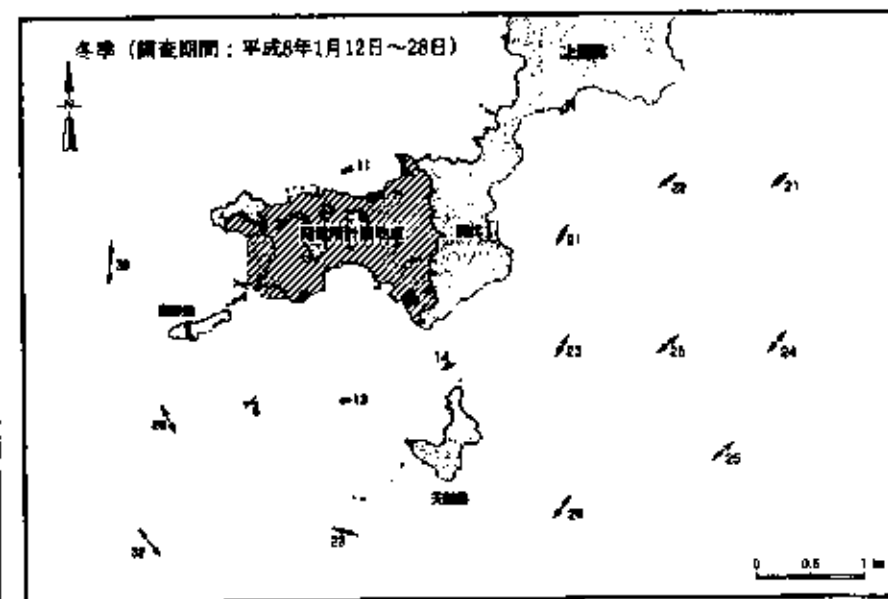
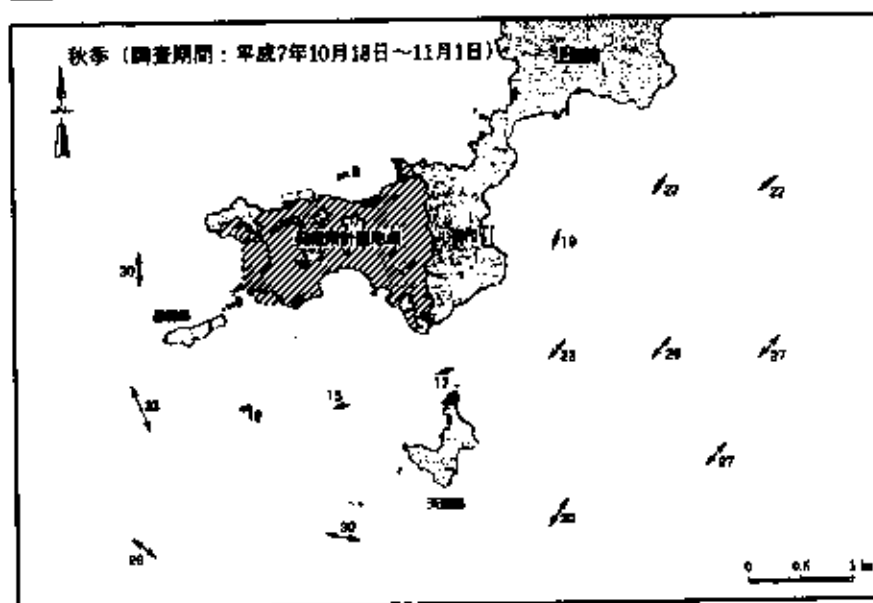
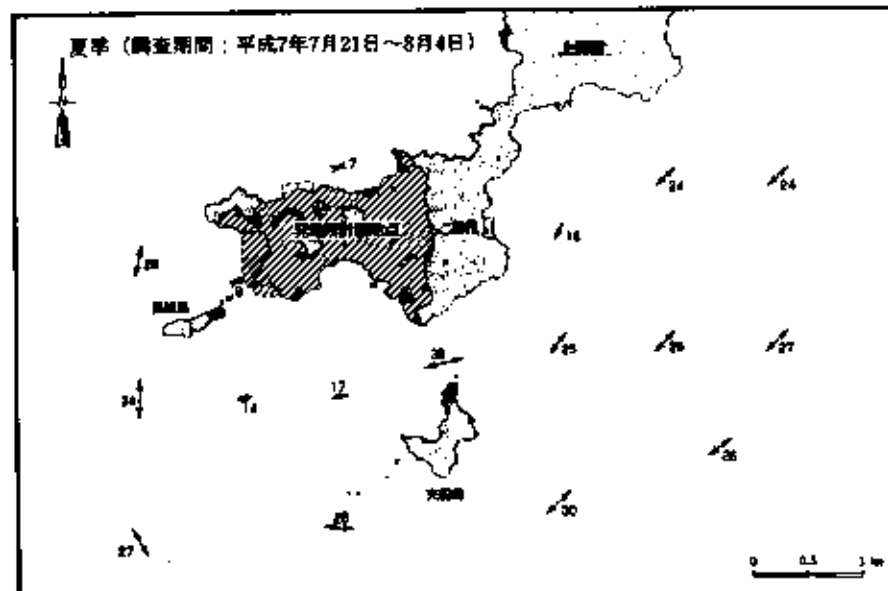
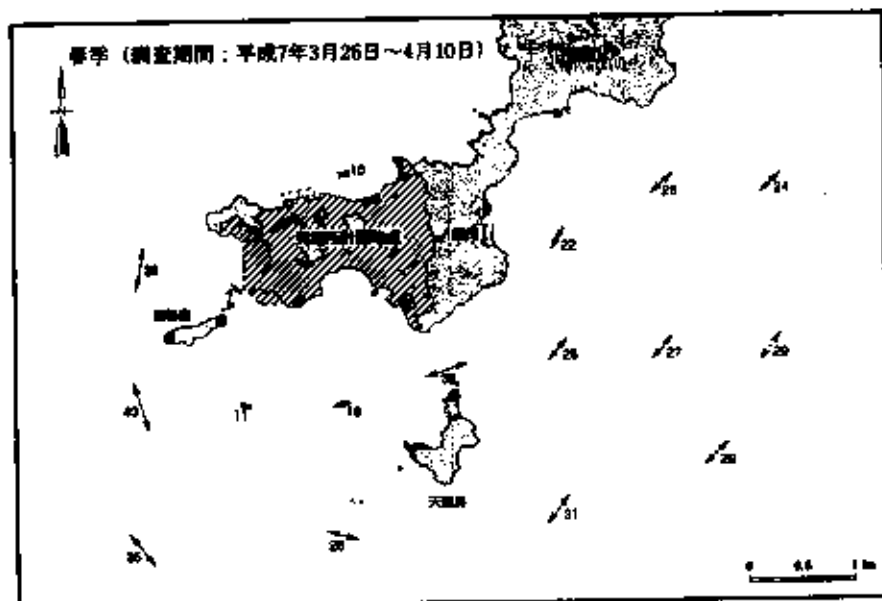
注: 表中の記号は、第2.1.1.2-3表(1)の注に示す。



第2.1.1.2-7図

M<sub>2</sub>分潮の潮流楕円長軸方向ベクトル  
(海面下3m)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査計器：インペラー型自記式流向流速計

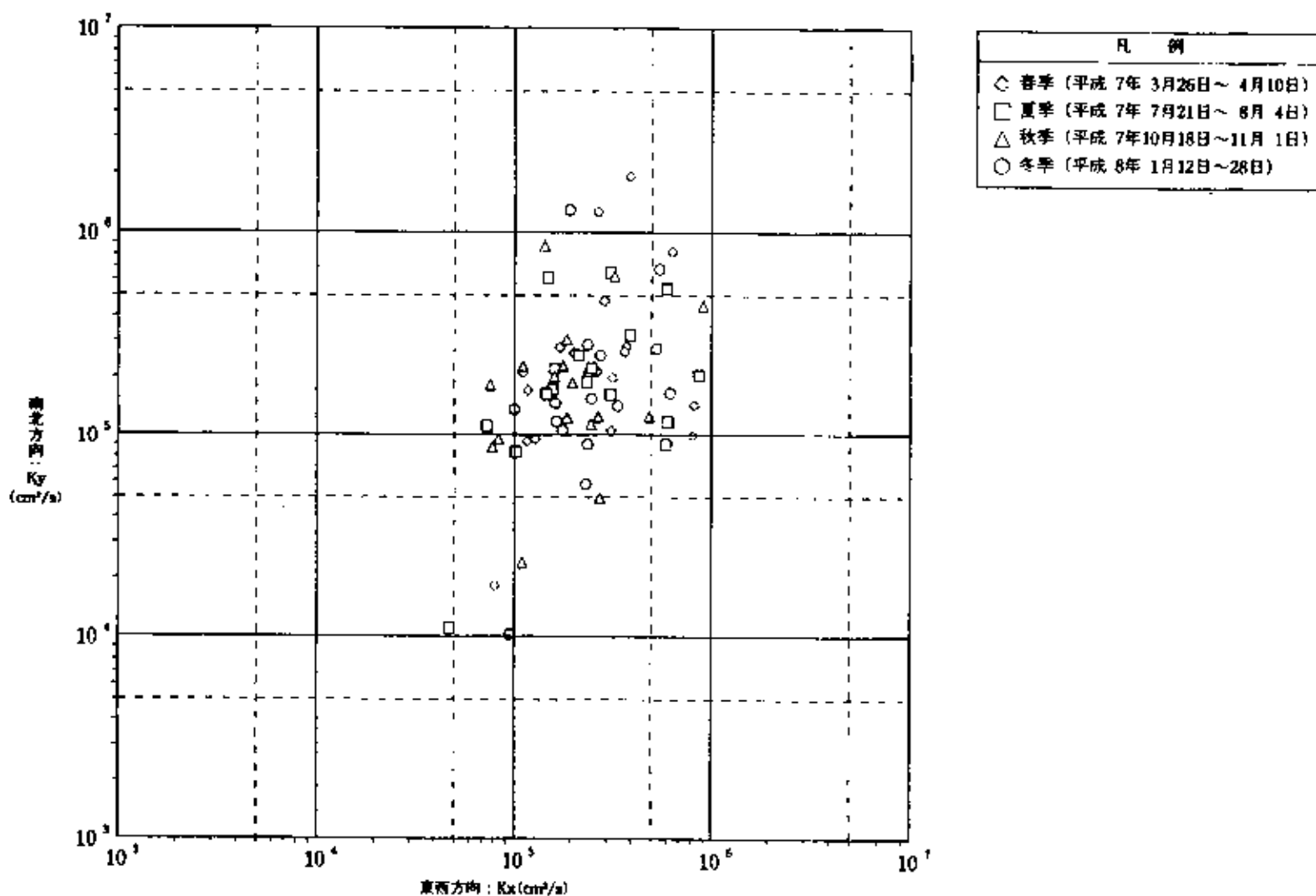


注：ベクトルの矢印は流向、数字は流速(cm/s)を示す。

第2.1.1.2-8図

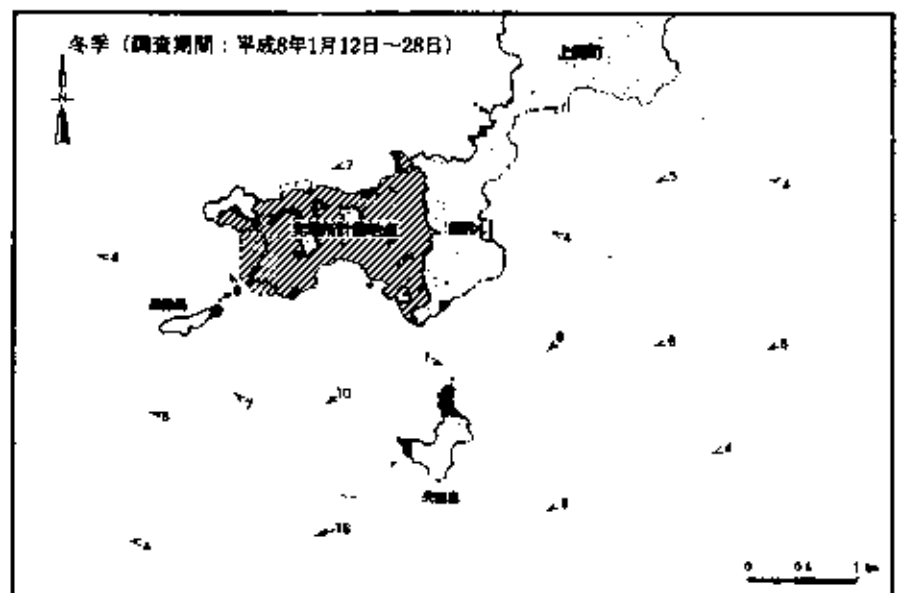
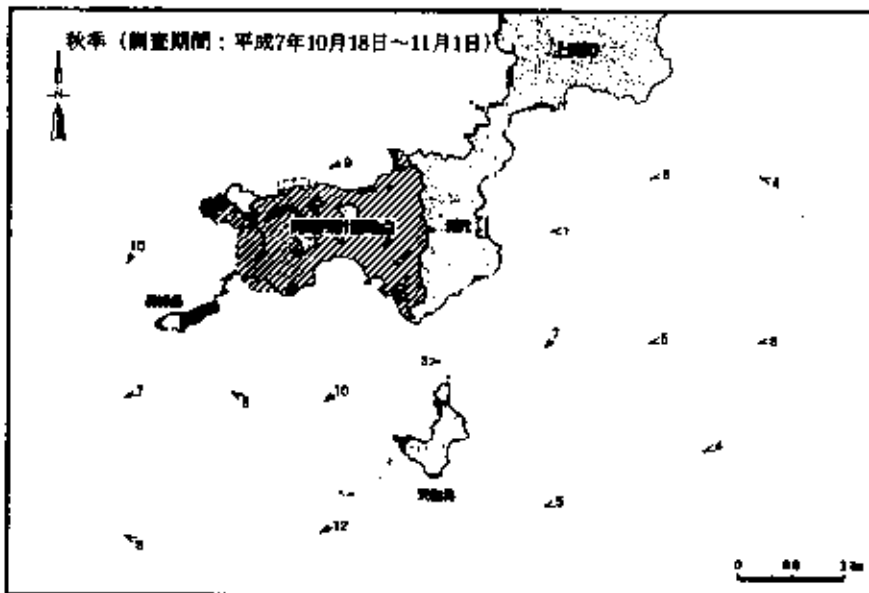
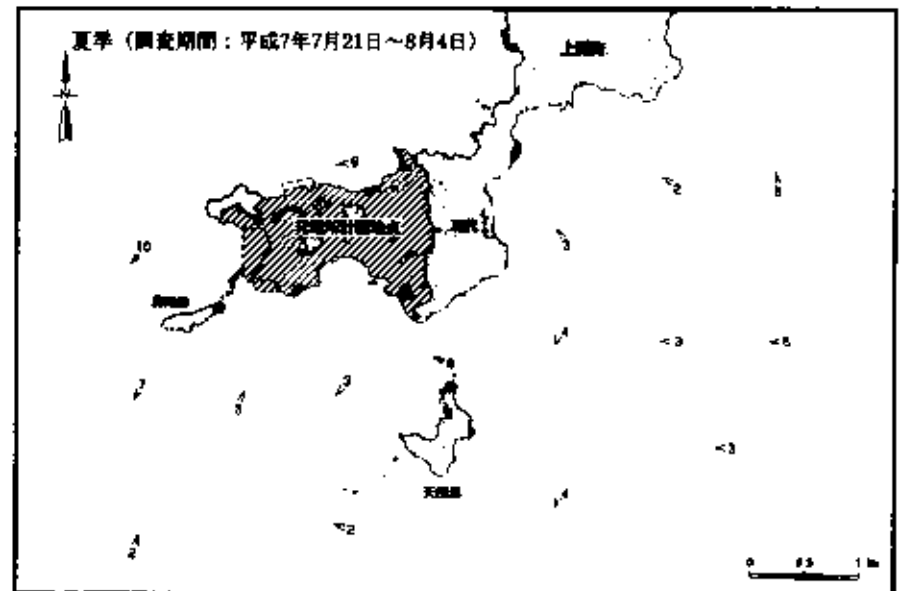
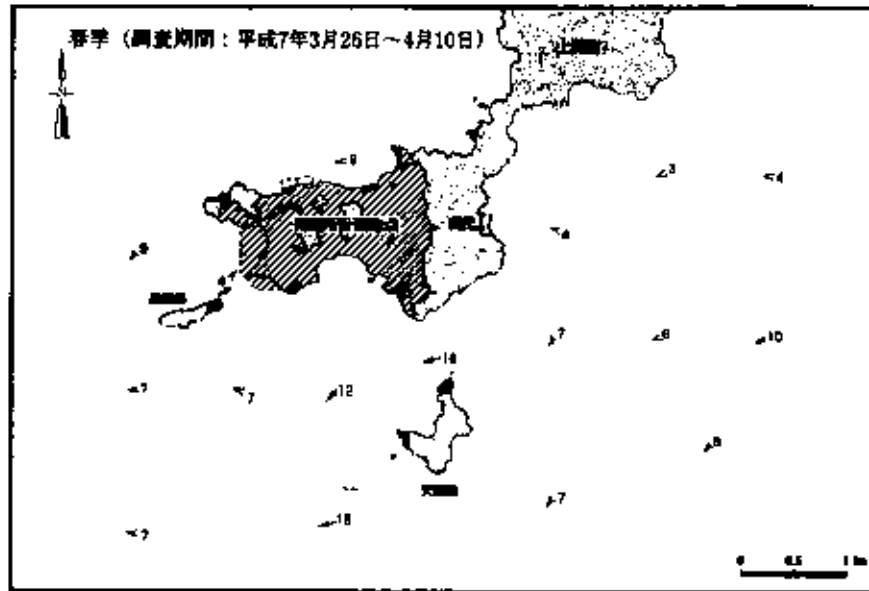
拡散係数(12時間以上周期成分除去)  
(海面下3m)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査計器：インペラー型自記式流向流速計



第2.1.1.2-9図 調査期間中の平均流(恒流)  
(海面下3m)

調査者：中国電力(株) [中電技術コンサルタント(株)に委託]  
調査計器：インベラー型自記式流向流速計



注：ベクトルの矢印は流向、数字は流速(cm/s)を示す。

③ 流入河川

調査海域に流入する河川はない。

④ 蒸気霧

発電所計画地点前面海域における蒸気霧の現況は、当社が(財)日本気象協会九州支社に委託した観測の結果によれば、次のとおりである。

イ. 観測期間

平成7年4月1日～平成8年3月31日

ロ. 観測場所

発電所計画地点南側海岸において行った(第2.1.1.2-10図)。

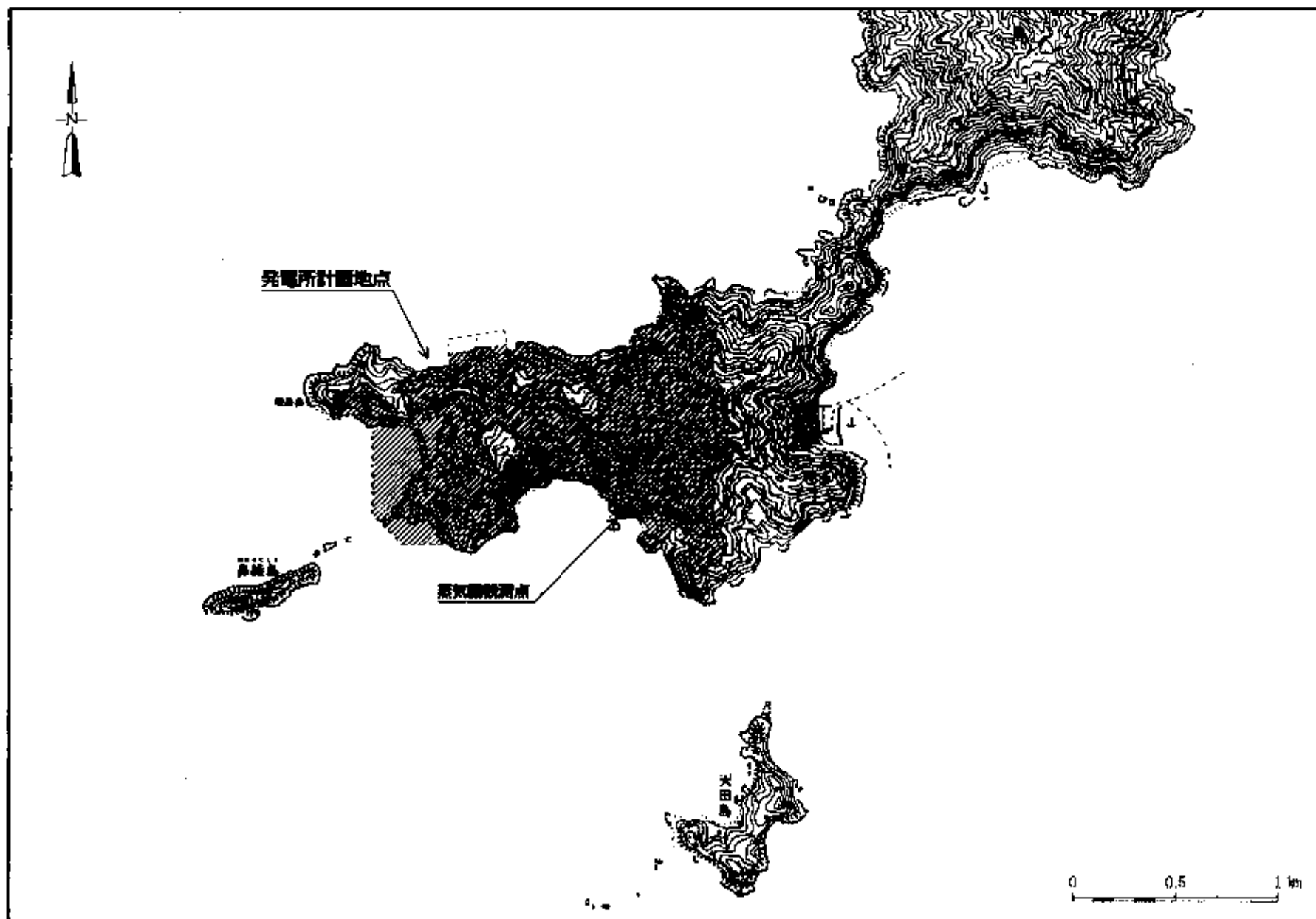
ハ. 観測方法

ビデオカメラによる連続観測を行った。

ニ. 観測結果

霧の発生状況について、ビデオカメラによる連続観測の結果によれば、霧の発生は11日みられたが、蒸気霧の発生は認められていない。

第2.1.1.2-10図 蒸気霧観測点位置



### (3) 陸 水

発電所計画地点には、小規模な溪流があり、発電所で使用する淡水として利用する計画である。溪流水の現況について調査した結果によれば、次のとおりである。

#### ① 流 況

溪流水の流況は、当社が第2.1.1.3-1図に示した位置で観測した1年間の記録（平成7年12月～平成8年11月）によれば、平水量は $0.27 \times 10^3 \text{m}^3/\text{s}$ 、年平均流量は $1.14 \times 10^3 \text{m}^3/\text{s}$ となっている（第2.1.1.3-1表）。

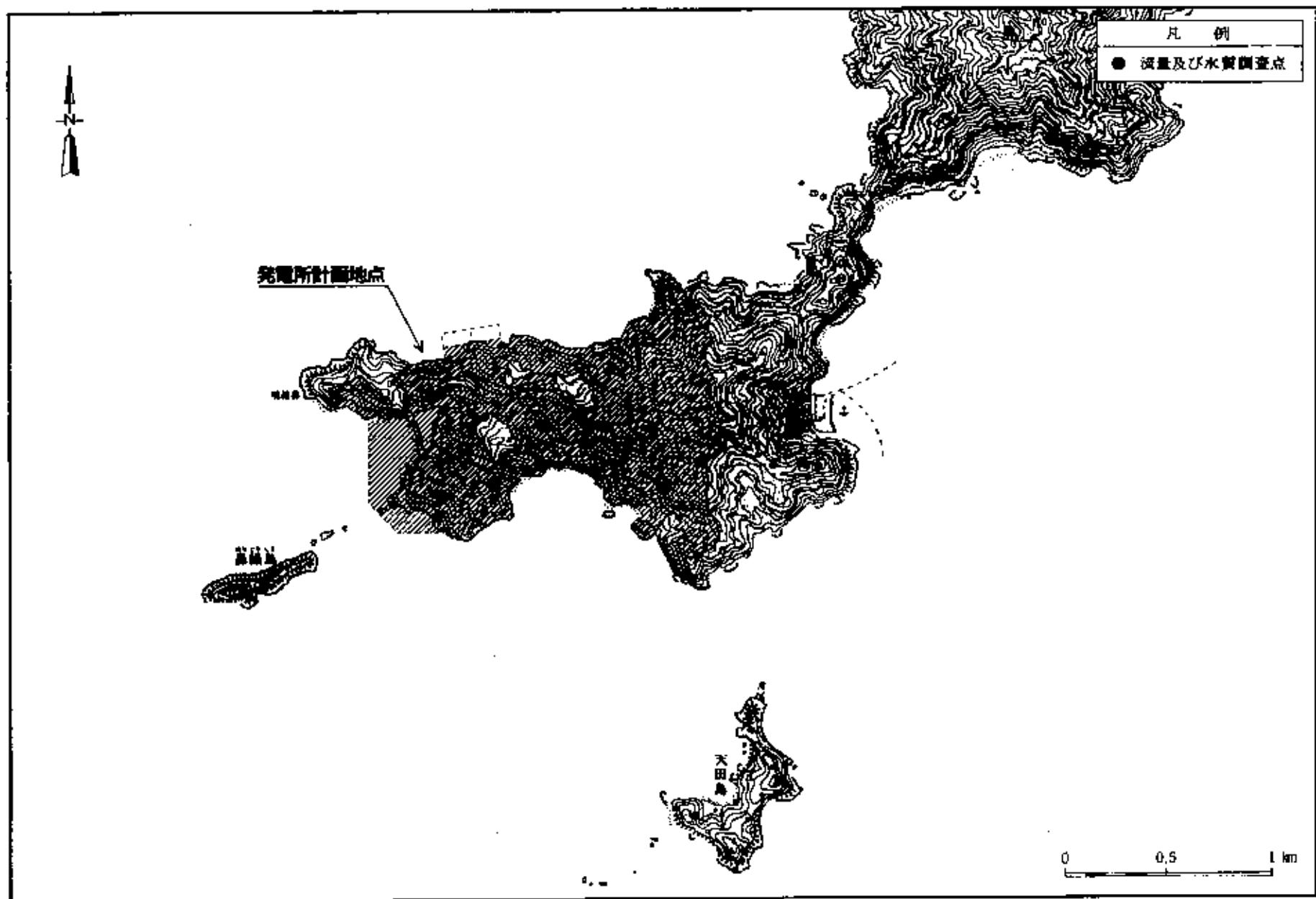
#### ② 水 質

溪流水の水質は、当社が中電環境テクノス(株)に委託して第2.1.1.3-1図に示した位置で調査した結果（平成8年1月23日、4月24日、7月26日、10月23日）によれば、水素イオン濃度は7.1～7.4、生物化学的酸素要求量は定量限界値（0.5mg/ℓ）未満～0.7mg/ℓ、溶存酸素量は8.6～11.0mg/ℓ、浮遊物質量は2～28mg/ℓとなっている（第2.1.1.3-2表）。

#### ③ 淡水の使用水量及び使用時期

発電所において使用する淡水のうち、発電用水は溪流水（工事中は必要により海水淡水化装置）を使用し、生活用水は上関町簡易水道から受水する計画であり、その使用水量及び使用時期は第2.1.1.3-3表のとおりである。

第2.1.1.3-1図 溪流水流量及び水質調査点位置



第2.1.1.3-1表 溪流の流況調査結果

調査者：中国電力㈱

調査期間	流量調査点の流域面積 (km <sup>2</sup> )	流量 (×10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> /s)				
		豊水量	平水量	低水量	湛水量	年平均
平成7年12月1日～平成8年11月30日	0.161	0.64	0.27	0.14	0.09	1.14

注：流量の数値は、1年間の平均値である。

第2.1.1.3-2表 渓流水水質調査結果

調査者：中国電力㈱ [中電環境テクノス㈱に委託]

項目	単位	調査期日				分析手法	定量限界値
		平成8年 1月23日	平成8年 4月24日	平成8年 7月25日	平成8年 10月23日		
水素イオン濃度 (pH)	—	7.2	7.1	7.4	7.4	JIS K 0102 12.1(1993) ガラス電極法	—
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	0.7	ND	0.7	ND	JIS K 0102 21(1993) ウィンクラー・アジ化ナトリウム変法	0.5
溶存酸素量 (DO)	mg/l	11.0	11.0	8.6	9.6	JIS K 0102 32.1(1993) ウィンクラー・アジ化ナトリウム変法	0.5
浮遊物質 (SS)	mg/l	2	4	28	6	昭和46年 環境庁告示第69号 付表8 グラスファイバーフィルターペーパー法	1

注：「ND」は、定量限界値未満を示す。

第2.1.1.3-3表 淡水の使用水量及び使用時期

区分	使用時期	
	工事中使用水	発電所供用開始後使用水
最大使用水量 (m <sup>3</sup> /日)	渓流水	約1,200 (海水淡水化装置使用量含む)
	上関町簡易水道	約310
		約650
		約120

注：1. 工事中の最大使用水量は、1基定期点検中、1基建設工事中を記載した。

2. 発電所供用開始後の最大使用水量は、1基運転中、1基定期点検中を記載した。



## 2.1.2 社会的状況

### (1) 人口

発電所計画地点が位置する上関町と柳井市及び平生町（以下上関町を含め「周辺市町」という。）における人口の現況は、「平成9年～18年 山口県人口移動統計調査結果報告書」（山口県，平成10年～19年），「平成9年～18年 全国都道府県市区町村別面積調」（国土交通省，平成10～19年）によれば，次のとおりである。

#### ① 人口の現状

周辺市町における総人口は，平成18年10月1日現在において53,436人であり，山口県全人口の3.6%を占めている。これを市町別にみると，柳井市が35,783人で最も多く，以下平生町が14,099人，上関町が3,554人となっている。

また，周辺市町における人口密度は，平成18年10月1日現在において255.48人/km<sup>2</sup>であり，山口県における人口密度242.72人/km<sup>2</sup>と同程度となっている。これを市町別にみると，平生町が409.14人/km<sup>2</sup>で最も高く，以下柳井市が255.80人/km<sup>2</sup>，上関町が102.10人/km<sup>2</sup>となっている（第2.1.2-1表）。

#### ② 人口の推移

周辺市町における総人口は平成9年～平成18年でみると，減少傾向となっている。これを市町別にみると，全市町とも減少傾向となっている（第2.1.2-1表）。平成17年に人口が増えているのは，柳井市が大島町と合併したためである。

なお，周辺市町における人口動態は第2.1.2-2表のとおりである。

第 2.1.2-1 表 人口及び人口密度の推移

単位：人 口：人  
人口密度：人/km<sup>2</sup>  
面積：km<sup>2</sup>

市町名	区分	年					
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
上関町	人口	4,612	4,484	4,408	4,307	4,217	4,095
	人口密度	132.80	129.00	126.81	123.80	121.21	117.71
柳井市	人口	34,611	34,388	34,043	33,597	33,512	33,418
	人口密度	270.69	268.95	266.25	262.76	262.10	261.36
平生町	人口	14,631	14,641	14,575	14,578	14,542	14,527
	人口密度	425.32	425.61	423.69	423.78	422.73	422.30
3市町計	人口	53,854	53,513	53,026	52,482	52,271	52,040
	人口密度	273.38	271.61	269.14	266.34	265.27	264.10
山口県計	人口	1,548,053	1,544,106	1,539,415	1,528,107	1,522,749	1,517,219
	人口密度	253.36	252.71	251.94	250.08	249.19	248.28

市町名	区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年			面積
					男	女	計	
上関町	人口	3,971	3,869	3,706	1,604	1,950	3,554	34.81
	人口密度	114.14	111.21	106.52	102.10			
柳井市	人口	33,147	32,825	35,927	16,463	19,320	35,783	139.89
	人口密度	259.24	256.73	256.86	255.80			
平生町	人口	14,396	14,354	14,203	6,533	7,566	14,099	34.46
	人口密度	418.49	416.66	412.16	409.14			
3市町計	人口	51,514	51,048	53,836	24,600	28,836	53,436	209.16
	人口密度	261.43	259.00	257.44	255.48			
山口県計	人口	1,511,112	1,504,593	1,492,575	699,023	784,508	1,483,531	6,112.22
	人口密度	247.28	246.20	244.21	242.72			

- 注：1. 人口は、各年とも10月1日現在のものである。  
2. 人口密度は、各年の人口と各年10月1日現在の面積から算出したものである。  
3. 柳井市は平成17年2月21日に、大島町と合併した。

〔平成9年～18年 山口県人口移動統計調査結果報告書〕（山口県、平成10年～19年）、  
〔平成9年～18年 全国都道府県市区町村別面積調〕（国土交通省、平成10年～19年）より作成

第2.1.2-2表(1) 人口動態

(単位：人)

市町名 区分 年	上 関 町						
	自然動態			社会動態			増 減
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減	
平成 9 年	11	75	△ 64	161	161	0	△ 64
平成 10 年	15	75	△ 60	98	179	△ 81	△ 141
平成 11 年	12	77	△ 65	138	151	△ 13	△ 78
平成 12 年	23	101	△ 78	134	160	△ 26	△ 104
平成 13 年	16	94	△ 78	140	157	△ 17	△ 95
平成 14 年	11	82	△ 71	108	161	△ 53	△ 124
平成 15 年	15	103	△ 88	75	127	△ 52	△ 140
平成 16 年	12	84	△ 72	114	126	△ 12	△ 84
平成 17 年	11	97	△ 86	74	138	△ 64	△ 150
平成 18 年	14	76	△ 62	72	148	△ 76	△ 138

市町名 区分 年	柳 井 市						
	自然動態			社会動態			増 減
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減	
平成 9 年	281	359	△ 78	1,550	1,679	△ 129	△ 207
平成 10 年	273	401	△ 128	1,491	1,611	△ 120	△ 248
平成 11 年	259	421	△ 162	1,427	1,635	△ 208	△ 370
平成 12 年	226	397	△ 171	1,559	1,601	△ 42	△ 213
平成 13 年	258	407	△ 149	1,420	1,439	△ 19	△ 168
平成 14 年	241	398	△ 157	1,429	1,423	6	△ 151
平成 15 年	266	430	△ 164	1,387	1,475	△ 88	△ 252
平成 16 年	227	414	△ 187	1,274	1,339	△ 65	△ 252
平成 17 年	229	497	△ 268	1,341	1,370	△ 29	△ 297
平成 18 年	242	492	△ 250	1,464	1,415	49	△ 201

注：1. 数値は、1月1日から12月31日までのものである。

2. 「△」は、減少を示す。

3. 柳井市は平成17年2月21日に、大島町と合併した。

第2.1.2-2表(2) 人口動態

(単位：人)

市町名 区分 年	平 生 町						増 減
	自然動態			社会動態			
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
平成9年	107	140	△ 33	765	677	88	55
平成10年	103	138	△ 35	630	678	△ 48	△ 83
平成11年	113	164	△ 51	633	576	57	6
平成12年	113	173	△ 60	624	540	84	24
平成13年	103	168	△ 65	660	580	80	15
平成14年	126	169	△ 43	565	625	△ 60	△ 103
平成15年	121	146	△ 25	567	620	△ 53	△ 78
平成16年	95	157	△ 62	584	610	△ 26	△ 88
平成17年	123	149	△ 26	526	502	24	△ 2
平成18年	105	162	△ 57	446	560	△ 114	△ 171

市町名 区分 年	3 市 町 計						増 減
	自然動態			社会動態			
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
平成9年	399	574	△ 175	2,476	2,517	△ 41	△ 216
平成10年	391	614	△ 223	2,219	2,468	△ 249	△ 472
平成11年	384	662	△ 278	2,198	2,362	△ 164	△ 442
平成12年	362	671	△ 309	2,317	2,301	16	△ 293
平成13年	377	669	△ 292	2,220	2,176	44	△ 248
平成14年	378	649	△ 271	2,192	2,209	△ 197	△ 378
平成15年	402	679	△ 277	2,029	2,222	△ 193	△ 470
平成16年	334	655	△ 321	1,972	2,075	△ 103	△ 424
平成17年	363	743	△ 380	1,941	2,010	△ 69	△ 449
平成18年	361	730	△ 369	1,982	2,123	△ 141	△ 510

- 注：1. 数値は、1月1日から12月31日までのものである。  
 2. 「△」は、減少を示す。  
 3. 柳井市は平成17年2月21日に、大島町と合併した。

第2.1.2-2表(3) 人口動態

(単位：人)

市町名 区分 年	山口県計						
	自然動態			社会動態			増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
平成9年	13,218	14,183	△965	69,157	71,745	△2,588	△3,553
平成10年	13,304	14,834	△1,530	67,699	70,040	△2,341	△3,871
平成11年	13,168	15,451	△2,283	65,455	68,555	△3,100	△5,383
平成12年	13,131	15,131	△2,000	62,823	66,871	△4,048	△6,048
平成13年	13,032	14,977	△1,945	62,893	66,465	△3,592	△5,537
平成14年	12,599	15,056	△2,457	60,996	64,577	△3,581	△6,038
平成15年	12,206	15,260	△3,054	59,677	62,789	△3,112	△6,167
平成16年	12,058	15,768	△3,710	56,836	59,725	△2,889	△6,599
平成17年	11,566	16,516	△4,950	53,761	57,165	△3,404	△8,354
平成18年	11,707	16,439	△4,732	52,121	56,401	△4,280	△9,012

注：1. 数値は、1月1日から12月31日までのものである。

2. 「△」は、減少を示す。

(「平成9年～18年 山口県人口移動統計調査結果報告書」(山口県、平成10年～19年)より作成)

## (2) 土地利用

### ① 土地利用状況

周辺市町における土地利用状況は、「山口県統計年鑑」（山口県統計協会，平成19年）によれば，総面積15,817haのうち，山林が約59%と最も多く，次いで田，畑，宅地の順となっている。これを上関町についてみると，総面積2,687haのうち，山林が約64%と最も多く，次いで畑，田，原野の順となっている（第2.1.2-3表）。

### ② 土地利用規制の状況

周辺市町における土地利用規制の状況は、「山口県土地利用基本計画図」（山口県，平成8年）によれば，第2.1.2-1図のとおりである。

なお，発電所計画地点の一部は「森林法」（昭和26年，法律第249号）に定める地域森林計画対象民有林及び保安林に指定されている。

### ③ 土地利用将来計画

周辺市町における土地利用将来計画は、「山口県土地利用基本計画図」（山口県，平成8年）によれば，第2.1.2-1図のとおりである。

第2.1.2-3表 土地利用状況

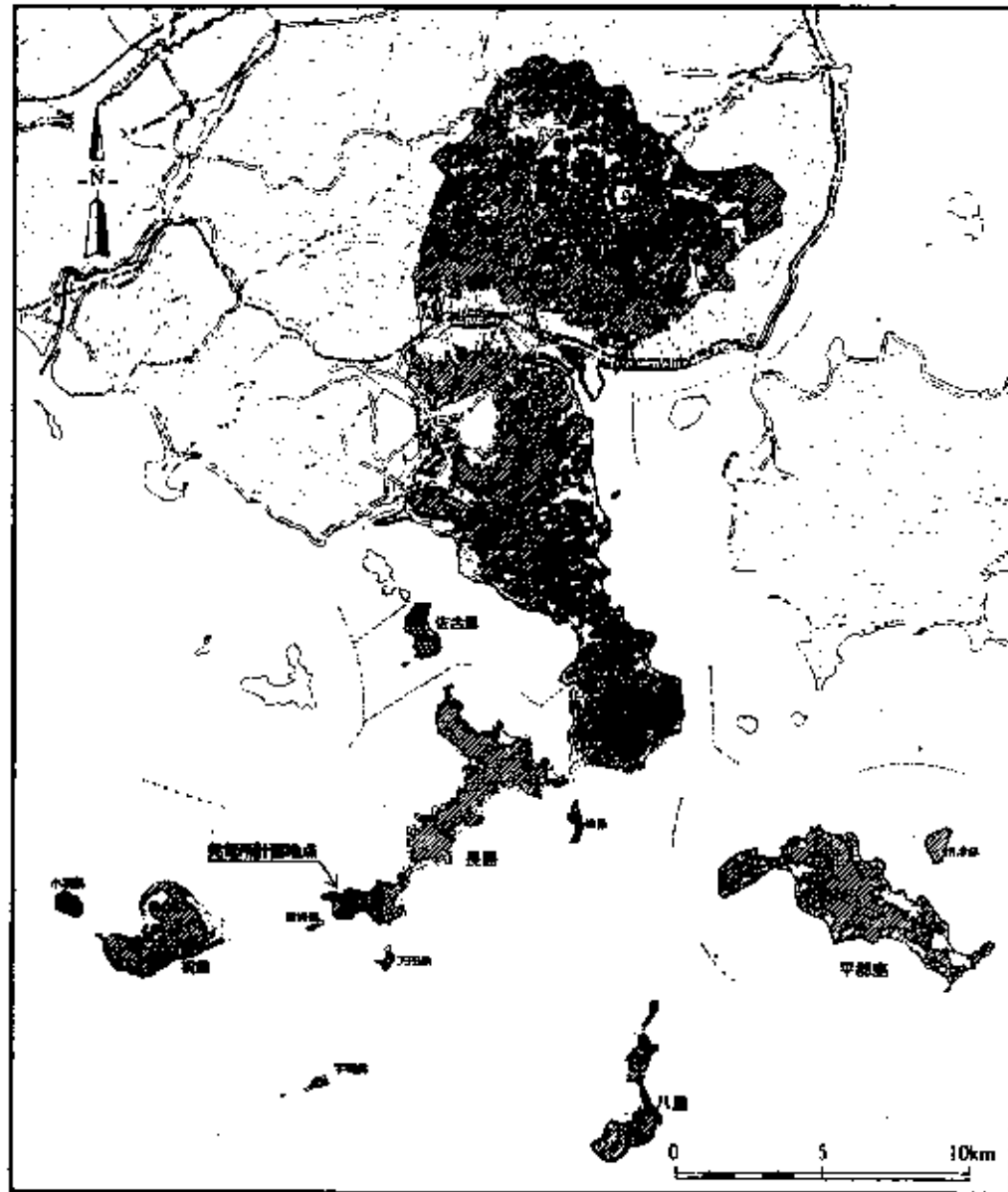
〔単位：面積；ha  
比率；％〕

区分 市町名	総数		田		畑		宅地	
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率
上関町	2,687	100	198	7.4	481	17.9	62	2.3
柳井市	10,474	100	2,030	19.4	815	7.8	784	7.6
平生町	2,657	100	525	19.8	233	8.8	309	11.7
3市町計	15,817	100	2,752	17.4	1,629	9.7	1,165	7.3
山口県計	337,789	100	48,776	14.4	17,164	5.1	26,372	7.8

区分 市町名	山林		原野		その他	
	面積	比率	面積	比率	面積	比率
上関町	1,729	64.4	197	7.3	21	0.8
柳井市	6,332	60.5	200	1.9	313	3.0
平生町	1,333	50.2	159	6.0	98	3.7
3市町計	9,394	59.4	556	3.5	432	2.7
山口県計	227,176	67.3	7,837	2.3	10,464	3.1

- 注：1. 数値は平成18年1月1日のものである。柳井市は平成17年2月21日に大島町と合併した。  
 2. 「その他」には、池沼、雑草地等を含む。  
 3. 数値及び割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。  
 4. 課税対象となる土地（免税点未満のものも含む）をとりまとめたものである。

〔「山口県統計年鑑」（山口県統計協会、平成18年）より作成〕



凡例	
五地域	
参考表示	記号
都市地域	
その他都市計画区域における用途地域	
農業地域	
農用地区域	
森林地域	
地域森林計画対象既存林	
保安林	
自然公園地域	
特別地域	

1. 五地域の各地域の境界線が、先ず中心部の表示の粗い線では、都市、農用、保安林、自然公園、自然保全の各地域の境として示す。境界線の粗い線は、その地域の境界線を示している。
2. 参考表示は、原則として、平成8年11月1日現在の指定図案のものとする。
3. その他都市計画区域における用途地域は、自然公園地域及び自然公園地域の都市計画の定められていない都市計画区域における用途地域を示す。
4. 図上に表示されている自然公園地域は、その場で指定される御座らず、指定していることとする。

「山口県土地利用基本計画図」  
(山口県、平成8年)より作成



### (3) 海域利用

#### ① 港湾の名称、区域及び種別

調査海域を含む上関町、柳井市及び平生町に面する海域（以下「周辺海域」という。）には「港湾法」（昭和25年、法律第218号）に定める地方港湾として柳井、室津及び平生の3港湾がある。また、「漁港法」（昭和25年、法律第137号）に定める第1種漁港として伊保庄、阿月、平郡、八島、室津及び祝島の6漁港、第2種漁港として柳井、上関及び佐賀の3漁港がある（第2.1.2-2図）。

なお、柳井港、室津港及び平生港における入港船舶は第2.1.2-4～9表のとおりである。

#### ② 航路の位置、名称及び種別

周辺海域には「海上運送法」（昭和24年、法律第187号）に定める定期航路事業の航路として柳井～三津浜航路、「離島航路整備法」（昭和27年、法律第226号）に定める離島航路として平郡～柳井航路、上関～八島航路、祝島～柳井航路及び佐賀～佐合島航路がある（第2.1.2-3図）。

なお、「港則法」（昭和23年、法律第174号）及び「海上交通安全法」（昭和47年、法律第115号）に定める航路はない。

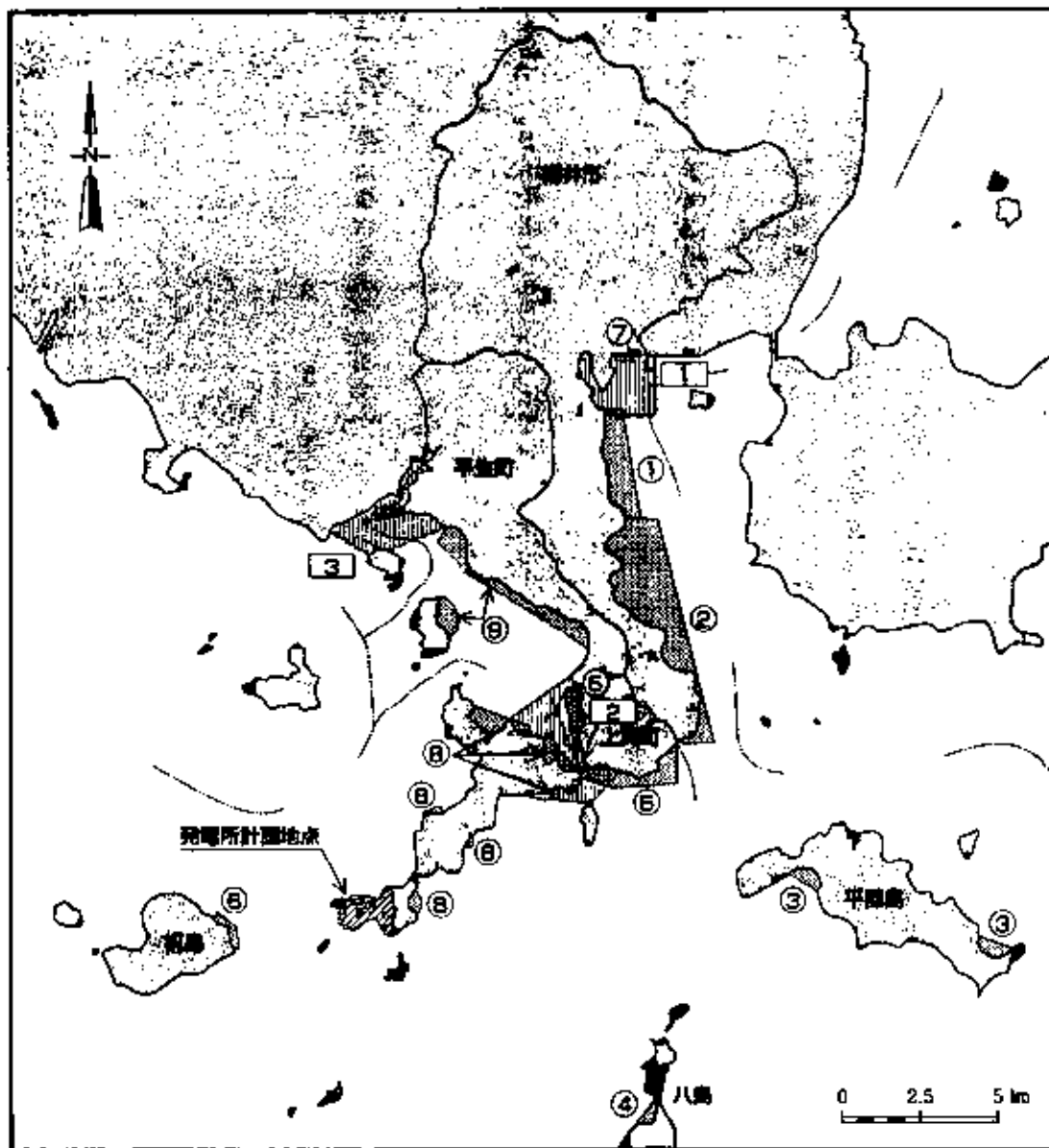
#### ③ 海域利用規制の状況

周辺海域には、「港則法」に定める港域、「港湾法」に定める港湾区域、「漁港法」に定める漁港区域の指定がある（第2.1.2-2図）。

#### ④ 海域利用将来計画

周辺海域における海域利用の将来計画として、「漁港漁場整備長期計画（平成14～18年度）」において祝島漁港、上関漁港の整備が進められている。

第2.1.2-2図 港湾・漁港位置圖



凡例		
	港湾区域	区域
	漁港区域	区域
	港湾区域	区域
種別	図番号	名称
港湾	1	井
	2	津
	3	生
漁	①	伊保庄
	②	阿月
	③	平部
	④	八島
	⑤	室津
	⑥	反島
港	7	井
	8	上
	9	佐

〔山口県管内増設港〕(山口県、平成12年)。  
 〔山口県管内増設港〕(山口県、平成16年)。  
 〔海防第163号大島瀬戸室津港〕(海上保安庁、平成13年)より作成。

第 2.1.2-4 表 柳井港入港船舶 (船種別)

(単位:隻,トン)

区分 年次	総 数		外 航 商 船		内 航 商 船	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
平成14年	8,176	7,073,417	22	2,340,737	1,438	491,443
平成15年	8,868	7,181,726	23	2,171,447	1,486	531,916
平成16年	8,790	7,287,286	23	2,426,427	1,398	475,357
平成17年	8,163	6,736,164	22	2,328,750	898	115,065
平成18年	7,759	6,515,827	23	2,443,784	903	91,206

区分 年次	漁 船		そ の 他	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
平成14年	0	0	6,716	4,241,237
平成15年	0	0	7,359	4,478,363
平成16年	0	0	7,369	4,385,502
平成17年	0	0	7,243	4,292,349
平成18年	0	0	6,833	3,980,837

注:数値は、総トン数5トン以上の船舶を対象としている。

(「港湾統計(年報) 平成14年~18年」(国土交通省,平成15年~19年)より作成)

第 2.1.2-5 表 柳井港入港船舶 (規模別)

(単位: 隻, トン)

区分 年次		総 数	5 総トン以上 100 総トン以下	100 総トン以上 500 総トン以下	500 総トン以上 1,000 総トン以下
隻 数	平成14年	8,176	738	945	6,471
	平成15年	8,868	740	1,581	6,522
	平成16年	8,790	741	2,100	5,925
	平成17年	8,163	743	2,256	5,141
	平成18年	7,759	780	2,324	4,632
総 ト ン 数	平成14年	7,073,417	35,487	191,442	4,505,751
	平成15年	7,181,726	35,393	431,142	4,539,806
	平成16年	7,287,286	35,632	700,022	4,123,078
	平成17年	6,736,164	36,154	789,622	3,579,511
	平成18年	6,515,827	38,771	807,549	3,225,723

区分 年次		1,000 総トン以上 3,000 総トン以下	3,000 総トン以上 6,000 総トン以下	6,000 総トン以上 10,000 総トン以下	10,000 総トン以上
隻 数	平成14年	0	0	0	22
	平成15年	2	0	0	23
	平成16年	1	0	0	23
	平成17年	1	0	0	22
	平成18年	0	0	0	23
総 ト ン 数	平成14年	0	0	0	2,340,737
	平成15年	3,938	0	0	2,171,447
	平成16年	2,127	0	0	2,426,427
	平成17年	2,127	0	0	2,328,750
	平成18年	0	0	0	2,443,784

注: 数値は、総トン数5トン以上の船舶を対象としている。

(「港湾統計(年報)平成14年~18年」(国土交通省,平成15年~19年)より作成)

第 2.1.2-6 表 室津港入港船舶 (船種別)

(単位: 隻, トン)

区分 年次	総 数		外 航 商 船		内 航 商 船	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
平成14年	3,737	117,983	0	0	3,737	117,983
平成15年	3,698	117,242	0	0	1,620	77,760
平成16年	3,862	122,971	0	0	1,810	86,035
平成17年	3,914	124,630	0	0	1,826	84,978
平成18年	3,915	126,884	0	0	1,813	87,024

区分 年次	漁 船		そ の 他	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
平成14年	0	0	0	0
平成15年	0	0	2,078	39,482
平成16年	0	0	2,052	36,936
平成17年	0	0	2,088	39,652
平成18年	0	0	2,102	39,860

注: 数値は、総トン数5トン以上の船舶を対象としている。

〔「港湾統計(年報)平成14年~18年」(国土交通省,平成15年~19年)より作成〕

第 2.1.2-7 表 室津港入港船舶 (規模別)

(単位: 隻, トン)

年次	区分	総 数	500 総トン未満		500 総トン以上	
			隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
隻 数	平成14年	3,737	3,737	0	0	
	平成15年	3,698	3,698	0	0	
	平成16年	3,862	3,862	0	0	
	平成17年	3,914	3,914	0	0	
	平成18年	3,915	3,915	0	0	
総 ト ン 数	平成14年	117,983	117,983	0	0	
	平成15年	117,242	117,242	0	0	
	平成16年	122,971	122,971	0	0	
	平成17年	124,630	124,630	0	0	
	平成18年	126,884	126,884	0	0	

注: 1. 数値は、総トン数5トン以上の船舶を対象としている。

2. 数値は、商船のみ(フェリーを除く)の値である。

〔「港湾統計(年報)平成14年~18年」(国土交通省,平成15年~19年)より作成〕

第2.1.2-8表 平生港入港船舶（船種別）

（単位：隻、トン）

区分 年次	総 数		外 航 商 船		内 航 商 船	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
平成14年	777	591,210	63	452,097	713	138,963
平成15年	900	610,018	63	447,593	833	161,601
平成16年	889	590,075	59	424,756	815	160,973
平成17年	736	575,305	62	444,812	650	123,823
平成18年	773	544,374	54	389,121	699	150,650

区分 年次	漁 船		そ の 他	
	隻 数	総トン数	隻 数	総トン数
平成14年	0	0	1	150
平成15年	0	0	4	824
平成16年	0	0	15	4,346
平成17年	0	0	24	6,670
平成18年	0	0	20	4,603

注：数値は、総トン数5トン以上の船舶を対象としている。

〔「港湾統計（年報）平成14年～18年」（国土交通省、平成15年～19年）より作成〕

第 2.1.2-9 表 平生港入港船舶 (規模別)

(単位: 隻, トン)

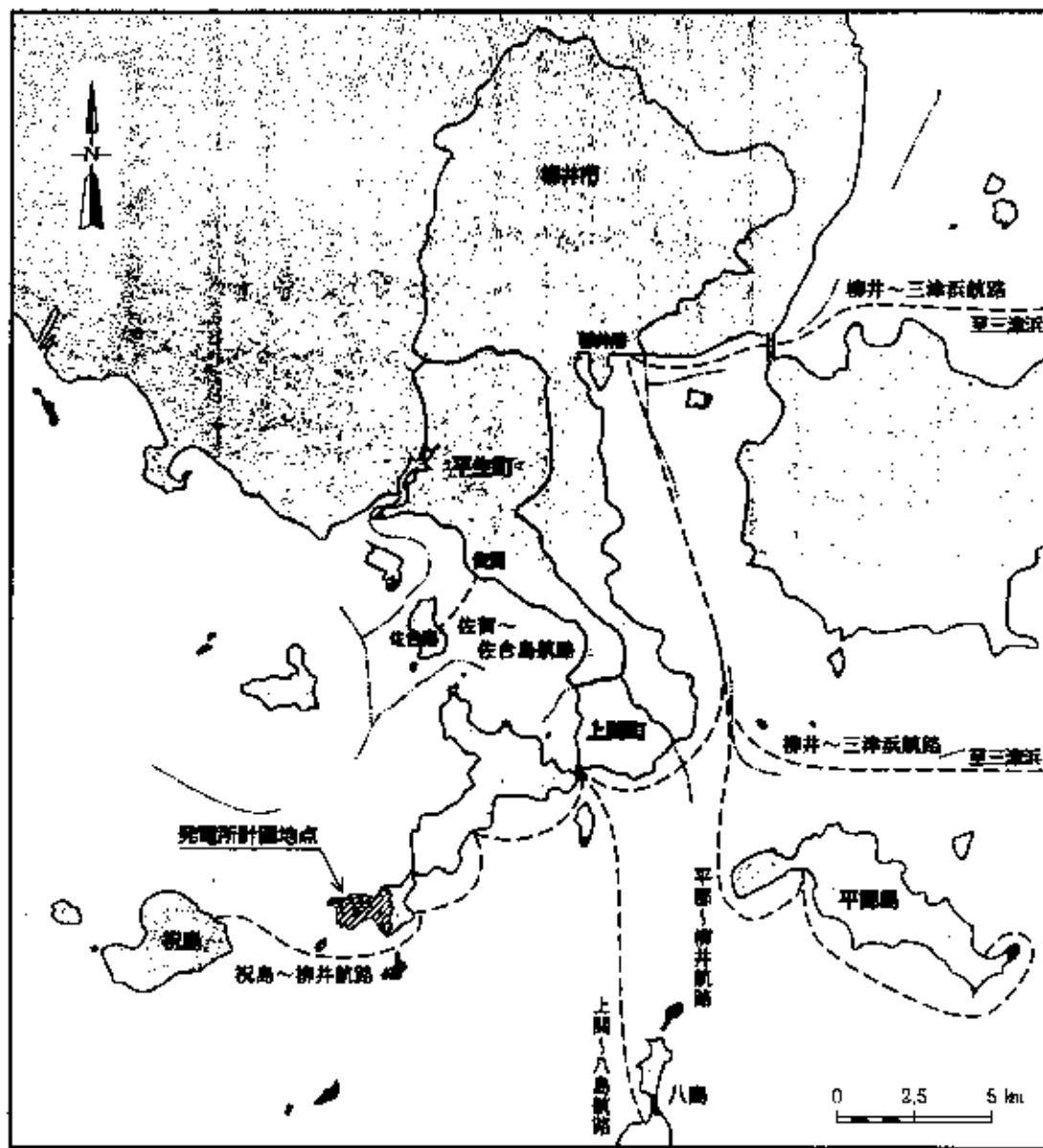
区分		総 数	5 総トン以上 100 総トン以下	100 総トン以上 500 総トン以下	500 総トン以上 1,000 総トン以下
年 次	平成14年	777	74	637	2
	平成15年	900	73	764	0
	平成16年	889	70	758	2
	平成17年	736	70	597	7
	平成18年	773	58	652	9
総 ト ン 数	平成14年	591,210	626	135,705	1,382
	平成15年	610,018	521	161,904	0
	平成16年	590,075	620	163,420	1,279
	平成17年	575,305	672	124,620	5,201
	平成18年	544,374	508	148,305	6,440

区分		1,000 総トン以上 3,000 総トン以下	3,000 総トン以上 6,000 総トン以下	6,000 総トン以上 10,000 総トン以下	10,000 総トン以上
年 次	平成14年	1	7	56	0
	平成15年	0	16	47	0
	平成16年	0	8	51	0
	平成17年	0	9	53	0
	平成18年	0	9	45	0
総 ト ン 数	平成14年	1,400	38,774	413,323	0
	平成15年	0	88,409	369,184	0
	平成16年	0	43,874	380,882	0
	平成17年	0	48,893	395,919	0
	平成18年	0	49,963	339,158	0

注: 数値は、総トン数 5 トン以上の船舶を対象としている。

(「港湾統計(年報)平成14年~18年」(国土交通省,平成15年~19年)より作成)

第2.1.2-3図 航 路 位 置



凡 例	
---	航 路

注：1.航路は「海上運送法」に基づく定期航路及び「離島航路整備法」に基づく離島航路を示す。  
 2.航路は平成18年6月現在のものである。

〔山口県管内漁港図〕（山口県、平成16年）  
 〔山口県管内港河図〕（山口県、平成12年）  
 〔山口県商工労働部資料〕等より作成



#### (4) 産業活動

##### ① 当該地域における事項

##### イ. 産業構造及び産業配置

周辺市町における産業構造及び産業配置の現況は、「平成17年 国勢調査報告 第2次基本集計結果(35 山口県)統計表」(総務省統計局,平成18年)及び「平成17年度 市町村民経済計算」(山口県,平成20年)によれば、次のとおりである。

##### (イ) 産業構造

周辺市町における産業構造は、就業者数からみると、平成17年において第一次産業が10.3%、第二次産業が26.7%、第三次産業が62.3%となっている。これを上関町についてみると、第一次産業が23.4%、第二次産業が21.3%、第三次産業が55.1%となっている(第2.1.2-10表,第2.1.2-4図)。

##### (ロ) 産業配置

周辺市町における産業配置は、就業者数からみると、平成17年において合計25,034人で山口県716,331人の5.3%を占めている。市町別では柳井市が16,774人(67.0%)で最も多く、平生町が6,642人(26.5%)、上関町が1,618人(6.5%)となっている(第2.1.2-10表,第2.1.2-4図)。

なお、純生産額からみた産業配置は第2.1.2-11表,第2.1.2-5図のとおりである。

第2.1.2-10表 産業別就業者数（15歳以上）

(単位：人)

項目 市町名	総数	第一次産業				第二次産業				第三次産業											分類 不能 の 産業		
		計	農業	林業	漁業	計	鉱業	建設業	製造業	計	電気・ガス ・熱供給 ・水道業	情報 通信業	運輸業	卸売・ 小売業	金融・ 保険業	不動産 業	飲食店、 宿泊業	医療、 福祉	教育、 学習 支援業	複合 サービス 事業		サービス業 (他に分 類されな いもの)	公務 (他に分 類されな いもの)
上郡町	1,618 (6.5)	379	101	-	278	345	-	205	140	891	12	3	131	218	16	5	63	128	26	56	140	93	3
柳井市	16,774 (67.0)	1,594	1,432	8	154	4,221	3	1,688	2,530	10,831	176	91	780	3,003	323	89	657	1,997	825	296	1,929	665	128
平生町	6,642 (26.5)	609	540	1	68	2,124	3	734	1,387	3,859	30	28	311	1,058	100	24	202	831	284	113	652	236	40
3市町計	25,034 (100)	2,582 (10.3)	2,073 (8.3)	9 (0.0)	500 (2.0)	6,690 (26.7)	6 (0.0)	2,627 (10.5)	4,057 (16.2)	15,691 (62.3)	218 (0.9)	122 (0.5)	1,222 (4.9)	4,279 (17.1)	439 (1.8)	118 (0.5)	922 (3.7)	2,956 (11.8)	1,135 (4.5)	465 (1.9)	2,721 (10.9)	994 (4.0)	171 (0.7)
山口県計	716,131 (100)	48,908 (6.8)	41,855 (5.8)	566 (0.1)	6,487 (0.9)	192,829 (26.9)	447 (0.1)	75,429 (10.5)	116,953 (16.3)	467,924 (65.3)	4,169 (0.6)	7,122 (1.0)	37,998 (5.3)	127,305 (17.8)	14,897 (2.1)	4,877 (0.7)	32,406 (4.5)	75,939 (10.6)	32,488 (4.5)	10,772 (1.5)	87,840 (12.3)	32,111 (4.5)	6,670 (0.9)

注：1. 数値は、平成17年10月1日現在のものである。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

2. ( ) 内は、割合 (%) を示す。

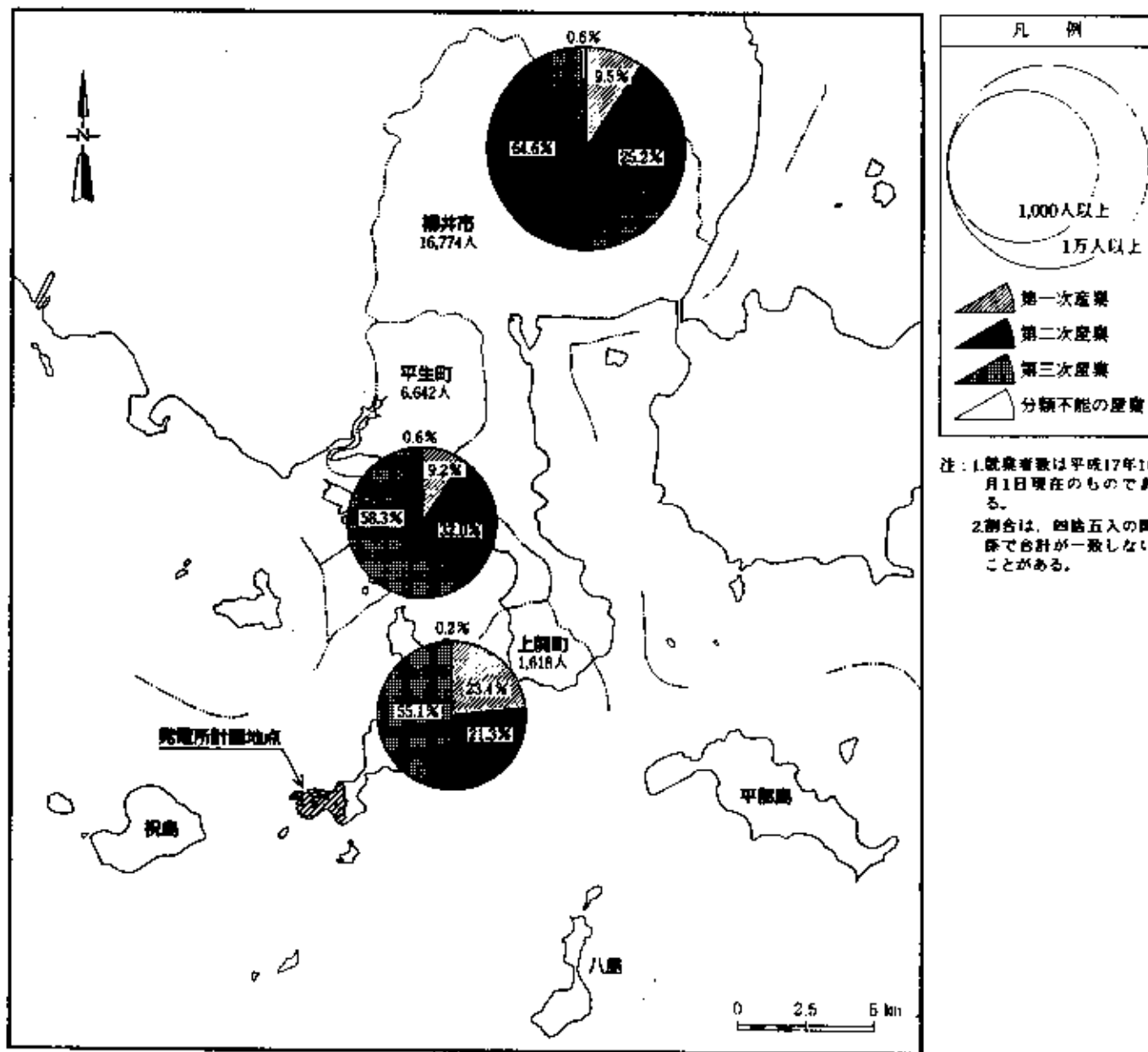
3. 割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

4. 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。

5. 「-」は、当該数字がないものを示す。

〔「平成17年国勢調査報告 第2次基本集計結果 (35 山口県) 統計表」(総務省統計局、平成18年)より作成〕

第2.1.2-4図 就業者数による産業配置



(「平成17年 国勢調査 第2次基本集計結果(35山口県)統計表」(総務省統計局、平成19年)より作成)

第2.1.2-11表 産業別純生産額

(単位：百万円)

項目 市町名	総 数	産業計	第 一 次 産 業				第 二 次 産 業				第 三 次 産 業							(控除) 繰戻利子		
			計	農 業	林 業	水産業	計	鉱 業	製造業	建設業	計	電気・ ガス・ 水道業	卸売・ 小売業	金融・ 保険業	不動産 業	運輸・ 通信業	サービス業		政府 サービス 生産者	対家計 民間 非営利 サービス 生産者
上野町	7,667	8,100	315	13	2	300	1,563	0	279	1,284	6,222	2,045	213	399	591	632	883	1,205	274	433
柳井市	87,218	91,862	661	419	44	198	16,756	0	9,319	7,437	74,445	11,550	10,331	6,995	7,532	4,026	21,038	10,575	2,398	4,644
平生町	27,213	28,278	250	117	8	125	10,505	0	9,035	1,470	17,523	252	2,274	1,062	2,724	1,459	6,401	2,420	931	1,065
3市町計	122,098	128,240 (100)	1,226 (1.0)	549 (0.4)	54 (0.0)	623 (0.5)	28,824 (22.5)	0 (0.0)	18,633 (14.5)	10,191 (7.9)	98,190 (76.6)	13,847 (10.8)	12,818 (10.0)	8,456 (6.6)	10,847 (8.5)	6,117 (4.8)	28,302 (22.1)	14,200 (11.1)	3,603 (2.8)	6,142
山口県計	4,323,739	4,500,417 (100)	33,058 (0.7)	16,224 (0.4)	4,380 (0.1)	12,454 (0.3)	1,723,797 (38.3)	9,133 (0.2)	1,465,369 (32.6)	249,295 (5.5)	2,743,662 (61.0)	135,805 (3.0)	443,191 (9.8)	237,697 (5.3)	321,028 (7.1)	294,183 (6.5)	787,063 (17.5)	423,488 (9.4)	101,107 (2.2)	175,578

注：1. 数値は、平成17年度のものである。柳井市は平成17年2月21日に大島町と合併。数値は合併後の値である。

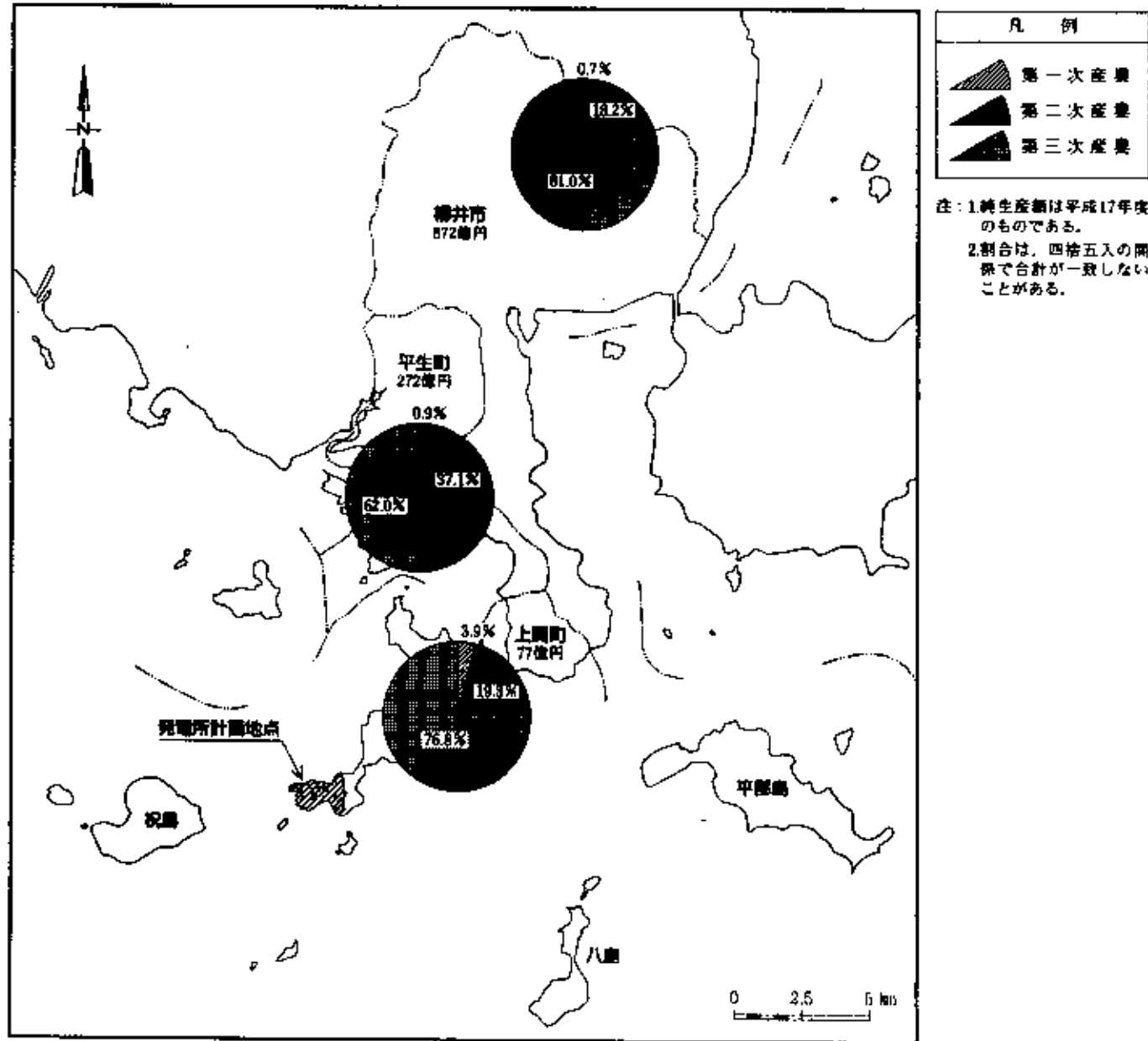
2. ( )内は、割合(%)を示す。

3. 数値及び割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

4. 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。

(「平成17年度 市町村民経済計算」(山口県、平成20年)より作成)

第 2.1.2-5図 純生産額による産業配置



注：1 純生産額は平成17年度のものである。  
2 割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

〔平成17年度 市町村長経済計算〕(山口県、平成20年)より作成

## ロ、生産品目、生産量及び生産額

### (イ) 農 業

周辺市町における農業の現況は、「山口農林水産統計年報 平成18～19年」（中国四国農政局山口農政事務所統計部、平成20年）等によれば、次のとおりである。

周辺市町における農作物収穫量は、平成18年において9,779トンであり、生産品目別には稲が4,854トンで最も多く、次いで野菜が3,229トン、飼料作物が1,066トンである。これを上関町についてみると、農作物収穫量は288トンであり、生産品目別には野菜が198トンで最も多く、次いで果樹が65トン、稲が24トンである（第2.1.2-12表）。

周辺市町における家畜の飼養頭羽数は、平成18年において肉用牛が430頭、採卵鶏が55,000羽である（第2.1.2-13表）。

周辺市町における農業粗生産額は、平成18年において総額約25億円であり、生産品目別には米が約11億円で最も多く、次いで野菜が約6億円、その他耕種が約3億円である。これを上関町についてみると、総額は約0.7億円であり、野菜が約0.3億円、果実が約0.2億円となっている（第2.1.2-14表）。

なお、周辺市町における農家数は第2.1.2-15表、経営耕地種類別面積は第2.1.2-16表のとおりである。

第2.1.2-12表 農作物作付生産状況

単位：作付面積；ha  
収穫量；t

項目 市町名	計		稲		麦類		いも類		豆類	
	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
上関町	44	288	6	24	—	—	3	…	1	1
柳井市	1,190	7,351	863	3,930	0	0	13	…	30	23
平生町	315	2,140	200	900	—	—	5	…	4	3
3市町計	1,549 (100)	9,779 (100)	1,069 (69.0)	4,854 (49.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	21 (1.3)	…	35 (2.3)	27 (0.3)
山口県計	34,862 (100)	259,671 (100)	24,400 (70.0)	111,000 (42.7)	865 (2.5)	2,110 (0.8)	269 (0.8)	…	865 (2.5)	776 (0.3)

項目 市町名	野菜		果樹		茶		飼料作物	
	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
上関町	11	198	23	65	—	…	—	—
柳井市	144	2,087	119	367	—	…	22	944
平生町	60	944	44	171	—	…	2	122
3市町計	215 (13.9)	3,229 (33.0)	186 (12.0)	603 (6.2)	—	…	24 (1.5)	1,066 (10.9)
山口県計	3,827 (11.0)	66,455 (25.6)	2,980 (8.5)	11,300 (4.4)	92 (0.3)	…	1,564 (4.5)	68,030 (26.2)

注：1. 数値は、平成18年のものである。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

2. 「—」は、事実のないことを示す。

3. 「…」は、調査を行っていないことを示す。

4. ( )内は、割合(%)を示す。

5. 割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

6. 果樹は、みかん、なつみかん以外は収穫量の調査が行われていない。

〔山口農林水産統計年報 平成18～19年〕(中国四国農政局山口農政事務所統計部、平成20年)より作成

第2.1.2-13表 畜産業の状況

単位：飼養戸数：戸  
飼養頭数：頭  
飼養羽数：千羽

項目 市町名	飼養戸数及び飼養頭羽数							
	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数
上 関 町	-	-	1	x	-	-	-	-
柳 井 市	1	x	8	120	1	x	3	55
平 生 町	-	-	4	310	-	-	-	-
3 市 町 計	1	x	13	430	1	x	3	55
山 口 県 計	111	4,580	788	18,500	27	24,500	38	3,119

注：1. 数値は、平成18年2月1日現在のものである。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

3. 「x」は、秘密保持のため隠匿したものを示し、3市町計にはxを加算していない。

〔「山口農林水産統計年報 平成17～18年」(中国四国農政局山口農政事務所統計部、平成19年)より作成〕



第2.1.2-14表 農業粗生産額

(単位：1,000万円)

項目 市町名	合計	耕 種						
		小計	米	麦類、雑穀・ 豆類、いも類	野菜	果実	工 芸 農作物	その他
上関町	7	x	1	0	3	2	-	x
柳井市	191	164	89	3	40	9	-	24
平生町	52	46	21	1	17	3	-	5
3市町計	250 (100)	210 (84.0)	111 (44.4)	4 (1.6)	60 (24.0)	14 (5.6)	- (-)	29 (11.6)
山口県計	6,838 (100)	4,789 (70.0)	2,619 (38.3)	87 (1.3)	1,240 (18.1)	400 (5.8)	56 (0.8)	388 (5.7)

項目 市町名	畜 産						加 工 農産物
	小計	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	その他 畜産物	
上関町	x	x	-	-	-	-	-
柳井市	27	3	x	x	17	0	-
平生町	6	x	-	-	x	-	-
3市町計	33 (13.2)	3 (1.2)	x (x)	x (x)	17 (6.8)	0 (0.0)	- (-)
山口県計	2,045 (29.9)	467 (6.8)	246 (3.6)	134 (2.0)	1,163 (17.0)	34 (0.5)	5 (0.0)

注：1. 数値は、平成18年のものである。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

3. ( ) 内は、割合(%)を示す。

4. 数値及び割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

5. 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。

6. 「x」は、秘密保持のため秘匿したものを示し、3市町計にはxを加算していない。

〔「山口産林水産統計年報 平成18～19年」(中国四国農政局山口農政事務所統計部、平成20年)より作成〕

第2.1.2-15表 農 家 数

(単位：戸)

市町名	項目 総農家数	自給・販売別		専業別			
		自給農家	販売農家	専業農家	兼業農家		
					計	第1種兼業	第2種兼業
上 関 町	181	126	55	38	17	5	12
柳 井 市	1,916	727	1,189	414	775	43	732
平 生 町	674	345	329	121	208	15	193
3 市 町 計	2,771 (100)	1,198 (43.2)	1,573 (56.8)	573 (20.7)	1,000 (36.1)	63 (2.3)	937 (33.8)
山 口 県 計	50,017 (100)	17,693 (35.4)	32,324 (64.6)	9,224 (18.4)	23,100 (46.2)	2,830 (5.7)	20,270 (40.5)

- 注：1. 数値は、平成17年2月1日現在のものである。柳井市の値は、旧柳井市のものである。  
 2. 平成17年から、農林業経営体単位での調査となり、調査対象範囲が変更になった。  
 3. 専業別は、販売農家の内訳である。  
 4. ( ) 内は、割合 (%) を示す。  
 5. 割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

〔「山口県統計年鑑」(山口県統計協会、平成19年)より作成〕

第2.1.2-16表 経営耕地種類別面積

(単位：ha)

項目 市町名	経営耕地 総面積	田	畑			
			計	普通畑	樹園地	牧草地
上関町	105	18	87	54	33	-
柳井市	1,900	1,550	357	209	141	7
平生町	562	431	131	81	50	-
3市町計	2,567 (100)	1,999 (77.9)	575 (22.4)	344 (13.4)	224 (8.7)	7 (0.3)
山口県計	51,200 (100)	41,400 (80.9)	9,790 (19.1)	5,580 (10.9)	3,830 (7.5)	388 (0.8)

注：1. 数値は、平成18年7月15日現在のものである。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

3. ( )内は、割合(%)を示す。

4. 数値及び割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

[「山口農林水産統計年報 平成18～19年」(中国四国農政局山口農政事務所統計部、平成20年)より作成]

(o) 林業

周辺市町における林業の現況は、「山口農林水産統計年報 平成18～19年」（中国四国農政局山口農政事務所統計部，平成20年）によれば，次のとおりである。

周辺市町における林野面積は，平成17年において11,631haであり，所有形態別で見ると公有林が690ha，私有林が10,935haである。これを上関町についてみると，林野面積は2,154haであり，所有形態別で見ると公有林が98ha，私有林が2,056haである（第2.1.2-17表）。

なお，周辺市町における保有山林面積規模別経営体数は，第2.1.2-18表のとおりである。

(n) 商業

周辺市町における商業の現況は，「平成14年 山口県の商業」（山口県，平成15年）によれば，商店数，従業者数及び年間商品販売は，平成14年においてそれぞれ941店，5,246人，約1,020億円である。これを上関町についてみると，それぞれ114店，228人，約16億円である（第2.1.2-19表）。

(i) 鉱工業

周辺市町における鉱工業の現況は，「平成18年 山口県の工業」（山口県，平成20年）によれば，事業所数，従業者数及び製造品出荷額等は，平成18年においてそれぞれ109事業所，2,973人，約680億円である。これを上関町についてみると，それぞれ7事業所，50人，約4億円である（第2.1.2-20表）。

第2.1.2-17表 林業の状況

(単位: ha)

市町名	所有形態別林野面積					
	合計	国有	民有			
			計	緑資源 機構	公有	私有
上関町	2,154	-	2,154	-	98	2,056
柳井市	8,071	-	8,071	-	496	7,575
平生町	1,406	6	1,400	-	96	1,304
3市町計	11,631 (100)	6 (0.1)	11,625 (99.9)	- (-)	690 (5.9)	10,935 (94.0)
山口県計	434,679 (100)	11,384 (2.6)	423,295 (97.4)	10,813 (2.5)	70,694 (16.3)	341,788 (78.6)

注: 1. 数値は、平成17年2月1日現在のものである。柳井市と大島町の合併は平成17年2月21日であるが、ここでは出典から合併後の値を記載した。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

3. ( )内は、割合(%)を示す。

4. 割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

5. 「0.0」は、小数点以下第2位を四捨五入して0.1に満たないものを示す。

(「山口県林水産統計年報 平成18~19年」(中国四国農政局山口農政事務所統計部、平成20年)より作成)

第 2.1.2-18 表 保有山林面積規模別経営体数

(単位：経営体)

項目 市町名	総 数	保有山林面積規模 (ha)							
		保有山林 なし	～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100以上
上 関 町	x	x	x	x	x	x	x	x	x
柳 井 市	71	—	40	23	4	2	1	1	—
平 生 町	43	1	33	8	—	—	—	—	1
3 市町計	114 (100)	1 (0.9)	74 (64.9)	31 (27.2)	4 (3.5)	2 (1.8)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (0.9)
山 口 県 計	5,762 (100)	20 0.3	2,022 (35.1)	1,901 (33.0)	1,128 (19.6)	310 (5.4)	215 (3.7)	113 (2.0)	53 (0.9)

注：1. 数値は、平成17年2月1日現在のものである。柳井市と大島町の合併は平成17年2月21日であるが、ここでは出典から合併後の値を記載した。

2. 「—」は、事実のないことを示す。

3. ( ) 内は、割合 (%) を示す。

4. 割合は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

5. 「x」は、秘密保持のため秘匿したものを示し、3市町計にはxを加算していない。

{「山口農林水産統計年報 平成18～19年」(中国四国農政局山口農政事務所統計部、平成20年)より作成}

第 2.1.2-19 表 商店数、従業者数及び年間商品販売額

単位：商店数：店  
従業者数：人  
年間商品販売額：万円

項目 市町名	総 数				
	商 店 数			従業者数	年間商品販売額
	総 数	法 人	個 人		
上 関 町	114	8	106	228	157,922
柳 井 市	650	362	288	4,014	8,387,730
平 生 町	177	65	112	1,004	1,658,719
3 市町計	941 (100)	435 (46.2)	506 (53.8)	5,246 (100)	10,204,371 (100)
山口県計	23,260 (100)	11,263 (48.4)	11,997 (51.6)	136,229 (100)	359,503,236 (100)

項目 市町名	卸 売 業			小 売 業		
	商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額
上 関 町	10	37	50,077	104	191	107,845
柳 井 市	121	856	3,097,018	629	3,158	5,290,712
平 生 町	25	97	261,830	152	907	1,396,889
3 市町計	156 (16.6)	990 (18.9)	3,408,925 (33.4)	785 (83.4)	4,256 (81.1)	6,795,446 (66.6)
山口県計	4,160 (17.9)	33,567 (24.6)	203,333,306 (56.6)	19,100 (82.1)	102,662 (75.4)	156,169,930 (43.4)

- 注：1. 商店数及び従業者数の数値は平成14年6月1日現在、年間商品販売額は平成13年4月1日～14年3月31日の実績である。  
柳井市の値は、旧柳井市のものである。  
2. ( )内は、割合(%)を示す。  
3. 割合は、四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

〔「平成14年 山口県の商業」(山口県、平成15年)より作成〕

第2.1.2-20表 鋁工業統計

単位：事業所数：事業所  
従業者数：人  
製造品出荷額等：万円

項目 市町名	事業所数	従業者数	製造品出荷額等				
			計	食料	飲料	繊維	衣服
上関町	7	50	37,478	x	-	-	-
柳井市	62	1,643	2,858,341	371,013	x	-	-
平生町	40	1,280	3,915,295	159,043	-	-	107,088
3市町計	109	2,973	6,811,114	530,056	-	-	107,088
山口県計	2,236	94,770	655,842,966	20,252,909	3,616,984	x	1,387,949

項目 市町名	製造品出荷額等					
	木材	家具	パルプ	印刷	化学	石油
上関町	-	-	-	-	-	-
柳井市	202,289	x	x	x	379,973	x
平生町	1,919,938	x	x	x	x	-
3市町計	2,122,227	-	-	-	379,973	-
山口県計	5,102,438	795,940	9,892,127	3,722,497	170,664,609	146,380,179

項目 市町名	製造品出荷額等					
	プラスチック	ゴム	皮革	窯業	鉄鋼	非鉄
上関町	-	-	-	x	-	-
柳井市	-	-	-	105,020	-	-
平生町	-	-	-	21,438	x	-
3市町計	-	-	-	126,459	-	-
山口県計	9,067,768	11,162,673	x	18,491,047	71,190,385	11,036,933

項目 市町名	製造品出荷額等					
	金属	機械	電気	輸送	精密	その他工業
上関町	-	x	-	x	-	-
柳井市	27,894	400,529	58,260	469,822	x	11,661
平生町	x	103,180	-	-	-	-
3市町計	27,894	503,709	58,260	469,822	-	11,661
山口県計	15,125,403	23,728,311	6,392,347	106,400,984	x	20,342,940

注：1. 事業所数及び従業者数の数値は平成18年12月31日現在、製造品出荷額等は平成18年次のものを示す。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

3. 「x」は、秘密保持のため秘匿したものを示し、3市町計にはxを加算していない。

4. その他工業には「情報通信」「電子デバイス」を含み、xを加算していない。

〔平成18年 山口県の工業〕（山口県、平成20年）より作成



## ハ. 就業人口

周辺市町における産業別就業者数は、「平成17年 国勢調査報告 第2次基本集計結果 (35 山口県) 統計表」(総務省統計局, 平成18年)によれば, 平成17年10月1日現在において25,034人であり, 業種別にみると卸売・小売業が4,279人で最も多く, 次いで製造業が4,057人, 医療・福祉が2,956人である。これを上関町についてみると, 就業者数は1,618人であり, 漁業が278人で最も多く, 次いで卸売・小売業が218人, 建設業が205人である(第2.1.2-10表)。

## ニ. その他

山口県においては, 総合的・長期的な県政運営の指針として「やまぐち未来デザイン21」が平成10年に策定されており, 平成18年度から4年間は第五次実行計画の期間となっている。

このうち産業振興計画によれば, 「農林水産業を支える人・しくみづくりプロジェクト」として, ①産地を支える経営体の育成確保, ②ニューファーマー・ニューフィッシャーに対する支援, ③収益性の高い漁業経営の確立が重点事業とされている。また, 「地産・地消の推進プロジェクト」として, ①やまぐちの農水産物の需要拡大対策の推進, ②需要に応える産地づくりが重点事業とされている。

## ② 漁業に関する事項

### イ. 漁場

#### (イ) 漁業の概要

調査海域に係る漁業協同組合（以下「漁協」という。）として、山口県漁協の四代、上関、祝島、室津、平生町、田布施、牛島及び光の8支店（以下「8支店」という。）があり、このうち発電所計画地点地先海域（以下「地先海域」という。）に係る支店として四代及び上関の2支店（以下「地先支店」という。）がある。

また、漁業地区として、四代、上関、祝島、室津、平生、田布施、牛島及び光の8漁業地区（以下「8漁業地区」という。）があり、このうち地先海域に係る漁業地区として四代及び上関の2漁業地区（以下「地先漁業地区」という。）がある。

地先漁業地区に係る調査海域周辺（以下「調査海域周辺」という。）で営まれている主な漁業は、地先支店等からの聞き取り調査によれば、かれい類、えび類、こういか類、なまこ類を対象とした小型機船底びき網漁業、かれい類、まだい、めばる類、かさご類、さざえを対象とした巻網漁業、まあじ、ぶり類、たちうお、まだいを対象としたまきえづり・一本釣漁業、かれい類、はも、ふぐ類を対象とした延なわ漁業、まあじ、ぶり類、たちうお、すずきを対象とした巻網漁業、いわし類を対象とした機船船びき網漁業、まだい、はも、すずきを対象としたごち網漁業、たこ類を対象としたたこつぼ漁業、あなご類、めばる類、かさご類、たこ類を対象としたかご漁業、こういか類を対象としたいか巻網漁業、あわび類、さざえ、わかめ類、ふのり類を対象とした採貝・採藻漁業がある。これらの主な漁場は第2.1.2-6図のとおりである。

#### (ロ) 漁業権漁業の状況

調査海域周辺における漁業権漁業の状況は、「免許漁業原簿謄本」（山口県、平成18年）によれば、山口県漁業協同組合に対し第1種共同漁業権が3件、第2種共同漁業権が3件、第3種共同漁業権が1件の免許がされている（第2.1.2-21表、第2.1.2-7図）。

なお、区画漁業権及び定置漁業権は免許されていない。

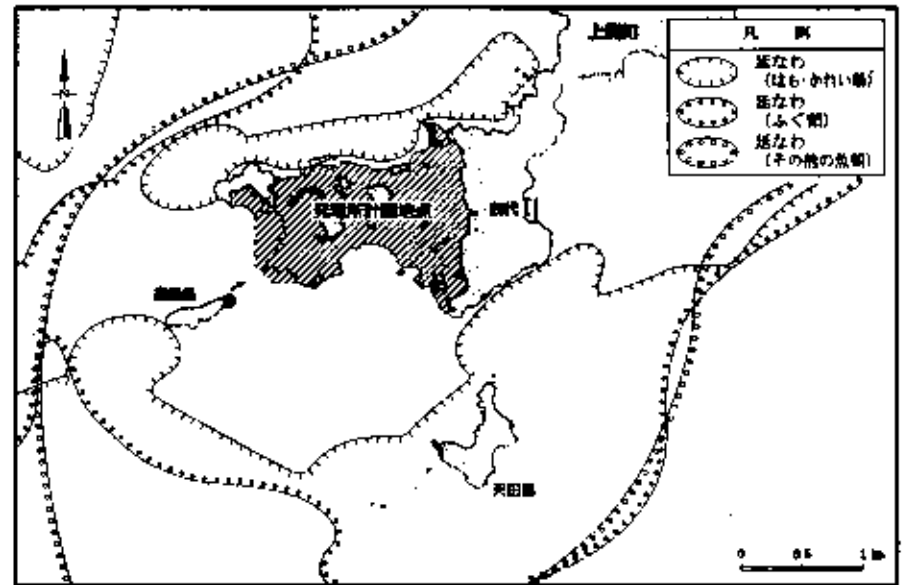
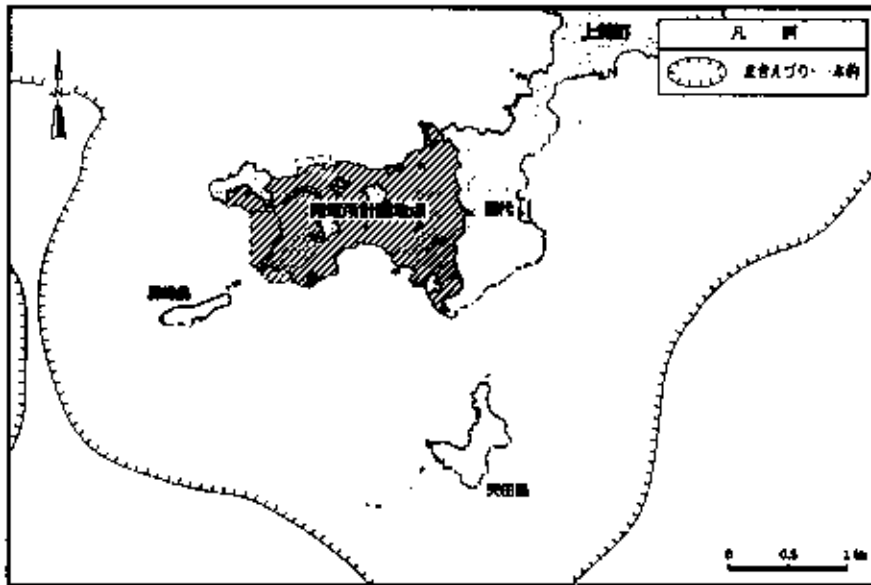
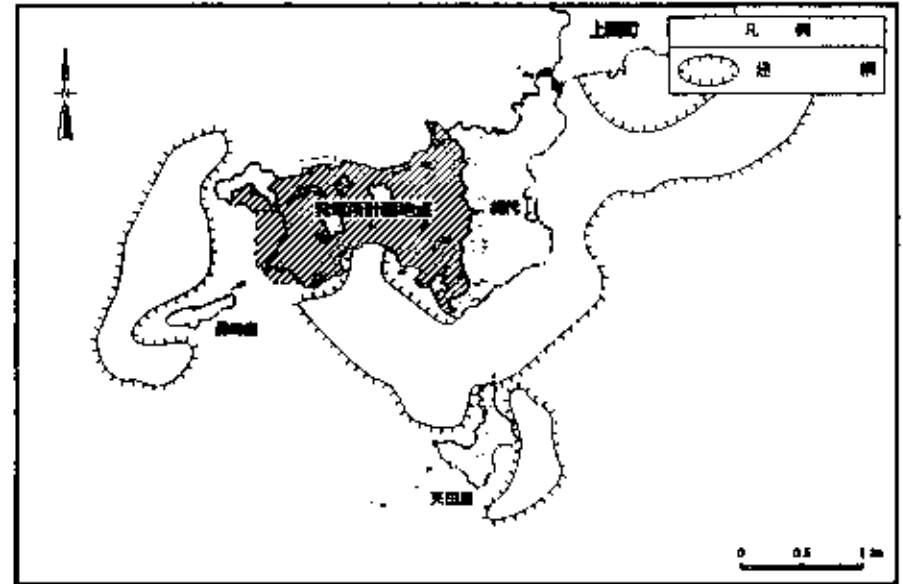
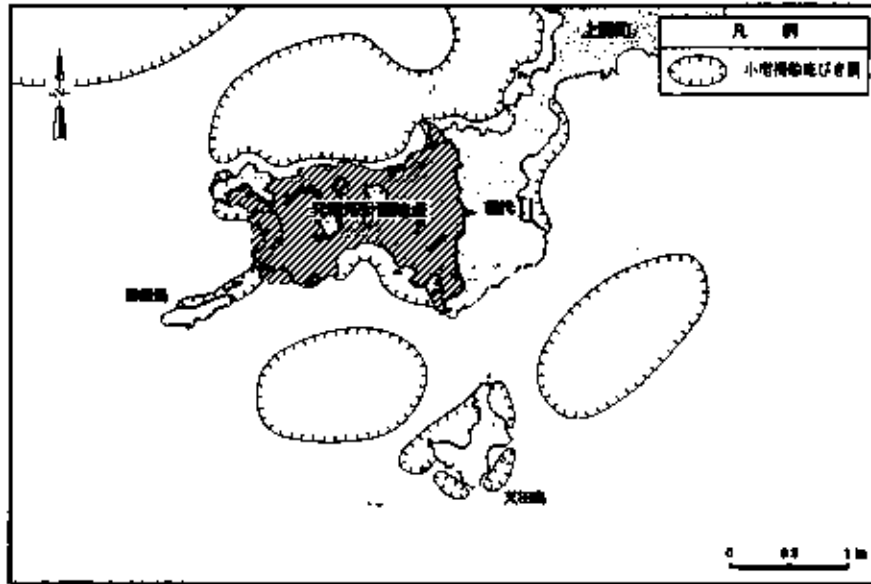
#### (ハ) 許可漁業の存在状況

地先支店及びこれらを含む8支店における許可漁業の状況は、支店からの聞き取り調査等によれば、平成18年8月10日現在において知事認可漁業によるいわし船びき網8件、さより船びき網156件、たいーそうローラーごち網87件、ぼら囲さし網23件、あじ・さば流さし網14件、さわら・たい・まながつお流さし網5件、きす流

さし網21件、たい・はも・あなご延なわ118件、ふぐ延なわ83件、まきえづり125件、手繰第1種及び第2種194件、手繰第1、2種（えさびき網）62件、手繰第2(3)種（なまこ漕（桁）網）48件、手繰第3種（貝桁網）135件、手繰第3種（桁網）146件、あなごかご47件、雑魚かご83件、計1,355件の許可がされている。これらの許可漁業の内容は第2.1.2-22表のとおりである。

(二) 人工魚礁

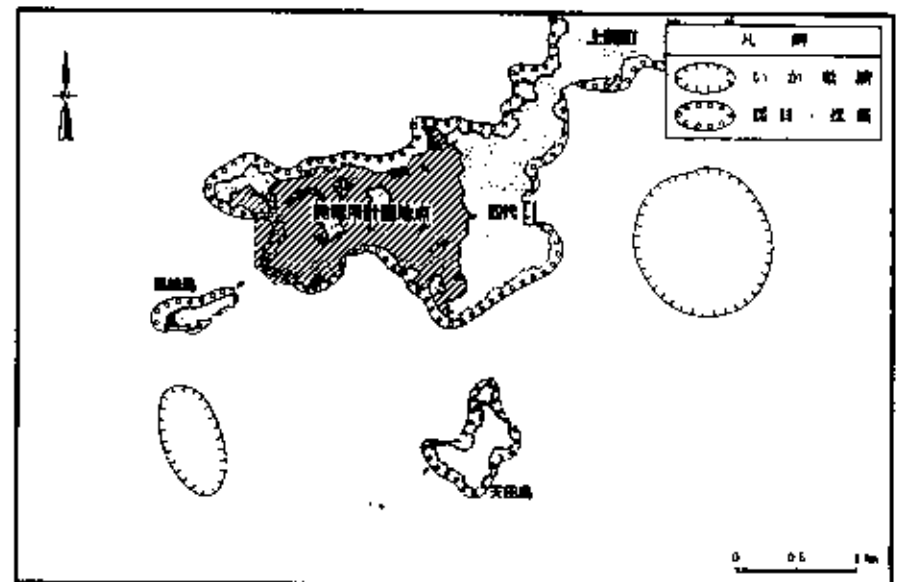
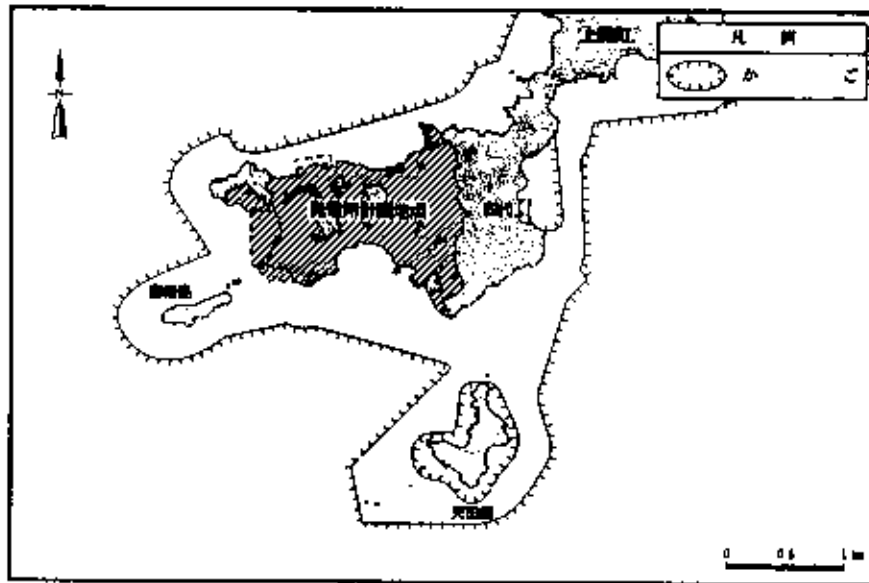
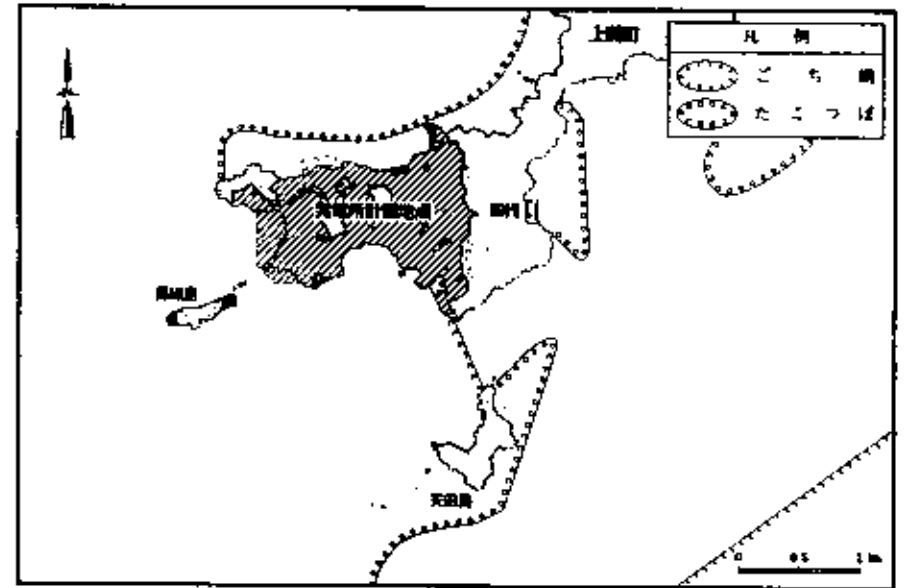
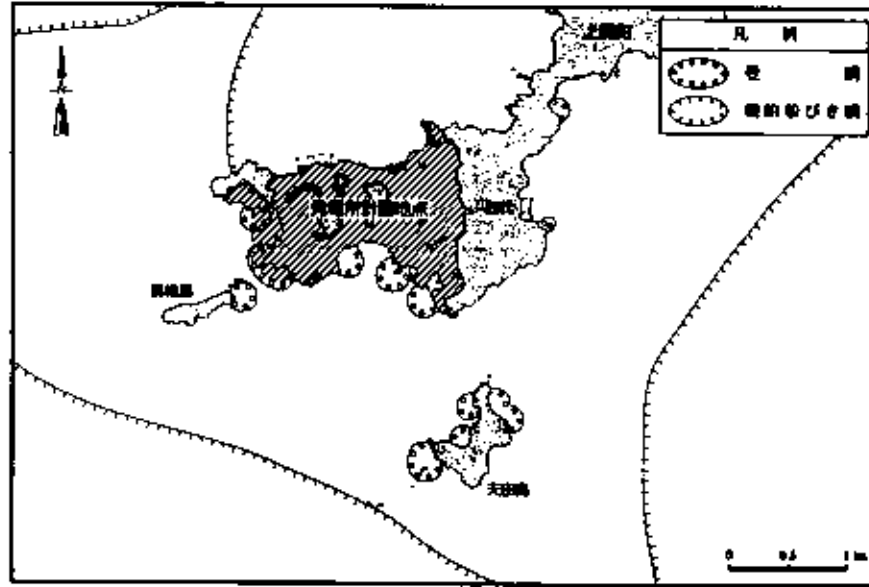
調査海域周辺における人工魚礁の設置状況は、上関町資料によれば第2.1.2-8図のとおりである。



(地元支店等からの聞き取り調査により作成)

第2.1.2-6図(2) 漁

場



(地先支店等からの聞き取り調査により作成)

第2.1.2-21表(1) 共同漁業権の内容

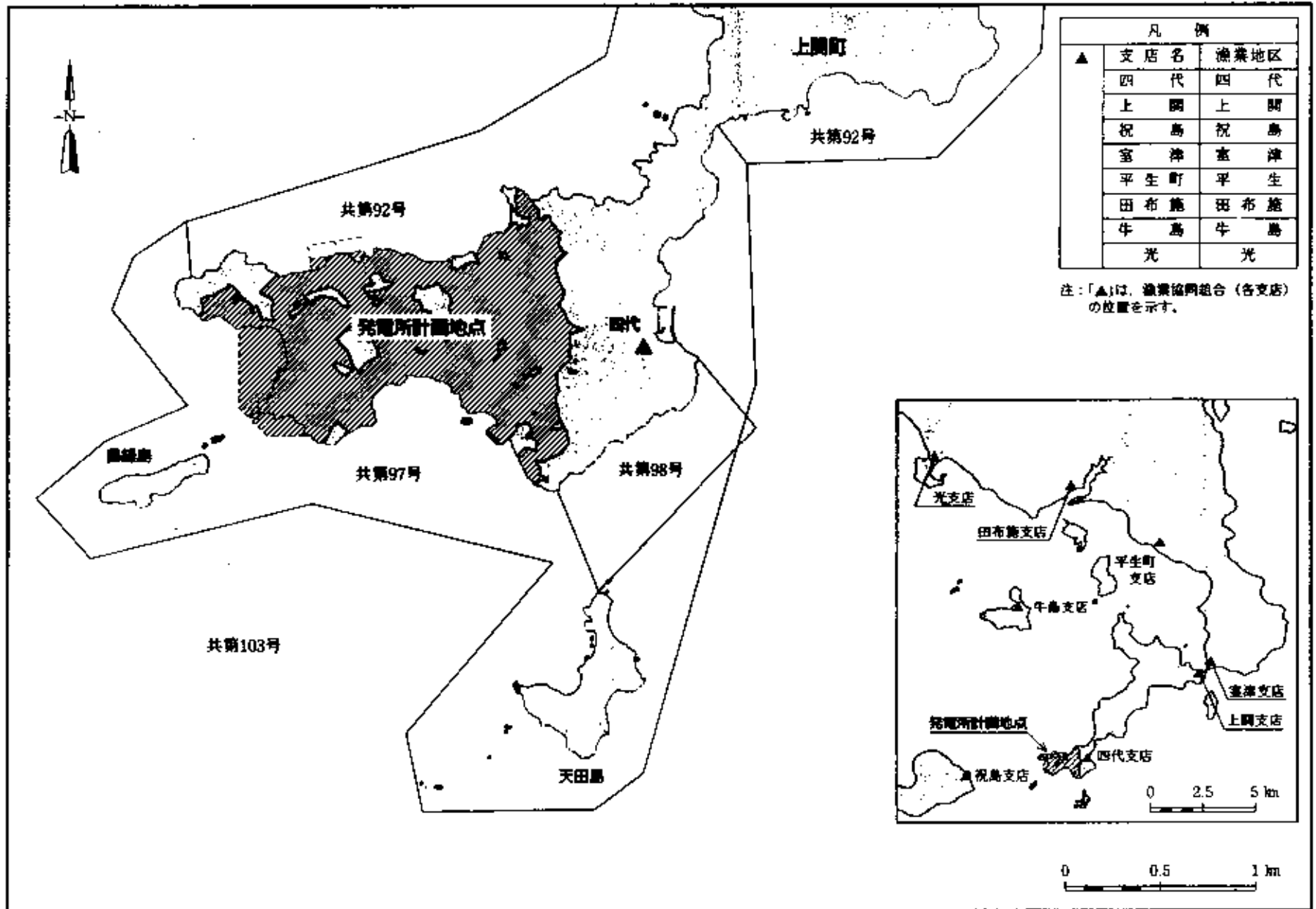
免許番号	漁業権者	漁業種類	漁業の名称	漁業時期	存続期間
共第92号	山口県漁業協同組合(上関支店)	第1種共同漁業	あおさ漁業	12月1日から翌年5月31日まで	平成16年1月1日から平成25年12月31日まで
			あおのり漁業、いわのり漁業、ひじき漁業、もずく漁業	12月1日から翌年4月30日まで	
			いぎす漁業、あかがい漁業、あさり漁業、あわび漁業、いがい漁業、かき漁業、さざえ漁業、たいらぎ漁業、とこぶし漁業、とりがい漁業、にし漁業、にな漁業、ばかがい漁業、はまぐり漁業、まてがい漁業、みるくい漁業、もがい漁業、いせえび漁業、うに漁業、えむし漁業、かめのて漁業、しゃこ漁業、たこ漁業	1月1日から12月31日まで	
			おごのり漁業	2月1日から8月31日まで	
			かじめ漁業	1月1日から8月31日まで	
			てんぐさ漁業	11月1日から翌年7月31日まで	
			ふのり漁業	2月1日から11月30日まで	
			わかめ漁業	1月1日から5月31日まで	
			なまこ漁業	11月1日から翌年3月31日まで	
			第2種共同漁業	養網漁業、小型定置漁業	
		いか養網漁業		3月1日から6月30日まで	
		あおさ漁業、ひじき漁業		12月1日から翌年5月31日まで	
		あおのり漁業		11月1日から翌年4月30日まで	
		共第97号	山口県漁業協同組合(四代支店)	第1種共同漁業	
いわのり漁業	12月1日から翌年4月30日まで				
てんぐさ漁業	11月1日から翌年7月31日まで				
ふのり漁業	2月1日から11月30日まで				
わかめ漁業	1月1日から5月31日まで				
なまこ漁業	11月1日から翌年3月31日まで				

第2.1.2-21表(2) 共同漁業権の内容

免許番号	漁業権者	漁業種類	漁業の名称	漁業時期	存続期間
共第97号	山口県漁業協同組合 (四代支店)	第2種 共同漁業	建網漁業, 小型定置漁業	1月1日から 12月31日まで	平成16年1月1日 から 平成25年12月31日 まで
			いか巣網漁業	3月1日から 6月30日まで	
共第98号	山口県漁業協同組合 (四代支店)	第3種 共同漁業	たい飼付漁業	1月1日から 12月31日まで	同
共第103号	山口県漁業協同組合 (四代支店, 上関支店, 祝島支店, 壺津支店, 平生町支店, 田布施支店, 牛島支店, 光支店)	第1種 共同漁業	あかがい漁業, たいらぎ漁業, とりがい漁業, なみがい漁業, みるくい漁業, しやこ漁業, たこ漁業	1月1日から 12月31日まで	同
			なまこ漁業	11月1日から 翌年3月31日まで	
		第2種 共同漁業	建網漁業	1月1日から 12月31日まで	
			いか巣網漁業	3月1日から 6月30日まで	

〔「免許漁業原簿謄本」(山口県, 平成18年)より作成〕

第2.1.2-7図 共同漁業権



2.1.2-40

〔免許漁業原簿謄本（山口県、平成18年）より作成〕



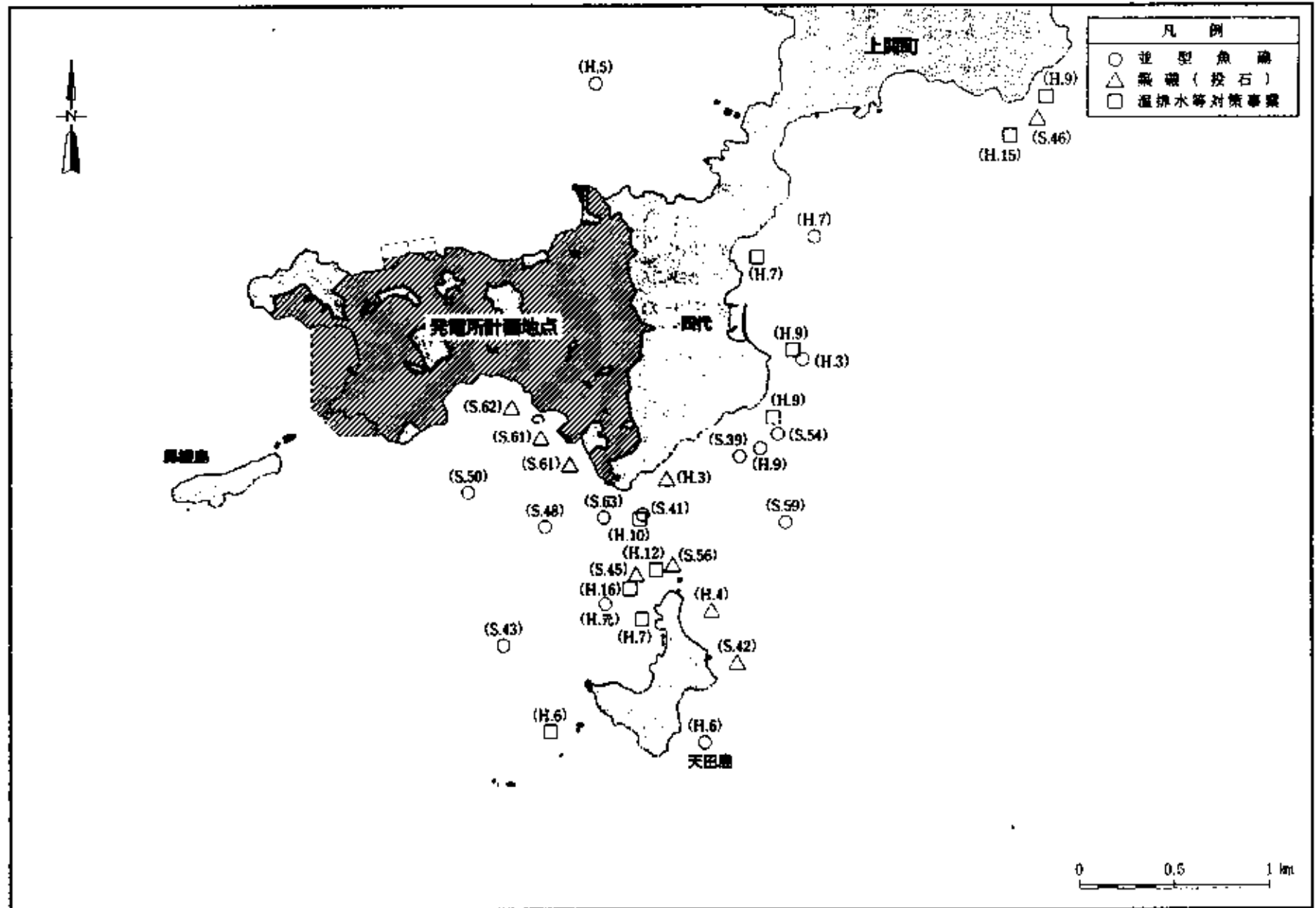
第2.1.2-22表 許可漁業の内容

漁業種類	漁業種別	支店別許可件数 (隻)			操業期間	操業区域	制限又は条件
		地先 四代	支店 上関	8支店 計			
機船船びき網	いわし船びき網	-	2	8	周年	水産事務所 所長指定海域	1. 操業区域の制限 2. 使用漁船の制限
	さより船びき網	2	16	156	10月10日から 翌年8月10日 まで	山口県内海	1. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 2. 光力の制限 3. 使用漁船の制限
ごち網	たいーそう ローラーごち網	-	21	87	周年	山口県内海	1. 操業時間の制限 2. 漁具の制限
さし網	ぼら網さし網	-	4	23	周年	水産事務所 所長指定海域	1. 操業区域、操業期間 操業時間の制限
	あじ・さば 流さし網	-	-	14	3月1日から 11月30日まで	山口県内海	1. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 2. 漁具の制限
	さわら・ たい・まながつ お流さし網	-	3	5	3月1日から 12月31日まで	山口県内海	1. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 2. 漁具の制限 3. 船体表示、標旗の義務 あり
	きす流さし網	-	-	21	4月1日から 11月30日まで	山口県内海	1. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限
証なわ	たい・はも・ あなご証なわ	6	25	118	周年	山口県内海	
	ふぐ証なわ	-	23	83	周年	山口県内海	
まきえづり	まきえづり	8	60	125	周年	水産事務所 所長指定海域	
小型機船 底びき網	手繰第1種	5	43	194	1月1日から 9月30日まで	山口県内海	1. 漁具の制限 2. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 3. 使用漁船の制限
	手繰第2種				周年	山口県内海	1. 漁具の制限 2. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 3. 使用漁船の制限
	手繰第1,2種 (えさびき網)	9	26	62	約証なわ餌料 必要期間	水産事務所 所長指定海域	1. 漁獲物の使用制限、販売 制限 2. 使用漁船の制限
	手繰第2(3)種 (なまこ漕(桁)網)	4	7	48	11月1日から 翌年3月31日 まで	第1種共同漁業 種ごとの漁場区 域内	1. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 2. 使用漁船の制限
	手繰第3種 (貝桁網)	5	33	135	11月1日から 翌年4月19日 まで	第1種共同漁業 種ごとの漁場区 域内	1. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 2. 使用漁船の制限
	手繰第3種 (桁網)	5	33	146	11月1日から 翌年4月19日 まで	山口県内海	1. 操業区域、操業期間、 操業時間の制限 2. 使用漁船の制限
かご	あなごかご	2	7	47	周年	水産事務所 所長指定海域	1. 漁具の制限 2. 標旗の設置義務あり
	雑魚かご	3	5	83	周年	水産事務所 所長指定海域	1. 標旗の設置義務あり
計		49	308	1,365			

注：「-」は、事実のないことを示す。

〔地先支店等からの聞き取り調査及び「柳井水産事務所資料」より作成〕

第2.1.2-8図 人工魚礁の設置位置



注：( )内は、完成年を示す。

(「上関町資料」より作成)

## ロ. 漁期及び漁獲量

### (イ) 漁期

調査海域周辺で営まれている主な漁業の漁期は、地先支店等からの聞き取り調査によれば、小型機船底びき網漁業、建網漁業、まきえづり・一本釣漁業、延なわ漁業、壺網漁業、ごち網漁業、かご漁業・採貝・採藻漁業が周年、機船船びき網漁業が7月～翌年4月、たこつぼ漁業が11月～翌年8月、いか巢網漁業が3月～6月となっている（第2.1.2-23表）。

また、主な魚種の漁期は第2.1.2-24表のとおりである。

### (ロ) 漁獲量

8漁業地区における漁業種類別漁獲量（属人統計）及び魚種別漁獲量（属人統計）は、「山口農林水産統計年報 平成7年～11年」（中国四国農政局山口統計情報事務所、平成8年～13年）及び「中国四国農政局山口統計情報事務所資料」によれば、次のとおりである。

#### a. 漁業地区別漁獲量

8漁業地区における平成7年から11年までの年平均漁獲量は3,463トンであり、山口県年平均総漁獲量の約4%を占めている。このうち、地先漁業地区の年平均漁獲量は四代地区が127トン、上関地区が500トンである（第2.1.2-25表）。

#### b. 漁業種類別漁獲量

8漁業地区における平成7年から11年までの年平均漁業種類別漁獲量は小型底びき網【縦びき（手繰）3種】が906トンで最も多く、次いでひき寄せ船びき網が573トン、小型底びき網【縦びき（手繰）2種】が505トン等である。このうち、地先漁業地区の年平均漁業種類別漁獲量は四代地区では刺網が37トン、上関地区では小型底びき網【縦びき（手繰）3種】が248トンでそれぞれ最も多い（第2.1.2-25表）。

#### c. 魚種別漁獲量

8漁業地区における平成7年から11年までの年平均魚種別漁獲量はかたくちいわしが346トンで最も多く、次いでかれい類が262トン、なまこ類が243トン等である。

このうち、地先漁業地区の年平均魚種別漁獲量は四代地区ではめばる類が19トン、上関地区ではたこ類が70トンでそれぞれ最も多い（第2.1.2-26表）。

第2.1.2-23表 主な漁業種類別漁期

漁業種類	漁 期 (月)												主な漁獲対象種
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
小型機船底びき網	[漁期]												かれい類、えび類、こういか類、なまこ類
巻網	[漁期]												かれい類、まだい、めばる類、かさご類、さざえ
まきえづり・一本釣	[漁期]												まあじ、ぶり類、たちうお、まだい
延なわ	[漁期]												かれい類、はも、かぐ類
巻網	[漁期]												まあじ、ぶり類、たちうお、すずき
機船船びき網	[漁期]												いわし類
ごち網	[漁期]												まだい、はも、すずき
たこつぼ	[漁期]												たこ類
かご	[漁期]												あなご類、めばる類、かさご類、たこ類
いか集網	[漁期]												こういか類
採貝・採藻	[漁期]												あわび類、さざえ、わかめ類、ふのり類

注：[漁期] は漁期、[盛漁期] は盛漁期を示す。

(地先支店等からの聞き取り調査により作成)

第2.1.2-24表 主な魚種別漁期

魚種	漁期(月)											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いわし類							////	////	////	////	////	////
まあじ	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
ぶり類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
かれい類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
はも	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
たちうお						////	////	////	////	////	////	////
まだい	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
すすき	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
ふぐ類	////	////					////	////	////	////	////	////
あなご類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
めばる類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
かさご類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
えび類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
こういか類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
たこ類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
なまこ類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
あわび類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
さざえ	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
わかめ類	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////
ふのり類		////	////	////	////	////	////	////	////	////	////	////

注：//// は漁期，■ は盛漁期を示す。

(地先支店等からの聞き取り調査により作成)

第 2.1.2-25 表 (1) 地区別・漁業種別漁獲量の推移 (噸人)

(単位: t)

漁業種別	漁業地区 年	四 代					上 関							
		7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均	
以西底びき網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖合底びき網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小型底びき網 (縦びき(手繰)1種)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小型底びき網 (縦びき(手繰)2種)		21	21	9	9	4	13	77	59	91	84	131	88	
小型底びき網 (縦びき(手繰)3種)		24	26	44	34	23	30	281	326	289	201	142	248	
ひき回し船びき網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ひき寄せ船びき網		-	-	-	-	-	-	2	0	1	1	4	2	
大中型まき網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
中・小型まき網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の中・小型まき網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
刺網		38	35	46	40	26	37	32	26	22	24	22	25	
棒受網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の敷網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大型定置網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小型定置網		22	22	23	16	11	19	5	4	7	1	5	4	
その他の網		-	-	-	-	-	-	4	12	12	13	15	11	
近海まぐろはえ網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ふぐはえ網		-	-	-	-	-	-	9	16	10	9	10	10	
あまだいはえ網		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他のはえ網		1	1	1	-	0	1	23	14	22	9	8	15	
いか釣		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の釣		13	17	10	14	14	14	35	61	13	26	34	34	
潜水器漁		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
採藻		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
採藻		5	-	-	-	-	1	1	4	6	-	1	2	
たこつぼ		8	7	8	9	10	8	62	48	48	43	54	51	
しらすけ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の漁業		5	3	7	5	6	5	15	14	6	1	5	8	
合 計		137	132	147	126	94	127	546	583	527	412	430	500	

- 注: 1. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。  
 2. 「-」は、事実のないことを示す。  
 3. 「0」は、単位に満たないものを示す。

第2.1.2-25表(2) 地区別・漁業種類別漁獲量の推移(属人)

(単位: t)

漁業種類	年	8 漁 業 地 区 計					山 口 県 計						
		7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均
以西底びき網		-	-	-	-	-	-	x	x	x	x	x	x
沖合底びき網		-	-	-	-	-	-	9,535	10,404	11,664	9,257	9,149	10,002
小型底びき網〔縦びき(手繰)1種〕		556	420	440	435	283	427	1,574	1,595	1,761	1,828	1,712	1,694
小型底びき網〔縦びき(手繰)2種〕		699	417	459	407	642	505	6,731	5,739	5,628	5,091	4,854	5,609
小型底びき網〔縦びき(手繰)3種〕		960	1,037	1,024	902	608	906	3,300	3,199	3,277	3,054	2,368	3,040
ひき回し船びき網		32	24	45	89	145	67	42	35	56	103	162	80
ひき寄せ船びき網		548	652	340	568	759	573	4,092	3,364	3,500	4,428	3,946	3,866
大中型まき網		-	-	-	-	-	-	22,520	24,575	14,168	x	x	20,421
中・小型まき網		-	-	-	-	-	-	6,292	7,488	4,908	8,428	3,883	6,200
その他の中・小型まき網		-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	1	1
刺網		464	427	444	422	363	424	4,320	4,591	4,730	4,061	4,023	4,345
棒受網		-	-	-	-	-	-	11,030	9,654	9,844	9,672	5,574	9,155
その他の敷網		-	-	-	-	-	-	1,836	2,165	1,477	644	1,979	1,620
大型定置網		-	-	-	-	-	-	1,376	1,144	1,065	951	1,016	1,110
小型定置網		27	26	30	17	16	23	1,624	1,460	1,643	1,405	1,542	1,535
その他の網		-	-	-	-	-	-	175	294	450	431	621	394
近海まぐろはえ縄		-	-	-	-	-	-	x	x	x	x	x	x
ふぐはえ縄		26	36	20	18	19	24	309	343	234	408	371	333
あまだいはえ縄		...	-	-	-	-	-	1,137	1,131	801	577	444	818
その他のはえ縄		48	34	45	21	39	37	559	552	643	592	543	578
いか釣		-	-	-	-	-	-	2,926	3,142	3,059	2,518	2,716	2,872
その他の釣		238	310	136	166	148	200	1,975	2,380	2,120	2,377	2,000	2,170
潜水器漁業		-	-	-	-	-	-	2,174	3,440	3,808	2,980	3,834	3,247
採貝		8	7	x	6	5	6	1,682	1,299	1,304	1,235	1,271	1,358
採藻		6	4	6	-	1	3	548	560	513	469	400	498
たこつば		152	132	136	100	139	132	715	621	693	759	786	715
しらつげ		...	-	-	-	-	-	200	337	855	784	537	543
その他の漁業		141	137	120	95	117	122	1,800	1,952	1,926	1,787	1,823	1,858
合 計		3,906	3,664	3,280	3,251	3,216	3,463	88,622	91,791	80,361	79,887	68,534	81,839

- 注: 1. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。  
 2. 「-」は、事実のないことを示す。  
 3. 「x」は、秘密保護上統計数値を公表しないものを示す。  
 4. 「...」は、事実不詳又は調査を欠くものを示す。

〔山口農林水産統計年報 平成7年~11年〕  
 〔中国四国農政局山口統計情報事務所, 平成8年~13年〕,  
 〔中国四国農政局山口統計情報事務所資料〕より作成

第2.1.2-26表(1) 地区別・魚種別漁獲量の推移(属人)

(単位: t)

魚種	漁業地区 年	四 代					上 関							
		7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均	
魚	まぐろ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	かじき類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	かつお類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	さめ類	0	0	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	このしろ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0
	まいわし	-	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
	うるめいわし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	かたくちいわし	-	-	-	-	-	-	2	0	0	1	2	1	1
	しらす	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	まあじ	16	19	17	12	8	15	12	16	17	20	20	17	17
	むろあじ類	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	さば類	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0
	さんま	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ぶり類	6	6	8	7	8	7	3	2	7	5	4	4	4
	ひらめ	0	1	5	1	1	2	1	1	2	2	4	2	2
	かれい類	6	8	9	9	6	8	45	102	87	47	33	63	63
	うしのした	9	11	7	9	6	9	80	75	57	38	31	56	56
	にぎす	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	にべ・ぐち	0	1	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0	0
	えそ類	0	0	1	1	0	0	-	-	-	-	-	-	-
類	いぼだ	0	-	0	0	0	0	0	-	-	-	-	0	
	あなご類	1	0	0	0	0	0	5	4	3	2	2	3	
	はちうお	0	1	1	2	2	1	18	20	25	32	45	28	
	たちうお	2	1	0	0	0	1	22	42	4	3	12	16	
	えい類	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	-	0	
	まだい	2	3	4	5	3	3	4	10	11	14	9	10	
	ちだ	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	きだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	くろだ	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1
	いさ	0	0	0	0	0	0	-	0	-	-	-	-	0

注: 1. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。  
 2. 「-」は、事実のないことを示す。  
 3. 「0」は、単位に満たないものを示す。



第 2.1.2-26 表 (2) 地区別・魚種別漁獲量の推移 (属人)

(単位: t)

魚種	漁業地区 年	8 漁業地区計						山 口 県 計					
		7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均
魚 類	まぐろ類	-	-	-	-	-	-	507	602	304	303	247	393
	かじき類	-	-	-	-	-	-	10	23	11	24	14	16
	かつお類	-	-	-	-	-	-	227	93	85	230	109	149
	さめ類	12	10	7	10	9	10	67	67	60	73	53	64
	このしろ	8	6	13	17	12	11	149	228	260	175	173	197
	まいわし	10	0	8	0	-	4	9,187	3,892	653	534	466	2,946
	うるめいわし	-	-	-	-	-	-	3,891	4,751	5,678	5,408	2,078	4,361
	かたくちいわし	354	430	188	223	533	346	8,718	8,254	7,003	7,299	8,415	7,938
	しらす	-	-	-	-	-	-	479	478	393	1,390	363	621
	まあじ	132	148	149	273	180	176	12,013	8,777	7,940	11,050	5,604	9,077
	むろあじ類	-	-	-	-	4	1	162	175	1,092	662	1,261	670
	さば類	5	7	3	3	6	5	9,478	20,588	11,287	12,711	9,167	12,646
	さんま	-	-	-	-	-	-	64	17	20	10	64	35
	ぶり類	29	45	41	37	34	37	1,180	1,933	2,092	2,042	1,720	1,793
	ひらめ	14	17	22	26	26	21	123	129	118	121	135	125
	かれい類	233	345	320	242	169	262	2,606	3,074	3,116	2,325	2,132	2,651
	うしのした類	216	223	196	174	159	194	516	649	671	618	537	598
	にぎす	-	-	-	-	-	-	12	24	6	12	3	11
	にべ・ぐち類	244	132	151	147	100	155	415	275	257	233	189	274
	えそ類	46	31	24	27	29	31	742	672	646	753	691	701
	いぼだ	94	73	155	177	89	118	104	80	201	204	111	140
	あなご類	60	39	31	17	12	32	994	838	797	699	620	790
	はちま	130	107	102	199	267	161	164	156	183	345	426	255
たちうお	192	246	82	50	26	119	968	848	576	478	369	648	
えい類	33	31	40	33	50	37	147	133	204	224	232	188	
まだい	42	52	61	73	101	66	990	1,195	1,238	1,275	1,192	1,178	
ちだ	-	-	-	-	6	1	41	41	45	77	89	69	
きだ	-	-	-	-	-	-	921	1,225	1,429	1,152	1,184	1,182	
くろだ	17	21	18	16	9	16	192	198	184	194	174	188	
いさ	0	0	0	0	0	0	298	275	373	368	404	344	

注: 1. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

3. 「0」は、単位に満たないものを示す。

第2.1.2-26表(3) 地区別・魚種別漁獲量の推移(属人)

(単位: t)

魚種	漁業地区 年	四 代					上 関						
		7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均
魚 類	さわら類	0	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	しいら類	-	0	-	-	-	0	-	-	-	-	-	
	とびうお類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ぼら類	0	0	0	-	0	0	3	2	1	-	1	1
	すずき	1	1	1	1	1	1	0	1	2	1	1	1
	いかなご	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	あまだい類	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-
	ふぐ類	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2
	とらふぐ	0	0	-	0	0	0	9	5	2	3	5	5
	ほうぼう類	-	0	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-
	かさご類	3	3	1	1	3	2	1	1	1	0	0	1
	めばる類	25	17	25	19	12	19	13	14	12	8	9	11
	その他の魚類	14	15	18	21	15	17	75	89	84	48	61	71
計	88	91	100	91	69	88	292	387	318	229	243	294	
水 産 動 物 類	くるまえび	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1
	その他のえび類	7	2	5	1	1	3	43	6	28	15	44	27
	がざみ類	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1
	その他のかに類	1	-	0	-	-	0	1	0	-	-	-	0
	こういか類	2	3	4	8	9	5	95	71	56	61	40	65
	するめいか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	けんさまいか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他のいか類	1	4	2	1	0	2	0	0	-	2	2	1
	たこ類	13	11	14	12	13	12	76	66	80	58	68	70
	うに類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
なまこ類	13	18	20	10	1	12	31	43	36	43	30	36	
その他の水産動物類	0	0	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	
計	37	38	45	33	24	35	248	190	202	181	184	201	
貝 類	あわび類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	さざえ	4	3	2	2	2	3	3	2	1	2	2	2
	あさり類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注: 1. 数値は、四捨五入の誤差で合計が一致しないことがある。  
 2. 「-」は、事実のないことを示す。  
 3. 「0」は、単位に満たないものを示す。

第2.1.2-26表(4) 地区別・魚種別漁獲量の推移(属人)

(単位: t)

魚種	漁業地区	B漁業地区計					山口県計						
	年	7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均
魚類	さわら類	0	0	0	0	0	0	32	24	83	68	290	99
	しいら類	0	0	-	-	0	0	166	381	558	491	555	430
	とびうお類	-	-	-	-	-	-	130	159	105	80	56	106
	ぼら類	17	14	12	4	10	11	226	198	192	160	138	183
	すずき	23	29	29	26	18	25	332	332	327	311	279	316
	いかなご	87	71	12	108	14	58	734	367	43	112	14	254
	あまだい類	0	0	-	-	0	0	1,190	1,185	950	574	525	885
	ふぐ類	3	5	7	11	14	8	246	283	209	427	629	359
	とらふぐ	23	13	4	6	11	11	197	182	113	79	72	129
	ほうぼう類	8	15	6	6	4	8	115	135	127	108	73	112
	かさご類	20	14	9	7	7	11	140	175	175	169	132	158
めばる類	126	96	120	94	89	105	600	505	690	513	386	539	
その他の魚類	368	360	361	308	370	353	8,704	7,076	9,084	8,290	8,596	8,350	
計	2,546	2,577	2,168	2,312	2,364	2,393	68,174	70,691	59,576	62,372	49,966	62,156	
水産動物類	くるまえび	12	8	9	8	4	8	189	156	136	121	89	138
	その他のえび類	486	167	224	108	156	228	3,550	2,527	2,607	2,175	2,213	2,614
	がさみ類	15	22	10	6	7	12	425	350	188	212	141	263
	その他のかに類	14	10	5	0	0	6	153	107	120	94	63	107
	こういか類	154	144	170	205	172	169	771	860	820	891	884	845
	するめいか	-	-	-	-	-	-	1,153	938	1,078	664	835	934
	けんさまいか	...	-	-	-	5	1	3,583	5,082	4,227	3,231	3,839	3,992
	その他のいか類	120	172	94	78	38	100	2,360	1,862	1,834	1,509	1,206	1,754
	たこ類	287	229	270	190	212	238	1,582	1,448	1,646	1,571	1,586	1,567
	うに類	0	1	1	0	0	0	478	533	525	441	342	464
	なまこ類	195	272	260	280	209	243	840	1,068	1,056	980	930	975
その他の水産動物類	4	6	2	0	0	2	332	251	281	266	257	277	
計	1,286	1,030	1,044	873	800	1,007	15,416	15,181	14,519	12,155	12,382	13,931	
貝類	あわび類	3	4	2	4	3	3	123	136	130	141	156	137
	さどえ	45	35	47	49	36	42	1,487	1,193	1,204	1,303	1,368	1,311
	あさり類	2	2	1	1	2	2	753	1,850	2,371	1,598	2,846	1,884

- 注: 1. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。  
 2. 「-」は、事実のないことを示す。  
 3. 「...」は、事実不詳又は調査の欠くものを示す。  
 4. 「0」は、単位に満たないものを示す。

第 2.1.2-26 表 (5) 地区別・魚種別漁獲量の推移 (属人)

(単位: t)

魚種	漁業地区 年	四 代					上 関						
		7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均
貝類	とりがい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	たいらぎ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	みるくいがい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	あかがい	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	
	その他の貝類	3	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	
	計	7	3	2	2	2	3	4	3	1	2	2	
海藻類	わかめ類	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	0
	ひじき	1	-	-	-	-	0	1	4	6	-	0	2
	てんぐさ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他の海藻類	1	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	
		計	4	-	-	-	-	1	1	4	6	-	1
	合計	137	132	147	126	94	127	546	583	527	412	430	500

- 注: 1. 数値は、四捨五入の關係で合計が一致しないことがある。  
 2. 「-」は、事実のないことを示す。  
 3. 「0」は、単位に満たないものを示す。

第2.1.2-26表(6) 地区別・魚種別漁獲量の推移(属人)

(単位: t)

魚種	漁業地区	8 漁業地区計					山 口 県 計						
	年	7	8	9	10	11	平均	7	8	9	10	11	平均
貝類	とりがい	0	0	2	0	0	0	5	6	6	8	1	5
	たいらぎ	-	-	-	-	0	0	15	42	24	19	39	28
	みるくいがい	-	-	-	-	-	-	10	24	11	21	13	16
	あかがい	4	3	2	4	3	3	40	43	31	34	30	36
	その他の貝類	13	9	7	7	5	8	2,052	2,054	1,969	1,760	1,323	1,832
	計	68	53	62	65	60	60	4,485	5,349	5,746	4,884	5,778	5,248
海藻類	わかめ類	3	-	-	-	1	1	173	229	204	95	125	165
	ひじき	2	4	6	-	0	2	227	200	198	305	194	225
	てんぐさ類	-	-	-	-	-	-	23	10	19	13	7	14
	その他の海藻類	1	-	-	-	-	0	124	131	99	63	83	100
	計	6	4	6	-	1	3	548	570	521	477	409	506
合計	3,906	3,664	3,280	3,251	3,216	3,464	88,622	91,791	80,361	79,887	68,534	81,839	

注: 1. 数値は、四捨五入の関係で合計が一致しないことがある。  
 2. 「-」は、事実のないことを示す。  
 3. 「0」は、単位に満たないものを示す。

〔山口農林水産統計年報 平成7年~11年〕  
 (中国四国農政局山口統計情報事務所, 平成8年~13年).  
 〔中国四国農政局山口統計情報事務所資料〕より作成

## ハ. 漁業協同組合

8支店における支店の組合員数は、漁協合併前の「山口県漁協役員名簿」（山口県漁協育成対策協議会、平成16年）によれば、平成16年9月現在において938人、うち正組合員が600人、准組合員が338人である。このうち、地先支店における組合員数は四代支店（旧四代漁協）が59人、上関支店（旧上関漁協）が267人である（第2.1.2-27表）。

## ニ. 漁業経営体

8漁業地区における漁業経営体の状況は、「第11次漁業センサス 第4巻」（農林水産省統計情報部、平成17年）によれば、経営組織別経営体数は、平成15年11月1日現在において439経営体である。このうち、地先漁業地区における経営体数は四代地区が27経営体、上関地区が85経営体である（第2.1.2-28表）。

また、営んだ漁業種類別経営体数は、第2.1.2-29表のとおりである。

## ホ. 就業状況

漁業の就業状況は次のとおりである。

### (イ) 就業者数

8漁業地区における漁業の就業者は、「第11次漁業センサス 第4巻」（農林水産省統計情報部、平成17年）によれば、平成15年11月1日現在において、609人（男子505人、女子104人）である。このうち、地先漁業地区における就業者数は四代地区が40人、上関地区が120人である（第2.1.2-30表）。

### (ロ) 漁船隻数

8漁業地区における漁船隻数は、「山口農林水産統計年報 平成11～12年」（中国四国農政局山口統計情報事務所、平成13年）及び「中国四国農政局山口統計事務所資料」によれば、平成12年1月1日現在において509隻である。このうち、地先漁業地区における漁船隻数は四代地区が26隻、上関地区が84隻である（第2.1.2-31表）。

第2.1.2-27表 漁業協同組合組織状況

(単位：人)

支店名	組合員数			役員数		
	正	准	計	役員	職員	計
四代	58	1	59	8	3	11
上関	146	121	267	11	6	17
8支店計	600	338	938	70	53	123
山口県計	9,240	7,674	16,914	579	563	1,142

注：数値は平成16年9月現在（漁協合併前）のものである。

〔「山口県漁協役員名簿」（山口県漁協育成対策協議会、平成16年）より作成〕

第2.1.2-28表 経営組織別経営体数

(単位：経営体)

経営組織 漁業地区名	個人 経営	会社経営	漁業協同 組合	漁業生産 組合	共同経営	官公庁 学校 試験場	総数
四代	27	-	-	-	-	-	27
上関	84	1	-	-	-	-	85
8漁業地区計	433	1	-	1	4	-	439
山口県計	5,360	61	11	3	36	5	5,476

注：1. 数値は、平成15年11月1日現在のものである。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

〔「第11次漁業センサス 第4巻」（農林水産省統計情報部、平成17年）より作成〕

第2.1.2-29表 営んだ漁業種類別経営体数

(単位：経営体)

漁業種類 漁業地区名	底びき網			船 び き 網	ま き 網	刺 網	敷 網	大型 定 置 網	小型 定 置 網	その 他 の 網 漁 業
	沖 合 底 び き 網	小 型 底 び き 網	そ の 他 の 底 び き 網							
四 代	-	31	-	-	-	10	-	-	2	-
上 関	-	5	-	4	-	13	-	-	1	-
8 漁業地区計	-	140	-	63	-	120	-	-	3	-
山 口 県 計	7	979	1	188	18	1,522	197	8	111	58

漁業種類 漁業地区名	はえ網		釣 り			潜 水 器 漁 業	採 貝	採 藻	そ の 他 の 漁 業	ぶ り 養 殖	ま だ い 養 殖	ひ ら め 養 殖	そ の 他 の 魚 類 養 殖
	ま ぐ ろ は え 網	そ の 他 の は え 網	い か 釣 り	ひ き 網 釣 り	そ の 他 の 釣 り								
四 代	-	1	-	-	16	-	-	-	7	-	-	-	-
上 関	-	14	-	13	43	-	-	3	16	-	-	-	-
8 漁業地区計	-	42	-	24	186	-	10	3	117	-	-	-	-
山 口 県 計	1	346	999	205	2,200	110	1,169	406	1,930	12	6	13	21

漁業種類 漁業地区名	か き 類 養 殖	く る ま え び 養 殖	の り 類 養 殖	わ か め 類 養 殖	そ の 他 の 養 殖	総 数 実 数
四 代	-	-	-	-	-	27
上 関	-	1	-	-	-	85
8 漁業地区計	-	1	-	-	-	439
山 口 県 計	2	14	46	181	2	5,476

注：1. 数値は、平成15年11月1日現在のものである。

2. 「-」は、事実のないことを示す。

(「第11次漁業センサス 第4巻」(農林水産省統計情報部、平成17年)より作成)



第2.1.2-30表 性別年齢別漁業就業者数

(単位：人)

項目		漁業地区名	四 代	上 関	8 漁業地区計	山口県計
総 数			40	120	609	8,084
男 子	15～19歳		—	—	1	24
	20～24歳		—	2	4	84
	25～29歳		—	—	3	115
	30～34歳		—	3	9	151
	35～39歳		1	2	13	228
	40～44歳		1	—	13	274
	45～49歳		1	2	17	396
	50～54歳		3	7	41	771
	55～59歳		2	9	36	716
	60～64歳		3	9	70	975
	65歳以上		16	60	298	580
	計		27	94	505	6,815
	女 子	15～19歳		—	—	—
20～24歳			—	—	—	4
25～29歳			—	—	—	5
30～34歳			—	—	1	11
35～39歳			—	—	—	29
40～44歳			2	—	3	48
45～49歳			1	1	5	65
50～54歳			1	2	13	154
55～59歳			2	7	13	188
60～64歳			1	1	20	269
65歳以上			6	16	49	495
計		13	26	104	1,269	

注：1. 数値は、平成15年11月1日現在のものである。

2. 「—」は、事実のないことを示す。

〔「第11次漁業センサス 第4巻」(農林水産省統計情報部、平成17年)より作成〕

第2.1.2-31表 規模別漁船隻数

(単位：隻)

項目		漁業地区名			
		四 代	上 関	8 漁業地区計	山口県計
総 数		26	84	509	6,712
無 動 力 船		-	-	1	2
船外機付船		-	-	4	805
動 力 船	計	26	84	504	5,905
	1t未満	4	3	35	570
	1～3t	16	39	252	2,518
	3～5t	6	42	217	2,178
	5～10t	-	-	-	273
	10～20t	-	-	-	309
	20～30t	-	-	-	-
	30～50t	-	-	-	5
	50～100t	-	-	-	45
	100～200t	-	-	-	2
	200～500t	-	-	-	5
	500t以上	-	-	-	-

注：1. 数値は、平成12年1月1日現在のものである。  
2. 「-」は、事実のないことを示す。

〔「山口県林水産統計年報 平成11～12年」(中国四国農政局山口統計情報事務所、平成13年)、  
「中国四国農政局山口統計情報事務所資料」より作成〕

へ、その他

(イ) 水産資源保護

山口県では、水産資源保護のために漁業調整規則を定め、水産動物の採捕禁止期間、採捕できる体長等の制限、漁具漁法の制限等を設けている。

なお、調査海域の周辺において「水産資源保護法」（昭和26年、法律第313号）に基づく保護水面が設定されている。

(ロ) 漁業振興計画

漁業振興計画としては、平成13年度に「光・熊毛地区栽培漁業センター」が完成し、平成2年3月に設立された関係市町・山口県漁協光熊毛統括支店を構成員とする（社）光・熊毛地区栽培漁業協会により施設の運営管理が行われており、同センターにおいてクルマエビ、トラフグ、マダイ、カサゴ、ヒラメ、キジハタ、アワビの中間育成、放流事業、ガザミ、オニオコゼの直接放流事業が実施されている。

また、陸上育成施設ではクルマエビ、海上育成施設ではトラフグの養殖事業がそれぞれ実施されている。

なお、平成9年度からの増殖場の造成等を主体とした「光・熊毛さかなのふるさと整備事業」については、平成17年度に事業が完了し、マダイ、ヒラメ等の各種種苗が育成されている。

## (5) 陸上交通

周辺市町における陸上交通の現況は、「山口県統計年鑑」（山口県統計協会、平成19年）及び「平成17年度道路交通センサス 一般交通量調査総括表」（山口県土木建築部、平成18年）によれば、次のとおりである。

### ① 主要な交通

周辺市町における鉄道としては、西日本旅客鉄道(株)(以下「JR西日本」という。)の山陽本線があり、発電所計画地点の最寄り駅は山陽本線柳井駅である。

主要な道路としては、国道188号、437号及び主要地方道柳井周東線、光柳井線、光上関線、光日積線、柳井玖珂線、柳井上関線がある(第2.1.2-9図)。

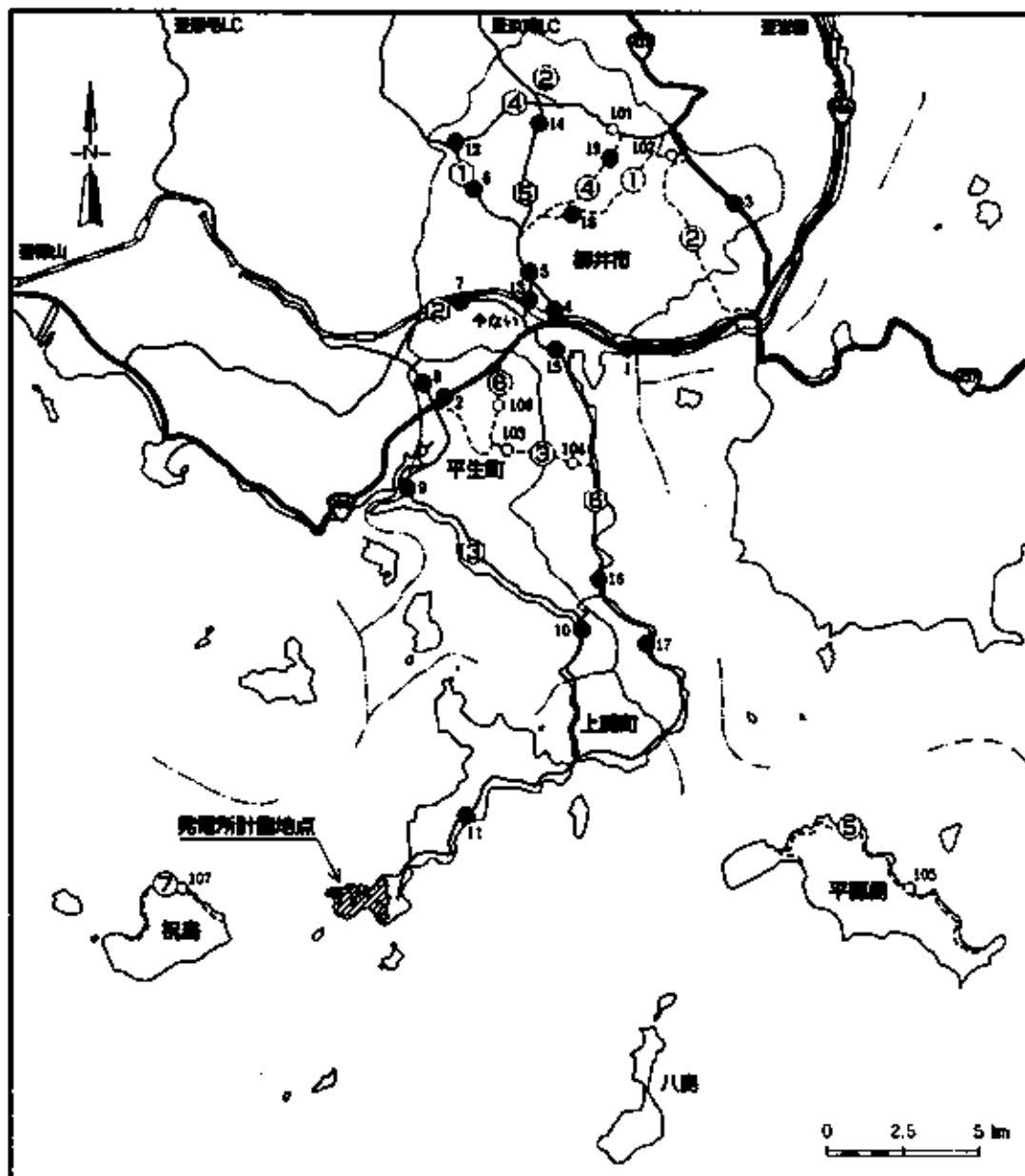
### ② 主要な交通の交通量

JR西日本の山陽本線の各駅における鉄道輸送実績は第2.1.2-32表、主要な道路の交通量は第2.1.2-33表のとおりである。

### ③ 主要な交通の将来計画

周辺市町における主要な交通の将来計画は、「ジョイロードプラン～山口県の新しい道路整備計画～(平成15年度～19年度)」（山口県、平成16年）によれば、「地域の自活を支えるみちづくり」を実現するため、主要地方道柳井上関線(柳井市)、国道188号柳井バイパス(柳井市)、「人と自然を大切に作るみちづくり」を実施するため、都市計画道路柳井駅門の前線(柳井市)、古市金屋地区(柳井市)の整備促進等が進められている。

第2.1.2-9図 主要な陸上交通ルート



凡 例		
	一 般 道	道
	一 般 国 道	
	主 要 地 方 道	
	一 般 県 道	
	交 通 量 観 測 地 点	
	交 通 量 非 観 測 地 区 内 の 仮 的 観 測 地 点	
道路種別	路線号	路線名
国 道		188号
国 道		437号
主 要 地 方 道	①	御井町東線
	②	光御井線
	③	光上御線
	④	光日輪線
	⑤	御井玖珂線
	⑥	御井上御線
一 般 県 道	①	御井由字線
	②	伊陸大島線
	③	伊保庄平生線
	④	木部御井線
	⑤	東御西御線
	⑥	大野南長途線
	⑦	尻島線

注：交通量非観測地区区内には、実際の観測地点は設けられていないため、便宜上、区内の任意の点を仮的観測地点として表示した。

(平成17年度 道路交通センサス 一般交通量調査報告書)(山口県、平成18年)より作成)

第2.1.2-32表 主要な鉄道輸送の実績

(単位：人)

項 目			旅 客	
市 名	路 線 名	駅 名	乗車人員	1日平均乗車人員
柳 井 市	J R山陽本線	柳井港	90,342	248
		柳 井	834,318	2,286

注：統計は、平成18年度の値である。

(「山口県統計年鑑」(山口県統計協会、平成19年)より作成)

第2.1.2-33表(1) 主要な道路の交通量

道路種別	路線名	観測地点名	観測地点番号	歩行者類 (人)	自転車類 (台)	動力付 二輪車類 (台)	自動車類交通量(台)						
							乗用車			貨物車			自動車類 合計
							軽乗用車 乗用車	バス	計	軽貨物車 小型貨物車	普通貨物車 特殊車 (特殊車)	計	
一般国道	188号	柳井市柳井字行年	1	43	107	181	10,213	87	10,300	3,461	1,214	4,675	14,975
		熊毛郡平生町大字平生村字坂ノ下式ノ割	2	70	196	199	8,116	37	8,153	1,811	1,024	2,835	10,988
	437号	柳井市大字日積字正福	3	3	7	33	1,628	31	1,659	742	294	1,036	2,695
主要地方道	柳井周東線	柳井市中央二丁目	4	584	602	237	3,289	121	3,410	585	195	780	4,190
		柳井市柳井字中馬皿	5	86	91	225	8,019	90	8,109	2,980	831	3,811	11,920
		柳井市柳井字黒杭	6	5	13	43	796	10	806	430	111	541	1,347
	光柳井線	柳井市新庄字等山	7	25	182	179	7,610	49	7,659	2,652	760	3,412	11,071
	光上関線	熊毛郡平生町大字壑ヶ浜字龜岩	8	22	245	149	7,427	30	7,457	2,052	467	2,519	9,976
		熊毛郡平生町大字管根字水場	9	31	214	157	4,028	64	4,092	1,585	357	1,942	6,034
		熊毛郡平生町大字尾国字脇	10	35	25	67	2,001	37	2,038	932	173	1,105	3,143
		熊毛郡上関町大字長島字蒲井	11	3	0	20	397	13	410	127	44	171	581
	光日積線	柳井市伊陸字松ヶ谷	12	8	7	10	110	2	112	80	25	105	217
		柳井市伊陸字長野	101	10	27	20	170	15	185	106	18	124	309

注：1. 数値は、平成17年10月19日 7:00~19:00の12時間交通量である。

2. 観測地点番号の位置は、第2.1.2-9図参照。

第2.1.2-33表(2) 主要な道路の交通量

道路種別	路線名	観測地点名	観測地点番号	歩行者類 (人)	自転車類 (台)	動力付 二輪車類 (台)	自動車類交通量(台)						自動車類 合計
							乗用車			貨物車			
							軽乗用車 乗用車	バス	計	軽貨物車 小型貨物車	普通貨物車 特種車 (特殊車)	計	
主要地方道	柳井玖珂線	柳井市古開作字瀬戸側	13	80	403	236	7,850	45	7,895	2,618	592	3,210	11,105
		柳井市伊達字宮ヶ原	14	18	12	52	3,829	53	3,882	1,549	551	2,100	5,982
	柳井上関線	柳井市伊保庄字高須	15	166	251	275	4,846	48	4,894	1,656	211	1,867	6,761
		柳井市阿月字字種	16	31	36	51	1,803	28	1,831	600	58	658	2,489
		柳井市阿月字相ノ浦	17	7	14	18	225	14	239	96	17	113	352
一般県道	柳井由宇線	柳井市柳井字石井	18	3	18	82	2,217	15	2,232	879	79	958	3,190
	伊達大島鹿線	柳井市	102	247	239	67	721	2	723	354	54	408	1,131
	伊保庄平生線	柳井市	103	12	0	2	50	6	56	57	4	61	117
		熊毛郡平生町大字大野南字中村	104	18	17	59	213	0	213	171	33	204	417
	木部柳井線	柳井市伊達字上長野	19	5	13	37	198	17	215	128	4	132	347
	東浦西浦線	柳井市	105	3	2	12	147	28	175	84	36	120	295
	大野南長迫線	熊毛郡平生町大字大野北字今井	106	33	89	95	1,063	4	1,067	629	67	696	1,763
	祝島線	熊毛郡上関町	107	3	2	12	147	28	175	84	36	120	295

注：1. 数値は、平成17年10月19日 7:00～19:00の12時間交通量である。

2. 観測地点番号の位置は、第2.1.2-9図参照。

3. 101～107番の観測地点は、交通量非観測区間（短絡線区間、中間中止区間）であるため、推計値が記載されている。

〔「平成17年度道路交通センサス 一般交通量調査総括表」(山口県土木建築部、平成18年)より作成〕



(6) 文化財及びレクリエーション施設

① 文化財

周辺市町における文化財は、「山口県指定等文化財目録」（山口県教育委員会，平成16年）等によれば，国指定のものが5件，山口県指定のものが22件ある。これらの概要は第2.1.2-34表，位置は第2.1.2-10図のとおりである。

なお，発電所計画地点及びその近傍における周知の埋蔵文化財の概要は第2.1.2-35表，位置は第2.1.2-11図のとおりである。

② レクリエーション施設

周辺市町におけるレクリエーション施設は，「やまぐち観光ガイドマップ」（山口県・（社）山口県観光連盟，平成20年）及び「ふるさと山口の自然公園」（山口県，平成9年）等によれば，景勝地，海水浴場，キャンプ場等がある。これらの概要は第2.1.2-36表，位置は第2.1.2-12図のとおりである。

なお，周辺市町における観光客の推移は第2.1.2-37表のとおりである。

第2.1.2-34表(1) 文化財一覽

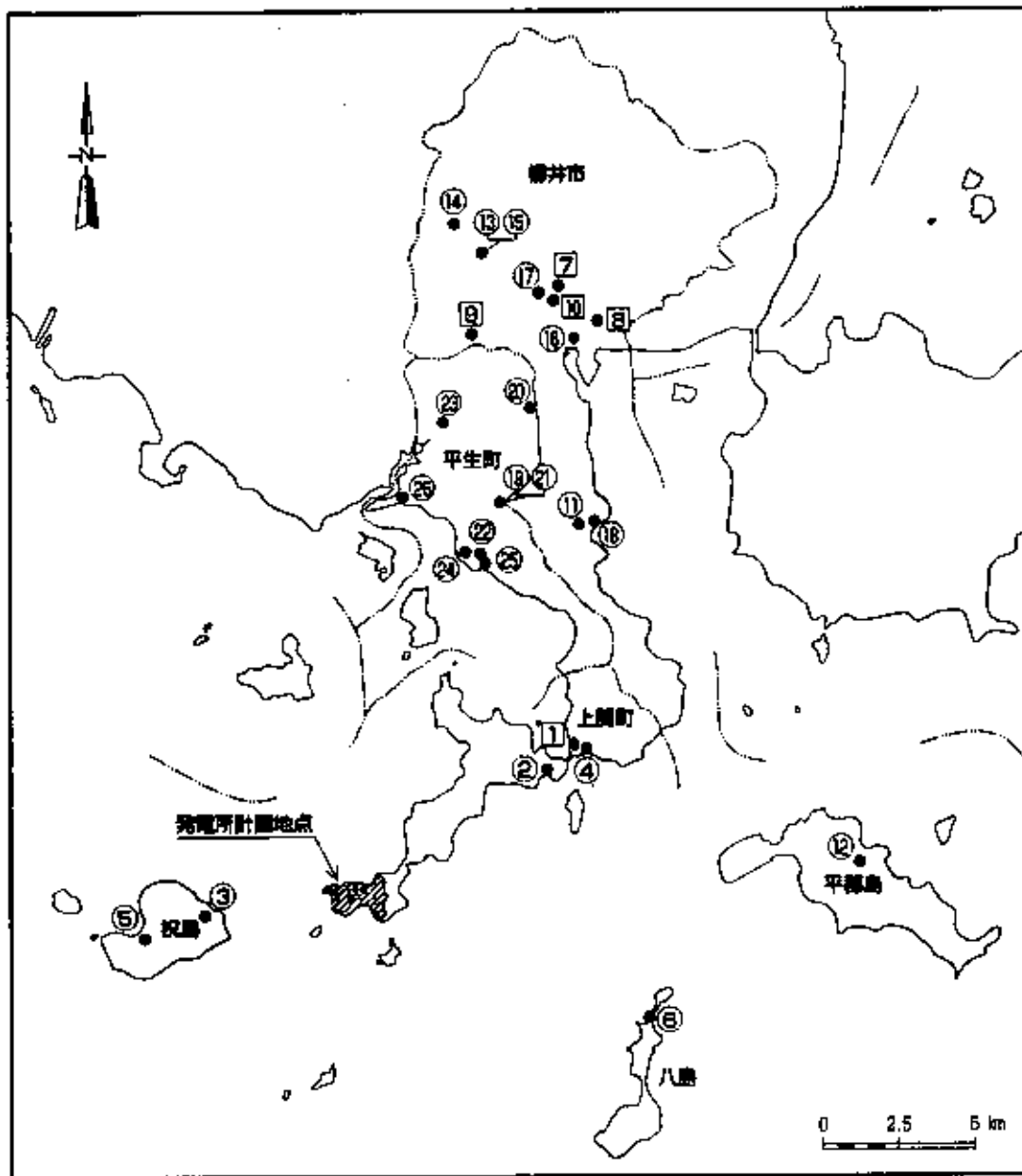
市町名	図番号	指定	指定種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	頁数
上 関 町	1	国	重要文化財 建造物	四階楼	上関町大字壺津 字藪出町	上関町	平成17年 12月27日	1棟
	2	県	有形文化財 建造物	四階楼	上関町大字壺津 字藪出町	上関町	平成5年 5月14日	1棟
	3	県	有形文化財 建造物	旧上関番所	上関町大字長島629	上関町	平成12年 3月31日	1棟
	4	県	無形民俗文化財	祝島の神舞神事	上関町	祝島神舞神事 保存会	昭和51年 11月24日	—
	5	県	天然記念物	常満寺の大イチョウ	上関町大字壺津956	常満寺	昭和41年 6月10日	—
	6	県	天然記念物	祝島のケグワ	上関町大字祝島字 小田2731	田尾友二	昭和41年 6月10日	—
	7	県	天然記念物	八島与崎のカシワ・ビャク シン群落	上関町大字八島字出崎 95,96及び98の1並びに 字古浦98のうち10,620 m <sup>2</sup>	八島地区 八島神社	平成15年 4月4日	—
柳 井 市	8	国	重要文化財 建造物	国森家住宅 土蔵造、桁行16.5m、 梁間8.5m、二階建、 入母屋造、妻入、 本瓦葺、南面及び北面 庇付、椽瓦葺、西面下 屋付属	柳井市柳井津467	国森紳爾	昭和49年 2月5日	1棟
	9	国	史跡	茶臼山古墳	柳井市柳井字向山	柳井市	昭和23年 1月14日	—
	10	国	天然記念物	余田臥龍塚	柳井市余田字平原2450	所有者 河森佳典 管理団体 柳井市	昭和8年 4月13日	—
	11	国	重要伝統的建造物 群保存地区	柳井市古市金屋地区	柳井市大字柳井津字古市 町、字金屋町の各一部 (面積約1.7ha)	—	昭和59年 12月10日	—
	12	県	有形文化財彫刻	木造不動明王坐像	柳井市阿月2219	無動寺	昭和41年 6月10日	1躯
	13	県	有形文化財彫刻	木造薬師如来坐像	柳井市平部2006	淨光寺	昭和41年 6月10日	1躯
	14	県	有形文化財彫刻	木造二天王立像	柳井市余田1112	福楽寺	昭和56年 12月11日	4躯
	15	県	有形文化財彫刻	木造二天王立像	柳井市余田506-1	福楽寺	昭和56年 12月11日	2躯
	16	県	有形文化財 工芸品	罽口 徳応二年辛卯八月 廿三日の銘がある	柳井市余田1112	福楽寺	昭和55年 4月11日	1口
	17	県	有形文化財 考古資料	茶臼山古墳出土品 面文禰神獸鏡 内行八花文鏡	柳井市大字柳井1825	山口県立山口 博物館	平成7年 1月13日	2面
	18	県	有形民俗文化財	小田家の生活用具・ 商家資料・町家 生活用具 文書 町屋	柳井市柳井津439 (文書は山口県 文書館へ寄託)	財団法人 小田家博物館	昭和54年 3月31日	1553点 1011点 主壁ほか 10棟

第 2.1.2-34 表(2) 文化財一覽

市町名	図番号	指定	指定種別	名称	所在地	所有者又は管理者	指定年月日	員数
柳井市	19	県	無形民俗文化財	阿月神明祭	柳井市	阿月神明祭 顕彰会	昭和56年 12月11日	—
平生町	20	県	有形文化財彫刻	木造地藏菩薩坐像	平生町大字大野南 1218	神護寺	昭和41年 6月10日	1躯
	21	県	有形文化財 工芸品	銅 爐	平生町大字宇佐木 1166	般若寺	昭和51年 3月16日	1口
	22	県	有形文化財 工芸品	銅 爐	平生町大字大野南 1218	神護寺	昭和51年 3月16日	1口
	23	県	有形文化財 考古資料	白鳥古墳出土品 二神二獸鏡 四神四瀆鏡 巴形銅器 鉄斧頭 鉄刀 鉄劍先 管玉 形象埴輪片	平生町大字佐賀 2253	白鳥神社	昭和56年 3月24日	1面 1面 5體 5個 3片 1片 11個 1片
	24	県	有形民俗文化財	土手町南巫鏡	平生町大字平生字 土手町 250-2 地先 平生町大字平生字 土手町 250-2	平生町 建設省 弘誓柳一 弘誓文子	平成2年 11月6日	1基
	25	県	史 跡	白鳥古墳 付 陪塚 及び河原	平生町大字佐賀字 森の下上 2249, 629, 2278-1, 2278-4, 2279-1, 2280-1 2280-4	白鳥神社	昭和46年 1月12日	—
	26	県	史 跡	岩田遺跡	平生町大字佐賀 1525-1 平生町大字佐賀 1534-1	平生町	昭和49年 11月8日 (追加指定 昭和52年 3月29日)	— —
27	県	史 跡	神花山古墳	平生町大字佐賀 1199-1	平生町	昭和57年 11月5日	—	

〔「山口県指定等文化財目録」(山口県教育委員会, 平成16年) 等より作成〕

第2.1.2-10図 文化財位置



凡例			
□ 国指定文化財			
○ 県指定文化財			
市町	指定	種別	名称
上 関 市	1	国 国文	四 階 閣
	2	県 建造	日 上 興 隆 寺
	3	県 無民	祝島の御神神事
	4	県 天	常満寺の大イチョウ
	5	県 天	祝島のツグワ
	6	県 天	八島半島のカシワ・ビヤクラン群
平 生 市	7	国 国文	田 森 兼 住 宅
	8	国 史	茶 臼 山 古 蹟
	9	国 天	幸 田 隊 旗 墓
	10	国 彫刻	柳井市古市金屋跡区
	11	県 彫刻	木造不動明王坐像
	12	県 彫刻	木造薬師如来坐像
	13	県 彫刻	木造二天王立像
	14	県 彫刻	木造二天王立像
	15	県 工芸	陶 器
	16	県 考古	茶臼山古蹟出土品
市	17	県 有説	小田家の生活用具・商家資料
	18	県 無民	阿 良 神 明 祭
平 生 市	19	県 彫刻	木造地蔵菩薩坐像
	20	県 工芸	陶 器
	21	県 工芸	陶 器
	22	県 考古	白鳥古城出土品
	23	県 有民	十手町南家集
	24	県 史	白鳥古城 柱礎石及び礎石
	25	県 史	茶 臼 山 古 蹟
	26	県 史	神 倉 山 古 蹟

注：区分欄の略号は、次のものを示す。  
 国文：国指定文化財  
 建造：建造物  
 工芸：工芸品  
 考古：考古資料  
 有説：有形民俗文化財  
 無民：無形民俗文化財  
 史：史跡  
 天：天然記念物  
 遺伝：重要伝統的建造物群保存地区

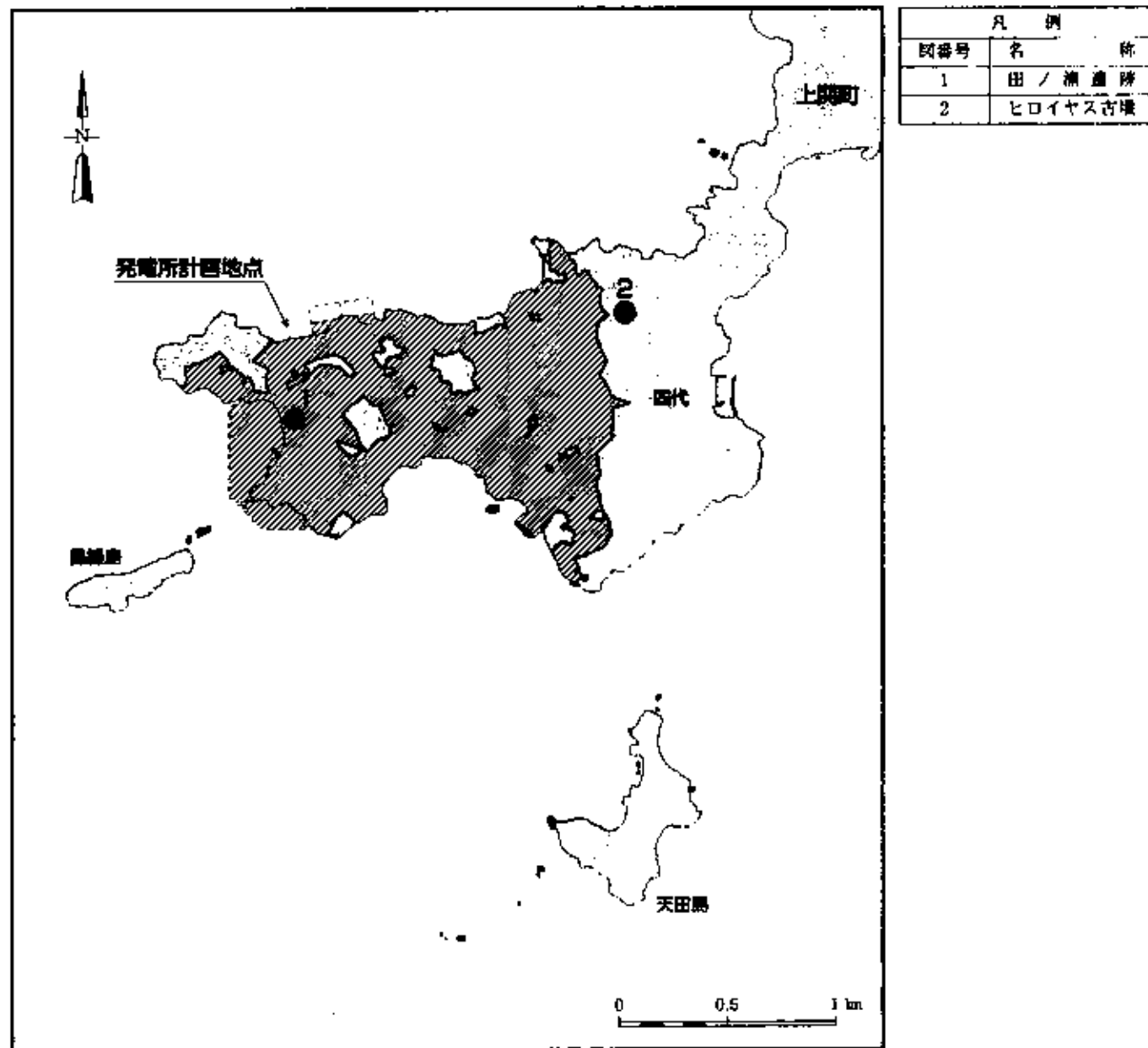
(「山口県指定等文化財目録」(山口県教育委員会、平成16年)等より作成)

第 2.1.2-35 表 発電所計画地点及びその近傍における  
周知の埋蔵文化財一覧

図番号	名 称	所 在 地	時 代	種 別
1	田ノ浦遺跡	上関町大字長島字田ノ浦	縄 文	散 布 地
2	ヒロイヤス古墳	上関町大字長島字ヒロイヤス	古 墳	埋 葬 跡

〔「山口文化財地図情報システム」(山口県, 平成 17 年)より作成〕

第2.1.2-11図 埋蔵文化財位置



(山口県文化財地図情報システム) (山口県, 平成17年)より作成

第 2.1.2-36 表(1) レクリエーション施設位置の一覧

市町名 区分	上 関 町		柳 井 市		平 生 町	
	図 番 号	名 称	図 番 号	名 称	図 番 号	名 称
景 勝 地	1	皇座山	18	琴石山	61	般若寺山
	2	祝島	19	平郡島	62	神花山
動 物 ・ 樹 木	3	楠井八幡宮樹林	20	無動寺樹林	66	般若寺 (広葉樹林)
	4	白井田八幡宮樹林	21	余田臥竜榎	67	尾国賀茂神社樹林
	5	常満寺大銀杏	22	高山寺の大モクセイ		
			23	菅原神社のソテツ群		
			24	海蔵院の大ソテツ		
			25	権楽寺の大ナギ		
社 寺 ・ 庭 園	6	御汗観音	26	新庄のツクシヨリ、気根群		
			27	新庄八幡宮境内	68	般若寺
博 物 館 ・ 資 料 館 等			28	専称寺	69	神護寺
			29	柳井民俗資料館「むろ やの園」	70	野島神社
海 水 浴 場	7	白浜海水浴場	30	園木田独歩記念館	71	白鳥稻荷神社
	8	沖の浜海水浴場	31	村ノ中伊保庄オリーブ	72	平生町歴史民俗資料館
	9	沖の浦オリーブランド施設	32	阿月湯原海水浴場	73	平生町民具館
プ ー ル			33	湯原海水浴場		
			34	柳井ダム記念公園プール	76	平生町民プール
ハイキングコース ・ オリエンティング ・ トライムコース			35	丘の道ハイキングコース		
			36	琴石山登山道		
			37	大師山オリエンティングパー スコース		
			38	郷ヶ峰オリエンティングパー スコース		
キ ャ ン プ 場	10	皇座山キャンプ場	39	トリムキングコース		
	11	八島キャンプ場	40	三ヶ敷郷の森キャンプ場		
観 光 農 園			41	日積キャンプ場		
			42	琴石山グリーンプark		
観 光 漁 業	12	熊毛郡上関町 (遊漁)	43	宮ヶ崎周辺 (ぶどう)		
			44	柳井市伊保庄小野		
			45	柳井市平郡島周辺 (遊漁)		
そ の 他 の 公 園			46	柳井市阿月竹浦 (地引網)		
	13	上関町児童遊園	47	大師山公園	77	神花山古墳
	14	上盛山展望台	48	柳井ダム記念公園	78	ハートランドひらお運動広場
			49	般若寺公園	79	ハートランドひらおスポーツ・レクリエー ション公園
			50	稻荷山公園	80	白鳥古墳
			51	岡の上公園		
			52	専称寺公園		
			53	茶臼山古墳		
格 技 場			54	やまぐちフラワーランド		
			55	柳井市武道館	81	平生町武道館

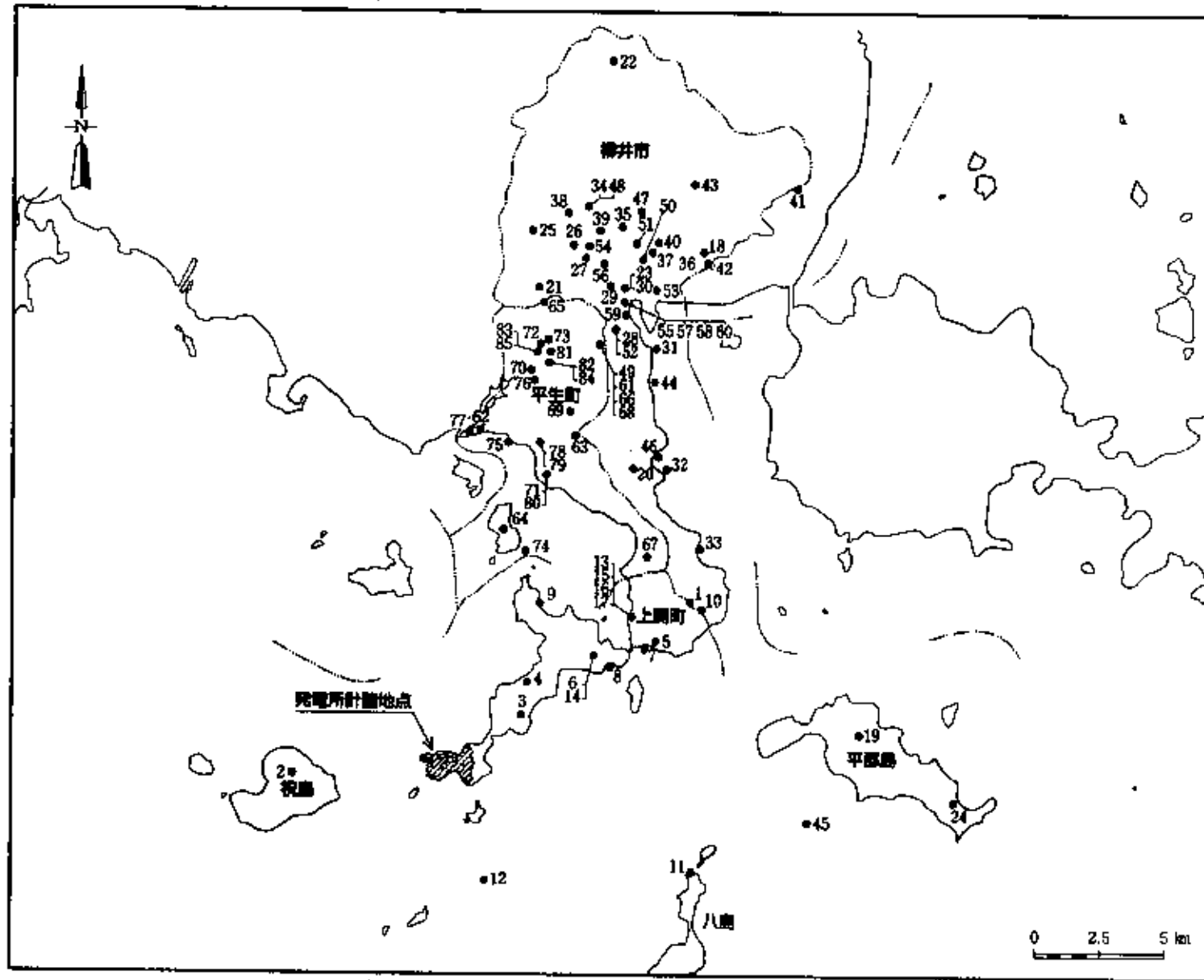
第2.1.2-36表(2) レクリエーション施設位置の一覧

市町名 区分	上 関 町		柳 井 市		平 生 町	
	図 番 号	名 称	図 番 号	名 称	図 番 号	名 称
体 育 館	15	上関町民体育館	56	柳井市体育館		
多目的運動 広場(屋内)					82	平生勤労者体育センター
多目的運動 広場(屋外)	16	上関町民グラウンド	57	柳井市多目的グラウンド	83	平生町民センター
			58	柳井市民球場	84	平生町ゲートボール場
			59	柳井市民グラウンド		
テニスコート	17	上関町民グラウンドテニスコート場	60	柳井市民球場	85	堀川公園テニスコート

〔やまぐら観光ガイドマップ〕(山口県・(社)山口県観光通覧、平成20年)  
 「ふるさと山口の自然公園」(山口県、平成9年)、  
 「山口県公共スポーツ・レクリエーション施設一覧」(山口県、平成13年)、  
 「山口県勢一覧」(山口県、平成16年)等より作成



第2.1.2-12図 レクリエーション施設位置



施設番号	施設名
1	竜虎山
2	龍泉
3	山口県立歴史資料館
4	内長川公園
5	龍崎川公園
6	龍崎公園
7	内長川水辺
8	龍崎川水辺
9	中央公園(1)大森/ワンダラ
10	龍崎川公園
11	八雲公園
12	龍崎川公園(2)大森
13	龍崎川公園
14	龍崎川公園
15	龍崎川公園
16	龍崎川公園
17	龍崎川公園
18	龍崎川公園
19	龍崎川公園
20	龍崎川公園
21	龍崎川公園
22	龍崎川公園
23	龍崎川公園
24	龍崎川公園
25	龍崎川公園
26	龍崎川公園
27	龍崎川公園
28	龍崎川公園
29	龍崎川公園
30	龍崎川公園
31	龍崎川公園
32	龍崎川公園
33	龍崎川公園
34	龍崎川公園
35	龍崎川公園
36	龍崎川公園
37	龍崎川公園
38	龍崎川公園
39	龍崎川公園
40	龍崎川公園
41	龍崎川公園
42	龍崎川公園
43	龍崎川公園
44	龍崎川公園
45	龍崎川公園
46	龍崎川公園
47	龍崎川公園
48	龍崎川公園
49	龍崎川公園
50	龍崎川公園
51	龍崎川公園
52	龍崎川公園
53	龍崎川公園
54	龍崎川公園
55	龍崎川公園
56	龍崎川公園
57	龍崎川公園
58	龍崎川公園
59	龍崎川公園
60	龍崎川公園
61	龍崎川公園
62	龍崎川公園
63	龍崎川公園
64	龍崎川公園
65	龍崎川公園
66	龍崎川公園
67	龍崎川公園
68	龍崎川公園
69	龍崎川公園
70	龍崎川公園
71	龍崎川公園
72	龍崎川公園
73	龍崎川公園
74	龍崎川公園
75	龍崎川公園
76	龍崎川公園
77	龍崎川公園
78	龍崎川公園
79	龍崎川公園
80	龍崎川公園
81	龍崎川公園
82	龍崎川公園
83	龍崎川公園
84	龍崎川公園
85	龍崎川公園

〔今まぐち観光ガイドマップ〕(山口県・(社)山口県観光連盟、平成20年)、「ふるさと山口の自然公園」(山口県、平成9年)、「山口県公共スポーツ・レクリエーション施設一覧」(山口県、平成13年)、「山口県勢一覧」(山口県、平成15年)等より作成

第2.1.2-37表 観光客の推移

(単位：人)

市町名	観光地	平成16年	平成17年	平成18年
上関町	景勝地	3,283	3,283	3,132
	四階楼・御番所等	4,644	2,967	2,411
	釣り・遊漁等	23,500	25,860	23,880
	海水浴等	5,730	5,594	6,802
	買物	604	944	879
	行・祭事 イベント	480 12,910	480 12,910	550 13,135
柳井市	白壁の町並み	71,667	64,084	63,899
	黒杭川ダム公園	5,000	3,900	2,000
	余田臥龍橋	6,000	7,000	8,000
	遊漁	8,500	22,996	22,143
	伊陸天神祭	2,500	2,500	1,500
	柳井天神春まつり	30,000	30,000	30,000
	金魚ちょうちん祭	85,000	75,000	85,000
	日積八朔大踊り	3,000	5,000	5,000
	柳井まつり	60,000	50,000	20,000
	日積観光ぶどう園	381	600	1,000
	サザンセト伊保庄マリナーパーク	27,720	24,750	22,700
	湯原海水浴場	1,500	1,400	1,000
	阿月神明祭り	5,000	5,000	3,000
	柳井大師縁日	6,000	6,000	6,000
	茶白山古墳資料館	4,677	3,487	2,760
柳井ウエルネスパーク	153,391	156,314	153,161	
観光地丸網	510	647	366	
やまぐちフラワーランド	—	—	199,474	
平生町	丸山海浜パーク	6,150	5,950	5,600
	ハートランドひらお大壘山展望台	5,520	16,630	17,970
	般若寺	12,020	11,340	11,700
	平生町民具館・歴史民俗資料館	2,476	2,895	2,967
	神花山古墳	975	950	1,655
	佐合島	3,584	3,336	3,514

注：やまぐちフラワーランドは、平成18年4月開園。

〔「平成16～18年 山口県観光客動態調査」(山口県、平成17～19年)より作成〕

(7) 公害苦情等

周辺市町における平成18年度の公害苦情の受理件数は、「平成19年版 環境白書 参考資料集」(山口県環境生活部,平成19年)によれば,第2.1.2-38表のとおりである。

第2.1.2-38表 公害苦情の発生状況

(単位:件)

市町名	区分	典型7公害							典型7公害以外	合計
		大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地沈下	悪臭		
上関町		0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市		22	2	0	2	1	0	2	3	32
平生町		4	5	0	0	0	0	0	8	17

注:柳井市は,平成17年2月21日に大島町と合併した。

(「平成19年版 環境白書 参考資料集」(山口県環境生活部,平成19年)より作成)

(8) 地域の保健状況

周辺市町における医療施設の状況は、「保健統計年報」(山口県健康福祉部,平成20年)によれば,第2.1.2-39表のとおりである。

第2.1.2-39表 医療施設数

市町名	区分	病院		一般診療所	歯科診療所
		施設数	病床数		
上関町		—	—	7	2
柳井市		4	1,038	41	19
平生町		1	1,080	10	4

注:1. 施設数は,平成18年10月1日現在の値である。

2. 柳井市は,平成17年2月21日に大島町と合併した。

(「保健統計年報」(山口県健康福祉部,平成20年)より作成)

(9) 生活環境施設の整備状況

周辺市町における生活環境施設の整備状況は、「山口県統計年鑑」(山口県統計協会、平成19年)によれば、次のとおりである。

① 水道普及状況

周辺市町における平成18年度の水道普及状況は、第2.1.2-40表のとおりである。

第2.1.2-40表 水道普及状況

単位：人口：人  
普及率：%

区分 市町名	給水人口	上水道給水人口	簡易水道給水人口	専用水道給水人口	普及率
上関町	3,595	—	3,595	—	99.4
柳井市	25,684	19,412	6,271	1	71.7
平生町	10,761	9,084	1,670	7	76.1

注：1. 数値は、平成18年3月31日現在の値である。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。  
2. 普及率 = (給水人口 / 行政区域人口) × 100 行政区域人口の値は出典に記載されていない。

(「山口県統計年鑑」(山口県統計協会、平成19年)より作成)

② 廃棄物処理の状況

周辺市町における平成17年度の廃棄物処理の状況は、第2.1.2-41表のとおりである。

第2.1.2-41表(1) 廃棄物処理の状況(ごみ処理)

区分 市町名	総人口 (人)		収集量 (t)			自家処理量 (t)
	総人口	計画収集人口	焼却	埋立		
上関町	4,057	4,057	1,175	884	31	—
柳井市	36,724	36,724	18,253	13,795	2,799	—
平生町	13,699	13,699	5,783	4,652	223	—

注：数値は、平成17年10月1日現在の値である。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

第2.1.2-41表(2) 廃棄物処理の状況(し尿処理)

区分 市町名	総人口 (人)		収集量 (kl)		自家処理量 (kl)
	総人口	計画収集人口	し尿処理施設		
上関町	4,057	3,005	2,768	2,768	34
柳井市	36,724	12,152	20,400	20,400	444
平生町	13,699	4,658	5,328	5,328	—

注：数値は、平成17年10月1日現在の値である。柳井市は、平成17年2月21日に大島町と合併した。

(「山口県統計年鑑」(山口県統計協会、平成19年)より作成)

(10) 環境関係法令等による指定状況

① 公害関係法令に基づく地域の指定状況及び規制基準

イ. 大気汚染

(4) 排出基準

発電設備の起動・停止等に使用する補助ボイラーは電気式としていることから、「大気汚染防止法」(昭和43年、法律第97号)に基づくばい煙発生施設に該当せず、大気汚染物質に係る排出基準は適用されない。

(ロ) 環境基準

「環境基本法」(平成5年、法律第91号)に基づく二酸化いおう、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る環境基準は、第2.1.2-42表のとおりである。

第2.1.2-42表 環境基準

項目	基準値
二酸化いおう	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。

注：浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が $10\mu\text{m}$ 以下のものをいう。

## ロ、水質汚濁

### (イ) 排水基準等

#### a. 排水基準

発電所は、「水質汚濁防止法」（昭和45年、法律第138号）に定める特定施設であるし尿浄化槽（501人槽以上）を設置することから、「水質汚濁防止法」に規定される特定事業場に該当し、排水基準の主な項目は第2.1.2-43表のとおりである。

第2.1.2-43表 排水基準

項 目	単 位	水質汚濁防止法に基づく排水基準
水素イオン濃度(pH)	-	5.0以上9.0以下
化学的酸素要求量(COD)	mg/l	160 (日間平均120)
浮遊物質質量(SS)	mg/l	200 (日間平均150)
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/l	5
大腸菌群数	個/cm <sup>3</sup>	日間平均 3,000
窒素含有量	mg/l	120 (日間平均60)
磷含有量	mg/l	16 (日間平均8)

注：ノルマルヘキサン抽出物質含有量は、「鉱油類」の量を示す。

#### b. 総量規制基準

発電所は、「水質汚濁防止法」（昭和45年、法律第138号）に定める特定施設であるし尿浄化槽（501人槽以上）を設置し、かつ日平均排水量が50m<sup>3</sup>以上であることから指定地域内事業場に該当し、化学的酸素要求量等に係る総量規制基準が適用される。規制基準は第2.1.2-44表のとおりである。

第 2.1.2-44 表 総量規制基準

項 目	単 位	総量規制基準
化学的酸素要求量 (COD)	kg/日	24.65
窒 素	kg/日	18.725
り ん	kg/日	18.725

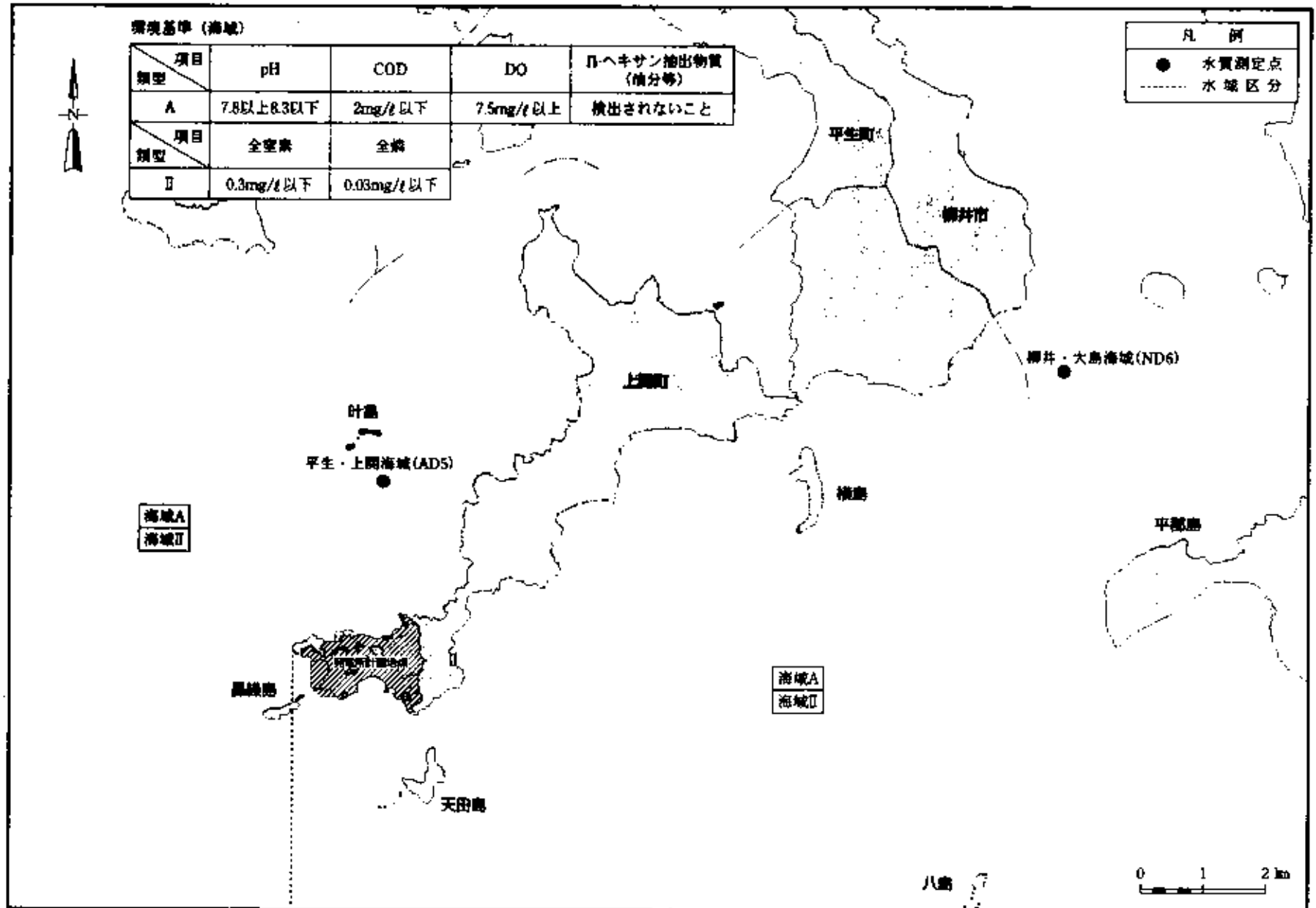
- 注：1. 化学的酸素要求量に係る総量規制基準は、「水質汚濁防止法の規定に基づく化学的酸素要求量で表示した汚濁負荷量に係る総量規制基準」（平成 14 年、山口県告示第 336 号）に定められた計算式により、最大排水量を用いて算出した値である。
2. 窒素に係る総量規制基準は、「水質汚濁防止法の規定に基づく窒素の含有量で表示した汚濁負荷量に係る総量規制基準」（平成 14 年、山口県告示第 337 号）に定められた計算式により、最大排水量を用いて算出した値である。
3. りんに係る総量規制基準は、「水質汚濁防止法の規定に基づくりんの含有量で表示した汚濁負荷量に係る総量規制基準」（平成 14 年、山口県告示第 338 号）に定められた計算式により、最大排水量を用いて算出した値である。

(d) 環境基準

調査海域は、「環境基本法」（平成 5 年、法律第 91 号）に基づく水質汚濁に係る環境基準の水域類型（海域）A に指定されている。また、全窒素及び全燐については、水域類型（海域）Ⅱに指定されている。海域における指定状況及び環境基準の主な項目は第 2.1.2-13 図のとおりである。

第2.1.2-13図

環境基準の水域類型及び公共用水域水質測定位置



2.1.2-80

〔平成19年版 環境白書 参考資料集〕(山口県環境生活部、平成19年)等より作成



## ハ. 騒音

発電所計画地点を含む長島全域（天田島及び鼻線島を含む）（以下「発電所計画地点近傍」という。）は、「環境基本法」（平成5年，法律第91号）に基づく騒音に係る環境基準の類型指定地域及び「騒音規制法」（昭和43年，法律第98号）に基づく規制地域に指定されておらず，特定工場等及び特定建設作業に関する規制基準は適用されない。なお，「山口県公害防止条例」（昭和47年，山口県条例第41号）に基づき特定施設に係る騒音の敷地境界線における許容限度が第2.1.2-45表のとおり定められている。

第2.1.2-45表 特定施設に係る騒音の許容限度（山口県公害防止条例）

（単位：デシベル）

地域	時間 昼間 8時～18時	朝・夕 6時～8時・18時～21時	夜間 21時～翌日6時
その他の地域	65	65	55

- 注：1. 「その他の地域」とは、「騒音規制法」（昭和43年，法律第98号）に基づく指定地域及び「都市計画法」（昭和43年，法律第100号）に基づく工業専用地域以外の地域をいう。  
2. この規制基準は，建設工事に伴って発生する騒音については，適用されない。

## ニ. 道路交通騒音

発電所計画地点近傍の道路に面する地域は、「環境基本法」（平成5年，法律第91号）に基づく騒音に係る環境基準の類型指定地域及び「騒音規制法」（昭和43年，法律第98号）に基づく自動車騒音の限度が定められている地域に指定されていない。

## ホ. 振動

発電所計画地点近傍は、「振動規制法」（昭和51年，法律第64号）に基づく規制地域に指定されていない。

## へ. 土壌汚染

### (イ) 環境基準等

「環境基本法」(平成5年, 法律第91号)に基づく環境基準は, 第2.1.2-46表のとおりである。

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める総理府令」に定める埋立処分に係る判定基準は, 第2.1.2-47表のとおりである。

### (ロ) 農用地の土壌汚染防止等に関する法律

発電所計画地点は「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」(昭和45年, 法律第139号)に基づく農用地土壌汚染対策地域に指定されていない。

## ト. 地盤沈下

発電所計画地点及びその近傍は, 「工業用水法」(昭和31年, 法律第146号)に基づく地下水採取に関する指定地域に指定されていない。

第2.1.2-46表 土壌の汚染に係る環境基準

項 目	環 境 上 の 条 件
カドミウム	検液1ℓにつき0.01mg以下であり、かつ、農用地においては、米1kgにつき1mg未満であること。
全シアン	検液中に検出されないこと。
有機燐	検液中に検出されないこと。
鉛	検液1ℓにつき0.01mg以下であること。
六価クロム	検液1ℓにつき0.05mg以下であること。
砒素	検液1ℓにつき0.01mg以下であり、かつ、農用地(田に限る。)においては、土壌1kgにつき15mg未満であること。
総水銀	検液1ℓにつき0.0005mg以下であること。
アルキル水銀	検液中に検出されないこと。
PCB	検液中に検出されないこと。
銅	農用地(田に限る。)において、土壌1kgにつき125mg未満であること。
ジクロロメタン	検液1ℓにつき0.02mg以下であること。
四塩化炭素	検液1ℓにつき0.002mg以下であること。
1,2-ジクロロエタン	検液1ℓにつき0.004mg以下であること。
1,1-ジクロロエチレン	検液1ℓにつき0.02mg以下であること。
シス-1,2-ジクロロエチレン	検液1ℓにつき0.04mg以下であること。
1,1,1-トリクロロエタン	検液1ℓにつき1mg以下であること。
1,1,2-トリクロロエタン	検液1ℓにつき0.006mg以下であること。
トリクロロエチレン	検液1ℓにつき0.03mg以下であること。
テトラクロロエチレン	検液1ℓにつき0.01mg以下であること。
1,3-ジクロロプロペン	検液1ℓにつき0.002mg以下であること。
チウラム	検液1ℓにつき0.006mg以下であること。
シマジン	検液1ℓにつき0.003mg以下であること。
チオベンカルブ	検液1ℓにつき0.02mg以下であること。
ベンゼン	検液1ℓにつき0.01mg以下であること。
セレン	検液1ℓにつき0.01mg以下であること。
ふっ素	検液1ℓにつき0.8mg以下であること。
ほう素	検液1ℓにつき1mg以下であること。

備考 1. 環境上の条件のうち検液中濃度に係るものについては別に定める方法により検液を作成し、これを用いて測定を行うものとする。

2. カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ふっ素及びほう素に係る環境上の条件のうち検液中濃度に係る値にあっては、汚染土壌が地下水から覆れており、かつ、原状において当該地下水中のこれらの物質の濃度がそれぞれ地下水1ℓにつき0.01mg、0.01mg、0.05mg、0.01mg、0.0005mg、0.01mg、0.8mg及び1mgを超えていない場合には、それぞれ検液1ℓにつき0.03mg、0.03mg、0.15mg、0.03mg、0.0015mg、0.03mg、2.4mg及び3mgとする。

3. 「検液中に検出されないこと」とは、定められた方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

4. 有機燐とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNをいう。

第2.1.2-47表 金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準

項 目	基 準 値
アルキル水銀化合物	アルキル水銀化合物につき検出されないこと。
水銀又はその化合物	検液1ℓにつき水銀0.005mg以下
カドミウム又はその化合物	検液1ℓにつきカドミウム0.3mg以下
鉛又はその化合物	検液1ℓにつき鉛0.3mg以下
有機燐化合物	検液1ℓにつき有機燐化合物1mg以下
六価クロム化合物	検液1ℓにつき六価クロム1.5mg以下
砒素又はその化合物	検液1ℓにつき砒素0.3mg以下
シアン化合物	検液1ℓにつきシアン1mg以下
ポリ塩化ビフェニル	検液1ℓにつきポリ塩化ビフェニル0.003mg以下
トリクロロエチレン	検液1ℓにつきトリクロロエチレン0.3mg以下
テトラクロロエチレン	検液1ℓにつきテトラクロロエチレン0.1mg以下
ジクロロメタン	検液1ℓにつきジクロロメタン0.2mg以下
四塩化炭素	検液1ℓにつき四塩化炭素0.02mg以下
1,2-ジクロロエタン	検液1ℓにつき1,2-ジクロロエタン0.04mg以下
1,1-ジクロロエチレン	検液1ℓにつき1,1-ジクロロエチレン0.2mg以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	検液1ℓにつきシス-1,2-ジクロロエチレン0.4mg以下
1,1,1-トリクロロエタン	検液1ℓにつき1,1,1-トリクロロエタン3mg以下
1,1,2-トリクロロエタン	検液1ℓにつき1,1,2-トリクロロエタン0.06mg以下
1,3-ジクロロプロペン	検液1ℓにつき1,3-ジクロロプロペン0.02mg以下
チウラム	検液1ℓにつきチウラム0.06mg以下
シマジン	検液1ℓにつきシマジン0.03mg以下
チオベンカルブ	検液1ℓにつきチオベンカルブ0.2mg以下
ベンゼン	検液1ℓにつきベンゼン0.1mg以下
セレン又はその化合物	検液1ℓにつきセレン0.3mg以下
備 考	「検出されないこと。」とは、第4条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検出した場合において、その結果が当該検定方法の定量限界を下回ることをいう。

チ、悪 臭

発電所計画地点は、「悪臭防止法」(昭和46年、法律第91号)に基づく規制地域に指定されていない。

なお、発電所はし尿浄化槽(50人槽以上)を設置するため、「山口県公害防止条例」(昭和47年、山口県条例第41号)に基づき特定施設に係る悪臭物質の敷地境界線における大気中濃度等の規制基準が第2.1.2-48表のとおり定められている。

第2.1.2-48表 特定施設に係る悪臭物質の規制基準(山口県公害防止条例)

対 象	物質の種類	許容限度	対 象	物質の種類	許容限度
敷地境界線の地表における大気中の濃度 (単位:ppm)	アンモニア	2	敷地境界線の地表における大気中の濃度 (単位:ppm)	酢酸エチル	7
	メチルメルカプタン	0.004		メチルイソチオネート	3
	硫化水素	0.06		トルエン	30
	硫化メチル	0.05		スチレン	0.8
	二硫化メチル	0.03		キシレン	2
	トリメチルアミン	0.02		プロピオン酸	0.07
	アセトアルデヒド	0.1		ノルマル酪酸	0.002
	ブロムベンゼン	0.1		ノルマル吉草酸	0.002
	メチルイソチオネート	0.03		イソ吉草酸	0.004
	イソチオネート	0.07		メチルメルカプタン	0.003
	メチルチオチオネート	0.02		硫化水素	0.02
	イソチオチオネート	0.006		硫化メチル	0.07
	イソブタノール	4		二硫化メチル	0.09
					排出水中の濃度 (単位:mg/l)

リ、ダイオキシン類

「ダイオキシン類対策特別措置法」（平成11年、法律第105号）に基づく「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準について」（平成11年、環境庁告示第68号）により、ダイオキシン類に係る環境基準が第2.1.2-49表のとおり定められている。

第2.1.2-49表 ダイオキシン類に係る環境基準

媒 体	基 準 値
大 気	0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
水質（水底の底質を除く。）	1pg-TEQ/l以下
水 底 の 底 質	150pg-TEQ/g以下
土 壌	1,000pg-TEQ/g以下

備考 1. 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンの毒性に換算した値とする。  
2. 大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。  
3. 土壌にあっては、環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合には、必要な調査を実施することとする。

## ② 自然関係法令に基づく地域の指定状況

### イ. 自然公園

周辺市町には、瀬戸内海国立公園があり、小祝島及び長島の北端が第2種特別地域、室津半島先端の皇座山付近が第3種特別地域、佐合島が普通地域に指定されている。また、発電所計画地点の周辺海域は瀬戸内海国立公園の普通地域となっている。その概要は第2.1.2-50表、位置は第2.1.2-14図のとおりである。

なお、発電所計画地点の一部は瀬戸内海国立公園の普通地域に指定されている。

### ロ. その他

周辺市町の一部は「森林法」（昭和26年、法律第249号）に基づく保安林、「海岸法」（昭和31年、法律101号）に基づく海岸保全区域、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」（昭和44年、法律第57号）に基づく急傾斜地崩壊危険区域、「砂防法」（明治30年、法律第29号）に基づく砂防指定地、「地すべり等防止法」（昭和33年、法律第30号）に基づく地すべり防止区域、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」（平成14年、法律第88号）に基づく鳥獣保護区、休猟区及び銃猟禁止区域に指定されている。その位置は第2.1.2-15～18図のとおりである。

なお、発電所計画地点の一部は「森林法」に基づく保安林及び「海岸法」に基づく農林水産省所管の海岸保全区域に指定されている。

第2.1.2-50表 自然公園の概要

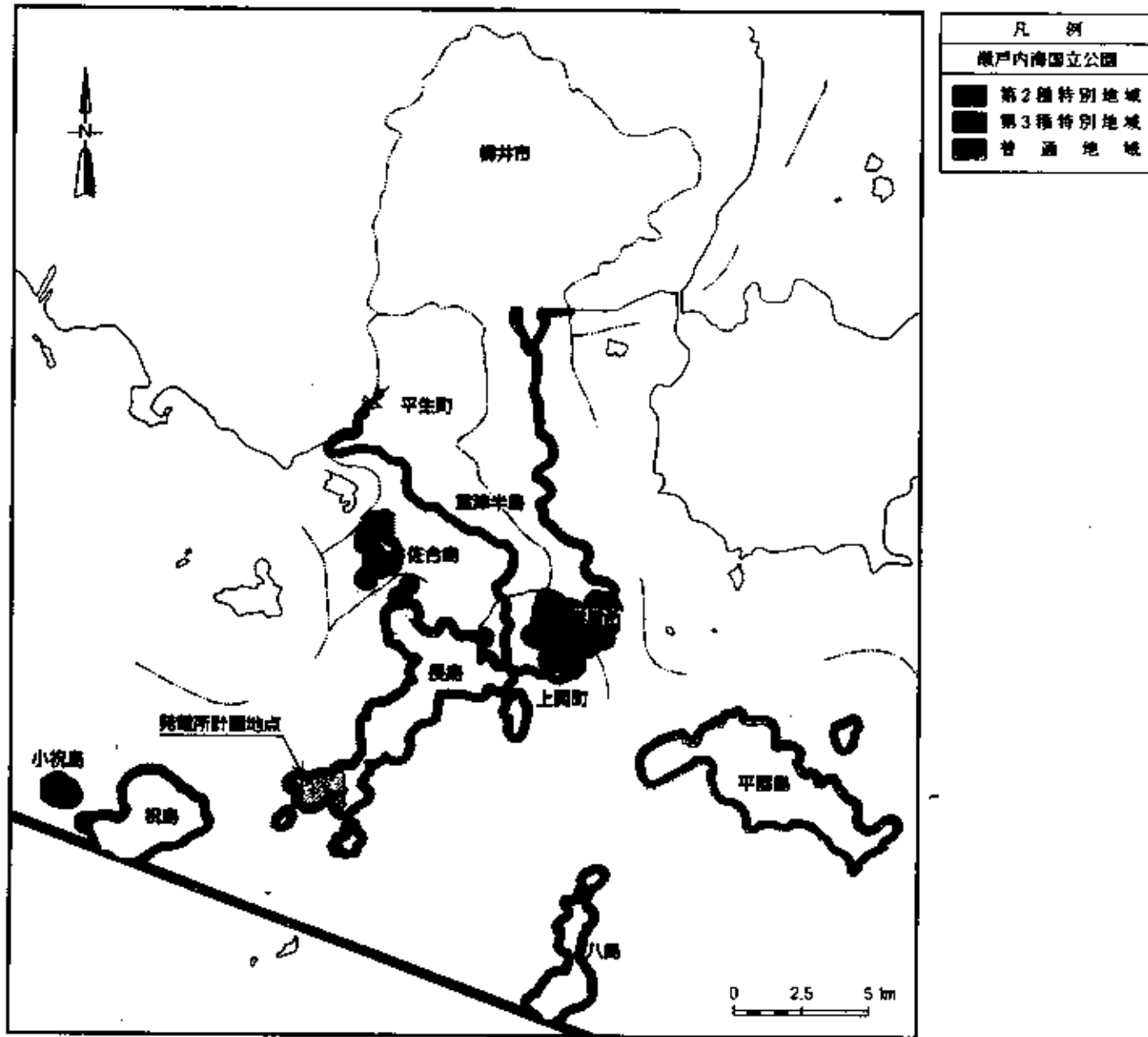
名称		面積 (ha)		関係市町	公園の概要	指定年月日	
国立公園	瀬戸内海国立公園	特別地域	特別保護地区	0	下関市 周南市 防府市 下松市 岩国市 光市 柳井市 周防大島町 上関町 田布施町 平生町	瀬戸内海国立公園は、世界的な多島海公園であるとともに、わが国の風景を代表する傑出した自然の風景地として歴史と伝説を内在していることから、国立公園として定められている。  特色として、景観では内海多島美、植物では蔵層山の樹林、動物ではクサフグの産卵地などがあげられる。	昭和9年 3月16日
			第1種	121			
			第2種	1,802			
			第3種	1,640			
			計	3,563			
			普通地域	2,347			
		合計	5,910				

注：面積は山口県の管轄部分のみである。

(「平成19年版 山口県環境白書」(山口県、平成19年)、「ふるさと山口の自然公園案内図」(山口県、平成9年)等より作成)

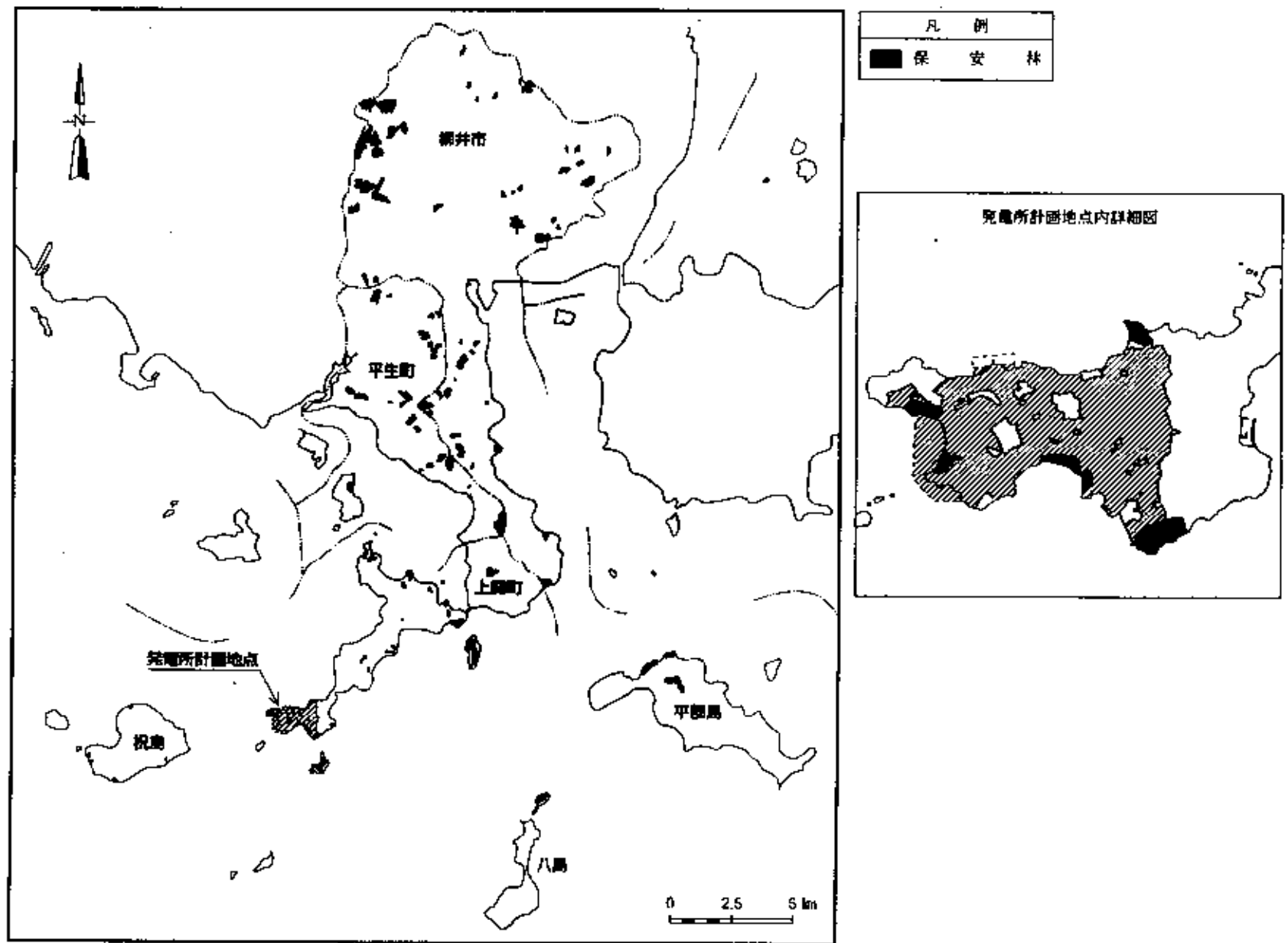


第2.1.2-14図 自然公園位置



〔瀬戸内海国立公園(山口県・福岡県地域西部)区域及び公園計画図〕(山口県、平成18年)より作成  
 〔瀬戸内海国立公園(山口県・福岡県地域東部)区域及び公園計画図〕(山口県、平成18年)より作成

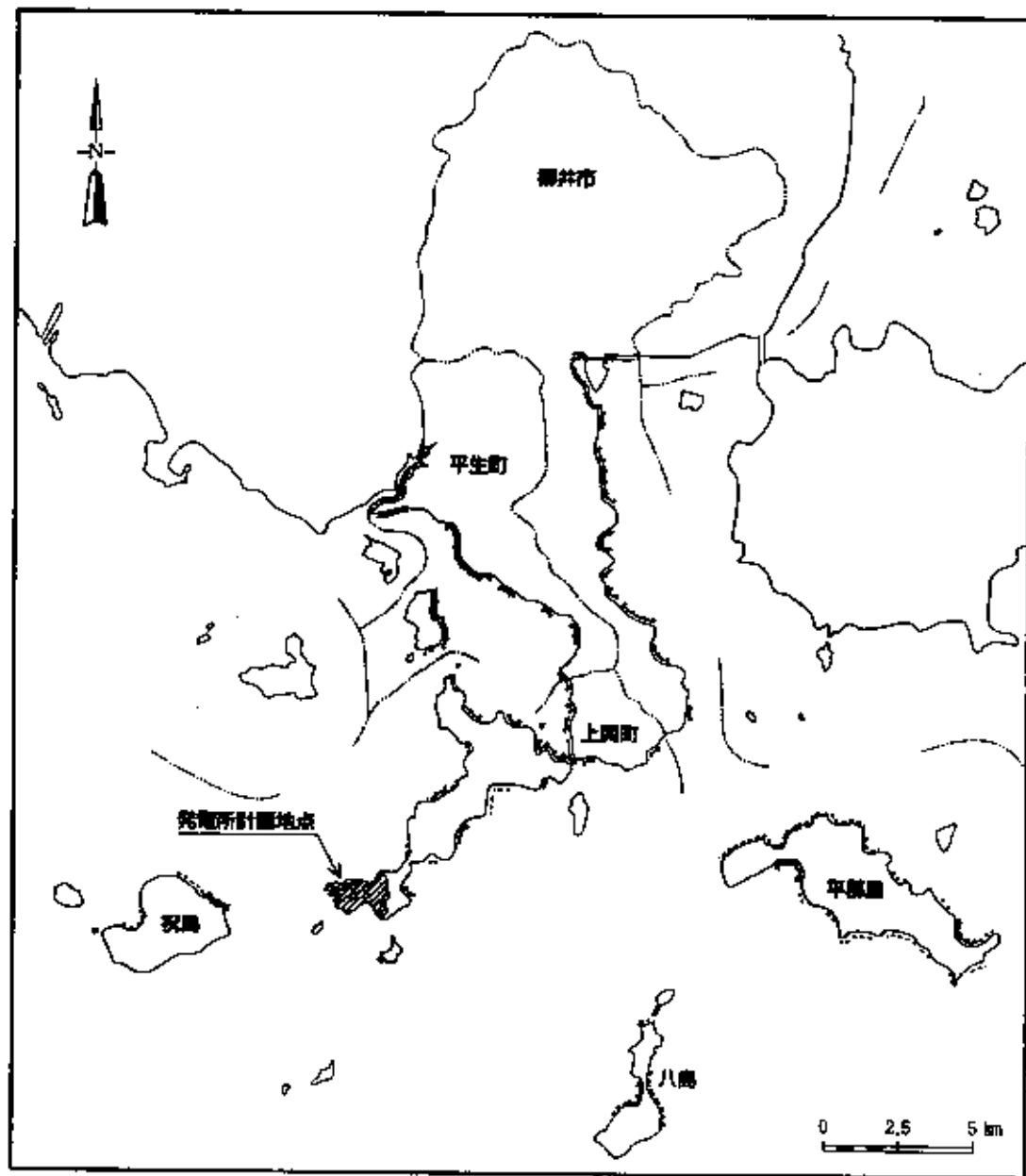
第2.1.2-15図 保安林位置



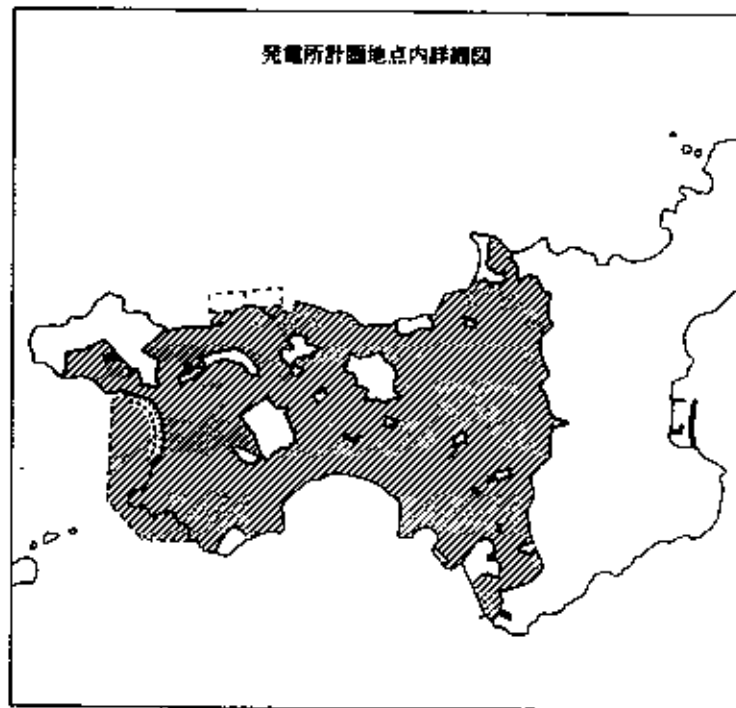
(「山口県土地利用基本計画図」(山口県、平成8年)より作成)

2.1.2-90

第2.1.2-16図 海岸保全区域位置

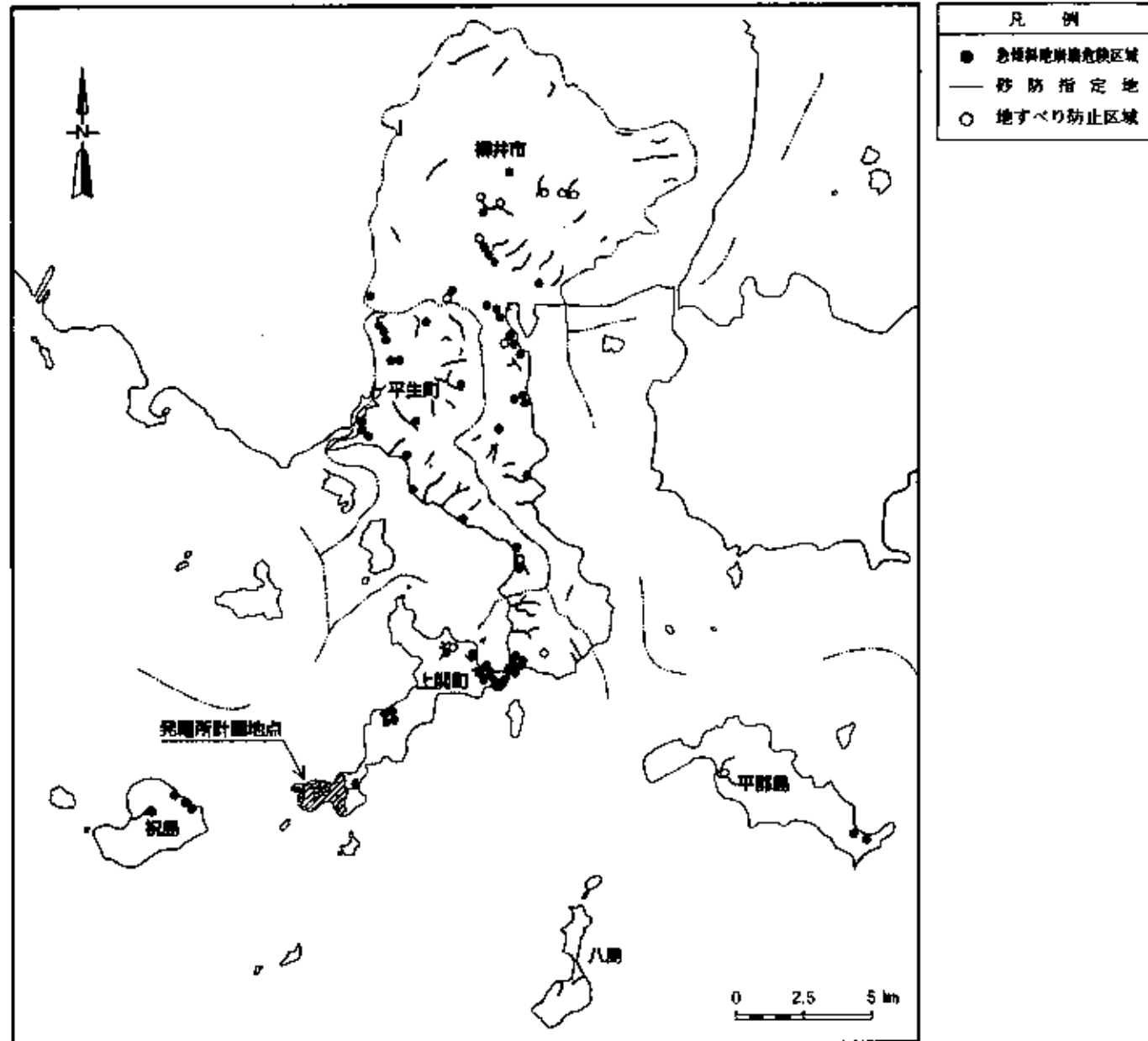


凡 例	
-----	国土交通省(旧建設省)所管
——	国土交通省(旧運輸省)所管
——	水産庁所管
-----	農林水産省農道改善局所管



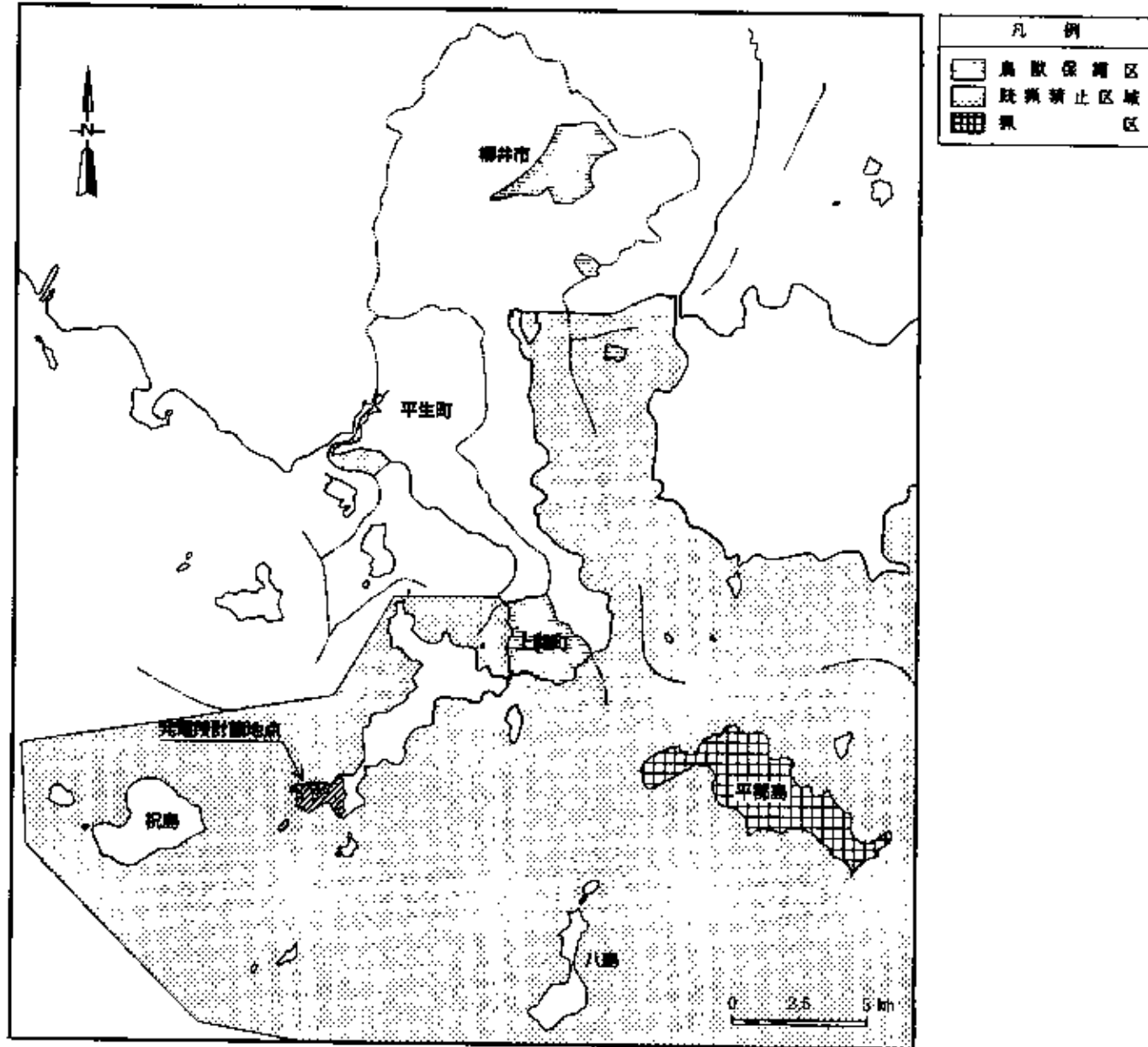
〔山口県資料〕より作成

第2.1.2-17図 土地防災関連指定区域位置



(山口県柳井土木建築事務所管内) (山口県柳井土木建築事務所, 平成18年)より作成

第2.1.2-18図 鳥獣保護区等位置



〔山口県鳥獣保護区等位置図〕(山口県、平成17年)より作成